

**こ(粉)【名詞】** 1) 鮭に使う魚、肉、野菜など、鮭の具 2) かび(黴)粉が吹く 3) 混ぜ飯に入れる具 [会話] 1) 鮭のコ。鮭のコ言うのは 巻鮭の芯を 鮭のコも こさえな (作らねば) はざん (いけない) 言うて。鮭こさえるよおになると、芯や (と) 言わへんね (言わないのです)。魚や なんや、上に乗せんのも (に乗せるのも) 魚のコ 言うて にぎんのを (握るのを) へんどいて (薄く削いで) 魚のコ へがな、へぐ 刺身におろす (作る) のをへぐ。刺身は 厚つつう切るけど (けれど) うつつう (薄く) すんのを (するのを) へぐ言うの (のです)。鮭 すんな (するのは) ちよいと (少し) うつつう するや がな (でしょう)、それを へぐ 言うの (のです)。鮭のコ へんで貰え言うて、男の人 らん (人達に) なまの (生、煮たり焼いたりしてない状態) おっきい (大きい) 魚を へぐ時 ん (に) おなごな (が) すると あつつう (厚く) したる (してやる) もんで (ので) 男の人 ら (は) うつつう へぐの (のです)。3) 五目 (五目飯、炊き込み御飯) 炊く時も コ や (です) 五目のコ炊かな (なければ)、てこねのコ や (だ) 言うし なあ (言います)。てこねのコも 切つとかな (ておかねば) はざんわれ (いけない) 言うて、こまこお (小さく) てこねに すんな (するのは) 切るやんな (でしょう)。よごれた飯 (白飯に対し、混ぜ飯を言う) 炊く時 や (は) なんでも コ や (だ)。こぶ (昆布) や なんも (なにかも) 入れて 五目のコ 炊こやんか (炊きましよう) 言うて、べつんも (特別に) あや (あれば) 五目 みたいん (のように) 思いおったなあ (思いました)。刻み こぶな (が) 入れて有ると。昔 や (は) あんな (あれが) 入れとらな (入って居なければ) 五目 みたいん 思わざった (なかった)。今 し のもん (者) ら (は) 飯な (が) 汚れる 言うて 見た目、綺麗しょお 言うて 醤油も炊き込まんと (まずに)、コ 振り懸ける コ 入れて 炊き込むとうまいけど (けれど) 綺麗にうつくし (美しく) すんの (します) ちらしに上から振るわい (振ります)。

**こ(子)【名詞】【接尾語】** 1) 子供、人の男女の間に来た人 (志 (志島、御座)、伊勢地方) 2) 人稱代名詞の後について、その人を表す。親しんで言う、あにんコ、あねんコ、おばんコ 3) 利子 (コ (子) のシロ (代) の義、子供たち代の意)

**こ(個)【接尾】【数助詞】** 物の数を数えるのに使用 カ (個) の百姓読 (大言海) (志) [会話] 一つ、二つ、言うのも 有るし 一コ、二コ、言うて、かんぜる (数える) のも しなもん (品物) によって 一つ、二つで行く のおな (のが) 有るし、なんコ、なんコで行く のおな ある。

**こ(小)【接頭語】** 名詞や用言の上について、小さい、わずかな、などの意を添える。(松、尾) [会話] ちよいと (少し) 足らん ちっさい (小さい) 言うよお な 意味が あんねかいなあ (有るのでしょうか)、コドンや たら (だとか)、コタランとか コアンゴシ たら (とか) 言うて。ちよいと (少し) 足らん よおな 事や なあ。わりに (比較的) “コ” 言うのは よお け (沢山) 頭付けと る み たい な 感じで。ほんと (本当) に コドン たら (とか)、コアンゴシ ね よ って ん (のだから) とか、コムツカシイ、コヌケトル ね よ って ん 言うたり。コヌケトル 言うて (言って)、抜け と る の を (て居るのを)。おなし (同じ) 意味 や けど (だか) 言いよおな (言い表し方) 幾つも有ってなあ。“コ” な (が) 付く言葉は あんまり (余り) ええ (よい) 事 や ない ね なあ (で無いのですねえ) こん で なあ (此れで)。コニクラシ たら (憎らしいとか) コアンゴシ やら (とか) コヌケトル て やら 言うて わり (悪い) 事が よ れ や なあ (沢山、多いです)。

…**こ【接尾語】** しませんか 親しい間柄で使用 目上には使用しない。相手の意を確かめる言葉 (志 (志島、甲賀) 鳥、度) [会話] わいらよお (お前さん達) 行こ やん コ (行きましよう) とか、行か せん の コ (行かないのですか) 行く の コ (行くのですか) 言うて、行く の かい (行くのですか) 言 や (言えば) ええ (良い) の ん (のに)。行く の コ て や (と云えば) あてらあ。

**こあきない (こあきなひ) (小商)【名詞】** 僅かな資金で商売をすること。小規模の商売 (松) [会話] コア キナイ、ちよいちよい (小さい) した 店 を なあ、コア キナイ も して 言うて な。家の 軒 え なあ ちよいと (少し) 台 や って (置いて) コア キナイ し とり お った (していました)。大きな きちつ とした 店 や なしん (でなくて) ちよいと した (小さい) の を なあ (物を) 売 と よ お った (ていました)。

**こあじ (ごあぢ) (小鯨) 【名詞】** 小さな鯨 [会話] コアジ言うのと、ちっさい (小さい)、こいな (3~5 cm) ちっちゃいのな (小さいのです)。せながの (むる鯨) ちっさいの (小さいのは) こじゃか 言うて、そして 鯨の ちっさいな コアジ言うしなあ

**こあんご こあんごし 【名詞】** 薄馬鹿…あんご、あんごし 馬鹿 こ 接頭語 形や規模が小さい。量が少ない。程度が軽いなどの意を表す (志 (鶴方、神明、志島、甲賀)) [会話] あや (彼は) まあ (もう) コアングシねよって (のだから)、なんでも (なにでも) べちゃべちゃ 喋って。コアングシ。 あんまり (あまり) あんごしねえんけど (無いのだが) ちよいと (少し) あんごし (馬鹿) のを言うんやろなあ (言うのでしよう)。 なんやかや (いろいろと) べちゃべちゃ口 な (が) かあるい (軽い) と、あや (彼は) コアングシて (しくて) べちゃべちゃ なんでも 喋って、言わんで (言わなくて) ええ事 (よい事) を かくしとる (ている) 事を コアングシよって なんでも (何でも) も 喋って (喋ってしまつて)。

**こい (濃い) 【形容詞】** 1) 血縁が近い 親しい 2) 味が濃厚 [会話] 2) 味がコイ。1) 血がコイ。血 な (が) コイ言うのは 親類や (です)。血 な (が) 親子はコイし、兄弟 や (は) 言うたら ちよいと (少し) うっすい (薄い)、そいな (そんな) のを言うんやろなあ (言うのでしよう) 血 な コイ。

**こい (来) 来なさい** ク (来) の命令語 こよの転 (志、鳥、員、四、安、一、飯、多、上、張、度、北、尾、熊) [会話] こっちゃえ (こちらへ) コイ。こちらへおいでえの (おいでなさい) こっちゃえ コイまあ (来なさい) 言うて。

**こい (こひ) (鯉) 【名詞】** 海魚 ひめじ 体長約20 cmに達する。体は側扁して細長い。下顎に味覚に敏感な二本の長いひげが有るのが特徴。体色は朱紅色で、背に褐色の不規則な斑紋が有る。(三重県全域) [会話] 髭 生やしとる (ている) あっかい (赤い) 魚、鯉ん (に) よお (よく) 似た 魚な (が) 有るやんかい (有ります)。 がいん (あまり) 美味ない。 あっかい はだ (鱗) な (が) 粗くたい (大きい) のおな (のが) 口髭な (が) 生えとんのなあ (ているので) コイ 言うて。

**ごい 【副詞】** 1) 残らず すっかり 2) 多量に 3) 急に減るさま [会話] 2) ゴいととて来た (とつてきた)。ゴイと稼んで (稼いで) 来たとか、まあ、ゴイ やなあ (だ) 言うて、 よけ (沢山) とて来る事を

(とつて来る事) ゴいやなあ。1) ごっしり 言うて 皆もてくと (持って行くと) ゴイと持てた、ごっしり持てた (持って行った) 言うて、みんな残らず 持てくと ごっしり さらえてた (さらえて行った)。

**こいい (濃) 【形容詞】** 1) 色や味が濃厚である事 2) 血縁が近い [会話] 1) 味噌汁 な (が) 濃いたら (とか)。2) あの人とあの人 血な (が) 濃いやんかい (です)。兄弟 や (だ) とか 親とか あや (あれは) ちい (血) な 濃いね よって (のだから) 言うてな。コイイ 言うて、もお一つ “い” つけるコイイ ねなあ (のだ) 言うて 言う時 な (が) あるけどなあ (あります)。あの家 や (は) どいらい (大変) コイイ ねもん (のだから) あえん (あんなに) 親し (親しく) すんねやれ (するのだ) 言うてな “い” を よけ付ける人も あんなあ (有ります)。

**こいいね 濃いのだ**

**こいえ (来) 来なさい** おいでなさい [会話] おいで言うの (のを) コイエ、おれげ (我家) い (に) コイエ 言うて、おお (はい) きたわれ (来ました)、遠いけど (が) 来たれ (来ました) 言うて。

**こいええ 来なさい 必ず来なさい (北)**

**ごいか (甲烏賊) 【名詞】** こういか 石灰質の甲があるので此の名がある。胴長約18 cm 腕の長さは8 cm位、胴は楕円形で周囲にひれが有る。生きている時は暗褐色で雄にはさざ波状の横縞が有る。(熊) [会話] いかや (です) ごおの付いとる (付いている) いか。ゴイカ。

**こいぐち (鯉口) 【名詞】** 筒袖の袖口の小さいもの (桑市、多、安) [会話] 働くのも働きやすいし 袖口 ちっそおして (小さくして) コイグチ 言うて、口を 鯉の口みたいん (のように) して

**こいこい 【名詞】** 花札 賭博の一種 (津)

**ごいごい 【形容詞】** 1) 急激に変動するさま 急に減るさま (志 (布施田)) 2) 摩擦するさま ごしごし 3) 沢山 4) 力を入れるさま [会話] 4) ごしごし とか、ゴイゴイ とか なんやかや (色々) しごいて (こすって) 音な (が) すると ゴイゴイ こする 言う事 なあ (です)。ゴイゴイ こすんな (こするな) いたむのん (悪くなるのに) とか、ゴイゴイ と、こすって 喧まし (喧ましいぞ) とか。1) 物な (が) 急に減って く (ていく) ゴイゴイ減ってかれ (て行く) 言うて、底な (が) 抜けとんのかして (抜けて居るのか) ゴイゴイ減ってくなあ (ていく) とか、はっしやんどて (乾燥して割れ目が出て居て) 水な (が) ゴイゴ

イ 減ってた (減って行った) とか、穴な開いとて (て居て) ゴイゴイ 減ってかれ。<sup>3)</sup> ご飯 よけ (沢山) 食べても ゴイゴイ減ってかれ 言うやんかい (言います)。昔や (は) よお (よく) 食べおった (食べて居ました)。ご飯食べる事も そげん (そんなに) 言いおった (言っていました)。ゴイゴイへられ (減る) 言うて。今しゃ (今は) 米ばっか (ばかり) やもんで (なので) がいに (たいして) 腹、減らせんねかいなあ (減らないのでしょうか)。昔や (は) ざっぴもん (雑物) ばっか (ばかり) 喰うので、腹な (が) 減りおったんやろなあ (居たのでしょうか)。三杯、四杯つ (位) は喰いおったなあ (食べて居ました)。五杯、六杯つやわい (です)。麦飯い (へ) 汁 (味噌汁) かけて食うと、三杯、四杯つ喰うな (のは) とろくさいに (元気がないので、勢がない) 五杯、六杯つ食べんな (食べるのが) 健康なおやった (なのだった)。そんでも (それでも) じつき (すぐ) 腹な (が) 減ってくねん (ていくのです)。瓦置き (瓦葺き) ん (に) 行て (行って) 赤土 捏ねたりすると、力な (が) 要るやんない (でしょう)。まぐわ (鍬の一種) で、梯子い登って、手渡しにするやんかな (するのです) 土を、瓦置きん (に) 行った時の腹な (が) 減んな (減るのは) 違とりおった (違って居ました)。骨折り (ほねおり、労働) な (が) えらいもんで (大変なので) 土 捏ねんならんし (ねなければならぬので) それを、まぐわ引掛けて 梯子登つといて (て居て) 手送りでおったやんかな (して居たで有りませんか)。そいな時、行くと ごつつお (御馳走) も、五目 (五目飯) とかてこねとかして (作って) 喰わして呉れるやんかな (くれるのです)。そすと、つね (普段) は、麦飯や芋飯食べとるもんで (て居るので) 珍らしのおえ (のへ) おなか (腹) 空いとるもんで (ているので) 五杯、六杯つなあ。

こいごいし (こひごひし) 【形容詞】 仲がよい 親しい  
こいごし参照

こいごき (小動) 【名詞】 少し動く事

こいごし 【形容詞】 こいごいしい 仲がよい。親しい、濃い重なった語か (志 (布施田、甲賀)) [会話] 親しくする言う事 親戚どおし コイゴシして、友達で、コイゴシするとかなあ。親しい。親しみのある人をコイゴシ。

こいごしする 親しくする。こいごし参照

こいさ (今夜) 【名詞】 今夜 今晚 この夜 よさりよさ 夜さ よる 夜さり さりは来る、近づくの意

を表す動詞 去りから 夜さり 夜になった頃 夜分特に今夜、今晚の意を有す事あり こんよさ→こいさ (志 (船越、御座、浜島、布施田、鶴方、神明、立神、国府)、鳥、松多、度、尾、北) [会話] 今日のよさ言うの (のを) コイサ。今晚言う事をコイサ。コイサ、わしげ (私の家) でよなべ (夜業) しょおか (しましよるか)、しょおやんこお (しょうで有りませんか)。よさや (夜は) あれげで (彼家) よなべしょおやんこ言うて、よさや 言うて、今夜の事よさや。よさやおれげで (俺の家) よなべせんこお (しませんか) 言うて。よさや たら (とか) コイサやたら (とか)。コイサ おれげへ 来るこ (来ますか) 言うてなあ。今晚、おれげへ来い言うのを。よさり言うのも、今晚、夜の事。今し (今) では 今晚やけど (だけれど) 昔や (は) コイサ。よさりや (だ) 言うてなあ。

こいし (こいし) (恋) 【形容詞】 事物や人などが慕しくて、じっとしていられない気持ちである。恋しい。コヒ (恋) を活用した語 (大言海) [会話] コイシ懐かし (しい) 言うて、こいこいしなあ (恋ごいしいです) 逢いたいなあ 思うのをなあ、コイシなあ、言うてな。可愛いこら (子) やどけなあ (などです) おおた (ああ) はよ (早く) くや (来れば) ええのんなあ (よいのに)、コイシのんなあ (に)、あいたいのんなあ 言うのを、コイシ言うのなあ (です) 恋しいと “い” は付けんと (付けずに) コイシ 言うねんなあ (言うのです) “い” ばな (を) ま ちよいと (少し) ほつとくね (すてておくのです)。グモオニン言うのも一緒や (だ) 思う グットモーニング言わんと (言わずに)。

こいだけ 【名詞】 【副詞】 これだけ この程度 (志 (御座、立神、志島、国府))

こいちんち (小一日) 【名詞】 略一日 一日の大半 [会話] コイチンチ掛った 言うね (のです)。コイチンチ言うて、ゆざげ (おやつ) 頃迄 やろな (でしょう)。三時頃までの のおを (のを) 言うんやろなあ (言うのでしょうか)。昼やたら (だったら) 昼迄かかった言うけどな (が)、コイチンチは 三時頃迄の時を言うんやろなあ 一日足らずやよってんなあ (だから) まあ、昼迄ん (に) したろん (してやろう) おもたやなあ (思ったら) ま コイチンチもかかっていたなあ言うてな

こいつ (此奴) 【代名詞】 1) 此奴 他稱 話し手側の人を示す コヤツの転 (広辞苑) (伊、三、鈴郡、鈴市、松、多、張、度、尾、南) 2) 指示代名詞 これ (志、

鳥、伊、桑、桑市、伊賀地方 南) [会話] 1) どいつ  
コイツの容赦は無い 誰かまあ好かん人な (が) 来る  
と、コイツな (が) 来てまあ言うてな、憎たらし  
(憎らしい) よおなのおな (人が) ばんばくやろやら  
言うて、コイツな (が) まあ おっちゃくで (横着  
で) 言うて この子な (が) 言うのを コイツや  
(だ) 言うのな (です)。

**こいつのかあらめ** 子供を叱る時の言葉 [会話] コイ  
ツノ カアラメ言うて、あんまり (あまり) ごおなわ  
いて (腹が立って) 来ると。何回言うても聞かんと、  
喧し (喧しく) 言うるとと (言っていると)、まあ、  
ごおनावいてくるやんない (腹が立って来るでしょ  
う)、コイツノカアラメな (が) 言うてなあ、力入れ  
て 怒りおったの (居たのです) 怒り言葉やなあ (で  
す)。お前らな (が) 言う事やけど (だが) 憎たらし  
もんで (ので) なんか (なにか) 言葉を引っ付けとん  
ねやろなあ (ているのでしょうか)。コイツノカアラメ  
言うて、いっくら (幾度も) 言うても聞かしても (せ  
ても) 聞かへんもんで (ないので) ごおनावいて来て。

**こいつら** 【代名詞】 こいつの複数形 (伊、三、鈴市、多、  
尾) [会話] コイツラ言うて 二人も三人も おる (居  
る) 時んなあ (に)、一人の時や (は) こいつ言うて  
きや (言っておけば) ええんけど (よいのだが) コイ  
ツラな (が) 言うて よけ (沢山) 三人も四人も ごや  
ごやしとると (していると)、ま コイツラな (が)  
がやがやと喧ましのん (喧しいのに) 言うてなあ 怒  
りおった (居ました)。

**こいてや** 来なさい おいでなさい (志) [会話] コイ  
テヤ言うな (のは) おいで言うのを、此処い (へ) コ  
イテヤ言うて、こっちゃい (こちらへ) コイテヤ言う  
てな、来いえ (来なさい) 言うの (のを) コイテヤ言  
うて てやを 付けんの (るのです)。来いえ 言うに  
げ (人間) も有るしなあ、一遍言う時や (は) 此処い  
(へ) 来いえ 言うとんねけど (言っているのだが)  
何回言うても来やせんと (来ないと) コイテヤ まあ  
言うて言うやんかいな (言うのです) 早よ (早く) 来  
い言う事を。

**ごいと** 【副詞】 1) 沢山に、ごいに同じ 2) 力を入れ  
るさま 3) 全部 残らず すっかり 4) 急に減る  
さま [会話] 1) ゴイト こそげておこしたてやら  
(とか)、ゴイト掴んで来た。よけ (沢山) 掴むこと  
どつさりもてくの (持って行くのを) ゴイトもてた  
(持っていった) とか言うてな。2) そして、力入れて  
掻いてくと (ていくと) ゴイト掻きむしっておこした

ね (のだ) 言うて、背中を、ごいごい擦って来てまあ  
言うて 力入れてするとなあ 背中も溝のとこ (所) な  
(が) たらわせんわれ (足らいません) ゴイト擦った  
て (てやって) 呉れ言うてな

**こいな** 【形容詞】 此の様な「こんな」の変化した語 (志  
(国府、安乗)、鳥、度) [会話] こげな (こんな、  
此の様な) 言うな (のは) しなもん (品物) の事を  
コイナもん (物) 言うて 欲しいよおなもん (物) や  
(で) のおて (無くて) いらん (いらぬ) よおなも  
んを コイナもん 言うて。コイナもん言うななあ  
(のは) 捨てたる (てやる) もんを、わり (悪い) も  
んを。コイナもん 呉れて 言うて、言われんのん  
(言われるのに) 言うて、わりもんすると (悪い物を  
人にやると) コイナもん (物) 呉れて思はれや (思わ  
れれば) はざんのんなあ (いけないのに) 言うて 遠  
慮するなあ、ええもん (よい物) なら 此れやるわい  
(あげます) 言や (言えば) ええねけど (よいのだ  
が)、コイナもん 呉れて思われやせんかいなあ (思  
われぬか) 言うて、わりもん (悪い物) やると。ち  
よいと (少し) 人ん (に) 差し出すのに気が引けるよ  
おな時 コイナもんやけど (ですが)、あんた (貴  
方) 欲しか (欲しいか) いらんかい (いらぬか)。  
欲しきや (欲しければ) 持てかんかい (持って行きな  
さい) とか、欲しきや やろかい (ければあげましょ  
うか) とか、コイナもんやけど 言うて、あんまり  
(あまり) ええもんや ないのをコイナもん。

**こいな** 来なさい (度)

**こいなこと** こんなこと

**こいなんかい** こんなのですか、此の様な物ですか

**こいに** こんなに 此のように (志 (御座、甲賀、国府、  
安乗)、鳥、一、度) [会話] こんなに こげによけ  
(沢山) 呉れて言うのなあ (です)。こげん (こんな  
に) 言うてなあ、こんに よけ 言う人も有るけど、  
こんに言うのは 綺麗な言葉やなあ (です)。こげん言  
うな (のは) ちよいと (少し) げさくな (下品) 言葉  
や (です)。コイニ言うにげ (人間) ちよいと上品な  
人らな (が) 言うだけ 一般の人ら (は) こげん言う  
て。

**こいにして** 此の様に 此の様にして (志) [会話] こげ  
んして言うのと一緒やけどなあ (です) コイニシテ言  
う人も有るしなあ。

**こいの** 来なさい (志、鳥 (坂手)) [会話] 来い言う  
事や (だ)、おれげ (俺の家) へ来い。おいで言う事  
や (です)。わしげ (私の家) よさり (夜) おいで言

うて 今しなら (今なら) 言うとこ (ところ) やけど (ですが)、こいさ (今晚) まあ、おれげへ、来いえ (来なさい) とか、コイノとか、コイノ言う (言います)。昔の人ら (は) コイノおれげへ よさ (夜) よなべ (夜業) しょおやんこお (しましょう)。よさ (夜) よなべ しょおやねえ (しましょう) おれげへ コイノ。

**こいび (小指) 【名詞】** 小指 (志、鳥、伊、桑市、員、鈴市、一、飯、多、上、阿、張、名、北、尾、南、熊) [会話] 小指をコイビ言うの (のです)、コイビ親イビ、コイビ 言うね (言うのです)。イビ言うねなあ (言うのです)、指 言わんと (言わずに) 此のイビな (が) いとおて (痛くて) 言うて。

**こいまあ** 来なさい 来い (命令形) (志 (浜島)、北) [会話] おいで言うのをなあ コイマア言うて、此処い (へ) コイマア言うて。

**こいめ (濃) 【名詞】** 比較的濃い事 [会話] こや (これは) ちよいと (少し) コイメやなあ (だ) とかなあ、しょからいのをなあ (塩辛いのを) 言うし、なんか色塗っても、ちよいと コイメやなあ (だ) 言う時もあるし。

**こいも (子芋) (里芋) 【名詞】** 1) 薩摩芋の小さいもの 2) 里芋 (鈴市、飯、阿、張、名、南) [会話] 2) コイモ言うな (のは) 里芋の事。1) こなれ言うて、芋 (薩摩芋) のちっちゃい (小さい) のおを (のを)。昔や (は) おっさいの (大きいのを) つぼ (芋つぼ、床下の貯蔵所) へ入れて、ちっちゃいのは残して こなれは切り干しん (に) 言うて、ちっさい (小さい) のを こなれや (だ) 言いおった (言っていました)。里芋は里芋で 里芋をコイモ言う人も おんね (居るのです)。1) こなれの事を コイモ受け取って貰うね (買ってもらうのだ) 言うて、おっさい のは、つぼへ入れて コイモは受け取って (買って) 呉れんねて わい (呉れるそうだ) 言うて。コイモ やまん (山に) 積みおったやんかい (積んで居たで有りませんか) (山積みにして居た)。昔や (は) 受け取って (買いとって) 切り干しに切ったり、豚の餌に積んでたり (で行ったり)、今しや (今は) 豚も喰わせんね (食べないの) やろなあ (でしょう)、芋やどき (芋などは)。そやよって (だから) こなれも 受け取って 呉れやせんもんで (呉れないので) 畠へほりさんぼ (放りっぱなし) みたいん (のように) しとるけど (して居るが)。こなれ言うのは 薩摩芋のちっさい のを、こなれや (だ) 言うて。

**こいもん 【名詞】** 血縁の近い者 (志 (布施田))

**こいもん** 濃いから

**こいや** 来なさい (熊)

**こいやし** 食物などに卑しい [会話] あやまあ (彼は) コイヤシねよって (のだから) なんでも やらかして (食べて)、なんでも (なにでも) よお (よく) 喰うのを コイヤシ。コイヤシねよってん なんでも やらかすねどお (食べるのだ) 言うて。なんでも やらかすねよってん コイヤシねよってん 言うて。やらかす言うのは 食べる事も有るし、なんか (なにか) する事でも、やらかした。人のもん (物) とて来るの (取って来るの) あや (あれは) やらかして 来たんか (来たのか) 言うて。盗んで来る事を、大盗みや (で) ねえ (ない) けど (が)、ちよとした (少しの) これ もおてこん (貰って行こう) 言う位で 持て来る (持ってくる) もん (物) を、やらかして来たんかして あや (あれ) 言うて。酒飲む時でも 酒やらかしとる 言うわい。やらかす言う事は、しとる (して居る) 言う事やお (です)。飯やらかしとる よお (ています) 言うてなあ、やらんかい (食べなさい) 言うて、やらかして来たよお (食べて来ました) 言うて。

**こいよ。こいよお** 来なさい 幾分命令になる (南) [会話] コイヨオ言うな (のは)、此処いおいで言う事をなあ。よさや (夜は) コイヨオ、おれげい (俺の家に) 言うてな。コイヨオ言う時と、コイヨオ言う時と、必ずコイヨオ言うて、よけ (沢山) 引っ張る時は 必ずこおな (来なければ) はざん (いけない) 言う、ちよいと (少し) コイヨオ言うだけは 来ても来んでも ええよおな (よいよな) 事やけど (です)。コイヨオ言う 最後 (その時は) なんでも かんでも 来な (来なければ) いかん (いけない) よおな。

**こいら (此等) 【代名詞】** 他稱 話し手側の複数の人をさし示す (近稱) ののしったり遠慮なく言ったりする場合に用いる。(志 (鶴方、神明、甲賀、安乗)、北) [会話] 友達の事なあ (です) コイラな (が) 言うて。あいらな 言う時もあるしなあ。同じ意味や (だ) けど なあ (けれど)、コイラな よけ (沢山) 来てまあ言うて。コイラ言うのは 自分の仲間もあるし 子供らもあるし あれも これも くんのを (来るのを) 友達な (が) よけ (沢山) くんのを まあ あいらやコイラな (が) よけ 寄ってくんねてや (来るのです) 言うて。

**ごいらづち 【名詞】** 1) 槌 2) 頭の長い人 [会話]

1) ゴイラツチ 榎のなあかい(長い) の (のを) 言う  
んやろなあ (言うのでしょうか)。

こいん こんなに

こいんして 此の様に[会話] こげんして (こんなにして) 言うのも、コインシテ言うなあ、コインシテ言う人も有るしなあ、こげんして言うにげ (人間)も有るしなあ。そやけど (それだけだ) たいがい (大体) こげんして言うなあ。

こう (こふ) (請) 【他ハ五】ある事を他人に願ひ求める願ひ 頼む。[会話] 頼む言う事を コウ言うな (言います)、あれん (彼に) 頼むとか これをして呉れ 頼むわい (頼みます)。こや (此は) あんた (貴方) な (が) してくれるかい (してくれますか) 頼むわい 言うて、その頼む時な (を) コウ言うんやろ (言うのでしょうか)。役場へコウねよってん (のだから) 言うて、役場へ頼む言うのを、コウ。

こうり (小売) 【名詞】生産者が市場、組合、店を通さず、直接 消費者に売る事 卸売りに対する語

こうりそおば (小売相場) 【名詞】商品を一般の人に売る値 [会話] 市相場言うのは市の値段で、そして、コウリソオバ言うな (のは) 個人の家でわがとらな (自分達が) 勝手になあ、札値は 市の相場やわいな (です)。市でまあ 札入れてなあ、商人な (が) 幾ら幾ら言うて、そして一番ねえ (値) のええのん (よいのに) 落すやんない (でしょう)、そすと それを、こんだまあ (今度は) 小売店い (へ) また卸す そすと (すると) 小売店や (は) また儲けて一般にコウリする言うて そやよって (だから) 幾手も掛ってく (て行く) よって (から) たっこなって (高くなって) くんねてや (来るのです)。

こうりね (小売値) 【名詞】1) 卸売商などから仕入れた品物を消費者に売る値 2) 生産者が直接消費者に売る値 [会話] 市場い (へ) 出すのは そやまあ (それは) 市のねえ (値) で 言うんなしなあ (言うのですし)。2) 個人の家い (に) 買いん (に) くんの は (来るのは) コウリネや (だ) 言うて。わがとらな (自分達が) 勝手になあ どんだけで (どれだけで) こんだけに (これだけに) して呉れるかい (ますか) てや (と云えば) ま、そんで (それで) ええやんかい (よろしい) 言うて、買う人な (が)、芋まあ 五十銭で売て呉れるかあ (ますか) てや (と云えば) そんで ええやんかい 言うて、そげんなあ (そんなに) 個人の家い (で) うんな (売るのは) ねえ (値) よお (高く) 売らへんわい (売りません) そや (それは)

そんだけで (それだけで) ええやんかい 言うて、そしたら、そして (そんなににして) 売てくれるか  
あ (くれますか) 言うて

こうりみせ (小売店) 【名詞】普通の商店、一般の人に對し卸商から仕入れた品物を売る店 [会話] コウリミセ言うて 市場でこおて (買って) 来てなあ、それを、わがとらな (自分達が) おもた (思った) ねえ (値) に、一割かけるとか、五分とか言うて掛けてうんの (売るのを) コウリ言うの。あきない (商売) な (が) 上手な人は よけ (沢山) 儲けるしなあ、口な (が) 上手でやんない (でしょう) 上手言うて ねえ (値) よお (よく) うや (売れば) わがとな (自分の) もおかりやよってん (だから)、やんない そんな (それが) あきない上手言うの。

こうるさい (小煩) 【形容詞】少しうるさい わざらわしい [会話] ぶつぶつと ちいちゃあい (小さい) 事でも、ほぜくて (掘り出して) おた まあ こや (これは) こげな (こんな) 事しとたや (していたら) はざんやんかあ (駄目でないか)、こや もっと、えごとして (よいようにして) 片付けたり、もっと てえねん (丁寧) にせえ (しなさい) とか言うてなあ、小言言う事なあ (です)、コウルサイ 言うのなあ。ちよぼちよぼと まあ 爪楊枝ほぜる (掘る) よんして (ようにして) 言うの まあ、ほん (本当に) コウルサイ 人やなあ (だ) 言うてな。

こえ (肥) 【名詞】こやし 肥料 肥料に用いられる糞尿金を出して買う金肥以外の肥料 動詞こえるの連用形の名詞化 (志摩市全域、鳥、桑、津市、安、一、松、上、阿、張、名、度、北、南) [会話] こやし、肥料、コエ持たな (持たなければ) はざん (駄目だ)。便所 (便所の糞尿) 持つの (のを) コエ持たな はざん われ 言うし。流しい (へ) 流した水でも、せせなげ (洗い水) とか、コエ 持てとか言うて。せせなげ 持つたり、しょんべ (小便) かえたり (汲み出しり)、便所かえたり すんの (するの) コエ持たな はざん われ。コエ言うて 肥料全部を言うんやなしん (言うのでなくて) 大小便とか せせなげ とか そお言う物を。コエ持ち言うなあ (のは)、かね (金銭) 出した コエなら コエ持ち言うて せんでええけど (しなくてよいが) 大小便や (だ) 言うて わがとら (自分達) な 持たな はざん よって (から) コエモチや (だ) 言うて。

こえおけ (こえをけ) (肥桶) 【名詞】糞尿を入れて運ぶ桶。こえたご。(名、熊)

**こえかえ (肥扱) 【名詞】** 大小便を便所から汲み取って 畠の肥壺に移す。便所の汲みとり (北) [会話] 鶇方のコエカエ、コエカエ来よったの (来て居たのです) 鶇方の人らな (が)。そすと、こえうっすいか (薄いか) しょからいか (塩辛い) 舐めて見る言いおった (言っ居た)。こえを買いに来よったの。昔や きい (木) や、なんやかや積んで来て、薪を。ほいて、ここの便所を たご (桶) 一杯いくら言うて きい いちわ (ひとからげ、一束) 置いてくとか (いくとか) して 買いに来よおったの (来て居たのです)。鶇方のコエカエ 横山めがけて、やっしょん とろりと へんぎ こお 言うて どお (樽) な二丁 とろんとろんと こんで (漕いで) どいらい (大きい) たご (桶) 持って来よったわい (来て居ました)。へんぎこお言うのは どお漕ぐのなあ (のです)。鶇方のコエカエ とろんとろんと のんきにしとりおったわい (して居ました)。こんどんの見ると (漕いでいるのを見ると) 流れてく (ていく) よおにして。表の海の人らそいな事 しとたら (して居たら) どお (樽) も ほやげられる (放り上げられる) やんか (ます)、波で。そやよって やん、やん言うて、はやお (早緒) たるましたら (弛めたら) どお (樽) 浮かされんどお (浮かされてしまうぞ) 言うて、カ一杯で 表海の人ら (は) するし、裏 (裏海、英虞湾内) の人らは 又 風なええねよって (よいのだから) とろん、とろんと しとでも (して居ても) ええんやんかい (よいのです)。そやもんで (それで) 鶇方のコエカエ やっしょん とろりと言うて とろんとろん しとりおったわい。コエカエな 来たよおななあ (ようだ) 言うて とろとろ しとると (して居ると)。

**こえがひける (こえなひける)。** **こえなひける** 声が嘎れる 嘎声になる 声が出なくなる。[会話] 声な (が) 嘎れてくのなあ (行くのです)。声変りな (が) してくやんない (いくでしょう) 風邪ひいて 喉な (が) ぜえぜえして、コエナ (が) ヒケテ (出なくて)、今日は まあ 風邪ひいて コエナ (が) ヒケ タヨオ (出ません) 言うて。歌、うたえ言うて コエナ (が) ヒケ トテ うたわれやせんよお (ません) 言うて なあ、かすれ声 (嘎れ声) ん (に) なつてくの を (なつて行くのを)。

**こえかぶれ** 肥料に皮膚が負けておこす皮膚炎 [会話] コエカブレ コエカブレや (だ) 露かぶれや (だ) 言うて、ここのな (が) かいなつて (痒ゆくなつて) く んねてや (来るのです)

**こえがめ 【名詞】** 畠の中にある肥料を貯えて置く所[会話] コエガメ 肥壺や (です)。甕 甕言よおった (言っていました)。

**こえくみ 【名詞】** 便壺から大小便を汲み出すこと

**こえじゃくし (肥杓子) 【名詞】** 肥桶から肥えを出し入れする柄杓。[会話] たあご (肥桶) から かえんの (汲み出すのを) コエジャクシ。

**こえだい (肥代) 【名詞】** 肥の代金 糞尿を汲み取らせて貰った代金。多くは採れた野菜類で支払った。(上、阿)

**こえたご (肥桶) 【名詞】** 糞尿を入れて運ぶ桶 こえお け こえたんご (鳥、桑、安、松、阿、張、度、北)

**こえたんご (肥担桶) 【名詞】** 糞尿を入れて運ぶ桶。(志 (布施田 浜島)、鳥 (国崎)、上、阿)

**こえつぼ (肥壺) 【名詞】** 畠の中で糞尿を貯へ、成熟した肥料にするため埋めてある壺。肥だめ。こえがめ (志 (浜島)、張、津市、上、阿) [会話] コエツボ かめ (甕) 肥甕、コエツボや (です)。かめ言よおった (言っ居た)。かめやけど (ですが) コエツボ 言う人ら 有るんなあ (有るのです)。畠 いけて (埋めて) あんの (有るのを)。幾つも かめいけて (埋めて) しおった (して居た)。ふたあつぐらいいつ (ニケ位) 皆、並んどた (並んで居た)。甕をよっけ (多く) 畠じゅうに (畠全部に)、甕の無いうちや (家は) たたき言うて どいらい (大きい) コンクリ なのをして (ののを作つて) たたき (へ) 夏じゅう (夏の間) こえ 持って (肥持って)、冬になると それ 皆 春い (に) かけるのん (のに) 夏じゅう、それ い (それへ) せせなぎ (洗水) や しお (潮水) 汲 んでためんの (貯めるのです)。家い (へ) でも 大きな たたき こさえとる (作っている) 家な (が) あり おったな (有りました)。畠ん (に) 有ったけど (けれど) 家いは (には) 無かったけど (が)、便所に入るとこ (所) い (へ) 大きな たたき こしらえて (作つて)。たるごえ (樽肥) や (だ) 言うて 樽、いく つて (幾つも) 置いて たたきの上 板しいといて (敷いて置いて) その、樽肥の樽 やとか (だとか) 置いて。

**こえとり (肥取) 【名詞】** 便所の大小便を汲み取る事 その人 (四) [会話] コエトリ 鶇方の肥かえな (が) 昔よおったけど (来て居たが)、肥かえんの ん (るのに) どいらい (大きな) たあご 持ってなあ。舟でこんで (漕いで) 筵もて (持って) 来て 肥たあ ご (担桶) に 三杯とか五杯とか肥かえてなあ、もて

くと(持って行くと) 籾を一枚置いたり 吠、置いたりしてなあ、肥かえ言うて かえん (に) きよおったの (来て居たのです)。がっこ (学校) の肥でもなあ がっこ やとか (だとか) 役場や (だ) とか 警察のなあ、のおを (のを) 取んのを (取るのを) わがとらな (自分達が) かえてとんのを 札入れるととんねけど (取るのだが) それ 目茶苦茶に取られやせんね (取られないのです)。

**こえな** こんな (志)

**こえなない** 言い負かされて、反対が出来ない。黙ってしまう。(志 (布施田))

**こえなひける** (声引) 声が出なくなる。声が嘎れて低音になる。こえがひける参照

**こえびしゃく** (肥柄杓) 【名詞】 糞尿を汲み取るのに使う柄杓 (鳥、桑市、安) [会話] 畑で おりや (下肥) かえんの (汲み出すのを) コエビシャク。

**こえまけ** (肥負) 【名詞】 1) こえによって 皮膚が炎症を起こす事。肥料による皮膚炎。2) 肥料が効き過ぎて、植物が枯れること [会話] ① あんまり (あまり) きつつい (強い) のなあ (のを) するとなあ、こがれて (枯れて) はあ (葉) な (が) したり、全部枯れてたり (ていったり) あんまり 肥な 効き過ぎて 枯れてく (て行く) 時な (が) あんねてや (有るのです)。あんまり 濃い (のを) かけると、たある こえやとかなあ (だとか) なんやとか (なにだとか) 言うて。西瓜な (が) ほおて (延びて) 来たのおえ (のえ) 樽肥やると (与えると) 皆 枯れてくの、のお (て行くのです) あや (あれは) わごえ (輪肥) 言うてなあ ねえ (根) のふち (周囲に) わあ (輪) に 輪肥にせな (しなければ) はざんね (駄目なのです)。延びて来たら したら (与えたら) はざん (駄目だ) 茎にあわして (合わせて) 五寸延びたら五寸の周りを掘って こやし (肥料) 振って 一尺延びて来ると一尺周りのふち (縁) を掘ってせな ねえ (根) な そんだけ (それだけ) 延びとんねよってんなあ (ているのだから)、そすと、まあ、からしたんねやんかい (枯らしてしまうのです)。コエマケ言う時は こやし (肥料) な (が) 効き過ぎて濃い時ん (に) 枯れてく のも (て行くのも) 有るし、あんまり ねえ (根) を、ちっかい (近い) とこ (所) やって 枯らしたんのも (てやるのも) 有るしなあ。あんまり (余り) ねえ (根) い (に) 近かすぎてなあ あさごえ (浅肥) やる言うてなあ、そいな (そんな) 時ん (に) 枯らしたんのも (してやるのも) 有るし。① コエマケで 肥で

かぶれて こえかぶれ こえかぶれや (だ) 露かぶれや言うて こやしでかぶれる時も有るし。

**こえもち** (肥持) 【名詞】 1) 田畑の肥壺に、家の糞尿を運ぶ仕事。(上、阿) 2) 祝宴の後、最後の集会、小祝宴。[会話] ② ざんで (残り物で) ごっつお (御馳走) して 皆、呼んで いっち (一番) しまいに (終わりに) コエモチや (だ) 言うて、そして又、ごっつお して まな板洗い (最後の祝い) の後で、コエモチ そんで (それで) しまいや (終りです)。

**こえる** (肥) 【自ア下一】 1) 肉付がよく、まるまるとした体形になる。太る。2) 土地が肥料を多く含み、作物が出来やすい状態になる。[会話] ① 肥えてきたなあ言うて太ることを。② 畠やたあ (田) な (が) コエル。たあ (田) な (が) がら (瓦礫) ばっか (ばかり) のとこ (ところ) い (へ) 堆肥やって、くうろお なって来ると、土な (が) コエテ来て。たあ (田) でも、草やつと (やると) 泥な (が) くうろお なって来て コエル、沃えて来たかして (とみえて) 泥な (が) くうろお (黒く) なって来た言う。堆肥な (が) いく事 (行き渡る事) を コエル。

**こえん** このように こんなに こげん こんげん (志) [会話] こげんよけ (沢山) 貰てなあ (貰って) こんなによおけ (沢山) 言うのを、こげん よけ (沢山)。こんなに沢山言うのを、こげんよけ。こげんよけ もろ (貰) てとか、こげんよけ 取ってとか。コエン言う発音もすんの (します)。ちよいと (少し) あぜつとる (舌のもつれる) ひた (人は) コエン言うて。

**こえんして** こんなにして 此の様にして (志)

**こえんも** こんなにも [会話] 足な (が) コエンモふ つといと (太いと) 股ずれな (が) して言うやんない (言うでしょう)。

**こお** (こ) (こう) (粉) 【名詞】 固体が砕けて細くなった物 こな 粉末 (志、伊、桑市、員、三、四、鈴郡、鈴市、安、津市、一、松、多、上、阿、張、名、度、北、尾、南、熊) [会話] コオ 芋のコオ 小麦のコオとか言うて。コオ (粉) の時はひっぱるけど (けれど)。めりけんコオとか とびき (ときび) のコオ、米のコオ。

**こお** (かう) (香) 【名詞】 線香 佛前でたく香粉 [会話] 線香 コオ焚く。線香や (だ) 抹香や (だ) 言うて、目たけ、鼻たけ、まつこ (抹香) 焚け、線香焚け。

**こお** (こう) (子) 【名詞】 子供 こ (子) 参照 (志 (御



座)、伊、桑市、員、三、四、鈴市、鈴郡、安、津、一、松、多、上、阿、張、名、度、北、尾、南、熊)  
[会話] 子供の時 子言わんと (言わずに) コオ言うて。おれげ (俺家) の、コオを言うて 引っ張んね (るのです)。子供言う意味、おれげの、コオな (が) おっちゃく (横着) で、どもならんねてや (どうにもならないのです) 言うて、そしてまあ コオな (が) よけ (沢山) 有って、長者の子無し、渋柿に種多し言うて コオな (が) よけ 有って言うてなあ。コオビンボ (子貧乏) 言うて あの家まあ、コオな (が) よけ (沢山) 有って、びんぼ (貧乏) すんね (するのだ) まあ食うもん (物) も、無いんてわれ (無いそくだ) 言うて 言よおったやんかい (言っ居たで有りませんか)。

**こお** 買う (桑、桑市、鈴市、員、津市、松、多、上、阿、伊、北、尾、南)

**こお** 飼う (鈴市、伊)

**こお** 【名詞】 九

**こお** この様に (志、津市、多)

**こお** 支える (上、阿)

**こお** 施錠する。

…**こお** 【接尾語】 1) 文末に有って のですか、ですかを表す。(志) 2) 文末にあつて、断定を表す。あそでコオ (遊んでこよう)。

**ごお** (ごう) 【名詞】 豊かさ 数量 分量 (志 (浜島、布施田、鶴方、立神、国府)、鳥、伊、松、度、尾、北) [会話] ゴオ言うな (のは) 沢山有るとか 少ないとか言う事、ゴオな (が) よけ (多く) 有る方貰わな (貰わなければ) 言うて、わけしろ (分配) するともやがつとると (もりあがつて居ると) あの方なよけ あんなあ (有る) 言うて、ゴオな (が) よけ (沢山) あんの (あるのを) 貰お (貰おう) 言うて、誰でも、ゴオな (が) よけ あんの。そや (それは) えらい (大変) ゴオな (が) すけないなあ (少ない) 言うて、分けると。ほおた (おお)、こや (それほ) どいらい (大変) ゴオな すけないやんかい (少ないで有りませんか) 言うて。紡績 (紡績工場) いとる時 (行つて居た時)  $\times\times\times$ な (が) よお (よく) わしらと一緒のまりぼ (職場) やつて (であつて)。紡績 でプーな (が) 鳴ると、食堂へ走つて、そすと (すると) 窓におかずな (が) もつて (よそつて) 並べてあんね (有るのです)、と、そや (それ) あんな (あれが) おっきい (大きい) やんか (でないか) あれねがめといて (にらんでおいて) あれ取れよお (取りなさい) 言う

て。おっきいの ずんずんと 持つて、わがと (自分) のテーブル行くんやんかな (行くのです)。紡績 行くと さいめんせせりて (少し多いのでも見較べて) ちよいとでも (少しでも) ゴオな よけ有んのを (有るのを) とろ (取ろう) 言うて。行こや (行きましよう) 言うて、汽笛な鳴ると。ゴオ言うて 量の多い事。量とか かさ (容積) とか そんな事なあ (です)。なんでも (何でも) ゴオ言うて。ゴオな 癖ん (に) なつとるけど (なつて居るけど)、品な (が) よけ (沢山) 有る方を ゴオな 多い。

**ごお** 【名詞】 1) 囲碁 2) 五 (伊、員、鈴郡、鈴市、一、松、阿、張、名)

**ごお** (ごふ) (業) 【名詞】 1) 気持 2) 宿命的な事。運の悪い事。(志 (布施田)) [会話] 2) あの家や (は) ゴオさらしやなあ (だ) 言うて、昔、わり (悪い) 事した家なあ (が) なんやかや (いろいろ) 不幸事な (が) 有るとなあ、因縁な (が) わり いて (悪くて) ゴオさらしやなあ 年取つてから、あいな (あんな) ざま (姿) ん (に) なつて言うてなあ、ゴオ言うのは、わり (悪い) ことなあ、わり 事した人な (が) まあ、言うて罪やわい (です)。あんな (あれが) 死んでたたら (で行つたとか) 病氣したたら 言うて、ちんばん (に) なつたり、片輪 なつたりすると、あや (彼は) ゴオさらしやどお (だ) 昔、あえん (あんなに) しよおつた (していた) 家やよつてん (だから) 言うてな。

**ごお** (がう) (郷) 【名詞】 1) 村落の単位 部落の単位 2) 故郷

**ごお** いらかす (ごういらかす)。**ごお** いらす (ごふいらす) 相手をいらいらさせる。苛める。(志 (鶴方、神明、志島、国府) 南、熊) [会話] ゴオイラス。ゴオイラカス。よけ (沢山、あまり) ゴオイラカスな 言うて。怒らすな。子供を泣かしたり、いじつたり (からかつたり) すると よけ ゴオイラカスな、よけ ゴオイラカスな よお むしられんど (掻きむしられるぞ) 言う。疝虫な (が) おこつて来んねよつて (来るのだから) よけ ゴオイラカスな 怒らかすな (怒らすな) 言う事やなあ (です) あんで (あれで)。

**ごお** いる (ごふいる) 1) ごおにやす いらだつ。腹を立てる。2) むずかる (志 (布施田)、南) [会話] 1) ゴオイル。ごおにやす。一緒や (です)。腹な (が) 立つ言うのを。

**ごお** おいてくれ 子守りして下さい ごおおく参照

**ごお** おおく (子置) 子守する [会話] **こお** (子供) を守

りすんのを (するのを) コオオイテクレルカイ (子守りしてくれますか) 言うてな。 ひとすの (一期) 守りおいて くれえ (下さい) 言うてな、ひとすの言うて半年やてや (です)。このかあ (子は) もおけたや (産んだが) 今年や (は) 普請も せなはざんし (しなければいけない) する よって (から) ひとすの守り 置かな (なければ) はざんなあ (いけない) 言うて、半年、 にんがつ (二月) の ふつか (二日) にすると 八月の二日 ん (に) になると かわり目 守りの替わり目 八月二日言う やんない (でしょう)。今年や (は) 家も普請 せな はざんし 此の子な (が) ちっさいし (小さいので) 忙し よって (から) ひとすの (一期) 守りおいて くれ (下さい) 言うてなあ。そすと、その婆さんを 守りい (に) 頼むね (のです)、半年 そすと、口食わしてなあ びんぼ (貧乏) な家 口食わすの (のが) えらいもんで (大変なので) その婆さんおっても 仕事 よおせんやんない (出来ないでしょう)、そや ロべらしん (に) 守りん (に) やれ言うて 守りん (に) 行きおったの (行って居たのです)。昔や (は) 守り い (に) 雇うと いかつい (健康な) 婆ら その家の 食い事 (食事の用意) したりしてなあ そげんして (そんなにして) ひとすの守り い (に) 置いて もろて (貰って) 言うて そして、もお (更に) ひとすのおって 呉れるかい (呉れますか) 言うてすると またなあ もお半年おんの (居るのです)。

**こおおて** 1) 怖くて。恐ろしくて。2) 固くて [会話] 1) おや (俺は) あいな (あんな) 事、おとしよって (怖いから) よおせん (出来ない) とか言うて。コオオテ よおせん 言う事を。

**こおおぶおび (こうおぶおび)。** **こおおぶひぼ (こうおぶひも) 【名詞】** 子供を背負うのに使う帯 巾広のそれ専用のもの [会話] コオオブオビな (が) 無い破れてた れ (ていった) 言うて、コオオブオビや (だ) 言うて 七尺位 ん (に) 切って 尻を 抱えん の も (抱えるのも) 広げて、コオオブオビや 言うて それ専門の帯 な (が) 有って。尻でも 帯、広げると ごぼつと隠れて、こお (子) な (が) ぞれてかんで (ずり落ちなくて) ええやんない (よいでしょう) それやもんで (それで) コオオブオビや (だ) 言うて。

**こおか (こうか)** 1) 来ません 2) 来ようか (上、阿) [会話] 2) おんな (俺が) おみげい (貴方の家に) 泊まり ん (に) コオカ 言うてなあ、仕事 しいん (しに) コオカ とか、遊び ん (に) コオカア 寂し きや (ければ) 言うしなあ。相談 や (です)、行く わ

(行きます) 言うて ま、わがとな (自分が) 行くの ん (に) 決めとんのなし (ているのですし)。コオカ 言うとなあ あした (明日) なら、あした 此処 い (へ) コオカ 言うて相談する事 や (です)。1) あんな (彼が) めったん (決して) コオカ 言うて あげん (あんなに) 言うたてて (言っても) 滅多んコオカ あんな (彼が) 言うて、きやせん (来ない) 言うのな。コオカ レ 言うて、きやせん の な (来ないのが) 判 と る (ている)。

**ごおか (ごうか がうか) 【名詞】** 豪家 立派な家柄で資産の有る家。[会話] 金持ちの家を ゴオカ 言 よお たなあ (言っていました)、あの家 や (は) ゴオカ や よってん (だから) 言うてな。昔 や (は) ゴオカ や (だ) とか 庄屋言うて 村中で、いっち (一番) 偉い人 やよって (だから)、そやよって (それだから) 庄屋の水のみ や (飲めば) 猫の子も たける (威張る) 言うて。庄屋の家い住むと 猫の こお (子) でも たけてくね (威張ってきます) えらつそぶる (偉そうにふるまう) 言うてな、そやよって (だから) えらつそぶると いや (あれ) 庄屋の水のみ や (飲めば) 猫の子も たける 言うて。

**ごおか (がうくわ) (豪華) 【名詞】 【形容詞】** 豪華 華やかな事。

**こおかあ** 来ましょうか。こおか参照

**こおかい (こうかい)** 1) 来ない。来ません。2) 来ましょうか。[会話] 1) コオカイ 呼びに いたてて (行っても)、きやせん (来ない) 言う事を コオカイ、行かせん (行かない) 言うて。

**ごおがしら (がうがしら) 【名詞】** 郷 (部落) の支配者。世話役。[会話] 郷で ひととこ (一カ所) い (へ) 寄って (集まって) ゴオガシラ 言うて 有るやんない (有るでしょう)、その家で しよおったわい (して居ました) ごひまち (郷日待) や (と) 言うて。

**こおかな (女性語)** 1) 来ません、来ないであろう 2) 来ましょうか

**こおかよ こかよ (こうかよ こかよ) 【名詞】** 子供の遊び 二組に分かれて互いに引っ張り合う。子供を名指して、その子供に引っ張り合わせ負けた者は相手の組に入れられる遊び [会話] こおをかえこと (交換) すんねやんか (するのです)、コオカヨコカヨ 言うて 遊び ごとや (事です) コオカヨコカヨ 子に何食わしよ 砂糖に饅頭、冷飯に ろくじよ (?) 茶漬けに ころころ、どの子 な (が) ほしど〇〇さんなほし い 言うてな。

**こおかれ** 来ません。こおか参照

**ごおがわく** 腹が立つ (志 (鵜方、神明、立神、甲賀、国府、安乗) 鳥 (鳥羽))

**こおき (こうき、かうき) (高貴) 【名詞】 【形容詞】** 立派でねうちの有る事。価の高い事。[会話] 重宝なもん (物) をな 貰うと、こいな (こんな) 高価なもん (物) とか コオキなもん (物) とか言うてな、立派な、たからもん (宝物) みたよなの (よなのを) 貰うと、こいな コオキなもん もおて (貰って) 気の毒ななあ (だ) 言うて。

**こおぎ (こうぎ) (公儀) 【名詞】** 役場 公の交際 [会話] コオギに訴える言うのは 言よおった (言っていました) けどなあ、コオギに訴えて言うのは、お上い (に) 知らず言う事な (です) コオギえ (に) 訴えられた お上のことを 昔やコオギや言うてな。

**ごおき (ごうぎ、がうき) (強気、豪気) 【形容詞】**  
1) はでで 大げさなさま。立派なさま。大したさま。大変。(飯、北、阿) 2) 気の大きい。けちけちないさま。気前のよいさま。[会話] 2) あや (人物、あれ) ゴオキやなあ (だ) 心な (が) おっきい (大きい) 言う事やんな (でしょう)。ゴオキ言うて。ええもん (よい物) すると ごおかやなあ (だ) 言うし、そして人間の気持ちの おっきいのなあ (のを) あの ひた (人は) ゴオキやなあ (です)。

**こおきおり (かうきおり) (高貴織) 【名詞】** 高級な織物。綾糸織の一種。[会話] ななこ (絹織物) てや (とは) 高貴やてや (です)。コオキオリ言うて 高級品 やった (でした)。昔 コオキオリ 言うてな 今し (今) でも有るけど (が) コオキはなあ。昔や (は) あんな (あれが) 一張羅 やったけど (だったが) 今しや (今は) コオキやどけやなあ (など) 普段着 旦那さん (の) 普段着 みたよな (のような) もん (物)。

**ごおぎよ (こうぎょう こうぎやう) (興行) 【名詞】** 興行 見物人を集め 催し物を見せる事

**ごおぎよおしや (こうぎやうしや) (興行者) 【名詞】** 興行師 興行を主催する人

**こおけ (こうけ かうけ) (高家) 【名詞】** 身分の高い人の家 家柄、格式の高い家 [会話] 金持ちの事を言う うんかいな (言うのでしょうか)、コオケ言うのは。コオケ言うのは聞くけどなあ。

**ごおけつ (ごうけつ、がうけつ) (豪傑) 【名詞】** 1) すぐれているさま。はなはだしいさま。とびぬけているさま。又その人。2) 資産家 [会話] 1) ゴオケツ、力のえらい (強い) 人を言うし、2) 財産 (が) 有る

人も、あの家や (は) ゴオケツ やよってんなあ (だから) 言うてな。 金 (が) よけ (沢山) 有ったり 財産 (が) よけ 有ったりするとなあ、あの家や (は) ゴオケツ や (だ) まあ なんもかも (すべて) 今しや (今は) まあ言うて、1) 酒 よけ (沢山) 飲む人なあ、あや (彼は) まあ、ゴオケツ やよって (だから)、かめ (亀) やどお (だぞ)、幾らでも 飲ましと きや (ておけば) 飲むねどお (のだ) 言うてな。飯、食うてもなあ あや (彼は) ゴオケツ でな、幾らでも 食うたんねどお (食べてしまうのだぞ) 言うてな、人より優れた事をなあ。

**こおこ (こうこう かうかう) 【名詞】** 孝行 親を思う事

**こおこ (かうか) (香香) 【名詞】** 香の物 漬け物 大根漬 コウコウの下のウの脱落 (広辞苑) こおこお参照 (志、鳥、鈴市、安、桑、桑市、員、津、松、上、阿、張、名、北)

**こおこお (こうこう) 【名詞】** 漬物 香の物 大根漬 カウモノ (香物) を略し重ねた語 (大言海) (志、鳥、鈴郡、鈴市、安) [会話] つけもん (漬物) ココ、大根漬の事をなあ。大根漬 ココ 大根漬の事、ココ言うわ。ココ言うしなあ。菜漬は言わへん (言わない)。大根漬の事を。なずきや (菜漬は) 菜漬で。旦那 大根漬 奥さん 菜漬、置いたおなご しゅ (女子衆、女中) 蕪漬。意味はないけど たとえ (例) で。

**ごおごお (ごうごう) 【副詞】** 地鳴。潮騒などのように響く音。いびきの声を表す語。[会話] ゴオゴと軒 かいて寝とんない (寝ている) 言うやんかい (言います)。ゴオゴ まあ、うわて (上手、東) な (が) 鳴って来たれ こや (此は) 時化 な (が) してくんね なあ (して来るのだなあ) 言うて、東 な なあ (が) ゴオゴと 凄い音な (が) して来ると、ま、時化 な (が) して来る時は、うわて な (が) ゴオゴ言うて、来たどお (ぞ) 言うて、風の音や、波の音やら、なん やら (なにか) まあなあ、うわて な ゴオゴ言うてきたれ言うてなあ。

**こおこさえる (こおこしやえる、こうこさえる、こしやえる) 性交する 出産する (熊) 【会話】** 子をこしらえる 言わんと (言わずに) コサエル、言うねなあ (言うのです)。ココ コサエテ ばっか (ばかり) おられ (居る) まあ、あや (彼は) 言うてな。コオ (子) コサエンノ ナ (るのが) 上手 や なあ (だ) 言うて 子供を よけ (沢山) 産む、渋柿 やわい (です)。

**こおごし (かうがうし) 【形容詞】** 尊くておごそかで有る。カミガミシの音便 (広辞苑)

**こおこもん (かうかうもん) (孝行者) 【名詞】** 親孝行な者。[会話] 親に孝行すんのをなあ (するのを) コオコモンや (だ) 言うてな、金もよけ (沢山) かせんで (稼いで) たそく (補う・助ける) するとなあ、コオコモンやれ (だ) 何処い (へ) でもいて (行って) あやれ (あれ) ぜん (銭) かせんで たそくして 言うやんかい (言うて有りませんか)。

**こおざい (こうざい) (口才) 【名詞】** 1) でしゃばって生意気なさま。おせっかい。2) 口ばかりで体を動かさない [会話] 1) コオザイ言うのは 小言言う事や (です)。まあそいな (そんな) 事したらはざん (いけない) やんか (です)、こげんせな (こんなにしなければ)、そや (それは)、はざんやんか 言うて。仕事しとんのを (して居るのを) なんやかや (いろいろ) 言うのを、コオザイ。なんやかんや コオザイ言うて いやらしなあ (いやだ) 言うて、小言言う事を。よそから、ちよいちよい (少し) 口出しすんのも (するもの) コオザイや。仕事しとても (して居ても) そやまあ (それは) そげんせんと (そんなにしないで) こやって (こうして) せな はざんわい (駄目です) 言うて。見とる (見て居る) 人な (か) 言うてくんの (来るのを)、コオザイ。立って見ておって (居て) なんやかや そや わり (悪い) とか こげんせな とか言うて、ほかから、コオザイよけ (多く) 言うな。いなん事 (いらぬ事) 差し出口して来ると、コオザイ言うな言われるやんかい (言われるのです)。

**こおざら (こうざら) (香皿) 【名詞】** 墓の前に線香を立てる器 [会話] 墓のせんこ (線香) 立てんな (るのは) せんこたて (線香立て)。あや (あれは) 砂入れてなあ、せんこ 焚くの (のを) コオザラや (だ) 言うてなあ、せんこ 立てんの (のを) コオザラも、ええの (よいのを) こおて (買って) 言うて。

**こおさらし (ごうさらし、ごふさらし) (業曝、晒) 【名詞】** 与太者。悪い人。恥つさらし。人をののしって言う語。因果な人 ごう、業、前世の悪業の報いに依って、受けた恥を世間にさらす事。又その人。恥つさらし。世間に恥をさらす事。又そのさま。そのような人も言う。(員、上、阿) [会話] ゴオサラシよ そこな (そこに居る) ゴオサラシヤ (ごうさらす奴)、恥さらしや (者) とか。あのひた (人は) わり (悪い) 事しとるよって (してるから) ゴオサラシや (だ) ゴオサラスねなあ (のだ) 言うて。あのひた 若い時、

どげなかつたよって (どんな事をして居たので) あや (彼は) ゴオサラシやなあ (だ) 言うて。ゴオサラス言うのも一緒やなあ (です)。ゴオサラス、あや (彼) ゴオサラシな (なければ) 死んでかれやせんねやれ (死んで行けないのだ) 言うて。わりことして ながわづらい (長期間の病床に有る事) するとか 怪我したとか言うて、ゴオサラシや (だ) 言う。普通のにぎや (人は) 病氣しても そいな (そんな) 事言わへん (言わない) けど (けれど) 且頃 (日常、いつも) 人に憎まれとる (て居る) 人ら (は) そげん (そんなに) 言うて。人にわり事しとて (して居て)、人に 怨、受けるような事しとると (して居ると) さいご (その時)、わがと (自分) な (が) 病氣したり怪我でもしたりすると あや、ゴオサラシやよってん (だから) 言うてなあ。ばちあたりや (だ) 言うのも一緒の事や (です) ばちあたりも (罰当も) ゴオサラシも あや (彼は) わり事しとるよってん (して居るから) ばち (罰) が当たったんやれ (当たったのだ) 言うのを、ゴオサラシや (だ) 言うて、一緒の意味やけど (だが)。人、怒る時に、此のゴオサラシな (が) 言うて怒る時もある。その人のしわざ (仕業、した事) に依って、ゴオサラシや そやよって そいな (そんな) 目に逢われ (逢うのだ) 言うて。

**こおさらす (ごふさらす)** 恥をかく 　ごおさらし参照  
**こおさんや (こうさんや、かうさんや) (降参)** やっかいな事柄に、どうしようもなく閉口だ。手に負えなくて困った。

**こおし (こうし かうし) (香資) 【名詞】** 葬儀に出す金銭、香代を資ける。(鳥) [会話] コオシ。香典の事。他門のコオシやとか (だとか) 葬式のコオシ。

**こおじ (かうじ) (柑子) 【名詞】** ミカン科の常緑小高木。果実は扁平で小さい。果皮は蠟質黄色、滑らかで薄くむきやすい。果肉は淡黄色で酸味が強く、種子が多い。

**ごおし。ごおじ (がうし) (郷司) 【名詞】** 役場の小使 (志 (布施田、鶴方、甲賀)、伊、松、一、多、度) [会話] ごよじ言うて こぐち 言いおったね (言っ居たのです)。昔の小使。昔や (は) 役場言うたてて (言っても) にげ (人間) な (が) 七人か八人よりおらざったやんない (居なかつたでしょう)。〇〇さん な (が) こぐち しとて (して居て) 学校おりて (卒業して) すぐん (に) 役場の小使を十七、八になる迄 こぐちしとて。ごよじ言うな (のは) “よおーい” 言うてふれる (布令る、公の事を呼び回る) やんな (でしょう)。“荒布の口な あいたでよお” 言うて。あい

なのおを (のを) ごよじ言うて。ごよじ言わんと (言わずに) ゴオジや (だ)。ごよじやけど (ですが) 越賀の人ら (は) ごよじや (だ) 言うけど (が)、和具の人 皆、ゴオジ。着とて (着ていて) ふくろべ (小さな破れ) 縫うやんない (縫うでしょう)。そと (すると) ゴオジな (の) かかな (嬢が) こおもおけて (出産して) やれ忙しや着縫いする、言いもて (言いながら) 着縫いしよおった (して居ました)。着縫いする時は そやって (そうして) 言え 言うて。わしら おせてもおて (教えて貰って) 着ていて、ちよいと (少し) 破れてて (てしまつて) 脱ぐのに ややこし (面倒) 時が有つて こおするやろ (縫い会わすでしょう)。その時に “よおおい ゴオジのかかな こおもおけて やれ忙しや 着縫いする” 言うて 縫いおったわな (縫つて居ました)。着縫いせんもんや (しないものだ) 言うて、そげん (そんなに) 言うて ゆいぐさ (文句) を言うて 着縫いする時や (は) 縫いおったんやろなあ (縫つて居たのでしょう)。着縫いしたらいかん 言うて。死んだ人な (の) 時に するもんやよってん (するものだから) 言うて、そいな (そんな) 意味で嫌いおつたの (いやがりました)。ややこし言うな (のは) めんどくさい。

**こおじかす (こうじかす) (亢) 1)** 面倒にする。  
 2) 病気を重くする。病をつのらせる。病気が重くなる。  
 3) つのらす [会話] 2) 病気を コオジカス。病気な (が) 重なつて来る言うのを、コオジカス。風邪引いたや (たら) 風邪コオジカシテ。風邪な (が) こじれた。今しゃ (今は) 言うのんなあ (のに)。昔や (は) コオジカス。風邪コオジカシテ、どいらい (大変) ぐあい (調子) な (が) わり (悪く) なつて来て。今し (今) やったら (だったら) こじらして言うねけどなあ (言うが)。昔や (は) コオジカシタタ。こじらすのを コオジカス。

**こおじくな** 【形容詞】頑固だ

**こおしちよお (かうしちよう) (香資帳) 【名詞】** 貰つた香資の額や氏名を記入し、又その葬式に必要とした、経費を記入する帳面 (鳥) [会話] 葬式のなあ、皆まあ、帷子かぶりとか、なんとか言うのを帳面えなあ、コオシチョオ 言うの (のを) 書いといて (ておいて)、そしといて (そうしておいて)、香資 もろたの (貰つたのも)、どっから (何処から) 幾ら言うのもなあ そのコオシチョオイ (に) 皆、書き残しとくと なあ (ておくと)、今度 また有るとそれ出して 繰つてしてくのなあ。香典 もろたの (貰つたのを)

書いたり、帷子かぶりとか、ゆわい持ち (位牌持ち) やたら (だとか) 言うてな、何々供えもん (物) もろた とか言うのをな、それい 葬式のけえひ (経費) の事も皆書いて 初盆ののおも (のも) 皆 書いて帳面え書き残しとくと (ておくと)、そすとまあ (すると) 代々判る よんなあ (ように)。もろた (貰つた) のおと (のと) 入り用と役柄と、なんもかも (すべて) 全部 葬式の事をなあ、てえねんな (丁寧な) 家や (は) 墓のいりけた (埋めた) とこ (所) まで書いてなあ、まあ葬式の一切の事書くの (のを) コオシチョオ。

**こおしゃ (かうしゃ、こうしゃ) (巧者) 【名詞】** 器用な事又そのさま。その人。賢い事。利口な事。(志 (浜島)、阿、津、松、上、阿、名、尾、北) [会話] コオシヤな言うて、考えな (が) ええ (よい) 事。器用な時は、手ぎよお (手器用) ななあ (だ) 言うの (のです)。利口言うのを手器用や (だ) 言うて。利口 びんぼ (貧乏) 言うて 利口なもな (者は) びんぼ する。

**こおじやかす (こうじやかす)** こおじかすに同じ。面倒にする。こじらす。

**こおしゃく (こうしゃく、かうしゃく) (講釈) 【名詞】** 理屈。偉そうに言う事。長々しい説明や文句、小言。(上、阿、南) [会話] コオシヤク、そやまあ (それは) そげん (そんなに) したらは ざんわれ (いけない)、こや (それは) こんにしてせな (しなければ) こんしてすると (そのようにすると) はざんわれ、こんしてすると ええんやれ (良いのです) 言うのを、コオシヤク言うな (のです)。おせごとをすると、コオシヤクよけ (多く) 言うな。おせごと言うの (のは)、なんでも、仕事すんのん (するのに) こんして (そんなににして) したらは ざんわれ こんしてせな そいな (そんな) しいかた (しかた) わりわれ 言うて、おせんのを (教えるのを) おせごと。わしらん (に) おせごとよつほど (よほど) のもんや (者だ) 言うて。おせごととして、あいな事 (あんな事) おら (私) 知とられ (知つて居る) 言う、にぎや (人は) おらん おせごと よつほどのもんやれ 言うて。えらつそおに (偉ぶつて) 教え事する事、コオシヤク。

**こおしゃくな (小癩)** 生意気な (志、熊)

**こおしゃくゆう (こうしゃくゆう)** 理屈を言う。生意気な事を言う。

**こおしゃな** 利口である 考えがよい こおしゃ参照 (志 (鶴方、神明、志島、国府))

**こおしょお (かうしゃう) (高尚) 【名詞】** 学問、技芸などの程度が高く深いこと。[会話] 学問の有る人やよって (だから) 言う事なコオジョオななあ (だ) とか、着るもん (物) でも ええもん (よい物) すると、コオジョオなもん (物) 着とる (着ている) とか、程度がええ 言うのか、品がええ 言うのか 品もん (物) のええもん (よい物) をなあコオジョオ。にげ (人間) でも、頭の ええ 人をなあ、あの人 まあ、コオジョオで、なんでも (何でも) よお (よく) 知とて (ていて) 言う事や (です)、する事な (が) 違うなあ言うてな。

**こおじょお (こうじゃう) (口上) (口状) 【名詞】** 1) ものの言い方、口のきき方 2) 説明 [会話] 1) コオジョオ、言うのはしゃべん (喋べる) の (のを)、東西、東西言うて コオジョオ言うて、コオジョオゆいや (だ) 言うてなあ、幕が開けると 東西、東西言うて、ちよんちよん 叩いて、そして、コオジョオ言うてくんの (来るのです)。そして、なんでも、もの始める先に、さきばしり言う人をなあ、あや (彼は) コオジョオゆいや (だ) 言うてなあ、始めてなあ喋る人をコオジョオな (が) 上手で言うてな。

**ごおじょお (ごうじょう、かうじゃう) (強情) 【名詞】** 我意を張り通す事。かたくなで意地つ張りな事。頑固 [会話] ゴオジョオばっか (ばかり) 言うて、だな (誰の) 言う事も聞かんと、まあ、こげんしや (こんなにすれば) ええね (よい) やんか (でないか) てや (とえば)、ええ (否) おや (俺は) こんで (これで) ええね (よいのだ) 言うてな、そげんして (そんなに) 言う人をな ゴオジョオなやなあ (だ) 言うて、人の言うこた (事は) 聞かんと ゴオジョオでまあ言うて、自分の意見ばっか (ばかり) 通そ (通そう) 言うのでなあ言うの、ゴオジョオなねよってん (のだから) 滅多ん (に) 人の言う事、聞こかれ (聞かない) 言うてな、あやなあ (彼は) ゴオジョオもん (者) やもん (だから) 言うてな 頑固なもん (者) やなあ (だ)、頑固と一緒や (です)。

**こおじょおがき (こうじゃうがき) (口上書) 【名詞】** 説明書 効能 (ききめ) を説明したもの。[会話] コオジョオガキ言うて なんやかや (いろいろ) まあ、こや (これは) まあ、こお言う事を言うて 始めに上手に書き出すのをなあ コオジョオガキ、コオジョオガキな (が) 上手ななあ (だ) 言うて、なんでも (何でも) ええよおん (よいように) ええよおん言うてな、書くのを、この物がよおて (よくて) 此は 安いどお

(ぞ) とか、これは美味いどお とか、その事を書いて、和具より無いもん (物) や (だ) とか 言うてな、口上をうまいこと、上手ん (に) 書くのをコオジョオガキなあ。今しの 説明書言うんか 新聞に入って来るちらしや、ちらしを言う事やわいな (です) あれもなあ。**ごおじょおがき (ごうじょうがき) 【名詞】** 頑固な子供。言う事を聞かない子供。[会話] 強情なこお (子) やなあ (だ)、ゴオジョオガキやなあ 言うねやんかい (言うのです)。

**ごおじょおばる (ごうじょうばる)** 強情を張る 強情を通す 言い張る [会話] 折れて曲って、ゴオジョオバルのも、あやまあ (彼は) 曲りや (だ) よってん (から) 言うて。

**ごおじょおぱり (ごうじょうぱり) 【名詞】** 強情を張る 事 又その人 ごうじょうはりの転

**こおじる (かうじる) (昂) 【自ず上—】** 1) 増長する。つふる。2) 病気が悪くなって長びく。3) もつれる [会話] 3) コオジル まあ、言うてなんやかや (いろいろ) あの人な (が) コオジテなあ、言うのも有るし、もつれる言う様な意味やなあ (です)。コオジル言うのは、1) あや (彼は) 気な (が) コオジトンネドオ (ているのだ) 言う、なんやかや (いろいろ) まあ せんざり (十分に) 思い悩んで あやまあ (彼は) コオジテタンヤレ (ていったのだ) 言うのもあんなあ (有ります)。心配事な (が) よけ (沢山) 有って、心配ばっか (ばかり) して あれもどおや (どおだ) 此れもどおや 言うて 心配してまあ、あんな (あれが) コオジテタンヤレ言うて、うとお (気抜け者) みたよん (のように) しとる (している) 人もなあ、そお言う事 言うなあ (言います)。そればっか (そればかり) おもて (思って) 病氣 みたよんして、うとんぼ (気抜け者) みたよんして おんの (居るのを) まあ、あや (彼は) なんやかや (いろいろ) ごおなわく (腹が立つ) 事な (が) よけ (沢山) 有ってまあ、コオジテタネナア (て行ったのだ)。あや 病氣 コオジヤカシタタネヤレ (させてしまったのだ) 言うてな、倒したる (重くする) 事をな コオジヤカシタタネヤレ 言うてな。

**こおじん (くあうじん)。こおじんさん (くわうじん) (荒神) 【名詞】** かまどを守る神様 火の神様、カマジン (竈神) の音便 (大言海) (志 (布施田)、鈴市、松、多、北、南) [会話] コオジンサン言うて かまどの事言いおつた (言っていました)。

**こおする (こうする)** 卵を産む。[会話] 亀なこお (子、

卵) もおけん (産みに) 来る言うて。卵、産みん  
(に) くんのを (来るのを) コオスリン来た。

**こおすりんいく (こうする)** 子供を産みに行く

**こおずる (かうずる) (昂) 【動詞】** 程度が甚だしくなる。  
ひどくなる。俗に病のつもる事などに、コウズルとい  
ふも困の字の音成るべし。又田舎人のごちたりと言う  
もこの義なりといへり。(倭訓栞) (津) [会話] のそ  
つとしとると (していると) おとなしが (おとなしい  
が) コオジテ なめとこ (はっきりしない人) や  
(だ)。

**こおぜ (こうぜ) (小勢) 【名詞】** 小人数 こぜい (小  
勢) の転 (志 (布施田、鶴方、神明、立神、国府、安  
乗)、度) [会話] どいらい (大きい) かぼちゃは、  
一つでええの (よいのです)。コオゼの家は。

**こおぜい 【名詞】** 小人数 [会話] コオゼいの しよた  
い (所帯) を、子供のままごと みたいや (のようだ)。

**ごおせい (ごうせい がうせい) (豪勢) 【副詞】** 1) 贅  
沢で立派なさま 費用の多く掛かって居るさま 2)  
甚だしいさま。たいそうまさま [用例] 1) ゴオセイ  
な家 建てたなあ。

**こおせき (かうせき) (行跡) 【名詞】** 身持、行状、品行。  
[用例] あの おなが (女性は) コオセキ なわりわい  
(が悪いです)。

**こおせき (こうせき) (口跡) 【名詞】** 発声の様子 言葉  
使い 物の言い方 (志 (浜島、布施田、鶴方、甲賀、  
安乗)) [会話] 声な (が) わり (悪い) のも、コ  
オセキ な (が) わり なあ言うしなあ。声な (が) わ  
りと (悪いと) おおた、あの声、見よまあ (見なさ  
い) さざえがめ (栄螺の殻) こがえ (樽へ) あけるよ  
おな声 やなあ (だ) 言うて、コオセキ な (が) わり  
言うてな。

**こおせん (こうせん) (口銭) 【名詞】** 手数料、仲介料、  
利益。[会話] 手取りは幾らどい (ですか)。手取り  
は千円 や (だ) なんも (少しも) コオセン 貰わせん  
(貰いません)。

**こおそ (こうそ)。こおそお (こうそ) (賃租) (公租)**  
**【名詞】** 税金 (志) [会話] コオソオ、しいん (し  
に) 行かな (なければ) ばざん (いけない)。ぜえき  
ん (税金) の事をなあ、役場え コオソオせん と (せ  
ずに) おんね (居るのだ) 言うて、ぜえきんや (と)  
言わせんねなあ (言わないのです)。コオソオ や  
(だ) 言うて。にじゅうごんち (二十五日) 迄 コオ  
ソオせな (しなければ) 期限の すんでも (過ぎて  
も) もてかんと (持って行かないと) ごよじ (小使)

ななあ (が) “よおい コオソオ もて (持って) ござ  
れよお” 言うて ふれよおったね (ふれまわって居た  
のです)。コオソオ もて来い (持って来い) 言うて。  
がっこ (学校) 行く迄 コオソオし といいて こいよお  
(納めておいて来なさい) 言うて。役場い (に) いて  
(行って) コオソオ もて (持って) 来た言うて、も  
てきよおったね (持って行ったのです)。

**こおた (かうた) (飼) 飼った** (伊、鈴市) [会話] 餌  
やって コオタ、養殖もん (物) は味 な (が) わり (悪  
い)。

**こおた (こうた) (買) 買った** (志 (浜島)、鳥、桑、桑  
市、員、三、四、安、一、張、松、多、上、名、度、  
北、尾、熊) [会話] しなもん (品物) も、コオタ事  
な (が) 判らんと (判らないと)、出どこ (出た所)  
な (が) 判らん、盗すだ (盗すんだ) もん (物) やら、  
もおた (貰った) もん やら 出所 判らん。

**ごおた (ごうた) 【名詞】** 1) 背中 2) 甲羅 (志 (布  
施田)) [会話] ゴオタ、<sub>1)</sub> 背中 of 事をなあ、あやまあ  
ゴオタ干して ぬくとまっとられ (暖まっている) 言う  
て、潮あび (海水浴) ん (に) いて (行って) 砂の上  
い (へ) のたつて (腹ばいになって) しとると (して  
いると) あやあれまあ (あれ) ゴオタ干して言うて。  
おおた (ああ) ゴオタ な (が) ぬくとおて (暖かく  
て) 気持ちな (が) ええなあ (よい) 言うて、砂をな  
あ、あたたい (熱い) のおを (のを) かきまわして  
(掻き寄せて) 来て、あんご 乾け 口、乾け、口よ  
り あんご な (が) はよ (早く) 乾け言うてなあ、石  
ひろて (拾って) 来て、あんご (顎) の下い (に) 敷  
いて、言よおったの (言って居たのです)、潮あびん  
(海水浴に) いてな (行って)。ゴオタは、背中 of 事  
ゴオタ言うの (のです) <sub>2)</sub> 亀のゴオタでも言うしなあ  
わがと (自分) の体でもゴオタ。

**こおたいじんぐ (くあうたいじんぐ) (皇大神宮) 【名  
詞】** 外宮、内宮 [会話] 伊勢神宮の事をなあ、コオ  
タイジグ言うの なあ (です)、神宮 言わんと (言わ  
ずに) じんぐ言うて、コオタイジグえ、参って こお  
や (来ましよう) 言うて、“う” を切り捨て や (です)。

**こおだか (こうだか かふだか) (甲高) 【名詞】** 足の甲  
の高い事。[会話] 足のコオダカ、甲な (が) たつか  
いとなあ (高いと) コオダカ や 言うて、そして、玉葱  
でもなあ、今し (今の) 玉葱 や (は) もやがとん  
のおを (盛り上がっているのを) コオダカ of 玉葱 こ  
おて (買って) 来いよお 言うて、真中 へっこんどん  
な (凹こんでいるのは) あや (あれば) はざん で

(駄目で) コオダカこおて 来いよお言うてな、もや  
がっとなの コオダカ 言うの。

**こおたた (こうたた)** 1) 買ってやった 2) 養なって  
やった [会話] <sub>1)</sub> こおて来て、わしらな (私達が)  
貰らうと、おんな (俺が) コオタタ言うて。

**こおたたね (こうたたね)** 1) 買ってやったのだ  
2) 扶養したのだ 飼ったのだ [会話] <sub>1)</sub> こおて来  
て、わしらな (私達が) 貰らうと、おんな (俺が) こ  
おたた (買ってやった)、おんな コオタタネ言うて  
な。

**こおたる (こうたる)** 1) 買ってやる (松、北) 2) 飼  
ってやる、養なってやる、扶養してやる [会話] <sub>2)</sub>  
お婆さんを、コオタル。食わしとるよって (ているか  
ら) コオトンネ。やしのおとる (養なっている) 事を  
コオトル (飼っている) 言うね (言うのです)。おれ  
げ (俺の家) で コオタルワ (飼ってやる) 言うて、  
食わして (食べさせて) やしのたる (養なってやる)  
言うのをな。やしのて貰らう、食わして (食べさせ  
て) 貰らう事をな、コオテモオトル (飼ってもらっ  
ている) 言うのなあ。コオタル言うて、する方やし  
(です) コオテモラウ言うて 見て貰らう方なし。

<sub>1)</sub> しなもん (品物) を、こおて (買って) もろた (貰  
らった) 言うて、こおて来て、貰らうと コオテモロ  
タ おんな (俺が) コオタル。

**こおだる (こうだる、かっだる)** 噛んでやる。[会話]  
噛んだる言うの (のです)。ぱりつとコオダル。

**こおたんや** 買ったのだ

**こおたんや** 飼ったのだ 養ったのだ

**こおちく (こうちく) 【形容詞】** 強情なさま、理屈っぽ  
いさま。(志 (浜島、布施田、鶴方、神明、立神、甲  
賀、国府、安乗)、鳥 (鳥羽)、伊、鈴市、久、一、多、  
北) [会話] どおんと、まあ聞かへん (聞かない)。  
聞かんと (聞かずに) わがと (自分で) おら (俺は)  
こげん (こんなに) すんね (するのだ) 言うたら、こ  
つて (梃子) でもいごかんよおん (動かないように)  
曲らせん (ない) のおな (のが) コオチク。

**こおちく 【形容詞】** 頑固なさま。こおちくに同じ[会話]  
櫓の木は曲がらせんやんない (ないでしょう) 風な  
(が) 吹いても、なんのその 言うて コオヂク し  
とると (していると) 又、びゅつとして来ると、ぼん  
とへしよれる (折れる) やんない そやよって (だから)  
むじ折れ (無理折れ)。

**こおちくな (こうちくな)** 頑固な (志 (鶴方、神明、立  
神、甲賀、国府、安乗)、鳥、度) [会話] コオヂク

ナ、言う事 聞かんで (聞かなくて)、こげん (こん  
なに) したれよお (しなさい) 言うても、やや (いや  
だ) おら (俺は) そいなもん (そんなもの) したない  
(したくない) 言うてな、コオヂクで言う事聞かんで  
言うてな、ごおわかす (腹立てる) のなあ (です)、  
親な (が)。コオヂクナねよってん (のだから) 言う  
て。親でも おみや (貴方は) 医者どんえいて (行っ  
て) 診てもらて (貰らって) 来いやあ (来なさい) 言  
うて、おやまあ (俺は) 医者どんえ 行きたくないわれ  
(行きたくないです) 言うて おれげ (俺家) の婆、  
コオヂクで 医者い (に) 行け言うても、行かせんね  
(行かないのだ) コオヂクで言うてなあ、嫁らな  
(が) 言うの。こおちくやなしん (でなくて) コオヂ  
ク。

**こおちくばとる (こうちくばとる)** 意地を張ってい  
る。[会話] なつと (なんと) 言うても 聞かへんのを  
(聞かないのを) コオヂクバツトル言うのなあ (で  
す)。そしといて、なんやかや (なにか) かったい  
(堅い) 物を 曲げよとして (ようとして) 曲が  
らんと コオヂクバツotte 曲がらせんわれ (ない)  
言うてな、それも にげ (人間) も一緒やわいなあ  
(です)。

**こおちゆう (こうちゆう) (口中) 【名詞】** 口の中、口内  
[会話] コオチュウな (が) さばけんでまあ言うて。  
コオチュウな (が) さばけるよん (ように) あられ  
なと (でも) 入れて呉れ言うて。口な (が) わりいて  
(悪くて) なんやかや (いろいろ) 食われんと (食  
べられないと) コオチュウな (が) さばけんで言うて、  
味な (が) 無いの、味な (が) 判からへん (ない) 言  
う事やな (です)。風邪引いたら 口な (が) わりいて  
(悪くて) 言うてな、なん (何) 食べても 味な  
(が) 判らへんわれ (判らないです) 言うてな。

**こおちゆうなさばけん** 味が判らない、口が悪いの 前  
項参照

**こおちよ。こおちよせんせ (こうちょう かうちやう)**  
【名詞】 校長 校長先生 (張、名)

**こおちん (こうちん) (工賃) (口賃) 【名詞】** 1) 生  
産加工などの労力に対し、支払われる賃金。2) 手数  
料 [会話] <sub>1)</sub> コオチン言うのはなあ、働いて金を貰  
らうのを コオチン言うの (のです) 働いたよって  
(から) 賃をやる (あげる) 言うのをな コオチンも  
ろて (貰って) 言うて、コオチンな (が) 安すうて  
(くて) 言うてな、月給な (が) 安いのなあ (です)。  
コオチンな (が) 安すうて くてかれやせんわれ (食



べていけない)言うてな。<sup>2)</sup> コオチン はろて (拂って) 言うて、手数料な (です)、手数料払うの (のを) まあコオチン払うよって (から) 此れもてて (持って) 呉れるかい (呉れますか) 言うてな。ぜん (銭) 出して もてて 貰う事 コオチン払う言うてな、コオチンも払わんとのお (わずに) 言うて、ただ (ただ) もてて 貰うと。

**ごおつく (ごうつく、ごふつく) (業突)。ごおつくばり (ごうつくばり、ごふつくばり) (業突張) 【名詞】** 非常に欲張りで頑固な事。ひどく強情で意地の強い事。又その人。我意を張るは、悪業なる意 (大言海) [会話] 強情な事をなあ ゴオツクバリ やよって (だから) 言うて、ゴオツクバリ 言うたらま、いっくら (いくら・何度) 言うても 聞かん言う事や (です)。

**こおて** 1) 買って下さい。(志、鳥、南、桑、桑市、員、三、四、鈴市、安、津、一、松、多、名、度、伊、北) 2) 買って。[会話] <sup>1)</sup> 此れコオテ呉れえ (下さい) とか 買って呉れえとか。買う人は、売って呉れえ 売る人は、コオテ呉れ。とうさん、かあさんコオテくれや (下さい) 言う。買って下さい言う事なあ (です)。売りん (に) 行く人らも (達も) なになに、コオテおくれ (下さい) とか 言うやんない (でしょう)。昔や (は) いらんかい (いりませんか) 言うて。こや (此れは) いらんかい。コオテ呉れ言うのを、いなんかい (いりませんか) 言うたや (言ったら) こおとこかいなあ (買っておこうか) 言う。売ってくれえ言うの (のを)。こおとこかいなあ 言うやんかい (言うのです)。売って呉れえ言わんと (ずに) 有るけど (有るけれど) こおとこかいなあ言うし、有ってもこおとかななあ (買って置かなければ) 言うて。

**こおて (こうて)** 飼って (伊、三、鈴市、安) [用例] 家の中で犬コオテ 部屋毛だらけやれ (だ)。

**こおで (こうで)** 噛んで (鳥) [会話] さとのき、皮剥いといて (ておいて) 渣コオテ吐き出して。

**こおていえ (こうていえ)** 買って下さい。[会話] コオテイエ言う時は、買って下さい。此れこおてくれえ (買って下さい) 言うのを コオテイエ言うてな、これ、コオテイエ わしぎや (私の家は) だいこ (大根) な (が) よけ (沢山) 獲れて言うてな。

**こおてえ (こうてえ)** 1) 買って下さい 2) 飼って下さい [会話] <sup>1)</sup> 此れコオテエ 言うて なんやかや物 こおて (買って) 貰うこと、こおて呉れ 言うのを、コオテエ言うてなあ。わがと (自分が) 売る時んも (にも) 此れ、コオテエ言うしなあ、人ん (に) こ

おて 貰う時でも、此れ コオテエ言うなあ、こおてきてえ (買って来て下さい) 言うて お前ぎや (家は) 此れ いなんかい (いりませんか)、コオテエ言うてなあ。<sup>2)</sup> コオテイエと コオテエ、やしのて (養なつて) 呉れとか、飼おて呉れ言うのもなあ。

**こおてきた (こうてきた)** 1) 買って来た (伊、桑市、桑、員、鈴市) 2) 飼って来た (伊) [会話] <sup>1)</sup> おや (俺は) 今日 だいこ (大根) コオテキタ言うてな、買ってくんのを (来るのを) コオテキタレ言うてな。

**こおてきたれ (こうてきたれ)** 買って来ました [会話] 今日 だいこ (大根) コオテキタレ言うて、買ってくんのを (来るのを) コオテキタ言う。

**こおてきたわい (こうてきたわい)** 買って来ました

**こおてきてえ (こうてきてえ)** 買って来て下さい [会話] コオテキテエ言うて わがとも (自分も) こおて (買って) 貰うのを。

**こおてくる** 1) 買って来る (伊、鈴市、尾) 2) 飼って来る (伊) [会話] <sup>1)</sup> 買いん (に) いて (行って) 来る言うのをな、コオテクル言うてな、おんな (俺が) 今日 夕方出た (出ていった) かいりん (帰りに) コオテクル言うて 買って来ます言うのを

**こおてくるわ。こおてくるわい。こおてくるわな (女性語)。こおてくるわら。こおてくるわれ。** 1) 買って来ます 2) 買って来るでしょう [会話] <sup>1)</sup> 買いん (に) いて (行って) 来る言うのをな コオテクルワ 言うてな。買って来ます言うのを。

**こおてくれえ。こおてくれや** 買って下さい こおて参照

**こおてこ** 買って行こう

**こおてこい** 買って来い

**こおてこいえ** 買って来なさい

**こおてこか** 買っていこうか

**こおてこかいなあ** 買って行こうか、買おうか どうしようか [会話] あれも コオテコカイナア言うて、買いん (に) 行くのを、こおて (買って) 言うね (言うのです)。

**こおても** 1) 買っても 2) 飼っても (伊、鈴市) [会話] <sup>1)</sup> 此れコオテモ こやまあ (これは) なつとも (なんとも) しょな (仕方が) 無いなあ言うて、此れコオテモ ええかい (よろしいか) とおさん (お父さん) 言う時もあるしなあ、此れコオテモ なつとも 使い道な (が) 無いなあ思う時んなあ (に)、まあ、こや (これは) はざんなあ (駄目だ) 言うて 欲しいねえけど (のだが)、此れ コオテモ 今しゃ (今は)

使わせんけど (ないが) また置いときゃ (ておけば)  
使う時もな あられなあ (有る) 言うて。

**こおでも (こうでも)** 噛んでも

**こおでもおた** 1) 買って貰った 2) 飼って貰った  
扶養して貰った

**こおでもおとる** 1) 扶養して貰って居る、養っても  
らって居る 2) 買って貰って居る [会話] 1) コオ  
テモオトル言うのは、養のて (養なつて) もおとる  
(もらっている)。親こおとる言うと わがと (自分  
が) かせんで (稼いで) 親を食わして (食べさせて)  
しとんのなあ (しているのです)。

**こおでもらう (こおでもらう)** 1) 買って貰らう 2)  
養なしてもらう、扶養されている

**こおでもろた** 1) 買って貰った 2) 飼って貰った。  
養って貰った。[会話] 2) こおたる (養なつてやる)  
言うと、する方やし (ですし)、コオテモロタ言うと  
見て貰う方なし。

**こおでん (かうでん) (香典) 【名詞】** 死者の壺前に供え  
る金銭。香華の代わりとしたもの。[会話] 香資の事  
なあ、コウデンや (だ) 言うね (言うのです)。今は、  
コオデンとか言うけど、昔や (は) 香資や (です) 香  
資 もてかな (持っていかなければ) はざん (駄目  
だ) 言うてな。

**こおでんがやし (かうでんがやし) (香典返) 【名詞】** 香  
典を受けた返礼として、物品を送る事、又その物品  
[会話] コオデンガヤシ言うて、昔やなあ (は) なん  
やかや (いろいろ) こばよおったけど (配ったが) 今  
しゃ (今は) 法度 (禁止) ん (に) なつて 葉書で、  
あんな (あれが) コオデンガヤシやわいな (です)。

**ごおてんじょ (ごうてんじょ、がうてんじやう) (格天  
井) 【名詞】** 一米位の間隔で、方形に組んだ木の上に  
板を張った天井。[会話] ゴオテンジョ言うと、お寺  
やなんの (とかの) 碁盤になつとんのを (なつて居る  
のを) 言うんやろなあ (言うのでしょうか)。

**こおと (こうと) (公道) 【名詞】 【形容詞】** 1) 地味  
落ち着いた質素。派手さが無い。公道 (こうと) 質素  
で 地味なさま。(志 (浜島、布施田、鶴方、神明、  
立神、甲賀、安乗)、鳥 (鳥羽)、鈴市、安、一、多、  
上、阿、張、名、北、尾、南) 2) 儉約する。つま  
しくする [会話] 2) コオト、言うのは、物をしまつ  
(儉約) する。丁寧にする事やなあ (です)。あのう  
ちゃ (家は) なんもかも (すべて) コオトなよつて  
(のだから) あや (あれば) 丁寧にしもて (しまつ  
て) とか、ばあばあしやせんの (しない) 派手にせん

と (せずに)。コオトなよつて 金持ちになつたとか。  
肉を喰うとか、魚の刺身買おて (買って) 来て喰うと  
か そいな (そんな事) せんと 菜っ葉喰うたり、里  
芋喰うたり、取れたもん (物) を。あのうちゃ コオ  
トで、さい (菜、副食) やどき (など) こおて (買つ  
て) 喰をかれ (食べませぬ)。家で取れたもん (物)  
喰うて言うて、そいなのを (そう言うのを) コオト。  
しまつとか、コオトとか言うて、しまつする (儉約す  
る) 言うのも コオト言うのも一緒や (です)。今  
しゃ (今は) 派手でええ (よい) 言うて するけど (し  
ますが)、昔や (は) 肉や魚 こおて 喰うたら (食  
べたら) しんしょ (身上、財産) な (が) 持とかれ  
(持たない)。菜っ葉うでて (ゆでて) 喰うたり、だ  
いこ (大根) きぞで (刻んで) 喰うたりしとや (して  
おれば) そんで (それで) ええねない (よいのだ) 言  
うて。コオトにして、かね (金銭) 貯めて。〇〇の爺  
や (で) ないけど (ないが) ぜんてもな (銭言うもの  
は) 稼ぎよおい (やすい) もんの (ものの) つかえの  
くい (使いにくい) もんやお (ものだなあ) 言うて、  
銭は出させんねよつて (出さないのだから) 貯まるい  
つてんばりや (だ)。コオトなもんで (ので) 使わせ  
んねよつて (使わないのだから) かにゃ (金は) 残る  
しやんない (でしょう)。1) いろあい (色柄 色彩) の  
じみ (派手さかない) なのもコオト。きもん (着物)  
の、めくさり (目腐) みたいな (のような) 着とると  
(していると) コオトなの着て。着物の柄 (模様) も、  
とし (年齢) の割にコオトな物着て、娘時代にこまか  
あい (小さい) の着よつたななあ (着て居ました)。  
ちよいと (少し) あらくたい (荒い 粗い) おおた  
(ああ) どいらい (大変) あらくたい (荒い) 派手な  
ねなあ (のですね) 言うて。弁慶や (だ) 言うて コ  
オトなのも着よつた。縞の着物 棒縞着とると (着  
ていると) 派手な (だ) おおた、棒縞やなあ (だ) 言  
うて。

**こおとい (こうとい) 【形容詞】** 質素である、着物など  
が落ちついて派手さが無い。儉約する (志、鳥、員、  
鈴市、鈴郡、安、久、一、多) [会話] コオトイ言う  
のは 始末 (つましい) な (だ) 言う事なあ、あの  
家や こおとで 言うてなあ、なんやかや (いろいろ)  
物を大事にしてなあ、物を 放つたり (捨てたり) 粗  
末ん (に) せん (しない) 家をなあ、あの家や (は)  
こおとな家やよつてん (だから) 言うて、そして、食  
いもん (物) でも、まずいもんなあ (物)、ぜえたく  
(贅沢) なもん (物) 食わんと (食べずに)、する家

や あの家や (は) こおとで言うてなあ。金はあんね けどなあ (有るのだが) 使うのを がいん (あまり) ばあばあせん (しない) 家をなあ、こおとな家や (だ)。コオトイも、こおとなも、こおとにするも、一緒の事やわい (です)。

**こおとお (こうとう かうとう) (香頭) 【名詞】** 薬味、香料。(志 (布施田、鶴方、神明、立神、甲賀、国府、安乗)、鳥 (国崎、鳥羽)) [会話] コオトオ。昔や (は) 葱をこまこお (細かく) 切ると うどんの上へ入れるやる (でしょう) コオトオ入れとけ (ておけ) 言うて。コオトオ刻んどけ 言うて。葱でも、生姜や (だ) とかなあ。匂に入れるもん (物) 生姜とか。匂ちそやとか そいなもん (そんな物) を コオトオ。コオトオ、なんすんど (何にしますか) 言うて、生姜か、葱か、おおば (大葉) か言うて 刻んで振りかけるの (のを) コオトオ。胡麻は胡麻で こおとお言うな (のは) 生姜とか葱とか大葉とか匂いちそとか そお言うもん (物) 匂いのええ (よい) もんを。匂いに色どりに振るのを コオトオ言うて。昔や (は) そおめん喰う時、たでを入れよった (入れました)。茗荷の出で来ると それ取って 六月頃、そおめんするとそれを刻んでしよった (して居ました)。匂いなどいらい (が大変) よおてなあ (よくて) 茗荷は、ちんびん言うのもありおったけど (有ったが) ちんびん言うな (のは) 本蜜柑を刻むと おつけ (味噌汁) ちんびんと来たなあ言うて 匂いな (が) ぶうんとして来ん ね (来るのです)。ほすと (そうすると) 人な (が) 怒ってかんぶくろ (紙袋) はって (ふくらまして) ぶうんとしとると (して居ると)、あやれまあ (あれまあ) おつけ (味噌汁) へちんびんで、ぶうん来た。ぶうんと来た言うのは 怒るとる言う (言うのです)。ちんびん、おつけへ入れるとなあ 匂いなぶうんとして来るわい (来ます)。そやもんで (それなので) 怒ると ぶうんとしとると (して居ると)、おつけえちんびんで、ぶうんと来た言うて、怒る事をなあ。

**こおとおか (こうとうか かうとうか) (高等科) 【名詞】** 旧学制。四～六年間の小学校義務教育の後、進む二～三年の教育課程。[会話] コオトオカ出とんねて われ (出ているようだ) 言うて、がっこ (学校) 出とんのなあ (卒業しているのです)。尋常高等小学校言うて、昔やなあ (昔は) 尋常終って高等へ入いりおったんよってなあ (入ったのだから)。高等も二年やったなあ (でした) 高等い (え) 二年、高等終った ね (のだ) 言うて、男の子らは 高等二年 行きおった け

ど (行って居たが) おなごら (女達) はなあ、高等い (に) 行くにげ (人間) まあ一組で 一人か。尋常六年、わしらは六年迄いたけど (行ったが) 二年上のもん (者) は四年で終った。

**こおとく** 1) 飼っておく (南) 2) 買っておく

**こおとく** 栓をしておく 錠をしておく

**こおとて (こうとて) (飼)** 飼っていて [用例] 鶏 よけ (沢山) コオトテ 餌やんのん一仕事やてや (やるのに大変です)。

**こおとて (こうとて) (買)** 買っていて [会話] なんや かやを (色々) こおて (買って) 置いてあんのを (有るのを) コオトテ言うのなあ。それも ずっと昔に、コオトテなあ、こや (これは) 昔もん (物) やわい (です) 言うてな、はよ (早く)、こおて あんのを (有るのを) コオトテ言うてなあ。

**こおとな (こうとな) 【形容詞】** 質素な 派手でない こおと、こおとい参照 (志 (鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、上、阿、尾)

**こおとにする (こうとにする)** 儉約する、質素にする こおと、こおとい参照 (志)

**こおとられ** 買って居る [用例] あいなもん (あんな物) コオトラレ。

**こおとられ** 飼って居る [用例] あの家いん (犬) コオトラレ。

**こおとる (こうとる かうとる) (飼)** 飼って居る。(尾) [会話] 軒い (へ) さしかけ (庇) して、とり (鶏) コオトル。

**こおとる (こうとる) (買)** 買って居る

**こおどる (かうどる)** 噛んで居る

**こおとれ** 買って居れ

**こおとれ** 飼って居れ

**こおどれ** 噛んで居れ

**こおどれ** 嗅いで居れ

**ごおないる (ごつないる)** 腹が立つ 怒る [会話] ゴオナイル言うのはなあ このこおな (子が) ほんとん (本当に) 言う事聞かんで (なくて) このこお (子) で、きもくらい (腹が立つ) や (だ) 言うて ゴオナイル言うの、ごおわかすのなあ (です)。こお (子) をなあ、泣いてなあ いくらたらしても (宥めても) まあ、泣きやまんと (やまずに) ぐじゃぐじゃ言うて 泣いとんのを (ているのを) ゴオナイル言うのなあ。のらな (お前達が) よけ (沢山) ごおいらすよつて (から) 虫な (が) 出たれ (た) 言うて、おっきい (大きい) のおななあ (子供が) ちっさい (小さい)

のおを わり (悪い) 事すると そのこお (子) な (が) 泣くやんない (でしょう)。そすと よけ ご おいらすな まあ 虫な (が) でんどお (でるぞ) 言うてなあ。ゴオナイル言う時は 子供らな (が) 駄々こねんの (こねるのを)、幾らたらしても すかしても なあ 聞かんと (聞かずに) ぐじゃぐじゃと、泣いたり ふんふん言うて鼻鳴らしておって (居て) そいな のおを (そんなのを) ゴオイル、ごおいらして まあ、のらな (お前達が) 言うてなあ。子供な (が) 気難か しな って しとんのを (しているのを) 言うんやろ なあ (言うのでしょう) ゴオナイル。

**こおなご** **【名詞】** いかなご 体が細長く、腹びれが無い。体側の皮ひたは斜め後方に走り、皮ひたの間に小鱗が有る。全長15cmを越える。(鳥、鈴市、度) [会話] さかなのちっちゃいの (小さいの) コオナゴ。

**ごおなわく** (ごうなわく) いらいらする。しゃくにさわる。腹立てる。腹だたしさに気がいらだつ。(志(甲賀)、鳥) [会話] 腹な (が) 立つ言う事。ゴオナワクやら、腹立つやら 腹立ち川へ飛び込んで、うなぎ 一本へさえて (押さえて) てえ (手) で 取 ろ う も 恐 い し、しゃくし や (杓子屋) の ばば (婆) に、しゃくし (杓子) 一本 か っ て (借りて) しゃくし で しゃ な げ て (擲って)、としみ (灯芯) で ゆ わ え て (くくって)、おんがら ばし (緒殻箸) で に の て (担って) 鍛冶屋 の くちど (入口) へ 来 た な ら ば、狼 に お お て (遭って) せん ち ゃ へ (便所) か あ く れ て (かくれて) びり く そ で 滑 っ て、赤 味 噌 で 起 き て、の お げ (お前の家) の か か (妻) ま あ め な か (丈夫か、元気か) ま あ め な か っ た や (かったら、だったら) へ え (屁) へ っ て 寝 と る (て居る)。

**ごおにやかす** (ごうにやかす)。**ごおにやす**。ごおなわくに同じ 腹立てる (南、熊)

**こおねつ** (かうねつ) **【高熱】** **【名詞】** 高い体温。体温が高くなること。[会話] 熱な (が) よ け (沢山) 有 っ て ま あ、も ん な お こ っ て (熱が出て) 言うのをなあ、コオネツ や わ い (です)。おれげの(俺の家) こ お (子) な (が) も ん な お こ っ て、顔 も ま っ か て っ か ん な っ て (真っ赤鉄火になって) 言うてなあ。昔や な あ (は) そ ん で も (それでも) 医 者 い (に) 滅 多 ん (絶対に) 連 れ て く (て行く) 言うこ た (事は) ま あ 死 ぬ る 生 き る や な け な (でなければ) 無 か っ た。

**こおのお** (こうのう) **【効能】** **【名詞】** 能力、効き目、しるし。[会話] よ お (よく) 働 き さ い し や (さえすれば) よ か っ た ん よ っ て (のだから)、働 く だ け な

(が) コ オ ノ オ ヤ っ た ね (だったのです)。働いて、ぜ ん 稼 ぎ (銭 稼ぎ 収入) さ え (だけ) 考 え と や (ておれば) そ ん で (それで) よ か っ た ね (よかったです)。

**こおのおがき** (こうのうがき) **【効能書】** **【名詞】** 1) 薬などの効き目を書き並べたもの。そのものの、ねうちや長所を説明してある書き付け。2) よく喋る 自慢する [会話] 1) なん や か や (色々) こ や (これは) よ お (よく) 効 く、薬 の コ ウ ノ オ ガ キ も 一 緒 で こ や え え (よい)、なん に (何に) え え ん ど (よいのだ)。こ や こ れ こ お と い て (買っておいで) 見 よ、こ や (これは) ま た ど い ら い (大変) 便 利 な ど (だぞ) 言うてな、効 能 言 う て な コ オ ノ オ ガ キ 言 う て。書いて有るも ん (物) も そ お や し (そおだし)。2) 喋べん(る)のも、よ け (沢山) 喋 る と、あ の ひ た (人は) コ オ ノ オ ガ キ な (が) お い い て (多くて) 言うて。喋 っ と る (ている) 人 を 言 よ お っ た な あ (言っていました)。あれも、ど お や ない (どうでない) こ れ も こ お や ない 言うて 素 直 に な ら ん ど (ならず) 人 の 言 う 事 を 引 っ 掛 け る や ら (とか)、こ じ い (曲げる) や ら す る 様 な 人 を、よ お (よく) 言 う や ん か い な (言います)、け ち、付 け た り な あ、す る 人 を コ オ ノ オ ガ キ な (が) お い い て ま あ あ の 人 言 う て な あ。あの ひ た (人は) ど お や よ っ て (だから) お ら (俺は) あ の ひ た (人は) 嫌 い や (だ) と か な あ、左 官 は 土 臭 い 漁 師 や (は) 生 臭 い 言 う て、そ い な (そんな) 人 を コ オ ノ オ ガ キ な (が) お い (多い)。

**こおのもん** (かうのもん) **【香物】** **【名詞】** 漬け物

**こおのもん** **【粉物】** **【名詞】** 穀類を粉にした物。[会話] コ オ ノ モ ン 言 う の は 団 子 す る 時 ん (作る時に) こ お (粉) 使 う と だ (その時) コ オ ノ モ ン を 入 れ て と か 言 う て、粉、使 う と そ げ ん (そんなに) 言うて、コ オ ノ モ ン 言 う け ど (言います)。団 子 し て コ オ ノ モ ン 入 れ な (入れなければ) う ま か ろ か れ (美味しくない) 言うて。お じ や し て も 団 子 こ ね て 入 れ る と う ま い し。そして なん や ら (何か) お だ し こ や (御大師講だ) 言うても そば の 粉 入 れ る と、お だ し こ の 飯 で う ま い な あ 言 う て。そばの粉 こ ね て 打 っ て、霜 月 (十一月) の 二 十 四 日 か い (ですか) お だ し か あ (御大師講は)。あ や、萩 の き い (木) を 箸 に し て、ふ ろ ふ き (ふろふき大根) の さ い (副食) し て、お だ し こ の 飯 や (だ) 言うて、う ま か り お っ た ん な あ (美味しかったのです)。小豆炊いて。こ お 言 う の は 粉 の 事 で う ど ん 粉 と か、小 麦 粉 と か、と び き (とうきび) と か

米の粉とか そばの粉とか、つぶもん (粒粉、穀類) を 挽いたもん (物) を、何でもこお、や (だ) 言うて。昔や、とびきの粉や、豆の粉や言うて挽きおったやんか (挽いて居たで有りませんか)。づる や (だ) 言うて。づる言うのなあ (言うのです) とびきの粉で、ぜんざいするわけやんかな (です)。

**こおば (工場) 【名詞】** 真珠養殖場 [会話] 真珠コオバや (です) 此処らではなあ べつん (特別に) コオバ言うな (のは) 無いしなあ 真珠コオバだけやったもんなあ (でした) 昔やなあ。コオバ言うても 今しで (今で) 言うて、真珠養殖場 養殖屋や (だ) 言うしなあ。真珠養殖場をコオバや (だ) 言うて、何処い (へ) いても (行っても) コオバい (に) 行くね (のだ) 言うてな、真珠養殖やったなあ (でした) 何処のコオバどい (ですか) てや (と云えば) 堀口のコオバや (だ)、松田のコオバや 言うてな。御木本でも 御木本のコオバい (に) 行くね (のだ) 皆 シンジュコオバやったもんなあ (でした)。

**こおばい (勾配) 【名詞】** 1) 要領 機転 動作 (志 (志島)、北、尾) 2) 傾斜

**こおばいき 【名詞】** 真珠養殖場へ通う事 又その人

**こおばいなええ** 要領がよい、行動が早い

**こおばいなぬるい (こうばいなぬるい)** 1) 動作がのろいのろまでである (一) 2) 傾斜がゆるい [会話] 1) コオバイナ (が) ヌルイ 言うんかい (言うのですか)。コオバイナハヤイ。あや (彼は) コオバイナ (が) ハヨオテ (早くて)、なんもかもほぼくったたない (頼張ってしまった) 言うて、コオバイナハヨシテ (早くして)、そこらに置いて有ると なんでも手早よお (やく) くたん (食べてやる) のを、コオバイナ (が) ハヤイ。仕事しても あや (彼は) コオバイナハヤイヨ 見よまあ (見なさい)、仕事もちゃっちゃとしたたない (してしまった) 言うて、仕事すんの (するのが) 早いのも言うし、なんでも 手早よおする事 コウバイナハヤイ。2) 屋根のコウバイナハヤイとか、坂な (が) きつついとか (急だとか) 言うて、勾配な (が) きつついなあ (きつい) とか、土堤のきっさい (急な) とこ (所) 勾配な (が) きつつうて (きつくて) 言うて、きっさい (急斜) なつとととこ (なっている所)。コオバイナヌルイはその反対。

**こおばいなはやい** 1) 機敏である 動作が早い すばしっこい 要領がよい こおばいなぬるい参照 2) 傾斜が急である

**こおばいなわり** 要領が悪い、行動が遅い

**こおばがよい 【名詞】** 真珠養殖場に通う事 またその人 [会話] 工場い (へ) 行かな (なければ) はざんわれ (いけない) 言うてな、コオバガヨイして言うてなあ。コオバガヨイ言うな (のは) その工場い行く事をなあ 毎朝 通うのを コオバガヨイ言うてなあ。

**こおばこ 【名詞】** 香箱 佛前で香を焚く箱

**こおばし (かうばし) (香) 【形容詞】** よい香だ よい香がする こおばしい (鳥、津、尾) [会話] コオバシ言うな (のは)、コーヒーとか 麦粉とか、あいな (あんな) 匂な (が) すんの (するのを) コオバシ匂な (が) すんなあ (します)。ぬきやへ行くと ちよいと (少し) 焦げくそ (くさく) になって来るやろがな (でしょう) 焦げ臭いとコオバシかざな (が) すんなあ (する)。コオバシかざな する言うのを、こんばし、コオバシ匂な すんなあ 言や (言えよ) ええねけど (よいのだが)、こんばし匂な (が) すんなあ、こんばしかざな (が) すられ (する) 言うやんかい (言います)。かざ言うのは、匂の事なあ。

**ごおはら (ごうはら ごふはら) (業腹)** 非常に腹の立つ事ごうはらは ゴウカ (業火) の心に燃ゆる意 (大言海)

**ごおはら わかす (ごうはらわかす)** 腹が立つ (志 (布施田))

**こおはらみ (子孕) 【名詞】** 妊娠 妊婦 (志、鳥 (答志)) [会話] 子を孕む、妊娠することなあ (を) コオハラミ。子供の時分にや (は) 蜜柑剥くと、こ (袋) はずしといて (ておいて) “はあらめ はらめ こじの木のもとへ 蚊帳吊って 寝やそ” 言うて、こころ転ろばかせおったの (せたのです)。蜜柑剥いて、分けるやんない (でしょう)、あれを こや (だ) 言うの (のです)、出しといて (ておいて) はあらめ はらめ こじの木のもとへ蚊帳吊って寝やそ言うて 両手で挟んで、転ばかして (せて) だんぶくろ (大きな袋) ん (に) になって くんのを (来るのを) はらます言うて 膨れて、ぴたつとしとんの (しているのを) 転ばかすと (すと) 膨ろんで (らんで) 来んねてや (来るのです)。こじのきい言うて こじ言うて 蜜柑の子みたい (のように)、ちっさあい (小さな)、皮な (が) うっすい (薄い) のな (のが) こじ、昔や (は) 芋、掘るよおん (に) になると 芋と替えん (に) きよつて (来て) こなれ (小さい芋) となあ やまかた (農村) の ほおの人ら、こじ持って芋と替えに来よつた (来て居ました)。芋、替えてくれや (下さい) 言うて、こじに替えてもおて (貰らつて)

喰いおったの (食べて居たのです)。

**ごおぼる (ごうぼる)** 量が多くなる 嵩が高くなる 手に余る (志 (浜島、鶴方、神明、立神、甲賀、国府、安乗)、鳥 (鳥羽)、鈴市、度、北、尾) [会話] ゴオバル、かさばる (量が多くなる) 事を、ゴオバル 言うのなあ (です)。お前な (が) おっきいて (大きくて) ゴオバツテほん (本当に) 言うて、座つともな あ (ていても) おっきいと ゴオバツテ、ばあ (場所) ふせんで (ふさいで) 言うてなあ、嵩張る事をなあ、ゴオバル言う。此の仕事は、ゴオバルわい (です) 言うて、手に余る事。まあ、ゴオバルわい (です) こや (これは) まあ今日いちんち (一日) ん (に) 決まらせんわい (終りません) 言うのなあ (です)。

**ごおひく** 石臼で穀類をひいて粉にする (上、阿) [会話] コオヒク、挽きもん (物) 臼で、小麦や蕎麦のこお (粉) を挽く、団子が食いたきや (たければ) す がらんきや (手伝いなさい) 言うて。今日はさぶい (寒い) よつて (から)、まあ おじやしよおやんかれ (しましよう)、姉よ、蕎麦のコオ (粉) ヒクとええ ねやれ (よいのだ) 蕎麦のうちこ旨い やんかあ (でないか) 言うて、わがた (自分は) 挽くな (が) 嫌いで、食うのは好きやけど (だが)。

**ごおびょう (ごふびやう)** (業病) 【名詞】 治りぬくい病気 結核 癌 など

**ごおびんぼ** 【名詞】 子供が多くて貧乏する事 貧乏人の子 沢山 [会話] コオピンボ言うて、こお (子供) な (が) よけ (沢山) 有つて びんぼ (貧乏) すんね (するのです)。食いもん (物) も、無いんて われ (無いそうだ) 言うて。

**ごおぶし** 【名詞】 雑草 はますげ、地中に生える塊根からの名。カヤツリ草科の多年草 高さ20~40cm、地下に走out枝を出し、その先に塊基をつける。葉は狭線状で稈の茎部に、数個つく、春、稈頂に数本の花序を出し、濃茶褐色の花穂をつける。葉状の総苞片は1~2個で花序とほぼ同長 小穂は線形で長さ1~3cm濃赤褐色で20~30の花をつける 漢方で塊茎を香付子 (こうぶし) と言い、通径鎮痛に用いる。(鳥) [会話] コオブシ言うのは 根にもも (桃、球根) な (が) 有つて なかなか 絶えやせん ねてや (絶えないのです)。今しの (今の) びんぼ草 と (クローバー) 一緒で、畠でいっち (一番) すかん (嫌だ) 言うて 嫌う草や (です)。

**ごおぶつ (かうぶつ)** (好物) 【名詞】 好んで食べる物、

すきな物

**ごおぶん (かうぶん)** (高文) 【名詞】 見識や格調の高い事 高度の学問

**ごおへえ** 【名詞】 1) 後戻り Go aheadからGo aheadの本来の意味は前進、誤つて記憶される 2) 出戻り [会話] 1) 船のごすたん (後戻り) ゴオヘエ、2) 嫁ん (に) いても (行つても) 戻つて来ると あや (彼女は) ごすたんやなあ (だ)。

**ごおへた (こうへた)** (却経) 年を経た、経験が深い、子供などが大人びた ませた

**ごおへてきた (こうへてきた)** 経験を積んで来た。世間慣れして来た [会話] このかあ (子は) コオヘテキテ 親知つて来て言うてなあ。乳飲ますのん (の) よけ (あまり) 親の顔みせん な (見せるな) 親の顔知つて来ると、えぎらい (大変嫌う) 人嫌いして行かせん よつて (行かないから) 言うて、わるわれ よお ったね (叱られて居たものです)。親の顔知つて来ると、他い (へ) いかまい (行きたくない) 言うてなあ、人嫌いしてするもんで (ので)、親の顔よけ (あまり) みせん な コオヘテキテまあ、こや、親の顔 知つて来て言うてなあ、なんでも (何でも) 大人のする事をなあ ちよいと しても (少しの事をしても) まねするよん (ように) になると、このかあ (子は) コオヘテキタなあ、言うてなあ、なんや かや (いろいろ) よけ (沢山) 知つて来ると言よ おったなあ (言いました)。

**ごおへる (こうへる)** 出産する。産卵する [会話] かみのい (亀) な (が) コオ (子) へり ニキテ。 うむ (産む) 事を、コオヘル。昔の人は こお もおける (子供を産む) 言よ ったやんか な (言つて居たで有りませんか)。産む 言わんと (言わずに) こおもおける 言い おったの (言つて居たのです)。亀なこお (子) もおけ ん (に) 来る言うて。子すり ん (に) 来たとか。卵を産みに来ん のを (来るのを)、子すり ん 来た。広の浜い行くと ひと とこ (一方所) 掘ると ふご 一杯つ卵へつ とり おったの (産んでいたのです)。 ひと くら (一度) 掘りに行た (行った) 事な (が) あんの (有るのです)。穴を掘 った ると (掘つてやると) 一杯卵な (が) し とて (有つて) ふご 一杯もとて きた 事 な (取つて来た事が) あん ね (有るのです)。ものすご お、おいしい の (のです) 油 こ おて (油濃くて)。 広 い (広の浜) なあ、かみのい (亀) 卵、掘りに行こ や (行きましょう) 言うて。 こ な す か (小さい砂) 掘ると ひと とこ い (一カ所へ) ふご 一杯も へつ とん ね

てや (産んでるのです)。ぎよおぎよおし (仰々しい、大変な) 程なあ。それ一つ見つけると、しよおしよや (少しのもの) あろかい (ではありません)。

**こおへとる。こおへる** 1) 狭猪になる。ませる。年輪をつむ。年数を経て、経験豊かになる。又、世間ずれする。大人ぶる。(志 (安乗)) 2) 背の低い人 [会話] 2) あやまあ (彼はもう) コオヘトル、ちっちゃい (小さいと) と、あや (彼) いたちの コオヘタンナア (のだなあ)。ちっちゃお なつてた (なつて行った) 言うて。いたちは 親ん (に) なると ちっちゃお なつてくんでおい (なつて行くそうです)。そやもんで (それで) ちっさあい (小さい) にげ (人間) を見ると、あや (彼は) いたちの コオヘトンネナア (て居るのだ) 言うて。1) コオヘテ、なんでもする事をなあ。大人になって、すれて来た言う事を、コオヘトル 言うんやんかな (言うのです)。子供らでも ちよいと (少し) ひねこし (ませた) ことすると、ほや (それ) この (此の) こおな (子供は) コヘトル よお、見よまあ (見なさい) 言うんやんかい (言うのです)。賢い言うのと又ちごて (違って) コオヘトル 言うて。コオヘトル ひねた事を言うね (言うのです)。ちよいと 子供にあわん (似合わない) よおな事するのを コオヘトル。どっちか 言うたら ませとる ませこや (だ)。

**こおぼう (こうぼう) (弘法) 【名詞】** 利口な人 [会話] 賢い人をなあ、えらい人をなあ コオボオ 弘法さん は偉い。あや (あれは) 弘法大師の事 言うんやろなあ (言うのでしょうか)。

**こおぼし 【名詞】** 穀類の虫干し 穀物を夏の太陽にさらして除虫除湿すること 着物の虫干し (志 (布施田、志島、甲賀、国府、安乗)) [会話] コオボシ なん やかや干すの (のを)。穀物でも、麦でも ものき (押し入れ) ん (に) 入いっとんの (ているのを)、今日はまあ、コオボシせな (しなければ) はざんわれ (いけない) 言うて、六月ん (に) なるとなあ、土用干ししたると (してやると) 虫な (が) 死んでくもんで (で行くので) コオボシせなまあ (しなければ)、今日は コオボシ すんのん (するのに) ええ (よい) ひい (日) やなあ (だ) 言うて。ものき (納戸) のもん (物) 小豆や、豆や、麦や言うて 皆、出してなあ。豆やそいなもん (そんな物) だけやなしん (でなくて)、着るもん (物) も 皆なあ 干す。ひぼ (紐) 張つといて (ておいて) 家ん (の) 中い (え) 干すのな あ (です)。外い (え) 干さんと (干さずに) 虫干し

はなあ (です) 虫干しを それを 皆、引っ括めて コオボシや (です)。食べるもん (物) やると (であろうと)、着るもん (物) やるとなあ、土用干しすんのを (するのを) コオボシや (です)。今日はまあ きもん (着物) の コオボシして言うてなあ

**こおまい** 1) 来ない 2) 来たくない [会話] 2) 俺ん (に) コオマイ (来たくない) 言うてな 嫌がる 事。嫌がって 抱かれまい 言うのを ひとめ (人見知り) して 俺ん (に) コオマイ 言うて 来やせん (来ない)、俺ん (に) 来やせんわ (来ない)。来やまい (来たくない) コオマイ 言うて、おや (俺は) まあ、嫌われたれ (ました)、おんな (俺の) とこい (所へ) コオマイ 言うて 此のかあ (子は) 言うて

**こおみ (かうみ) (香味) (好味) 【名詞】** 風味 匂いと味 飲食物の匂いと味 風味 すべての物の味わい 風格 性質

**こおみなない** 風味がない。匂や味が無い。愛嬌がない。好みでない。興味がない。[会話] コオミナナイ 子や なあ (だ) 言うてなあ。愛嬌な (が) ない言うか、笑顔な (が) わり (悪るい) とかなあ、コオミナ ナン モ (少しも) ナイ 言うて。なんか (何か) 食うても うまないと (うまくないと) コオミナナイ、おかずや とか (だとか) 魚や (だ)、なあ (菜) とかなあ。きもん (着物) やどけでも (などでも) 柄 (模様) な (が) 気に入らんと (入らないと)、おおた、なんも コオミナナイ 柄やなあ (だ) 言うてな。きもん でも しなもん (品物) でも 気に入らんと なあ (入らないと)、そして ええ (絵) 見とても (ていても) 自分な (が) 好きなええ やつたら (だつたら) このええ ええなあ (よいなあ) 言うんけど (言うのだが)、嫌いやと (だ) おおた コオミナナイ、ええやなあ (だ) 言うて。食べるもん (物) でも、なんでも (何でも) コオミや (です)。なんも (少しも) コオミナナイ わがと (自分が) 好きなもん (物) やないと あ (でない)と、範囲は広いなあ こおみは、わがと (自分の) 好きなもんは こおみな (が) 有るしなあ、嫌いなもんは、こおみ もたせんのなあ (持たないので) 味や匂いと 見るめえ (目) も 聞くめえ (目) も 興味な (が) 無い事なあ こおみと 興味も一絡やわいな (です)。

**こおもおける** 出産する。(志 (浜島)、鳥 (答志)) [会話] お産する言うの コオモオケル。はらけん (陣痛)が おこつて なつて来て、コオ (子) モオケン ネて われ (そおだ) 言うて、もおけたか (生れたか) 言う

てなあ。

**こおもり (こうもり かうもり)** 貝の一種。岩礁につく六角形の扁平な貝 うのあし。ウノアシガイ、ユキノカサガイ科の貝、殻長約4 cmになり、殻の中央から普通7本の放射線が出て形になる。外面は灰褐色で粗く、内面は乳白色でふちは黒い、形が水鳥の鶺鴒の足に似ているところからこの名 [会話] どびごき (嫁が皿貝) は まあるい (丸い) そして一緒に ひつついとる (ている) 六角形みたいなの (のようなのを) ココモリ。

**こおや。こおやさん (かうやさん) (高野山) 【名詞】** かわやの転。便所、せんちゃ、せっちん。こおやへ行く。便所へ行く。こおやさん (高野山) 参り。かわや、川の流れの上に作った小屋の意味か、便所。又高野山の僧が、髪を落とすが、紙を落とすに通じて、便所の意になったとも。(志 (鵜方、志島、国府)、鳥、度、松、張、北) [会話] 高野山、ココヤサン 行く 言いおった (言って居ました)。せんちゃ (便所) 行く 言う と げさく (下品) なもんで (ので) ココヤサン 行く 言う て。便所の事を ココヤサンや (だ) 言う て。

**こおやくだい (かうやくだい) (膏藥) 【名詞】** 人に傷を負わせたときの慰謝料

**こおやさんいく。こおやさんまいり** 便所に行く こおや 参照

**こおやし** この様な次第で、こおですのて

**こおやって** 此の様にして こうして (志、松)

**こおやで** これだから

**こおやどふ (かうやどふ) (高野豆腐) 【名詞】** 高野豆腐 こやどふ とも。豆腐、とふと縮める。[会話] ココヤドフ。こおやどおふ 言う ね けど (言うのだが)、ココヤドフ 言う て 引っ張らせんの (張りません)。

**こおやまいり (こうやまいり) (高野参) 【名詞】** 便所へ行く事 こおや 厠 (志 (浜島)、上、阿、張、名) [会話] ココヤマイリ 便所い (に) 行くのを なあ ココヤマイリや (だ) 言う て なあ、ココヤマイリ ツテこや (行きましょう) 言う て なあ。昔 や (は) せんちゃ (便所) や (だ) 言う て なあ、便所や (と) 言わんと (言わずに) せんちゃい (に) 行く ね (行くのだ) 言う と、べつんも (特別に) 汚ならしもんで なあ (ので) そんで (それで) ココヤサン エマイ ツテ 来る わい (来ます) 言 よ お った の (言って居たのです)。御飯食べたり しとる (している) 時ん (に) せんちゃ (雪陰) い (へ) 行く 言う と、べつんも 汚い、そやもんで (それで) ココヤサン エマイ ツテ 来る わい

言う と、えらい (大変) ええもんで (よいので)。

**こおゆうぐあい**に。**こおゆうふうん**。**こおゆうよおん** この ように (志)

**こおよお (かうよう) (効用) 【名詞】** ききめ 効能の事 [会話] 効能 言う ん かい (言うのですか) なんも (少しも) ココヨオな (が) 無い なあ 言う て なあ、此の くすや (薬は) なんも 効能 な (が) なかった とか、効き目 な 無い と、ココヨオな (が) 無い なあ 言う て。かざぐすり (風邪薬) でも なあ 飲んで も、なんも ココヨオな の お て (無くて) いくら 飲んで も 治ら へん われ (ない) 言う し、そして、こおた けど (買ったけれど) なんも 使わ んと (ずに) 置いて 有 とな なあ なんも (全く) ココヨオな (が) なかった なあ 言う て。使 い 道 な (が) 無い とな、ココヨオな (が) 無 かった なあ こいな もん (こんな物) 買 わ な (なければ) よ か った の ん (のに) 言う て なあ。役 ん (に) 立 たん 事 を なあ 役 ん 立 たら った なあ (なかった) 言う 時 も 有 る し なあ。ココヨオな (が) なかった 言う 時 も 有 る し

…**こおよおな** その様に、したくなる。又そのようになって行く 希望 願望を表す 起こり得る事柄を予想する。

**ごおよく (ごうよく がうよく) (強欲) 【名詞】** 欲が非常に深いこと。又その人。ひどいよくばり。[会話] ゴオヨク 言う な (のは) 物 凄 い 欲 し ん ぼ (欲の深い人) の事を ゴオヨク。ゴオヨク で 持 たら 放 さ せ ん ね (ないのだ) 言う て。だ な (誰が) 呉 れ、か な (彼が) 呉 れ 言う て も 滅 多 ん (決して) 呉 れ や へ ん (呉れない) のを ゴオヨク や (だ) 言う ね (言うのです)。いくら 欲 や (だ) 言う て も そ げ ん (そんなに) 言 わ ん と (言わずに) 呉 れ え (下さい) 言う と、ど ん だ け (どれだけ) でも そ や (それ) や る わ (あげます) 言う て 呉 れる 人 が 有 る や ん か い (有ります) その ひ た (人は) 滅 多 ん (決して) 呉 れ や へ ん (呉れない) の なあ、そ い な (そんな) 人 を ゴ オ ヨ ク 言う の。ほ ん と ん (本当に) あ の ひ た (人は) ゴ オ ヨ ク で ち い (血) も 見 し よ か (見せない) 言う ね (言うのです)。

**こおり (かうり) (行李) 【名詞】** 藤、又は柳などで編んだ物入れ。(張) [会話] コオリ 言う な (のは) ヤ ナ ギ コ オリ、フ ジ コ オリ。コ オリ も ち っ ち や い (小さい) のと、お っ き い (大きい) のと 有 った なあ (有りました)。行 李 は 大 小 と、中 と 三 つ あ り お った なあ (有りました)。大 の お は (のは) こ の 位 も 有 る し



(長径 150cm位)、中んのおは わしらな (が) 働さ  
ん (に) 行く時ん (に) 持つのなし (持つのです)。  
小、言うも又、それより ちっちゃい (小さい) のお  
で (ので) みい通り (三通り) ありおった (有りました)。  
フジコオリに ヤナギコオリに タケコオリ言  
うて みいしな (三品) ありおった。編んどいて (編  
んで) 有る もん (物) に依って。

**こおり (こほり) (郡) 【名詞】** 国の下に属する行政区画  
の稱、町、村、郷、里などを含む。[会話] シマゴオ  
リ 昔や (は) 志摩ゴオリや (だ) 言よおったもん な  
あ (言って居たものです) 志摩郡言うのを シマゴオ  
リ 和具村言うてなあ。

**こおりあがりはな (行李上端) 【俚諺】** 行李 上がり端  
(出入口) 出て行け。離縁の徴 [会話] 嫁をなあ  
気に入らんと (いらないと) 戻したんの (てやるの  
に) 戻ってけ (て行け) 言われやせんし (言えない  
し)、コオリヲアガリハナい (玄関口に) 置いとくと  
なあ (ておくと)、そすと (すると)、まあ こや (こ  
れは) 俺ん (に) 行け言うので 出してあんねなあ  
(有るのだ) おもて 戻ってく (戻って行く) 嫁も有  
るし、まあ おんな (俺の) 道具 こいな (こんな)  
とこい (所へ) だな (誰が) 出してくれたんかいのお  
(くれたのか) 言うて、中い入れててくのも (て行くの  
も) 有るし、玄関え、まあ、出しとくんやろ (ておく  
のでしょう) これ持って出てけ (出て行け) 言うよお  
んなあ (ように) 離縁状みたいな (のような) 意味で、  
姑親は出すわけやけど (だが) また嫁な (が) かしこ  
おて (賢しくて)、まあ おんなのお (俺のを) こ  
いな (こんな) とこい (所へ) だな (誰が) 出してく  
れたんかいのお 言うて、また入れとく (入れてお  
く) 人も有るしなあ。それ、まあ 本気ん (に) して  
ごおわかして (腹立てて) 出てくのも (出て行くの  
も) 有るし。そして、言葉で お前や (は) 気に入ら  
んよって (から) 出てけ (出ていけ) 言うも、わしや  
(私は) 後から来たねよって (来たのだから) ばあさ  
ん早よから (早くから) 来たねよって (来たのだから)  
早よ (早く) 来たもん (者) から 出てかんせ  
(出て行きなさい) 言う嫁も あんねてわい (あるそ  
うです)。

**ごおりきいも 【名詞】** 薩摩芋の一種。[会話] 美味しい  
芋な (が) 出て来ると、噛んで、ゴオリキイモ 美味  
おて (美味しくて)。

**こおりざと (氷砂糖) 【名詞】** 形や色が氷に似て居ると  
ころから、純良な砂糖を一度とかし、ゆっくり水分を

蒸発させて大きな結晶にしたもの。そのまま菓子とし  
て、又製菓、料理、果実酒などに用いる。[会話] コ  
オリザト かつたい (堅い) しいろいのなあ (白いの  
です) 氷砂糖。コオリザト兄貴な (が) くとて (食べ  
ていて) おとと (弟) な (が) 兄貴、コオリザトかい  
てや (ですかと) 言えば) そおだ そおだ言うて おと  
た (弟は) 兄貴な (が) ソーダくとる (食べている)  
思とるし (思っているし) コオリザトくとても (食べ  
ていても)。

**こおりね (こうりね) (小売値) 【名詞】** 小売で売買され  
る価格、値段。[会話] 小売りした時のねえ (値) コ  
オリネや (です)。市相場と小売り相場と 色々あつて  
なあ 市場のねえ (値) で買うと 札値でこおた (買っ  
た) 言うし、市場はねといて (通さずに) 買うと コ  
オリネ。

**こおりよお (こうりょう、かうれう) (香料) 【名詞】** よ  
い香りを発散するもの。[会話] 香水や (とか) 匂の  
するもん (物) をコオリヨおな (です)。

**こおるい (こうるい、かうるい) (柑類) 【名詞】** 香類  
柑橘類 果実類 (志) [会話] コオるイ言うな (の  
は) 蜜柑とか果物な (です)。夏蜜柑とか、柿とか言  
うて、なりもん (なり物) 事なあ コオるイ。蜜柑だ  
けや (で) なしん (なくて)、柿でも梨でも コオる  
イバタケ 言うてなるもん (物) を、くだもん (果  
物) を、コオるイ言うてなあ。コオるイバタケな  
(が) 有つて言うて なりもん (物) の きい (木)  
が 有ると コオるイバタケな (が) あるよつてなあ  
(有るから) 言うて。

**こおるいばたけ (こうるいばたけ)。こおるいやま (こ  
うるいやま) 【名詞】** 柑橘類の有る場所。

**コオるタン 【名詞】** 石炭灰溜によって得られるタール。  
黒色粘り気ある油性物質。

**こおる (こうろ かうろ) 【名詞】** 香炉 香を焚くのに用  
いる器 [会話] 香のなあ (です)。昔や (は) あい  
な (あんな) コオロやどけ (など) 使わへんなあ (使  
いません)、あいな (あんな) 上品なもんなあ (物)。  
こおぼこ (香箱) や (だ) 言うて、四角な こげな  
(こんな) きい (木) でなあ、こさえた (作った) 中  
えなあ せともん (瀬戸物) のおえ (のえ) 砂 入れと  
いて (ておいて) 香箱や (だ) 言うて 言よおつたの  
(言って居たのです)。

**こおろし (子鹽) 【名詞】** 鹽胎

**ごおわかす (ごうわかす)** いらいらする。腹立てる。癩  
にさわる。怒る。(志、鳥(答志)、桑市、鈴郡、鈴市、

安、松、尾、北) [会話] ゴオワカス言うてなあ、腹の立つのを ゴオナ (が) ワク言うの。腹な (が) 立って、腹な (が) 立って しやあないのを (しかたがないのを) ゴオナワイテ なっとも (なんとも) かつとも (かとも) しょおな (仕方が) ねえわれ (無いのだ) 言うて、ゴオナ (が) ワイテ ゴオナワイテ 五、五、二十五やれ (だ) 言うてなあ。

**ごおわく** 腹が立つ ごおわくす参照 (志、鳥、伊、鈴市、安、松、度、北、尾)

**こか** たわむれ 冗談 [会話] コカグチ (口) 言うて、冗談言うにげ (人間) を、あや (彼) コカユイヤ (だ) 言うて、冗談言う。

**こか** 此処は [用例] コカ 何処どい (ですか)。

**こが (桶) [名詞]** 桶の大きい物。樽、味噌、醤油を作ったり物を貯えたりする。大なる桶をコガと言うこと他国に曾てなし、其の義如何。答 酒を造るには桶の新しく木香のいまだ消えざるを好とする故に酒商人の木香ある大桶を用い終に木香と云ひ来たれるなり。是よりして酒の具ならざれども、彼 酒商人の用いる程なる大桶をば皆木香と言うなり。木香は桶の大小には由らざるを、今は大桶の事と成りて、古くして香なきも、大なるをば皆言うなり。(志 (布施田、浜島、鶴方、神明、立神、甲賀、国府)、鳥 (坂手)、松) [会話] コガ 言うな (のは)、樽の事 酒樽 を。酒の樽のあがり (使用済みのもの) へ、米や麦 獲 って 皆並べおったわい (並べて居ました)。コガ よけ (沢山) 使いおった (使っていました)。

**こがい (こがひ) (小買) [名詞]** 漁師、海女の獲物を市場へ渡す前にその一部を直接消費者が買うこと。生産者より直接買う事。市場、店を通さず直接生産者から買うこと。[会話] 海女さんと直接、コガイ 行くと、あきんど (仲介人) な (の) 札値で売ってくれんの (くれるのです) ちよいちよいつ (少しづつ) 市場へ出さんと (出さずに)。芋、売ってくれるかい (くれますか) 言うてくると わしげん (私の家の) の (のを) やるわい (あげます) 言うて、市い (へ) 出さんと 売んのを (売るのを) 小売りなあ (です)。芋な (を) よけ (沢山) 獲 ってもなあ 市い (へ) 渡さんと (渡さずに) 小売りい (に) 皆、売ったたよお (売ってしまった) 言うて、一般の家い (え) 買いん (に) 来る人をなあ コガイや (だ) 買う人コガイ 言うし 売る人、小売り コガイ 言う時は 市場や店を通さんと (通さずに) 直接まあ わがと (自分が) 作ったもん (物) なんでも その家で 買いんくる (に

来)。市へ 渡したらん (渡さない) うちん (間に) 売ってくれるかい (くれますか) 言うて 頼みん (に) いてなあ (行つて)。芋でも麦でも、豆でも、小売り 言うて 普通の店屋で売つとんのやなしに (売っているのではなくて) 個人の家いなあ (に) 買いんくんの (に来るのです) 小売りしたり コガイしたりすると 普通の店より安いわい (です) 売る方も ちよいと (少し) たっこお (高く) 売られるし。

**こかいい [名詞]** 冗談ばかり言う人 嘘を言う人 こかぐち、こか参照

**こがいに** こんなに (志 (甲賀)、鈴市、一、度、北、南) [用例] コガイニ よけあんのん一つくれえ (沢山有るのに一つ下さい)。

**こがかす** 焦げさせる [会話] 焦げる言うの、コガカシタテ (かして) まあ言うて。コガカス 言うね (のです) 焦がした言うのをなあ。コガラカシタ まあ、なんもかも (すべて) こんがらかして (焦がして) 真つ黒やれ (だ) 言うて

**こかぐち [名詞]** 冗談口 [会話] 冗談言う事を コカグチ 言うの (のです)。あの人 まあ こかぼつか (ばかり) 言うて、言うてなあ コカユイで言うてなあ 冗談言う人をなあ、コカイや (だ) 言うて

**こかげ (小陰) [名詞]** 身を陰したりする少しの物陰。[会話] きい (木) の陰 コカゲで昼寝して、夏あ (は) けなりよおなれ (羨やましいようだ) 言うてなあ。きい (木) の陰いなあ (へ)、昼寝しとる (している) 人な (が) 有りおったわい (有りました)。わしら (私達) コカゲい (に) いて (行つて) じよおり (草履) 作ったり なんやかや (いろいろ) しよおつたんなあ (して居ました)。ちよいとした (少しの) 陰な (です) コカゲい (に) まあ ちよいと (少し) 休すもやんかあ (休みましょう) 言うてな、きい (木) の陰 ばかやなしんなあ (ばかりでなくて)、道通とて (ていて) 軒下い (へ) いてなあ (行つて) コカゲ通つてなあ。きんだまも コカゲい (に) 住めど色黒て コカゲい (に) 住んどんねけど (でいるのだが) 色な (が) くうろい (黒い)。

**こかご (小籠) [名詞]** 竹で編んだ小さな籠。[会話] 子供らが持つちっちゃい (小さい) のを、コカゴや (だ) 言うて。

**こかされる** 倒される (度)

**こがし (焦) [名詞]** 麦粉、大麦を炒つて粉にした物。(員、桑、桑市、鈴市、多、松、上、阿、張、名、南) [会話] 麦粉 コガシとか、はつたいとか言うな

あ (言います)。麦粉の事なあ (です)。麦糎ると、ほおろくで煎っというて (ておいて) 挽いて わがとな (自分が) しょおったけど (して居ましたが)。搗屋な (が) 出来てから挽いて貰よおったけど (貰って居たが)。豆のおお (粉) でも、むぎこでも 皆、わがとらな (自分達が) 挽きおったの (挽いて居たのです)。今しや (今は) 袋い (に) 入れて売っという (けれど)、わしらの時分 (頃) にか (には) 喰いと なって来ると (食べたくなると) わがとらな 挽かなはざん (挽かなければいけなかった)。匂な (が) ええ (よい)、すばらし (すばらしい) 匂いな (が) しょおった (して居ました)。

**こがしこい (小賢) 【形容詞】** 少し賢い [会話] こじんまりしとると (小さくまとまって居ると) ちよっこり (小さく) として コガシコイ よおななあ (ようだ) ええなあ (よいなあ)。

**こがしら (郷頭) 【名詞】** 部落、集落の支配をする人。世話人。[会話] 月に一回 ごひまち (郷日待、集会) しょったわい (して居ました)、そすと そのやどする家 (集まる家) を ごひまちの (郷日待) やどや (宿だ) 言うて、ゴガシラの家で 今しで言うて 内会長やわい (です)。

**こかす (転、倒) 【他サ五】** 倒す (志 (浜島、布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥、桑市、員、三、鈴市、津、一、松、多、上、阿、張、名、度、北、尾、南) 2) ころがす 転がす (志、員) [会話] <sub>1)</sub> 麦コカスとか、麦を刈ってころばかして (転ばして) すんの (するのを) かりぼし (刈干し) や (だ) 言うて、刈ってな (は) コカシ、刈ってな コカシすんのも (するの) コカス。麦蒔いておつきなると (大きくなると)、くさむぎ (草麦) の うちん (間に) 枝な (が) 張るよおん (ように) 石で コカシおったの (倒して居たのです)。二、三回つ (位)。そして、土一回かぶせて そして又、そんな (それが) たちやがって来ると (立ち上がって来ると) 又、コカシテ 三回位つコカシテ 土きせしよおったの (かぶせたのです)。石こきさえてもるとて (作ってもらって居て)、がっこな (学校が) 休みんとき (の時) はよ (早く) 麦コカシン (に) 行けよ (行きなさい) 言うて、あいら (彼等、子供) 使こて (使って) コカシというて (ておいて)。その こけたとこ (所) い (へ) こんだ (今度は) 土を、鋤でばらばらと着せると 枝な (が) 張って来んねやんかな (来るのです)。ほかから、めえ (芽) な (が) 出

来るやんない (でしょう)。そげんして (そんなにして) 三回位つコカシてな (は) 着せると よお (よく) 枝な (が) 張って 畝一杯になって、ええもんで (良いので) がっこな (が) 冬休みん (に) になると、そや (それ) 麦コカセよお (倒しなさい) 言うて。コカシン (に) やよおったの (やりました) 子供らに。そすと (すると) わがとらな (自分達が) その後い (へ) 土覆せて 二、三回。よおせんと (出来ない) と 二回位で おくんけど (止めておくが) てえ (手) な (が) 廻ると 三回位すると、又 ええねて や (よいのです) 麦な (が) ねえ (根) 張って そいな (そんなのを) コカス。きい (木) でも切つてコカシ (倒し) とけよお (ておきなさい) とか言うてなあ。ねやす (寝さす、横にする) 事なあ (です) コカス。

**こかた (子方) 【名詞】** 雇人 (志 (甲賀)) [会話] 親方、コカタ、土方でも大将は親方、親方言うて。雇われとる (て居る) 人はコカタ言うて。コカタは土方の下働きをコカタ。

**こがたな (小刀) 【名詞】** 小さな刃物、ナイフ、日常の雑用に使用する小さい刃物 (志 (鶴方)、鳥 (坂手、相差、答志))

**こがつお 【名詞】** 鯉の小さい物 (三重県全域)

**こがつなり 【名詞】** 野菜などの初めてなったもの はつなり はつもの [会話] 南瓜でもい (に) 植えて、五月頃ん (に) になると一番なりして来るわい (来ます)。一つ、ふたあつうつ (二つづつ)、一番なりはまた美味いねてや (のです)。そして ちよいとして (しばらくして) 二番花な (が) 咲いて来たれ (来た) 思うと、こんだ (今度は) おそなりな (が) してくんの (して来ます) そして一番に生ったの一番なりや (とか) ゴガツナリや (だ) 言うて。

**こがつひまち (五月日待) 【名詞】** 海女の行、五月の集会。皆が寄り集まって宴会を行う。他に、三月日待、六月日待、あがり (終り) 日待がある。[会話] ゴガツヒマチや (だ) 六月のひまちや (だ) 言うてな 磯人 (海女) や、じょおしな (漁師が) 節句の有る月 んなあ (に) ゴガツヒマチして、六月は ごさい (御祭) やもんで (なので) 六月ひまち言うてするしなあ、そすと (すると) こんだ (今度は) 九月に終るとなあ その時ん (に) ま、しまい (終り) のひまちんなあ (です)。

**こがね (小金) 【名詞】** ある程度まとまった額の金銭。ちょっとした額の金。[会話] コガネ貯めて 言うてな、

ぜん(銭)をなあ よけ(沢山) 持っとも(ていても) そげん(そんなに) ほしらめやせんしなあ(自慢しないし)、そして 金な(が) 有る言う家はなあ あの家や(は) コガネ貯めとて(ていて) 言うてなあ。コガネ貯めとんねてない(ているそうだ)、あげんして(あんなに) つね(いつも) こおとん(質素に) するもんで(ので) 言うてなあ。大金持ちにならんけど、少々余裕が有って、余裕な有る言う事な(が) 人のめえ(目) から見ても判ると、あの家や(は) まあ 全しゃ(今は) みんな(皆) が、稼ぐもんで(ので) コガネ貯めてあや(あれ) ほこほこしとられ(している) 言うて、お多福に三味線やなあ(だ)、ふくつんや(だ) なあ言うて。

**こがねそ【名詞】** しろさばふぐ 体は長く、小棘に覆われる。体背面の小棘は背鰭の起部に達しない。尾鰭はやや湾入する。体の背方は黄褐色か緑褐色で、腹方は銀白色。胸鰭と背鰭は黄色あるいは白色。臀鰭は白色。尾鰭は黄色で上縁と下縁は白色。体長30cm無毒かなふぐ 体の腹面に小棘があるが、背面には無い。鰓穴が黒いので他の種と区別できる。体長50cmに達する事も有る大型種。

**こがねぶぐ(黄金河豚)【名詞】** さばふぐ くさふぐ 体は小棘で覆われる。体の背方は暗褐色で多数の白色点に覆われる体長10cm 肉と精巢は弱毒、肝臓、卵巣、腸は猛毒(志)

**こがま(小鎌)【名詞】** ひじきを採取する時に使用する小さい鎌。(志、鳥(石鏡)、鈴市) [会話] ひじきりがま言うのんなあ(言うのです) コガマの事を。ひじきかんのん(刈るのに) ちっさい(小さい) 鎌な(が) あよおったわい(有りました)。草刈り鎌はおっさいし(大きいし)、ひじき鎌言うて(言つて) ひじき刈る時ん(に)、ちっちゃい のおを(のを) 鍛冶屋でこおて(買って) 来て、ひじき 刈る時ん(に) 持て来よおった(行きました)。

**こがまい。こがまえ(こがまへ)(小構)【形容詞】** 小人数の家族の家 家族の少ない事 [会話] コガマエ言うな(のは) こおぜの(小勢の) 事なあ(です)。二人か三人より にげ(人間) な(が) おらへん(居ない) のをなあ、あの家や(は) コガマエやよつて(だから) 楽なあ(だなあ) 言うて、おらぎや(俺の家は) おおがまえ(大勢) で言うてなあ。

**こかゆい【名詞】** 冗談ばかり言う人。[会話] あや(彼は) コカユイヤ(だ) 言うて 冗談言うと。

**こがら(小柄)【名詞】** 1) 体が普通より小さい事。

2) 着物の模様が細かい事。[会話] 1) せえ(背) な(が) ちっちゃい(小さい) 事なあ(です)。あのひた(人は) コガラやなあ(だ) 言うしなあ(言います)。2) きもん(着物) のがら(模様) でも ちっさい(小さいと)、コガラな(が) 好きやなあ(だ) なんでも(何でも) ちっさいのを。相撲さんでも 舞の海や(は) コガラでなあ。

**こがらかしたた** 焦げさせてしまった 焦がした [会話] 焦げる 言うの コガラカシタ言うて。焦がした言うのを コガラカシタまあなあ なんもかも(すべて) こんがらかしたて(焦がしてしまって) 真っ黒やれ(だ) 言うて

**こからかす** 倒す 倒してしまう

**こがらかす(焦)【他サ五】** 焦げつかせる(南) [会話] コガラカス、焦す事を、コガラカス。豆 煎ったや(たら) コガラカシタテ(焦がしてしまって)、ほうろくで 煎つて、ひい(火) な(が) きつつい(強い、きつい) と コガラカシタラレ(てしまう) 言うし(言います)。餅 焼いても、ひい(火) きつつうすると、真っ黒ん(に) したると(してやると) コガラカシテまあ言うて。焦げる事 コガラカス。

**こがらす** 焦げつかす 焦がす

**こがれくさい(焦臭)【形容詞】** 焦げくさい。[会話] 焦げる かざ(匂) な(が) すんのを(するのを)、焦げたおりん(時に) 匂いな(が) こおなんやら(何か) するわいなあ(します)、コガレクサイのおは(のは)。

**こがれじに(焦死)【名詞】** 恋しいと言う気持がつつて心身共に衰弱し死亡すること。[会話] コガレジニ 言うて あの人のとこい(所へ) 行きたいなあ 逢いたいなあ 言うて、恋いこがれて まあ、死んだれ(死にました) 言うて コガレジニ したんてわれ(したそうだ) 言うて。

**こがれつく(焦付)【自カ五】** 物が焦げて、鍋釜にくっつく。[会話] コガレツク言うて 飯な(が) コガレツイテ こやれ(これ) 鍋も 真っ黒やよお(だ) 言うて。忘れたてなあ(てしまって)。そすと それ、ガスやよつて(だから) ひい(火) な(が) きつつい(きつい) よつてなあ(から) 鍋、まあ、真っ黒ん(に) して。

**こがれとる** 焦げている [会話] 豆なあ コガレトンなあ そんだけ(それだけ) えつといて(選り分けて) すんねてや(するのです)、そやけど(しかし) こがれくそおて(焦げ臭くて) 食われやせんなあ

(食べられません) こがれかしたると (させてしまう  
と)。

**こがれめ (焦目) 【名詞】** こげめ 焦げたあと

**こがれる (焦れる) 【自ラ下一】** 1) 焦げる。火に焼けて黒くなる。日に照りつけられて変色する。

(志) 2) そうなりたいとひたすら思う。あこがれる。深く恋したう。[会話] 1) コガレル言うのは 焦げる。焦げてた (て行った) 言うのも有るし、2) 人に 恋コガレル言うて 待ちに待つ事、恋に コガレル言うて、ものすごお (大変) 恋しいのを 待ちこがれた言うて、コガレル言うね (言うのです)。

**ごき (御器) (五器) 【名詞】** 木の椀 茶碗 五器 (椀、平、壺、高杯、汁椀) (志 (甲賀)、鳥 (国崎)) [会話] ゴキ言うて 茶碗の事 ゴキ言うねやんない (言うのでしょうか)。昔や (は) ゴキな (が) いごいても (動いても) よばれてく (招待されて行く) 言うて、茶碗の事をなあ ゴキな (が) いごいても よんでく れて (招待してくれて) 言うてなあ、ゴキや (だ) 言うね (言うのです) 茶碗を。

**こきあげ (扱き上げ) 【名詞】** 稲こきが終わる事。又、その祝い。(志 (越賀)) [会話] コキアゲや (だ)、かやげ (刈りあげ) や (だ)、言うて (言って)、たあ (田) を かやげる (刈り終ると) と、今日は かやげで ごっつお (御馳走) した言うてなあ。全部刈ったる (刈ってしまう) 事を、刈った時ん (に) かやげ 言うし (言いますし)、そして 全部こいて (脱穀して) 終わった時ん (に) コキアゲ 言うて (言って)。コキアゲでごっつおしたてたら (とか)、刈りあげて 言うて 言よおった (言って居た)。かずけて (名をかりて) ごっつおして、喰うのな (のが) 楽しみやもんで (なので)、コキアゲや (だ) かやげや (だ) 言うて、畑は言わせんけど (言わないが) たあ (田) の時んなあ (に)。畑は かやげて、ごっつお喰うたてて (所で) 麦飯やわい (です)。掘りあげて いもんにやげ (芋煮上) やとか。そやよってん (だから)、たあ (田) は かやげや (だ) 言うて、米な (が) 取れたんよって (取れたのだから) 米の飯炊きや (炊けば) ええけど (良いが) 麦や (は) かやげたてて (ても) 麦飯 とんぼの頭 (麦) よばれや (御馳走になれば) 関の山や (精一杯です)。

**こきあげいわい (扱上祝) 【名詞】** 稲の収穫作業が全部終わった後の祝

**こぎあみ (漕網) 【名詞】** 海中に網を入れ舟を漕いで引く漁法

**こぎおとす (扱落) 【他サ五】** しごいて落とす。[会話] しごく事を言うんかい (言うのですか)、コギオトス 言うねよって (言うのだから)。なんやかや (いろいろ) 付いとると まあそや しごいたれまあ言うやんない (言うでしょう)。しごいて 落したれ 言うて、てえ (手) で、こおしてすんの (するのを) しごく 言うて なあ、そや (それは) しごかな (なければ) 落ちやせんわれ (落ちない) 言うてな

**こきおろす (扱下) 【他サ五】** 辱しめる 悪く言う こきは接頭語

**ごきごき 【形容詞】 【副詞】** 物が大量になくなるさま。量の変化の多いさま ごいごい。[会話] おおた ごき と減ってたれ (ていった)。ゴキゴキ減って まあ こやれ (これ) 言うて な、なんやかや (いろいろ) ご そと 減って 一つ一つ取らんと (取らずに) ぐさ と掴んでくと (で行くと)、ゴキゴキ減つとんな (ている)、誰かもてたんなあ (持っていたのだ) とか、米櫃な (が) ごき と減つとんない 言うてなあ。昔や (は) 茶碗で 計ってすんねよって (するのだから) やんない (でしょう) 五合も 一升も 掬ってくと (て行く) まあ なあ 米櫃な (が) ごき と減つとんない 言うてなあ ごき と とか、ごし と減つとる (ている) とか 言うてなあ

**こぎたない (小汚) 【形容詞】** 1) やり方がきたない。2) 少し汚れて居る。どことなく汚れて居る。薄汚い。[会話] 2) コギタナイ とか 薄ぎたない とか。コギタナイ 言うて、ちよいと (少し) 汚れたのお (のを) 言うん やるなあ (言うのでしょうか)。薄ぎたない べつんも (特別に) 汚いのお (のを) 薄ぎたない 言うし (言います)、コギタナイ 言うな (言うのは) ちよいと (少し) 汚れたよおん (ように) しとんの (して居るのを) おおた (ああ) コギタナイ ふう (格好) して 言うて。1) 人にするしわざ (仕業、しかた、接し方) が あんまり (余り) こまかい (細かい、小さい) 事すると、汚ない とか、こまかい。コギタナイ 事して まあ 言うなあ (言います)。あんまり きれくち (切口) な (が) わり (悪い) 言うわけや (言うわけです)、出すのな (が) 出しぎたない とか 言うのな あ (のを) コギタナイ なあ。

**こきつかう (こきつかふ) (扱使) 【他ワ五】** 人をやたらに使う 追い使う

**ごきと 【形容詞】** 大変。量の変化の多いさま。すっかり、残らず ごいごい参照 (上、阿、張) [会話] ゴキ と へってた (減って行った)。誰やら (か) 持

たかして (持って行ったのか) ゴキット減つとんなあ (減って居る)。きんこ (芋の煮切干) も 此の桶一杯 いっとたや (入って居たら) ゴキット減ってたない (減っていった)、だれ (どれ) のらな (お前達が) 持ってたんか (持って行ったのか) てな事 (というよう な事) 言うて。ゴキットは、よっけ (沢山) 持てた (持って行った)。ごそつと 持てくの (持って行く のを)、ゴキット言うて。ごそつとも、ゴキットも一 緒やけど (一緒だが)。よけ (沢山) 目立つ程 持て くとなあ (持って行くと) ゴキット言うなあ (言いま す)。ゴキット減ってた (減っていった)。

**こぎて (漕手) 【名詞】** 舟を漕ぐ人

**こぎばり (漕張) 【名詞】** 魚群を網で取り巻いて、捕る 漁法。とりやま参照 [会話] コギバリ 言うて、鯛 な (が) わくと (群れると) その鯛い (へ) 追わえん ねもんで (追われるので)、錨 やらんと (入れずに) 鯛のわいた方 むいて (向かって) 追わえんのおで (追わせるので) いっち (一番) 忙しいんやんかい (忙 しいのです)。

**こぎふね (漕船) 【名詞】** 櫂を推力とする舟 (志) [会 話] 櫂、漕ぐ舟はコギフネ。機械のかかつとんな (付いているのは) 機械舟。

**こぎやい (漕合) 【名詞】** 舟を漕いで競争する事 [会 話] 競漕すんの (するのを) 漕ん (い) でなあ コギ ヤイしてなあ、おしやいや言うて 隣の舟と おしやい して負けたよお言うて。おしやいして、磯場とりやい (取り合い) すんの (するのです)。ど (櫂) 漕ぐの をなあ 押す言うの。ど (櫂) 押す言うてな、コギヤ イ言うのを 押しやいや (だ) 言うね (言うのです)。

**こきやげ 【名詞】** 脱穀の終ること こきあげ (志) [会 話] たあ (田) 刈ると かやげ (刈り上げ) 言うて ご っつお (御馳走) して、そすと 又 コキヤゲい (に) よばれてたよお (招待された) 言うて、コキヤ ゲすると。

**こぎる (小切る) 【他ラ五】** 1) 小さく切る。少しずつ 区切って分ける。(志 (鶴方、神明、立神、国府、安 乗)、桑市) 2) 田、畑の土を細かく砕く。3) 値切 る 商売のコギルと言うは、狐疑ルナリ。嘘價を疑う 也と言う書あり、推説なり。小切るなり。大なる価を 少く切り落とすなり。故に値切るとも言うなり。(伊 勢の浜荻) (志 (浜島、布施田、鶴方、神明、立神、 国府、安乗)、鳥、伊、員、三、鈴市、安、津市、多、 上、阿、張、度) [会話] <sup>3)</sup> ねえ (値を) まけてくれ ね (負けて下さい)。間崎の人らな (が) 郵便局来る

と、一銭五厘の葉書 昔、郵便葉書一銭五厘言うてき まつとつたやんない (決まって居たでしょう)、そや よって (だから) おとしや (やれやれ) これ あに さん (兄様、他人の男子を呼ぶ時) 一銭五厘言うて五 厘のはあ (半端) 負けて呉れえ (下さい) 言うて郵便 局い (へ) 来てコギル。郵便局い (へ) 来ても コギ ルな (のは) 間崎だけやわい (です) 言うて、郵便局 の人らな (が) 言よおつたてや (言っていました)。  
1) 物 ちっそお (小さく) 切り分けるのもコギル。コ ギリしとけ (しておけ)、こまこお (小さく) コギリ して。たあ (田) をなあ、田植えする前に打つ (耕 す) のも たあ コギル、そして なんか (なにか) おっさいのおでも (大きいのも) コギリしといて (しておいて) すや (すれば)、喰いよん (やすい) のおに (のに) 言うのも コギル。ねえ (値) を 負けて呉れ 言うのもコギル。物、負けて呉れ 言うのな あ (を)、あの人あ (は) コギんのおで (ので) まあ 言うて みせや (店屋、商売する店) の人な (が) 嫌 うのなあ (のです)。<sup>2)</sup> たあ (田) 打つ言うな (うの は) 一番始めに 打つといて (耕しておいて)、今度 コギル 言うて ふたあくらめ (二度目) かぶ (株) 輪切りする。あっちゃ (他所) ほおは (方は) 株切り 切り割り言うて、切り割りすんの (するのを) ここの 人ら (は) コギル。始めは 株おこす (掘りおこ す) 時や (は) あらうち、今度 打つ時や (は) コギ ラな (こぎらなければ) はざんな (いけない) 言うて、 そすと (そうすると) 又 植える時ん (に) なる としたごさえ (下準備) 言うて、又もおひとくら (一 度) 打って こやし (肥料) やって えぶりついで 植えるよおなあ (ように) なだらなおす (滑らかにす る)、それをコギル 言うのなあ (のです) ふたあくら め (二度目) 打つのを。

**こぎれい (小綺麗) 【形容詞】** 綺麗 こ は接頭語 コ (小) に同じ

**こく 【他カ五】** 1) 言うを卑しんで言う語 (志、鳥、伊、 員、三、鈴郡、鈴市、安、津、松、多、上、阿、張、 名、度、尾、南、熊) 2) 屁をするを卑しんで言う語 (伊) [会話] <sup>2)</sup> へえ (屁) コク、<sup>1)</sup> 嘘コク、嘘こき や (だ) 言うし。屁コク、屁ひる言うけど (言います が) 和具の人ら (は) 屁へりや (だ) 言うて。屁ひり とか、屁へりとか言うて、へるとか、ひるとか 和具、 他所は 屁コクとか。

**こく 【動詞】** ある事をする。伊達コク。朝寝コク。俗 に朝寝コクといふは、朝稲こくに寄り足り。又うそこ

く、だてこくなど罵詞にいふめり。信伝、故本節用  
稲扱(コク)、運歩色葉 漏失 和名抄 霍乱をしり  
より、口よりこくやまひとあり、口よりもこくと言う  
にや。くく漏と同音か。俗言 屁をこく。虚言(ウ  
ソ)コク、無理をコクなど言う。言に出す由なり。

(度会地方方言集) 漏失 もれてなくなること。もれ  
おちること。(伊、桑、員、三、鈴市、安、津、多、  
上、阿、張、尾、北、南)

**こく(扱)【他カ五】** 脱穀する。麦こく。稲こく。豆こ  
く。細長い本体についている物を、手でこすったりし  
て、無理に離し落とす。むしり取る。しごく。脱穀す  
る。(志(布施田)、南)

**こぐ(漕)【他ガ五】** 1) 櫓を操って舟を前進させる。  
カク(掻)の転(大言海) 2) 居眠りする。

**こくげん(刻限)【名詞】** 時間。特に限定した時間。  
[会話] コクゲン 言うのは 時間、丑のコクゲン。  
丑のコクゲン言うのと、十二時すんだ(過ぎた)頃を、  
十二時から一時二時頃を丑のコクゲン。うしみつごろ  
とか。

**こくし【名詞】** こくし、の誰か。こくしはとうし(骰  
子)の百姓読 とうしは隻六の賽 落ち松葉、又それ  
を立方体にしたもの(志、鳥)

**こくず(子屑)【名詞】** 發育不良の子供。又、すべての  
物で小さい物。發育しない物。[会話] コクズ 言う  
と、子供で言うと、子供の屑やなあ。なんやかや  
(色々) おっきい (大きい) のおて (なくて) ちっさ  
いのおを (小さいのを) コクズや(です)。あや(あ  
れは) コクズでおっきい (大きく) ならせん (ならな  
い) 言うて、こまかい (小さい) と。百姓のもん  
物でも、植えても ずんずんおっきくなってくんの  
と (大きくなって来るのと)、なんも (なんにも) お  
っきいならんのおと (のと) あるわい (有ります)。  
こや (これは) コクズや(だ)、なんも (少しも) お  
っきい (大きく) ならせんなあ (ならない) 言うて。  
おっきいならん (ならない) 事、コクズや(だ) 言う  
て。

**こぐすり(粉薬)【名詞】** 粉として服用する薬 散  
薬

**こくぞお(こくごう)(穀象)【名詞】** こくぞお虫と同じ  
(志、鳥、伊、南)

**こくぞおむし(こくごうむし)(穀象虫)【名詞】** 鞘翅  
目 ごみむしだまし科に属する小甲虫。こくぬすとも  
どき 体長4mm内外。細長く、扁平。全体、茶褐色。  
家屋内に住み、穀粉類を食べる害虫。額の背の湾曲し

て、垂れるのが、象の鼻の様で有る事から名付けた  
(大言海)(津)[会話] コクゾオは 麦や米へ、穀  
物い(に) わく (付く)、くうろい (黒い) 蚤  
(に) よお (よく) 似た虫な(が) あんの (有るので  
す)。それ コクゾオムン。

**こぐち(小口)【名詞】** 1) 端、切口。小口。棒状の物  
を横に切った切り口。物の端。片端。(志) 2) 物  
の数量や金額の少ない事。[会話] 1) コグチから 言  
うけどなあ(言いますが)。切り口のさきっぽをなあ。  
そや (それ) その コグチからすると、ええわれ (よ  
ろしい) とか言うやんかい(言います)。2) 物でも  
こや (これは)、コグチ (小口) おおぐち (大口) 言  
うて、物、分ける時ん (に) でも言うやんかい(言  
います)。おっきい (大きい) のおと (のと)、ちっちゃ  
い (ちいさい) のおと、すると 大口や(だ) コグチ  
や 言うし、そして なんやかや (色々) 切った切  
り口な(が) 有ると、その コグチから始めんかれ  
(始めなさい) とか言うて。端の事をコグチから 言  
うのなあ(言います)。

**こぐち【名詞】** 早緒の先に藁で作る櫓のつくに掛ける輪  
(鳥、北、熊)[会話] 早緒は下から棕櫚のいかつい  
(強いのを) のして来て、こんだ (今度は) その つ  
くい (櫓腕の突起に) 掛けん(る) のは コグチ 言う  
てな、藁でなあ ふっとお (太とく) のおて (編ん  
で) そして 尻 結んで そん (れ) ですると 藁は や  
いこいもんで (柔いので) そごい (当り加減) な  
が ええもんでなあ (よいので) どお (櫓) の つ  
くな(が) つかめんのん (掴まえるのに) ええん (よ  
い) やんかい (のです)。コグチな(が) そんだ  
い (その代り) じっきん (すぐに) 藁やもんで 切れて  
くけどな(て行きます) コグチな(が) 切れてくよ  
つてん(て行くから) 替ん(に) 持とらな(ていなか  
れば) はざんわい (いけない) 言うて。

**こぐち【名詞】** 役場の小使 ごおじ ごよじ 参照  
[会話] ごよじ (小使) 言うて、昔や(は) 言うし  
(言います) コグチ言いよつたね(言って居たので  
す)。

**こぐちから** 端から順番に、片っ端から(員、上、阿、  
張、名)[会話] コグチカラ取れえよお (取りな  
さい) 言うて、箱ん (に) 詰めて有っても そやまあ 真  
ん中から 取らんと (取らずに) コグチカラ 取ら  
んかれ (取りなさい) そいな 真ん中から ほぜらんと  
(掘らずに) 言うて 端から取る言う事を コグチカ  
ラ言う 端から端から 言うのを コグチカラ言う。

こぐって 潜って、くぐって

**こぐつぶし** (穀潰し) 【名詞】 徒食者。飯を喰うだけで、何の働きもしない人。人をののしって言う語。(志(浜島、布施田)、鳥、鈴郡) [会話] ゴクツブシ言うな (のは)、なんも (何にも) せんと (せずに)、寝たり、ころだり (転んだり) して、飯ばっか (ばかり) 喰うのなあ (です)。穀物の事 こく言うやんない (でしょう)。なんもせんと (なにもせずに) おる人を、喰うてな (ては) 遊び、喰うてな遊びしとると (して居ると)、あやまあ (彼は) ゴクツブシで なんもせんと。言うと、こくを喰うて潰すだけで、なんもならせん (ならない) 言う事 ゴクツブシ。あのゴクツブシのはてなしや (はてなしは) 言うて、よお (よく) わるう (叱る) やんかい (ます) なんも (何も) せんと おるとなあ。

**こぐづめ** (極詰) 【名詞】 大晦日 [会話] 年のゴクヅメや (だ) とか、おつづめ (終り) 迄 言うて、節季 (年末) の一番づめ (終り) ん (に) になると、おつづめて。

**ごくどお** (ごくだう) (極道) 【名詞】 悪事や酒色、ばくちにふける事。品行、素行のおさまらないさま。人をののしって言う語。極道にふける人。極道楽の下略 (大言海) 俗に人を罵詞にいへり、言句絶 (ゴクタフ) の義なるべし。ごくにたたずと言うは不堪言句の義なるへし (志(浜島)、鳥、伊、鈴郡、鈴市、一、久、松、多、上、阿、張、名、尾、南) [会話] ゴクドオ言うもだ、なんもせんと (なにもせずに) しとんのおを (して居るのを)、博打打ったり、賭事して遊ぶの (のを)、あや (彼は) ゴクドオや (だ) こくつぶしや (だ) 言うて、今し (今) で言う、やくざ の事。博打打って、昔や (は)、遊んだり して そいな (そんな) 人らな (人が) あやおったわい (有りました) そいな 人を ゴクドオや (だ)。

**ごくどおもん** (ごくだうもん) (極道者) 【名詞】 ごくどおに同じ (鳥(長岡、答志)、南)

**こくながり** (小暗) 【名詞】 薄暗がり、少し暗いこと [会話] 座敷のいなさかど (南東の隅) は、コクナガリしとる (している)

**こくぬすつと** (穀盗人) 【名詞】 徒食者。怠けて徒食している者をののしって言う語。

**こくぬすつともどき** 怠け者 もどきは似ているもの意

**こくび** (小首) 【名詞】 くび、こは接頭語

**こくびかたげる** 思案する

**ごくぶ** 【名詞】 神饌のおさがり。御供部か (志(布施田)) [会話] ゴクブ 言うな (のは)、神さんから、ゴクブや (だ) 言うて、米でも、お菓子でも、さげて貰うやんかな (貰います)。神さん あげたのお (物を、のを)、ゴクブ、さげてもらて来た (貰って来た) 言うて、観音さん (様) へ参っても、しょんがつ (正月) でも、縁日ん (に) になると、ゴクブや言うて (言うて) 呉れるやんかな (呉れます)。

**こくめい** (克明) 【名詞】 ひとつ、ひとつ、細かく念を入れる事。又そのさま。丹念。刻銘 (大言海) [会話] きちつと つけとると (記入している) なんもかも (すべて) コクメイに しとんねてわれ (しているそう) だ 言うてな、てえねん (丁寧) に なんもかも (なにもかも) つけとる 言う事やなあ (です)。

**こくや** 残酷だ

**こぐらい** (小暗) 【形容詞】 少し暗い

**こぐらかす** (他サ五) くぐらす [会話] コグラカス。おっさら (お手玉) しとても (していても) ちっさい (小さい) 橋コグレ 言うて、そや (それ) 此れ コグラカシテ取れえまあ (取りなさい) とかなあ、コグラカシトケまあ (ておきなさい) 言うて、潜るのを こぐる 言うて、コグラカシとけ (ておけ) 潜らしとけ 言うてなあ 今しの人ら 言うのなあ (です)。

**こくらがり** (小暗) 【名詞】 薄暗がり (阿、張、名) [会話] ちよいと (少し) 暗がり (暗い) となあ、コクラガリ なって 来た やんかあ (でないか) 言うてなあ。夕方 の日没前ん (に) になると、まあ ちよいと うすぐる (薄暗く) なって来るとなあ、コクラガリ なって来てなあ言うて、ちろちろん なって来て うすぐる (薄暗く) なって来ると、まあ、ちろちろ やれ (だ) まあ こや (此れは) 言うてなあ、ちろちろ 迄掛った 言うてなあ。朝も 言うなあ (言います) 薄暗い とか コクラガリ うち (間) から 起きて 言うてなあ。ちよいと 薄暗い と 明方の時を 言うんやろ なあ (言うのでしょうか)。東じらみ (東が明るい) や (だ) 言うてなあ ちよいと 東な (が) しる で (明るくなって) 来て なあ 早よ (早やく) まあ 起きな (なければ) はざんど (いけないぞ) まあ、東じらみやどお (だぞ) 言うて。

**ごくらくとんぼ** 【名詞】 楽天家 とんぼは気楽で何もしない人の意 [会話] ゴクラクトンボ言うて、なんも まあ (少しも) 苦勞せんと (せずに) 気にせんと なあ (せずに)、ふからふから しとんのなあ (しているのです)。あや (彼は) まあ ゴクラクトボや なあ



(だ) 言うて。人な (が) なと (なんと) 言うても  
怒らへんしなあ (怒らないし) 仕事もしよおとしやへ  
んし (しないし) 金も稼ごと (稼ごと) しやへんし  
そげな (そんな) のおを (のを) ゴクラクトンボヤ  
(だ) 言うの (のです)。あや (彼は) まあ ほん (本  
当に) ゴクラクトンボヤなあ (だ) なんも (少しも)  
苦労もせんと (せずに) まあ ひよか ひよかと言うて  
なあ。

**こぐる (潜) 【他ラ五】** 1) くぐる 潜る 低い所や狭い  
所を、体を曲げて通り抜ける。又、水の中や土の中な  
どに入る。(志 (浜島、鶴方、神明、立神、甲賀、国  
府、安乗)、鳥 (加茂)、一、上、阿、張、名) 2) 潜  
水する [会話] 1) 潜るのをなあ 潜らかせ言うの  
(のを) ゴクラカシトケ (ておけ) 言うて。

**ごくろおさん (ごくろうさん) (御苦労様)** ご苦労さま  
有り難う 感謝の気持ちを表す

**ごくろおしてくれえ** 出かけて来て下さい。おいで下さ  
い。どうか御出掛け下さい。招待する時の口上。

**ごくろおやお (ごくろうやなう)** 1) 御苦労さまです。  
仕事などをして貰った後の感謝の話。2) 訪問を受け  
た時の挨拶 (南) [会話] 1) おおた まあゴクろオヤ  
(です)、大儀やお (です) 言うて。大儀やった  
のお (でした) 言うて。えらい (大変だ) 言う事な  
あ (です) 大儀やお 言うて。仕事な (が) えら  
いとなあ (大変だと) なんか (何か) 仕事してもおた  
(貰った) 後でなあ ゴクロウヤッタナア (でし  
た) とか、どいらい (大変) 大儀やったなあ 今日  
は、言うてなあ、御礼の言葉な (です) ゴクロウヤノオ  
言うてなあ。

**こげ** こんなに (志、度) [会話] コゲン (こんな  
に) よけ (沢山) 仕事もしてもろて (貰って) 言うて、  
今日は、コゲンも (にも) して もろたんのお (貰ら  
ったのですね) よかったのお (です) 言うてなあ。物  
貰うと おおた (ああ) コゲン よけ 呉れんのかい  
(呉れるのですか) 言うて、こんなに沢山 呉れるん  
かな (のですか) 言うのをなあ コゲン (に) よけ  
呉れるんかい 言うて、コゲンとか コゲにとか、コ  
ゲにより コゲン言う方な (が) よけ (多く) 有るな  
あ。おおた (ああ) そげん (そんなに) よけ もてく  
のかい (持って行くのですか) 言う時も有るしなあ。  
そげん よけ 言うて、コゲン言う時も有るしなあ  
そげん言う時も有るしなあ

**ごげ (後家) 【名詞】** 1) 夫を失って、一人になった者。  
(南) 2) 妻を失った男の二度目の妻。後妻。3) 対

になって居る物の一方が、無くなったもの。[会話]  
1) ゴケはなあ とと (夫) な (が) 死んでたの (死ん  
でしまった者) ゴケ。ゴケか やまめ (やもめ) か、  
親無しか言うて。やまめ、やもめ言うの (言うのを)。  
夕方 歌ん (に) 歌よおったなあ (歌って居ました)、  
子守歌に。子供が泣いてする時ん (に) “ゴケか、や  
まめか、親無しかよお” 言うて。

**こげあるく (転) 【自カ五】** 転ぶ。倒れる。[会話] こ  
げたた (転んだ) 事を、コケアルク言うねやんかい  
(のです)。そげん (そんなに) 泡食うて コケヤ  
ルカンデモ (かなくても) ええわれ (よろしい) 言う  
てなあ、こけると 泡食うて コケアルカンデモ ええ  
われ あやまち (怪我) すんど (するぞ) 言うて。

**ごげいり (後家入り)** 後家の家に婿に行く事

**こげくさい (焦臭) 【形容詞】** 焦げる臭いがする きな臭  
い (鳥 (坂手)、鈴市、松、上、阿、張、南) [会話]  
コゲクサイ こがれくさいも一緒や (です)。こがれ  
くさいわれ (です) まあ こや (これは) どいらい  
(大変) こびとんなあ (焦げている) 言うて、隣な  
(が) なんやら (何か) こばす (焦がす) かして  
(と見えて) どいらい コゲクサイわれ (のだ) 言う  
て。

**ごげさん 【名詞】** 未亡人 ごげに同じ (度) [会話] ゴ  
ケサン 言うて 亭主の無い事なあ (です) ゴケサン  
ごげや やまめ 嬢な (が) 無いのは やまめ (鰥夫)。

**ごげじょたい (後家世帯) 【名詞】** 女世帯 未亡人が家計  
を支えている家庭 (南) [会話] おなご (女) ななあ  
(が) 主人も無いし 一人おんのを (居るのを) ゴケ  
ジョタイ 言うのなあ (です)。子供な (が) 有って  
も、主人に離れて おると (居ると) ゴケジョタイ。  
今しで (今で) 言うて 母子家庭や (です)。一人でお  
んのも (居るのでも) ゴケジョタイ 言うし 子供が  
有っても 主人が無いと ゴケジョタイ 言うのなあ  
(です)。

**こげた 【名詞】** 漁具、横木に竹を櫛状に刺し碇をつけて  
海底の海草や海茸、貝殻を採る道具。採集した物は後  
ろに付いている袋に入れる (志 (鶴方、立神)、鳥  
(桃取)) [会話] コゲタ 曳きん (に) 行く言うて、  
天草を がんがり でなあ 竹の櫛な (が) つけて あ  
んのえ (有るのえ) 碇つけて三角のなあ 爪な (が) こ  
おして あんのを (有るのを) 綱付けといてなあ (て  
おいて) 舟で 漕んで (漕いで) 引くの、コゲタ は 綱  
付けといて (ておいて) 曳くのを コゲタ ヒキ。がん  
がりひき 言うな (のは) その がんがり を曳くのを、

天草のおぼを、そんで (それで) すいてくんのなあ (梳いて来るのです)。竹の櫛を さらい (熊手) みたよん (のように) して有って 綱つけて 舟 漕んで (漕いで) 引っ張んねやんかい (るのです)。そすと (すると) 天草な (が) 梳櫛 しらめ (風) 梳くよん して (ようにして) それい (に) 付いてくんの (来るのです) が んがり で天草曳く 言うね (言うのです) コゲタ 言うのはなあ 網を付けといて (ておいて) 曳くの (のを) コゲタ ヒキ 言うて、海草のなあ とごつと んのなあ (沈んで居るのを) コゲタ で曳いて、陸い (に) 来て えりわけんの (選り分けるのです)。

**こげたひき** こげたを使ってする漁 海草 なまこなどを探る こげた参照

**こげつく (焦着) 【自カ五】** 1) こびりつく 乾きつく (熊) 2) 焦げて鍋 釜につく [会話] 1) こびるも一緒。まあ あや (彼は) あの人ん (に) 惚れとて (ていて) コゲツイトテ (ていて) 離れやせん (ない) 言う時も 有るんなあ (有ります)。まあ、惚れて曲って 年中 こびついとんねてわれ (ているそうだ) 言うてな、ふたんな (二人が) 別れやせん (ない) 言う事なあ。

**こげな 【形容詞】** こんな。このように (志 (志島、甲賀)、鳥、度、伊、北、尾、南、熊) [会話] こんな物言うのを、コゲナもん。わり (悪い) もん (物) を呉れると、コゲナもん、ほつたる (捨てる) よおなもん (物) を、コゲナもん 言うて。こんなげなもん (物) 言うて、そげん (そんなに) よろこばせん (よろこばない)。

**こげなあ (こげなわ こげなは) (後家縄) 【名詞】** 鮪延縄漁 [会話] しびなあ (鮪延縄漁) ゴケナア 言うてなあ。しびなあい (へ) 行くと おきのり (沖遠く行く) して するもんで (するので) 時化な (が) して来て よお (よく) 後家ん (に) なるもんで (ので) しびなあ ゴケナア 言うてな 後家ん (に) なのな (なるのが) おいて (多くて) まあ 海で死ぬのな (です)

**こげなこと** こんなこと

**こげなの** この様な物 [会話] 変ったもん (物) すると コゲナノ こさえて (作って) 見た とか 言うて。

**こげなもん** この様な物、特に悪い物に言う。(志) [会話] コゲナモン 呉れてなあ 食わよかれ (食べられない) こんな (此れが) 言うて。魚でも あざれて (古くなって) 食べられやへん 臭いよおなのおを (のを) 呉れると、コゲナモン 呉れたててなあれ (呉

れても) 食わよかれなあ コゲナモン 言うて、わりもん (悪い物を) コゲナモン 言うの (のです)。しなもん (品物) が 古いとか わりい (悪るい) とか、なんでもなあ コゲナモン 言う時は 廃物 みたよな (のような) もん を 呉れるもんで (ので) そんで (それで) おおた (ああ) コゲナモン 呉れやあるいてなれ (呉れて) 言うて、おおた コゲナモン もおたてて (貰っても) なんになるやいな (なるのだ) こや (これは) まあ 言うて コゲナモン も 一緒や (です)

**こげに** 此の様に。此れ程。こんなに。(志 (片田、磯部、国府)、鳥 (国崎)、一、松、多、度) [会話] こんなにも 一緒や (です) コゲ 二 言うたり こげん 言うたりな 一緒や

**こげめ (焦目) 【名詞】** 焦げたあと。焼けた物に残る黒く焦げたところ。

**こける (転) (倒) 【自カ下一】** 1) 転ける。倒れる。安定を失って、倒れたり、転がったりする。ころげる。(志 (船越、畔名、志島、国府 神明、浜島、布施田 片田、鶴方、立神、甲賀、安乗)、鳥 (相差、国崎、坂手、答志)、桑、桑市、員、三、四、鈴郡、鈴市、安、津、久、一、飯、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、南) 2) 倒産する。つぶれる。[会話] 1) コケル 言うな (のは) そべる事をなあ (です)、転ぶ。そべる。コケル 言うのをそべる、そべたよお (転びました) 言うて (言って)、そべるも、コケルも 一緒や わい (です)。言いかた (方法) な (が) 違うけど (けれど)。2) 失敗して破産したり、倒産したりすんのも (するの) コケル。あのうちや (家は) こけたんてない (こけたそうだ)。

**こける (瘦) 【自カ下一】** やせて肉が落ちる。細る。ク (漏) の転意 (大言海) [会話] ほお (頬) コケル。瘦せてこけた。

…**こける 【接尾語】** 動詞の連用形について その動作が引き続き盛んに行われている意を表す [用例] ねぶり (寝り) コケル。

**こげん 【副詞】** こんなに、このように (志、鳥 (答志)、一)

**こげんした** こんなにした 此の様にした

**こげんして** この様にして (志) [会話] コゲンシテ あげん (あんなに) して 言うね (言うのです)。なんやかや (いろいろ) こしらえんのも (作るのも) コゲンスルトええわれ (よろしい) 言うてなあ、変ったもん (物) すると こげなの (こんなのを) こさえて

(作って) みたとか コゲンシテくて (食べて) 見たとか言うてなあ。なんでも 始めて する事なあ (です) 考えてする事なあ、コゲンスルトええねなあ (よいのだ) 言うてなあ

**こげんに** こんなに このように (志)

**ここ【名詞】** 着物 幼児語 [会話] 子供らの きもん (着物) を おおた (おお) じっぱな (立派な) ココ着とんねなあ (着ているのだなあ) 言うてな。 ええの (よいのを) 着とると (着ていると)、おおた ええ (よい) ココ着たなあ 言うてな ええ べべ (着物) や (だ) 言うのをなあ、ココや (だ) 言うのなあ。 あつかい (赤い) ココやなあ (だ) 言うてなあ “正月でものは よいものや あつかい (赤い) ココ着て ちゃら (履物の一種) 履いて 雪より しろい (白い) まま (御飯) 食べて、だいこ (大根) より おっさい (大きい) はこ (大便) たれた” 言うね

**ここ(個個)【名詞】** 各自、一つ一つ カカ (個個) の転 コは百姓読み (大言海) [会話] ココ 言うて各自言うね (言うのです) ココに行こやとか (行きましようとか)

**ここ【名詞】** 鶏 [会話] とりの事 ココ 言うてなあ。ココ こおとんねかい (飼っているのですか) 言うて。ココ、こっこ (鶏) 言うて、鶏のこと、朝まあ こけこっこ お言うて そや (それ) コココな (が) 鳴いて 来たれ (来ました) 言うてな、けけこやたら (だとか) コココやたら 言うてなあ “しんべ山の下でけけこが鳴いた なつと言うて鳴いた 〇〇〇に、××× 目とぶれに (飛び出し) ほおし (星)” 言うて めえ (目) な (が) とぶれて (飛び出て) 星な (が) 入い つとるもんで (ているので) そげん (そんなに) 言うて かまよおったね (からかったのです)。

**ここ【名詞】** 九、ここ (此処) にてトオ (十) に迫りたる意 (大言海) (志 (布施田))

**ごご (五合)【名詞】** 五合。一升 1.8 ㍲の半分。(志)

**ここい** 此処へ (松、度、尾)

**ここいきて** 今頃になって、今になって [用例] ココイキテ そいな事 (そんな事) 言うてもはざん (言うても駄目だ)。

**ここいちばん** いざと言う時、正念場 (志 (布施田))

**ここいら (此処)【代名詞】** この近く場所を言う ここら (伊、鈴市、鈴郡)

**こごえかす (凍)【動詞】** 寒い目にあわす。

**こごえじに (凍死)【名詞】** 寒さのため、こごえて死ぬ

事。凍死。

**こごえる (凍)【自ア下一】** 寒さに耐え難くなる。非常に寒くなる。(上、阿) [会話] 寒さでコゴエル、さぶうて (寒くて) 震るう、さぶうて コゴエルよお言うて。ものすごお (大変) 寒い事をなあ (です) コゴエル。唯 寒いだけやったら (だったら) 寒いなあ 言うんけどなあ (言うのだが)、寒うて (寒くて) コゴエタよお 言うのは ものすごお (く) 寒い事やなあ (です) さぶうて (寒くて) ふるて (ふるえて) すると。さぶうてコゴエテ がちがちぶるいした。

**ごこお (ごこう) (後光)【名詞】** 1) 車輪にある放線状のもの。リム。2) 出世すること。[会話] 2) ゴコオ ゴコオがさいた (さした)。あの ひたあ (人は) ゴコオな (が) さいたなあ 言うて。よお (よく) 言うやんかい (言います)。えろお (えらく) なった事をなあ。

**ごこく (護国)【名詞】** 薩摩芋の一種 (鳥 (相差)、伊)

**ここぐる** こまごまと詮索する。丁寧にする。(志 (甲賀)) [会話] なんもかも (すべて) ココグルよん (ように) して言うなあ (言います)。こまごまと (細々、丁寧に) する事を 言うんやろなあ (言うのでしよう)。こまごまと なんもかも丁寧にする事。

**こここ【名詞】** 鶏 [会話] 朝 まあ こけこっこ お言うて そや (それ) コココな (が) 鳴いて 来たれ (来た) 言うてな。

**ごごご (個個個個) 一つ一つ。一人一人。各個 各人。** [会話] コゴゴゴと そこらを さらえてまあ (探し廻って)、あんな (あれが) 無いかいな (無いか) 言うてさいご (その時)。子供らな (が) 腹 へらしとると (ていると) 此処ん (に) かしん (菓子) でも 無いかいな (無いだろうか) コゴゴゴと 其処ら さらえて 言うてなあ。コゴゴゴと 言うねよつて (のだから) 一つ一つ まあなあ、細細と ほぜるよん (掘り出すように) してすんの (するのを) コゴゴゴする 言うてなあ。あつちや (あちら) 見い、こつちや (こちら) 見いして 探す事をなあ、コゴゴゴと さらえて まあ言うてな、あんまり (余り) ええ (よい) 時ん (に) 使わへんのなあ (使わないのです)、コゴゴゴとしてまあ あのこお (子) な (が) 思う時ん (に) 使うのなあ (です)。コゴゴゴと、人の話を、盗み聞きしたりなあ、コゴゴゴと なんやかや (いろいろ) さらえる 言う事なあ。あや (あれは) わり (悪るい) 言葉やなあ (です)。重箱の隅ほぜる (掘る) よん (ように) するもんでなあ (ので) あの人 来ると

コゴゴと あっちゃ見い こっちゃ 見いして 好か  
んなあ (嫌いだ) 言うてな

**ここっこお (ここっこう)** 【名詞】 鶏 [会話] け  
けこ、こけこ、こここ、ココッコオ、皆 鶏やわい  
(です)。

**ここせんど** 最適の時、正念場 [用例] ココセンド  
(に) して、働かな (なければ)。

**こごと** 一つ一つ丁寧に。こまごまと。[会話] 休まん  
と (休まずに) コゴトにしとんのおを (して居るの  
を) 根気言うて。

**こごと (小言) 【名詞】** 1) 叱って戒める言葉。苦情。  
非難。2) むずかる事

**こごと**に 一つ一つ 一軒一軒 [会話] コゴトニ廻っ  
て言うてな、コゴト言う事はなあ コゴトニ頼みん  
(に) 廻るとか、一軒一軒 廻ったりなあ、個人、  
個人に もの ただり (頼のんだり) 尋ねたりする事  
なあ (です)。コゴトニ尋ねて見たとか、選挙やどけ  
ん (などに) コゴトニ頼みん (に) 来るやんない (で  
しょう)。

**ここぬか 【名詞】** ここのかの音転 九日 (伊、鈴市)  
[会話] くにち (九日) の事をなあ ココヌカ。ココ  
ヌカも言うし、ここのかも言うし ココヌカとおか  
(十日) 言うて。

**ここぬかじおのにちぐらし 【俚語】** 干潮期の末期 九日  
目になると、干潮になる時間が遅く、仕事の時間の間、  
潮の満ちている事を言う。[会話] 潮な (が) 干くの  
な (が) ここのか (九日) や (とか) とおか (十日)  
や (だ) 言うて 来ると、ひにぐれん (夕方に) なっ  
てくんやんかい (なって行くのです)。ココノカジオ  
ノ ニチグラシ言うて、日な (が) 短かい時や (は)  
言うとなあ まあ 日暮れん (に) なってくね (なって  
行くのです)、潮な (が) よさり (夜) 干いとて (て  
いて) 私らな (が) かざく時ん (作業する時に) 干か  
せんもんで (ないので) あがって来る時分に 潮な  
(が) 干くもんで (ので)

**ここのか 【名詞】** 九日 (志 (布施田) 阿) [会話] コ  
コノカ言うと くにち (九日) の事をなあ (です)。コ  
コノカ とおか (十日) 言うてなあ。ココノカ言うね  
(のです)。ここぬか (九日) も言うし、ココノカも  
言うし。月のなのか (七日) に旅立ちすとも (すると  
も) 帰らまいぞや ココノカに言うて。

**こごまる (屈) 【自ラ五】** 腰を曲げる。かがむ。  
[会話] こごむ 言うやんかい (言います)。かがむ  
言うのなあ (のを)。そこい (そこへ) こごめ 言うや

んかい (言います)、しゃごめ (しゃがめ) 言う事を。  
そや (それ) そこい しゃごめまあ 言うて。うなし  
(同じ) 意味やろけど (だろうが)。こごめ言うのも。  
そこい こごめまあ言うて、かごめまあ (なさい) 言  
うて、しゃごめ言うてしよずくなる (中腰になる) 言  
うのを。そこい こごめ言うてなあ、しよずくなるよ  
おな ちっちょおなって (小さくなって) する事を  
コゴマル。

**こごむ (屈) 【自マ五】** 背を丸くし、腰、膝を折り曲げ  
る。かがむ。かがむの転 (大言海) (志 (浜島)、上、  
阿)

**こごめ (粉米) 【名詞】** 精米する時に砕けた米。屑米。  
こは粉の意 (志 (布施田、立神)、員、鈴市、安、松、  
上、阿、張、名)

**こごめどおし (粉米篩) 【名詞】** よい米と粉米とを振る  
い分ける篩。[会話] 粉米 下い (へ) 落したん  
(てやるのを)、コゴメドオシ。

**こごめひよひよ 【名詞】** きちきちばった。米搗きばった。  
ばったの一種。直肢目。ばった科。体長は35mm  
(雄) 50mm (雌)。細長で、黄緑色。一見、いな  
ごを細長く、大形にした感がある。(志 (布施田))  
[会話] コゴメヒヨヒヨ ひつたら喰わしよ、青いの  
なあ (です)、先なちよぎった (尖った) のおなあ。  
足持って こおして、コゴメヒヨヒヨ言うて、尻振っ  
てくんの (来るの) な (が) あるわい (有ります)。  
あや (あれは) なつと (なんと) 言う 虫やかなあ  
(でしょうか)。ここの、コゴメヒヨヒヨやしなあ  
(です)。あや 背中におぼれとるやんか (て居るで  
はありませんか) ちっさいの (小さいのが)。

**こごめる (屈) 【他マ下一】** 体を折り曲げる。かがめる。  
腰を前へ折る (津) [会話] 体 かごめて、腰かごめ  
てまあ 言うてなあ、曲つとんのんなあ (ているの  
を) かごめる言うけどなあ、コゴメルう人も有るな  
あ、そやけど (しかし) おかた (大体) かごむやわな  
(です)、腰な (が) かがんで来たとか、腰かごめて  
言うてなあ。

**こごやかす。こごやす (凍) 【他サ五】** こごえさせる。  
こごえるの他動化 [会話] コゴヤカス 言うな (の  
は)、さぶうて (寒くて) さぶうて震るうのをなあ、  
凍えてた (ていった) 言うて、さぶうて さぶうて  
まあ、意識な無いよん (ように) なってくのなあ (い  
くのです)、凍えた言うてなあ。おおた、あの人まあ  
こごえてたんでわれ (ていったそうだ) 言うてな。こ  
ごえたのおわ (のは) 藁火を焚いてぬくとめると (温

める) ええねとか (よいのだとか)、人肌でぬくとめな (温めなければ) ぬくとまらせん (温ったまらな  
い) 言うてな、肌と肌とぬくとめな ぬくとまらせん  
ね (温まらないのです)。こごえた時は、人肌でぬく  
とめる。こごえてくと (ていくと) 藁火や (で) なけ  
な (なければ) ほかのひい (火) では ぬくとまらせ  
ん。藁火焚いてなあ ぬくとめたり (温めたり)、人  
肌でぬくとめたり、そしてまあ食べるもん (物) でも、  
直ぐ食べやすと (させると) はざんね (駄目なのだ)  
言うて、重湯をちよいちよいつ (少しづつ) 盃  
(に) 一杯つ飲ましてなあ、段々としてかな (してい  
かなければ) はざんね。

**ここら (此处) 【代名詞】** 此の付近 らは接尾語 ここ  
らまあし参照 (志、伊、鈴市、津市、度)

**ここらあたり** このあたり。この付近。(張)

**ここらあたり** 此の付近 (志(鶴方)、伊、津、鈴市、  
安) [会話] ココロアタリに 宿あれば言う。ここら  
(此处の所) ここらへんに、このへんに言う事。

**ここらかす。ここらす (凍) 【他サ五】** 凍らせる

**ここらかす。ここらす** くぐらせる

**ここらな** 此の付近

**ここらへん** 此の付近 (伊、鈴市)

**ここらまあし** 此の付近 (安、一、上、阿) [会話] コ  
コラ当りに茶屋有れば言うの、この辺言う事をなあ  
ここらや (だ) 言う。ココラの人らは まあ、皆、言  
葉な (が) わりいて (悪るくて) 言うて言うやんかい  
(言うて有りませんか)。ここらあたりは、ここらへ  
んの事をなあ、まあり (周囲) の事をなあ、ここらへ  
んも一緒やわい (です) 周囲の事をなあ、まありの事  
を言うんよってなあ (言うのだから)、ココラマアシ  
も一緒、ここらや (だ) 言うのを、そんな (それが)  
ココラマアリ。

**ここらまあり** 此の付近 ここらまあし参照

**こごり (凝) 【名詞】** 魚の煮汁が冷えて、固まった物。  
煮こごり。(熊) [会話] 魚のしたじ (煮汁) のこご  
った (凍った) のを、コゴリ。

**こごる (凝) 【自ラ五】** こおって固くなる。(一)

**こころ (心)** 1) 性質。気立て。2) その気持ち して  
やる気持ち (南) [会話] 2) 気はココロ。1) あんた  
(貴方) ココロな (か) ええなあ (良いですね) 言う  
の (言うのです)。ココロな ええ言うなあ (言う  
のは、なん (何) 言うても (言っても) 怒らせんし  
(怒らないし)、人ん (に) 親切なのおな (のが) コ  
コロな ええ人で、あのひた (人は) 人ん (に) 親切

でなあ 言うけどなあ (言います)。その時ん  
(に) ココロ 言うな (のは) きだて (気立、気質)。  
きだてな (が) よおて (よくて)、ほん (本当に) あ  
のひた (人は) やさし (優しい) 人やなあ (だ) 言う  
て。すかん (嫌な) やろめ (野郎) は、茶であかせ  
(飽かせ) 言うて。

**こころあたり (心当) 【名詞】** 思い当たるふし、心につ  
ける見当、見込み、記憶 [会話] ココロアタリな  
(が) 有つたらおせてくれえ (教えて下さい) まあ言  
うてな、なんでも (何でも) 知らん事なあ、お前 こ  
いな (こんな) 家、知らんかい (知りませんか) ココ  
ロアタリな (が) 有るかい (有りますか)、こげな  
(こんな) 男、知らんかい とか言うて、尋ねる時ん  
なあ (に) ココロアタリや (だ) 言うて。思い当る事  
な (が) 有つたら おせて呉れえ 言うの (のを)、  
ココロアタリな (が) 有つたらおせてくれえ 言うて。  
覚えとたら (ていたら) とか、知つとらせんかい (て  
いませんか) とか、噂を聞いたりしたら、おせて く  
れえ 言うの (のです)。ココロアタリな (が) 無い  
かい (有りませんか) 言うて 尋ねる時んなあ (に)。  
**こころあて (心当て)** 1) 心中あてにする事 心だのみ  
2) 心がまえ

**こころいそがし (心忙) (心急) 【名詞】** 気がせく事。気  
持ちがいらいらする。[会話] 今日は まあ これも  
して、あれもしてせなはざんのおん (しなければいけないの)  
に まあ 忙して、なんやら ココロイソガシナ  
ア言うて、洗濯もして、此処らも掃除もして、まあ  
早よ (早やく)。ココロイソガシ言うて。

**こころいる (心得) 【他ア下一】** 気をつける。注意する。  
[会話] 心得る、其処い (へ) 行くと危ないおに  
(のに) まあ、ココロイトラな (ていなければ) 落ち  
てくど (行くぞ)、言うて。川の方い (に) 行くんや  
つたら (行くのだつたら) 子供らに注意したりなあ。  
今年や (は) まあ、わり (悪るい) 年やよって (だから)  
そや (それ) 心得よお (なさい) 言うたりな、今  
日はよけ (沢山) 風な (が) 吹いとるよって (ている  
から) 沖い (へ) 行くのもココロエトレヨオ (ていな  
さい) 言うたりな、そや (それ) ココロイロヨ、車に  
乗つても言うたりな。

**こころえ (心得) 【名詞】** 用心する事。注意する事。常  
に気をつけていなければならない事。たしなみ。[会  
話] ココロエよお (なさい) 言うて、注意せえ (し  
なさい) 注意せな (しなければ) いかん言う事、ココ  
ロエよお 言うてなあ、危ないよって (から) そや

(それ) 注意して行けよお (行きなさい) 言うのを、  
ココロエて行けよお 言うてなあ。  
**こころえちがひ** (こころえちがひ) **【心得違】【名詞】** 思い違い 道理に外れた考へ、又は行動。  
**こころえな** よく注意しなければ 気をつけなければ  
な、は、なければの意 (志 (布施田))  
**こころえる** (心得) **【他ア下一】** 気を付ける。(南) [会  
話] 無茶苦茶ん (に) なんやかやせんと (色々せず  
に)、なんもかも (なにもかも) きいつこて (気使つ  
て)、ココロエル言うて。考えて ものごと (物事、  
行動) する言うのを、きいつこて 考えて。  
**こころおぼえ** (心覚) **【名詞】** 心に覚えて居る事 記憶  
**こころおもい** (心重) 心が晴れない  
**こころおもい** (心思) **【名詞】** 心中に思つて居る、又そ  
の事。  
**こころがかり** (心掛) **【名詞】** 心に掛る事。心配  
**こころがける** (心懸) **【他カ下一】** 1) 心配する 注意  
する 2) いつも思つて居る  
**こころぎたない** (心穢) 腹黒い。性格が邪悪である。  
**こころぐみ** (心組) **【名詞】** 心構え。かねてから思つて  
いる事。  
**こころぐるし** (心苦) **【形容詞】** 気の毒だ。相手にすま  
ない気がする。気がとがめる。[会話] あの人  
(に) こげん (こんなに) してもろて (貰らつて) 気  
の毒ななあ (だなあ) 言う事なあ (です)、ココログ  
ルシなあ言うてなあ。こげん (こんなに) してもろて、  
こっちゃ (こちら) なんも、かやすこた (少しも返す  
事は) 無いし、おおた、気の毒ななあ (だ) 言うの  
(のを) ココログルシなあ言うなあ (言います)。  
**こころざし** (志) **【名詞】** 1) 贈物 進物 2) 気持  
**こころざしほど**。こころざしほどけ 少し 気持だけ  
**こころさべし** (心寂) **【形容詞】** 心さびしい。心細い。  
気持ちちが充たされずさみしい。[会話] ココロサベシ  
てまあ、あの子も、よそい (へ) 行たるし (行つてしま  
うし)、この子も嫁ん (に) 行たる (行つてしま  
う) して、おらまあ (俺は) 一人で まあ、ココロサ  
ベシわあ (です) 言うて。  
**こころざま** (心状) **【名詞】** 心の持ち方 性格 性質  
**こころしだい** (心次第) **【名詞】** 気の向くままに、物事  
をする事。自主的判断の通り、心の持ち方がどうであ  
るかによって、決まる事。[会話] わがとな (自分  
の) ココロシダイやれ (だ) 言うて、言うやんかい  
(言います)。そげん なんも (そんなに、なにも)  
くよくよとおもたてて (思つても) 帰つて来ん (来な

い) 事やのおに (だのに) くよくよと おもとらんと  
(思つてなくて) わが (自分の) ココロシダイで  
朗かん (に) 暮すよんせなはざんわれ (ようにしなけ  
れば駄目だ) とかなあ。寄付幾らしよおどい (しまし  
ようか) 言うと、ココロシダイん (に) してくれえ  
(下さい) 言うてなあ、まあ、おもただけ (思つただ  
け) してくれえ 言うのなあ、きふくん (気持に) し  
てくれえ 言うのを、ココロシダイ言うて、幾ら言う  
て、言われやせんし (ないし) まあ、あんたなきふく  
(貴方の気持) にまかすわい (まかせます)、きふく  
どおりん (思った通りに) して呉れえとかな 思い通  
りん (に) してくれえ 言うのをそげん (そんなに)  
言うのな。  
**こころする** **【自サ変】** 気をつける 注意する  
**こころせく** (心急) **【自カ五】** 気があせる  
**こころせばい** (心狭) 度量が小さい  
**こころせわし**。こころぜわし (こころぜはし) (心忙)  
**【形容詞】** 気持ちがせいて、落ち着かない。気ぜわし  
い。[会話] ココロイソガシと一緒や (です) ココロ  
ゼワシは。  
**こころだて** (心立) **【名詞】** 性格。心のあり方。[会話]  
ココロダテな (が) ええ (よい) 言うの (のです)、  
心な (が) ええ 言う事ななあ、ココロダテなよおて  
(がよくて)。奥州仙台伊達陸奥守、男な (が) よお  
て 金持で、それい (それに) 高尾な (が) 何故惚れ  
ん言うな (のは) どっか (どこか) 欠点な (が) あん  
ねやろなあ (有るのでしょうか)。まあそれ、下男みた  
よなのおな (のようなのが) 高尾に惚れて、いっしよ  
けめ (一生懸命) で 無い金して (作つて) 来るも  
んで (ので) やんない (でしよう)、その、びんぼ  
(貧乏) なのおな (のの) 真心に惚れたの、男ぶりや  
金持ん (に) 惚れるのは うわべ (表面) でなあ、そ  
やよつて (だから) 伊達陸奥守言う人は、あんまりえ  
え (あまりよい) 人やなかつたんかいなあ (でなかつ  
たのでしょうか) せえ (心) の無い人やつたんやろな  
あ (だったのでしよう)、そやもんで (それで) 高尾  
は幾ら金積んでも嫌やつたんやろなあ。  
**こころだのみ** (心頼) **【名詞】** 期待 ひそかに頼りにし  
ている事  
**こころづかい** (こころづかひ) (心使) **【名詞】** 心配。気  
を使う事。相手の事を考えてする行為。[会話] ココ  
ロツカイ、気使い、なんやかや もて来て (持つて来  
て) 呉れたりなあ、仕事も親切ん (に) して呉れたり  
する事をなあ。ココロツカイな (が) よおて (よく

て)言うてなあ、心配するとかなあ、心に掛けて な  
んでも (なにでも) 親切にして呉れる言う事をなあ  
(です) ココロツカイしてもろて (貰らって) 言うて  
なあ。

**こころづく (心付) 【自力五】** 1) 考えがしっかりして  
来る。分別がついて来る。2) 気がつく。失神してい  
たものがよみがえる。

**こころづけ (心付け) 【名詞】** 気をつける。心にかけて  
金品を贈与する。又、その物。[会話] ココロツケ  
言うて (言つて)、ちよいとしたもん (少しの物) を、  
あの人ん (に) 世話ん (に) なったよつて (から)、  
なんか (なにか) ココロツケせなあ (しなければ)。  
人に、あれしてもろたよつて (してもらったから)、  
此れやるかなあ (あげようか) ともて (思つて)、ち  
よいとしたもん (少しの物) やったりすのを (あげ  
たりするのを)。

**こころづける (心付) 【他カ下一】** 気をつかう。気をつ  
ける。注意している。[会話] ココロツケル言う事は、  
人があれしてくれたよつて (から) ちよいと (少し)  
心して、あの人にお礼しよおか (しようか) とか、こ  
やまあ (これは) ココロツケだけやどお (だ) 言うて、  
なんやかや (いろいろ) ちよいとしたもん (物) やる  
(与える) 時ん (に) 言うけどな (言いますが)。礼  
みたよなあ (のように)、ちよいとした事 まあ  
わがとなあ (自分が) 気持だけする時んなあ (に)、  
こお言う言葉使うけどな (使います)。

**こころづもり (心積) 【名詞】** あらかじめ計画しておく  
事。[会話] ココロツモリ、まあ こげんせんならん  
(こんなにしなければいけない) あえんして (あんな  
にして) なんをせんならん 言うてまあ、決めた事を  
なあ。ココロツモリした。わがと (自分が) 決めとる  
事をなあ、大体予定しとるとか (しているとか) 今日  
は何処いて (行つて) まあ、昔の話をせなはざんねよ  
つて (しなければいけないのだから) 其処 行かなは  
ざん (なければいけない) 言うて、心でわがと (自分  
が) おもとる (思っている) 事をなあ、ココロツモリ  
して言うてなあ。

**こころづおい。こころづよい (心強) 【形容詞】** 1)  
強情である 意志が堅い 2) 頼もしい 頼れる人  
物が有つて安心である 3) 人情に乏しい

**こころない (心無) 【形容詞】** 1) 関心が無い。気を使  
わない。2) あたたかい心がない。無慈悲。3) 心にも  
ない。思つてもいない。[会話] <sup>3)</sup> ココロナイ事、  
言うてしもた、おもてなあ (しまったと思つて)、わ

がと (自分が) まあ あいな (あんな) 事 言うね  
(言うので) なかつたのん (のに) 思う時んなあ  
(に) ココロナイ事、言うてのけたとか (しまったと  
か)、してのけた とかなあ、わがと (自分) 心ん  
(に) おもとらん (思っていない) 事を まあ した  
り、言うたりしたる (してしまう) 時んなあ (に) コ  
コロナイ事したてのけたよお (してしまった) 言うて  
なあ、ちよいと (少し) まあ 失敗した時。1) 秋の日  
の短かい時に、ココロナイもん (者) を雇うな、春の  
しんがつ (四月) の日のなあがい (長い) 時にココロ  
ナイ人に雇われんな (雇われるな) 言うて、秋はまあ  
気な (が) 無い人を頼むと、日な (が) 短かいのん  
(のに)、気な (が) のおて (無くて) 気働きな  
(が) のおて 仕事な (が) 出来やせん (出来ない)  
言う事なあ。一生けんめん (懸命に) せんとか (しな  
いとか)、日な (が) 短かいねよつて (のだから) 休  
んどんのおでも (でいるのでも) 十分休むのをなあ、  
五分とかして、ちちかめて (縮めて) きい使こて (気  
を使つて) 働くのな (が) ほしんなあ (欲しいので  
す)、ココロナイ者を雇うな言うんよつてんなあ (言  
うのだから)、気働きせんもん (しない者) を雇うと、  
日な (が) 短こおて (短かくて) 仕事な (が) 出来や  
せん (出来ない)。そすとまあ、しんがつ (四月) は  
日な (が) なあごおて (長くて) ほん (本当に) 仕事  
な (が) えらいのん (大変なのに) 親方な (が) 日な  
(が) なあごおても (長くても) 短じこおても 同し  
よん (ように) こき使うもんでなあ (ので) そんで、  
ココロナイ人ん (に) 雇われんな (雇われるな) 言う  
てなあ。

**こころなし (心為) 【名詞】** 少し、自分の心だけでそう  
思う事。[会話] ココロナシ、春めいて来たとか、涼  
し (涼しく) なつて来たとか、一寸やなあ、ココロナ  
シか、ぬきたい (温かい) 様ななあ (だ) とか言うて  
使うなあ。

**こころなとがめる** 気が咎める うしろめたい

**こころのさすがな** 気立てのよい 心持のよい [会話]  
心のええ (よい) 人をなあ ココロノサスガナ人や言  
う。あの人、ええ人や (だ) さすがで、才知で言うて  
なあ、さすが言うのはな 偉い言う事やな (です)、  
なんしても (何しても) さすがで言うて言うやんかい  
な (言います) 偉いね (のだ)、言う事や (です)。

**こころばえ (こころばへ) (心延) 【名詞】** 性格的な心の  
動きのあらわれ。気立て、性格。[会話] 気な (が)  
ええ (よい) とか、わり (悪るい) とか、言う事やわ

な(です)、こんじよなわりとか(根性が悪るとか)、ココロバエ言うけどなあ。

**こころばか(心許)【名詞】** 少し 少しの物 志を示すに言う。

**こころはずかし(こころはずかし)(心恥)【形容詞】** 内に恥かしく思う事

**こころまえ【名詞】** 気立て 性格 [会話] ココロマエな(が) よおて(よくて)言うて、心な(が) ええ(よい)言う事をなあ、あの人ココロマエな(が) ええ 人やなあ(だ)言うてなあ。

**こころまかせ(心任)【名詞】** 思うままにする事 随意

**こころみる(試)【他マ上一】** 試す(三重県全域)

**こころむきしたい** 気持次第 寄付などを求める時(志(布施田))

**こころもち(心持)【副詞】【名詞】** 1) 少し。気持だけ。2) 性格。気立て。3) 気持ち。気分。[会話] 3) ココロモチ言うたら 気持ち、ココロモチな(が) ええなあ(よい)言うて、今日はまあ、ココロモチな(が) よおて(よくて)、体な(が) しゃんとした言うて 気持ち、気分な(が) ええ 事を ココロモチ言うんなあ。今日はまあ 天気もええし 風もええし(よいし) ココロモチな(が) ええなあ(よい)言うて。そして、病気ななあ(が) ええ時でも、今日はがいん(大変) ココロモチな(が) ええわれ(よろしい)言うてなあ、<sup>1)</sup> ココロモチ こっちやい(こちらへ) 寄せとけ(ておけ)言うてなあ、ぐつと寄せんねなしん(寄せるのではなくて) ちよいと(少し) ぐらい寄せる時んなあ(に) ココロモチこっちやい寄せとけよお 言うてなあ このだんが(団子は) ココロモチさとなすけない(砂糖が少ない)、もおちよいと(少し) 効いとると(ていいると) ええねけどなあ(よいのだが)言うて。もおココロモチ、今度する時や(は) さと(砂糖) 効かしとけよお(ておきなさい)言う。めせめせん(に) 座つたりしとる(している) 時ん(に) ちよいと(少し) ココロモチだけ そっちやい(そちらへ) 寄つて言う時も有るしなあ(有ります)。

**こころもたない(心許無い)【形容詞】** 頼りない。不充分である。確信が持てないので、不安である。[会話] 頼りない言う事や(です)。ココロモチナイ言うな(のは)。なんやら(何か) あのひたあ(人は)、ココロモチナイよおな人やなあ(だ)言うて、頼りない人やなあ(だ)言う事やろなあ(でしょう)。

**こころやすい(心安)【形容詞】** 気心が判つて居て 遠

慮のいらぬ間柄である。懇意である。気軽だ。気安い。親しい。[会話] ココロヤスウテ(やすくて)言うて、きやすう(気やすく)話するやんない(でしょう)、遠慮無しに、そいなのを(そんなのを) ココロヤスイ。

**こころやすさに** 気心が知れているのに乗じて

**こころやすでたら** 気心が知れて居る、又、仲のよいのに慣れて遠慮や配慮に欠けること(上、阿) [会話] ココロヤスタテラ言うな(のは) あんたと(貴方と) 私らな(が) こお、心安うなつとるやんない(なっているでしょう)。心安うなつとるもんで(ので) あの人と言う様な意味やわ(です)。“心安さに 寝泊りしたや、深い仲やと人が言う”言うて。心安いのにまかせて無理な事でも、何んでも、なつとでも(なんとでも)言うて、あの人ん(に) 頼みさいしや(さえずれば)して呉れる、しよおしや(少々は)無理でも言う様な意味やろなあ(でしょう)。

**こころやすなる** 親しくなる。心安くなる。友達になる。[会話] ココロヤスナル言うな(のは)、友達ん(に)なる事や(です)。心安さに 寝泊まりしたや(したら) 深い仲や(だ)と人が言う。こころやすさに寝泊まりしたや 深い仲、あの人ら まあ(もう) ふたんな ええなかや(二人がよい仲だ)言うて、人な(が)言うた言うねわい(言うのです)。なんもねえんけど(何も無いが)、こころやすいもんで(ので)、あんた(貴方) 泊まってかんせ(いきなさい)言うて したや、人な あやまあ(あれは、もう) ふたんな 深い仲や(だ) 言うんやわい(言うのです)。ええ 仲ん(に) なつとんねなあ(なつて居る)。

**こころよわい(心弱)【形容詞】** 気が弱い 意志薄弱

**こころんかか**る 心配になる 気に掛る

**ここん** 此処に(北) [会話] 此処に言うのを、ココン言うて、あんた(貴方は) ココンおれえ(居なさい)とか わしや(私は) ココンおるわい(居ます)とか言うてな ココんとこ(所)で 言うて言うのな。

**ここんとこ** 1) 最近(上、阿) 2) 此処の所(飯、伊) [用例] <sup>1)</sup> ココントコ 〇〇は、来やせんわい(来ません)。

**ござい(御祭)【名詞】** 夏祭り。伊雑宮への鮫の参宮の日(旧六月二十五、二十六日)此の頃になると 土用波が立ち海の荒れる日が多い。陰旧六月半ばを過ぎる頃、七日程吹く東北の風を御祭と呼ぶ地方(東京、伊豆、鳥羽)もある。(志(磯部、甲賀)) [会話] 磯(海女)のゴサイ 六月のにじゅうごんち ろくにち。



(旧六月二十五日、六日) 磯部さん (伊雑宮の別稱、神宮をお伊勢さんと呼稱するのと同じ)。ごんち (五日) ノボリゴサイで (上り) クダリゴサイな、ろくにち (下りが六日)。磯部さんえ (に) ごんちに登って、ろくにちん (に) 下って来る。鮫ん (に) 飲まれんのおを (飲まれるのを)、のがれる (まぬがれる) よおに、あしこい詣いんねけど (あすこへお参りするが)、そんでも (それでも) 運な (が) 悪けや (ければ) あれやしなあ (駄目です)。信心な (が) 届かせんのか (ないのか) なんか (なにか) 知らんけど (ないが)、飲まれる。ここで 飲まれた人は無いけど (が) 怪我したりすると それを、飲まれた言うんやろなあ (言うのでしょうか)。昔、そいな (そんな) 事が有ったかも判らん。今し (今) でも あの鮫な (が) 来て言うて、するがごとく (するように) 昔、まあもの (魔の物、魔物) おおたりすんのを (逢ったりするのを)、そげん言うたねやろかと (そんなに言ったのだろうか) 思うけどなあ (思います)。鮫にけそられた (少し傷を受ける) とか 言うんやんかい (言います)。そやけど (それだけれど) そこい (へ) 詣いと その災難をのがれる (まぬがれる) 言うて詣いんねやんかい (参るのです) 磯部さんえ (へ)。

**こさいて** (こしゃえて) 作って下さい 作って 作った (上、阿) [会話] なんやかやこさいて (いろいろ作って) 言うの (のです)、拵えて呉れ言うて、若い人らは言うやんない (でしょう)、わしらんなあ (私達のは) こしゃえて (作って) 呉れ言うて、きもん (着物) でも縫うて呉れ言うのになあ きもん、コサイテ呉れ言うて、仕立屋い (へ) こさいて 貰いん (に) もてたれ (持って行った) 言うてな。桶屋で此の桶コサイテもろたね (貰ったのだ) 言うて、拵らえる言う事、こしゃえる 言うて。コサイテ言うて

**こさいて** 1) 来させて下さい 2) 来させて [会話] 1) 此処い来させて下さい言うのを、コサイテ。此処いきやしてえ (来させて下さい) 言うてな。

**ごさいなみ** 【名詞】 ございの前後におこる大きな波 土用波

**こさう** (こしゃう) 作る (志 (布施田) 度) [会話] コサウ、こさえる (作る) 一緒の事や (です) コサウ言う人らも有るしなあ (有ります)。わしらんな (私達のは) こしゃえる。

**こさうる** 作る [会話] こさう、こさえる、一緒の事や (です) コサウル言う人も有るしなあ。

**こさえ** 1) 身支度 2) 支度、準備 (南)

**こさえおった** 作った 作って居た [会話] しゅうろ ぼおきや言うて しゅうろ (棕栢) のはあ (葉) で 箒もじつぱん (立派に) コサエオッタ。

**こさえごと** 【名詞】 1) 嘘。事実でないのに、本当らしく作った事。2) 墮胎の失敗 [会話] 2) 昔の人ら、こおおるすのんなあ (子墮胎するの)に) コサエゴトして、具合な (が) わりんてわれ (悪るいそうだ) 言うてな。わがとらな (自分達が) おろすのおをなあ (墮胎するのを)、菓飲んだり、げんこつ (拳骨、墮胎) する人な (が) 有って それしよおった (して居ました)。そして、具合な (が) わりと (悪るいと) こしやえやまいや (だ) 言うて。1) 嘘事もあんのなあ (有るのです) こしやえ事言うて来て言うて、嘘、言うてなあ、人を喧嘩さしたり (させたり) なんやかやする ばやい (場合) も有って、そいなのおを言うね (そんなのを言うのです)。いろいろ無い事 作ってなあ言うのを、こさえばなしして言うて、こさえ話とか、作り話とか、有る事、無い事、わがと (自分が) こさえて 喋ってすんのを (するのを) コサエゴト言うて。

**こさえて** 1) 作って下さい 2) 作った 作って [会話] 2) きもん (着物) でもなあ、縫うてくれ (下さい) 言うのになあ、きもん コサエテくれ (下さい) 言うてな、仕立屋い (へ) コサエテ貰いん (に) もてたれ (持っていった) 言うてな。

**こさえばなし** 【名詞】 嘘言 嘘の話 作り話 [会話] いろいろな、無い事作って言うのを、コサエバなしして言うてな。

**こさえやまい** 【名詞】 自分の行為が原因となって生じた病気。特に民間で墮胎の失敗によるもの。さくびょう 参照 [会話] こお (子) 墮すのしくじったて (失敗して) ちわずらいみたいんして (の様に)して、なが わずらいしとると あや (彼女は) コサエヤマイであげん (あんなに) なった。

**こさえる** (こしゃえる) (拵) 【他ア下一】 こしらえるの転。こしらえるのくだけた言い方。こしらへるの急呼 1) 物を作りあげる。製作する。(志 (片田、浜島、鶴方、神明、立神、国府、安乗)、鳥、桑郡、桑市、三、鈴郡、鈴市、津、張、一、松、多、上、阿、度、伊、北、尾、南、熊) 2) ある目的のため金銭を用意する、調達する。3) 身なりや顔をととのえる。4) 構えを作る。身がまえる。5) 子供を産む (南) [会話] 1) こしらえる言うのを、コサエル。何でも、こしらえてもろた (貰った) 言うの (のを)、こしゃえてもろた。御馳走こしらえるのも、ごつつお (御馳

走) コサエル。何々こしゃえてもろて言うて、なんでもこしらえて貰うの (のを) こしゃえてもろた。<sup>2)</sup> かね (金銭) 借りにいて (行って)、借りてくんのも (来るのも) かね (金銭) コサエテもろた。かね (金銭) コサエン (に) いこんねえ (行きます)、借りに行くのを、かね (金銭) こしらえにいとる (行って居る) こしゃえにいとんねえ (行って居るのです) 言うて、かねな (が) 出来んで (出来なくて) まあ言うて よお言うやんかい (よく言うで有りませんか)。コサエン (に) いとんねけど、できんで (行って居るが出来なくて)。<sup>3)</sup> 化粧すんのも (するの) コサエル、顔コサエル。化粧したり、役者が衣装着たり。<sup>3)</sup> 体コサエル、どこやかや (何処へ) わがとら (自分達) でも 出る時ん (に)、体もこさえて言うやんかい (言います)。着物着替えたり、髪といたりしてする事を、体もこさえて行かんと (行かなければ) 言うて。<sup>4)</sup> 盆踊りや (とか) なんで、仮装するのもコサエル。つく (造る) 言う。

**こさお** 1) 作ろう 2) 作りなさい [会話] <sup>1)</sup> コサオカ (作ろうか) 言うて、こさよや (作りましょう) 言うてな、相談すんのをなあ (するのを)、此れしよおか (しようか) 言うのを、これ、こさよか言うてな。

**こさかし (小賢) 【形容詞】** 利口ぶる。コ (小) は足らず意 [会話] コザカシ、ちよいと (少し) 人よりさきい (へ)、なんでも (何でも) 知ったよん (ように) して、知ったかぶりして、するよおなのを、コザカシ。まあ、人より、わしは知とる (自分は知って居る) 言うよおな、かたで (形で) 自分がさきだつて (先に立って) する事を コザカシ。

**こさかな (小魚) 【名詞】** 小さな魚。鰯、鰯など。

**こさこさ 【副詞】** 1) こまごま。小さいものの多いさま。こせこせと通ず、物事の細かく入り混じった語 (大言海) 2) こそこそ (桑市) [会話] <sup>1)</sup> こまかし (小さい) てぐすやとか (だとか)、つり (釣針) とか、コサコサしたもん (物) を入れんのを (入れるのを) 釣箱や (だ) 言うて、四角なお (のを) しよおったわい (していました)。

**こさす** 来させる

**こざった** 来なかった。[会話] コザッタ、こざった言うけど、来る言うとたけど (言うて居たが) こざったやんかあ (でないか) まあ 行く言うといておつて (ておいて居て) コザッタやんか 言うてな、来ん (来ない) ことを コザッタ言うて。

**こざった** 1) 来た (安、員) 2) 居た

**こざっぱり 【副詞】** どことなくさっぱりして居て、清潔な感じがするさま。こぎれい。さっぱり。清潔で整って居るさま。こは接頭語 (志 (布施田)) [会話] コザッパリ言うな (のは)、ちよいと (少し) さっぱりと、今しんのおより (今の物より) ちよいと 着替えてすんの (するのを)、体もコザッパリして まあ、あやあれ (あれ) どこやらい出てくんかして (何処かへ行くと見えて) 言うて。がいな (大変) 今日は、コザッパリして、どこやらい行くかして 言うて、ちよいと 着替えると。

**こさよ** 1) 作ろう 作る 2) 作れ 作りなさい [会話] <sup>1)</sup> コサヨカ此れを言うて、相談すんのをなあ (するのを)、作る言うのを。

**こさよか** 1) 作りましょうか 2) 作らない [会話] <sup>1)</sup> コサヨカ此れを言うてな 相談すんのをなあ (するのを) 此れしよおか (しましょうか) 言うのをコサヨカ言うて。

**こさよや** 作りましょう [会話] こさよか (作りましょうか) 此れを言うて、これ、コサヨヤ言うて相談すんのなあ (するのです)。

**ござる 【自ラ五】** 1) 居る (津) 2) 来る (志、鳥、桑郡、桑市、員、三、四、鈴郡、鈴市、亀、安、津、久、一、松、多、上、阿、名、度、伊、南) 3) している

**ござれ** 来なさい おいでなさい (志 (国府) 桑郡、桑市、三、員、津、伊、鳥、南) [会話] ゴザレ言うな、来い言う事、此処い (へ) 迄、ござらっしゃれ 言うてな、昔の人ら来い言う事を、ゴザレ 言うてなあ、よお (よく) 此処まで、こざったのお言うて、来る事を。

**ござれ** でも。[用例] うどんでゴザレ そばでゴザレ **ござれ** していなさい しなさい

**こし 【名詞】** 1) 所、場所。人や物の付近。側、周辺。(志 (布施田、甲賀) 2) 餅や粘った粉などの粘りけ。そば、うどんの弾力。[会話] <sup>1)</sup> あすこのとこ (所) へ言うのを コシや (です)。あすこのコシい (へ) いて (行って) 言うて。あすこの所へ言うのを。

**こし 【名詞】** 1) 蜻蛉の交尾した状態。2) 男女の密会。(志、上) [会話] <sup>1)</sup> コシや (だ) コシや、かった (狩った、取った) コシや (は) ちよんがれ (交尾して居る状態) 言うて。ちよお (おおおにやんまの雌) 狩りん (捕りに) 行くと、交尾しとんのおを (して居るのを) 尻と尻とひっつけて、じょうほおい (両方へ) さかつとんのおな (て居るのが) 有るやんかい

(有ります)。あいなのおを(あんなのを)。頭の髪の毛、かいぞろ(小さな貝)を、じよおほおい(両方へ)付けて ピューとほと、それい(へ)掛かって、この浜でよお(よく) そげんしとりおったわい(そんなにして居ました) 男の子らな(子供達が)。さわ(竿) 長い(のを) もて来て(持って来て)、もおち(取りもち) 付けといて(て) コシヤコシヤ言うて、その さかっとの(交尾しているのを) 見て追わえて。狩ったコシヤ(は) ちょんがれ言うて。ちょんがれ言うな(のは) ふたあつ(二四) まあるう(丸く) なって 尻と頭としとんの(して居るのを)。男の子らな(が) そげん(そんなに) 言うて狩つとりおった(狩って居た)。めえ(目) もなんも、はりまなこん(張り眼、目を見開いた状態に) して、空ばっか(ばかり) 見て、浜い(へ) 来て、夕方ん(に) になると。その時や(は) こららな(子供達が)、まなこ(眼) すえて(一点を見詰めて) ちょお狩んで(狩るので) 空ばっか(ばかり) 見て、下見やんと(見ずに) とびこみやあるいて(海や川に飛び込んで、落ちて) コシヤ コシヤ狩ったこしやちょんがれ言うて、おめきもて狩つとりよおった(叫びながら狩って居ました)。かんの(狩るのを) 見ると 空むいて ちょおとんので(捕るので)、そこみいどころやあるかい(付近を見て居るところではない)。その勢いな(が) 違うねてや(違うのです)、ちょお 狩るよおん(ように) になると。空ばっか(ばかり) 見て、下見よかい(見ません) なんかあつたてて(何があっても) とばげやあるいとんね(つまづいて居るのです)。空ばっか見とんのおで(ばかり見て居るので)。男とおなご(女) のコシ。コシヤ(だ) コシヤ(だ) 言うて、盆(孟羅盆) になると、男の人らな(人が) おなご(女) のこら(子供) を、かづいてくと(かついで行くと) コシヤ(だ) 言うてかまいおった(からかって居ました)。コシヤコシヤ言うて、盆やどけ(など)、祭りやどけん よけ寄つとる時ん(沢山人が多く出て居る時) 娘をかづいてくんやんかい(かついで行くのです)。娘の子ら(が) ちょいと(少し) でも隙間な(が) 有るとこい(所へ) 行くと、かづいてそれ見ると、コシヤコシヤ言うておめきおったわい(叫んで居ました)。男のこおらな(子供が)。自分らふたんな(二人が) 仲よお(よく) なって行くのは言わんと(言わずに) かづいてくと(て行くと) コシヤコシヤ言うて。

こじ【名詞】蜜柑の一種。小形で皮が薄い。[会話] コ

ジ言うて、蜜柑のこおみたい(子供のように)、ちっさあい(小さい) 皮な(が) うっすい(薄い)。

ごし(越) 名詞などに付いて、「その物共に」の意を表す。全部、そのまま。(志(甲賀)、員、鈴市、多、上、阿、度、鳥、北、尾、南、熊) [会話] それごち持てけ(持って行け)。それ ゴシ言うの(のです)。いれもん(入物、容器) へ入れたごちとか、つつだ(包んだ) ゴシとか。それごち持てけ。そんなり(そのまま) 持てけ、そのまま持てけ言うの(のを)。それゴシ言うて。

ごじ(ごぢ)【名詞】芋など 煮た時に 半煮えの状態。

(志(鶴方、志島、安乗)) [会話] 芋のにやげ(煮上げ、炊く) すると、煮えとらへんのを(ていないのを) ゴジ。ゴジや(だ) 言うて、生煮えなあ(です)。

こじあける(袂開)【他力下一】無理にあける

こしあて(腰当)【名詞】船の中央の帆柱を立てる部分の船霊さまを、収めてある部分。(志)

こしいた(腰板)【名詞】1) 壁体、建具などの腰から

下に張った板(津) 2) 柔らかいものに沿える板 [会話] 2) 袴のコシイタ、三角ん(に) コシイタも有るしなあ、そして帯する時ん(に)、腰い(へ)、曲がってかんよん(ていかないように) コシイタする、そいなのおも(そんなのも) コシイタ言うしなあ、そして なんか(なにか) 拵えても曲ってく(て行く) 様なもんは(物は) それい(それに) そや コシイタやとくとええんやれ(当てておくとよいのだ) 曲がってかんよん(て行かないように) 言うてな、やいこいもん(柔い物が) ちょいと(少し) ぐにやつとしとるとなあ(していると)、コシイタ当てると ええんなあ(よいのだ) 言うてな。障子のあれコシイタ言うて、昔はなあ 真ん中な(が) 障子やった(だった) 上と下となあ、板な(が) やって(当てて) 有って そいな(そんなのを) コシイタ言うんなあ(言います)。家の囲いも 下のおのをなあ(のを)、ま、コシイタな(が) わり(悪るく) なって来たよって(から) 替えなはざんわれ(なければ駄目だ) 腰だけ言うてな 上は替えんでもなあ(なくても)。

ごじえん【名詞】御飯(北)

こしお(小潮)【名詞】海の干満の差が小さい時。月と太陽が地球を中心として、直角になる上弦下弦の時。

(志、鳥) [会話] コシオ言うのは一日二日三日初めのうちな(間が) コシオで、申ん(に) になると大潮。しまい(終わり) 十日ごろん(頃) になるとかれ、十日迄潮で 五日迄かれ。

**こしおび (腰帯) 【名詞】** 腰紐 婦人が着物を着る時、帯の下に使う紐

**こしおる** 仕事、話などに横槍を入れて途中でやめさせる。失敗して途中で止める。(熊) [会話] 話ししとんのんなあ (しているのに) ちゃちゃ 入ると、話しこつとんのんなあ (熱中しているのに) 止めたんの (てやるのを) まあ 話のコシオッタレ (折ってしまった) 言うて。続けて、話しとんのんなあ (しているのに) いなん (要らぬ) 事喋べると、まあ、話、切ったるとなあ (てやると)、話しのコシオッタレ まあ言うて。

**こしかかえとる** 帰りたい状態 便所に行きたい様

**こしかご (腰籠) 【名詞】** 竹で編んだ小さな籠。楕円筒形で紐で腰につける。(志 (布施田、鶴方、神明、志島、国府)) [会話] 腰い (へ) さがらして (吊して) 畑い (へ) いてなあ (行って)、草、取ってなひよっと入れ、石な (が) おつとると (落ちていると) ひよっと入れすんのを (するのを) コシカゴ。だえんけんなんつとる (楕円形になっている)。

**こしき (小敷) 【名詞】** 小型の定置網 (南) [会話] 大敷の小さいのをコシキ 大敷は おつきい (大きい) のなし (ですし) 細かい (小さい) 網 ないざ (陸近く) に はんのをなあ (張るのを) コシキ、あの家や (は) コシキ張つとる (ている) 言うやんない (でしょう)。

**こしき (甑) 【名詞】** 蒸しものを使う用具 (志 鳥、多、上、阿、張、名、北、南、熊) [会話] コシキで 蒸す言うてな、じゅうの (重) 丸くたいのおや (のとか) 四角んのおなあ (ののを) コシキで 蒸して言うてなあ。

**こじきくねんぼ 【俚語】** 乞食に対するからかいの言葉 [会話] コジキクネンボ芋焼いて食らえ言うてな、わしら (私達は) ちっさいじぶん (小さい頃) に かまよおったの (からかっていた)。クネンボ 言う蜜柑も 有るけどなあ。おらん (俺に) とうと (長い間) 陰するもん (者) は、せんちや (便所) のによおぼ (女房) 陰山のによおぼ (女房) コジキクネンボ芋焼いて喰らえ。

**こじきじゃく (乞食糞) 【名詞】** 空腹時に生ずる腹痛、物を食べると治る。消化器潰瘍か。

**こじきじる (乞食汁) 【名詞】** 生味噌に熱い湯をかけたもの。(志) [会話] さいな (おかずが) 無いと、味噌い (へ) あたたい (熱い) ちゃんちゃんしとる (して居る)、ちゃあ (茶) かけて、おつけと (味噌汁)

一緒やわい (です)。煮たんねよって (煮てやるのだから) 早汁、コジキジル。

**こじきたろ 【名詞】** いやしん坊。乞食太郎 [会話] コジキタロ言うな (のは) いやしい事 なんでも喰うて (何でも食べて) いやしんぼよ (坊奴)。いやしんぼ (坊) 言うのを コジキタロの果て無し。

**こじきぶくろ (乞食袋) 【名詞】** 乞食が首に掛けて、食物、雑物を入れる袋。頭陀袋 (志、上、阿) [会話] コジキブクロ 言うな (のは) 頭陀袋を下げとると (していると) あや (あれ) コジキブクロ 下げて言うて。乞食な (が) 廻って来ると、前い (へ) さげとて (ていて) 米や (だ) とか、やると それい (に) 入れるやんない (でしょう)、蓋も有って それ、コジキブクロ言うね (のです)。なんやかや (いろいろ) 貰らうと、それい (へ) 入れよおったわい (入れて居ました) そやもんで (それで) コジキブクロ言うんやろなあ (言うのでしょうか)。

**こしぎり (腰切) 【名詞】** 腰の所迄。[会話] 顎ぎりとか、すね (脛) ぎりとか言うて、脛のとこいまで (所まで) 水な (が) 来た時に 脛ぎり、腰い (へ) 迄来ると コシギリ。顎い迄来ると 顎ぎり、顎ぎりつかって (漬って) 言うて。風呂でも コシギリつかって とか 顎い迄つかれまあ (つかりなさい) とか言うて、子供らん (らに) 風呂い (へ) 入っても 風邪引くのん (のに) 顎ぎりつかってぬくとまらな (あつたかくしなければ) 言うて。

**こじく (乞食) 【自カ五】** 人に物をねだる。コジキ (乞食) を活用した語 (広辞苑) [会話] コジク言うな (のは) 乞食な (が) 貰らいん (いに) 来る、三日コジカナ (なければ) 坊主ん (に) なられやせん (なれない) 言うてなあ。人の家の門い (に) 立って なん か ちょいと (何か少し) によおによお (お経) 言うてなあ、すんのをなあ (するのを) コジク言うの (のです)。コジク言うな (のは) 物貰らいの事、人の門い (に) 立ってなあ、今しやそいな (今はそんな) 乞食ん (に) 来やせんけど (来ないが) 昔や (は) 乞食な (が) よけ来よおってなあ (沢山来て居て)。してまあ、やらまい (与えない) 思うと、出ません言うと、その家や (は) まあ、呉れやせんねよって (ないのだから) 貰らわんと (貰らわずに) 行かなはざんわい (なければいけません)。銭な (が) ちっさいのな (ちいさいのが) 無いわれ (無い) 出ません言うたれ (てやれ) 言うて、出ません言うと まあ によおによお言わんと (お経言わずに) 行くね (のです)。

**こじくらかす** 1) 話や事態を、悪い方へ捻じて、もつれさせる。こじらせる。2) 病気をこじらせて悪くする。[会話] 1) コジクラカス。なんやかや(種々)もの言うても(言っても)、それはどおや(どうだ)此れはこおやれ(こうです)言うて、コジクラカス。人の言うた事をまともにせんと(本当にせずに)、わがと(自分)ひっくり返す、それを コジクラカス。こげん(こんなに)言うて、わしな(私が)言うのを、そや違うやんかあ(それは違います) こや こおやんかあ(これはこうです)言うて、そいなのおを言うねやろなあ(そんなのを言うのでしょうか)コジクラカス 言うな(言うのは)。

**こじくる(袂)【他ラ五】**あれこれと無理難題を言う。

**こじくれる(拗)** 1) ものごとが、うまく運ばず、もつれる。又、病気が悪化したり、作物の成長が悪くなる。(松、多、尾) 2) すねる [会話] 1) こじくらかすもよお(よく)似たもんや(ものです)。コジクレル言うな(のは)、1) そのために話が、うまい事とまらんで(なくて)コジレタ言う事なあ(です)。話な(が)、コジクレテテ(てしまって) まともらんと(ずに)言うて、あれ(彼)に、コジクラレ言うやんかい(言います)。病氣な(が)悪なつた時でも、風邪な(が)こじれて言うて。この時も コジレル。コジレル。よお似た意味や(です)。その人ん(に)依って言いよな(言いが)違うだけで、意味は一緒の事言うねけどなあ(言いますが)。コジラカシタタレ(てしまった)、言う人も有るし コジレタ言うのも有るし 言い方な(が)違うだけで、意味は一緒の事。そのにげん(人間に)よって コジレテタレ(しまった)言う人も有るし(有ります)、コジクレテタレ言う人も有るし(有ります)。

**こしけ(帯下)【名詞】**婦人性器よりの血液を含まない病的な分泌物。しらち。

**こじごじ【副詞】**芋などが、生煮え、生焼けて固いさま。(志(布施田))[会話] 芋な(が)煮えんと(ずに)、こや(これは)ゴジゴジやなあ(だ)言うて。芋な生煮えで、えごつと煮えとらんと(充分に煮えずに居て)、箸で通しても(突いても) かとおて通らんの(堅くて通らないのを)、こや(これは)ゴジゴジや(だ)言うて。喰うと ゴジゴジしとるもんで(して居るので)ゴジゴジ言うんやろなあ(言うのでしょうか)。

**こじこむ** 無理やり押し込む。ねじこむ。[会話] ちっさい(小さい)穴へコジコム言うて。穴でも、いれも

ん(入れ物、容器)でも、ちっちやいもん(物)へ、よけ(沢山)詰める、押し込む事コジコム。へしこむ、コジコム、言うな(言うのは)一緒の意味やけど(ですが)、ちいさいもん(小さい物)へ、よけ入れんのを(沢山入れるのを)へしこんどけ(でおけ) 言うたり(言ったり)、コジコンドケとか、ねじこんどけとか、いろいろ言い方な違うんけど(言い廻しが違いますが)意味は一緒やわい(です)。

**こじじ(こぢぢ)(小爺)【名詞】**祖父。但し、曾祖父(おおじじ)の居る時に用いる。[会話] コジジ、ちっさい(小さい)爺やん(さん) あんた(貴方は)まだ コジジやわいなあ(です)、あんた(貴方)の親な(が)有ると、親な(が) おおじじ(大爺)で あんた(貴方)はコジジ、若い爺さんだ(です)。孫爺さんな(が)有って 曾孫爺さんも有ってした場合になあ、孫爺さんの事をコジジ。曾孫爺さんは大爺んなんね(になるのです)大爺、コジジ言うて、婆さんでも、大婆、小婆言うてなあ。

**こした** この様にした

**こした** 溢れた

**こしつかう** 性交する(志(布施田))

**ごしつと** 悉く 沢山に(上、阿)[会話] ゴシツと取れたない(取れてしまった)言うてな、よつけ(沢山)言う事、ちよいと(少し)ねぶらしてくれ(下さい)言うて、ごいととてくと(取って行くと) ゴシツと取てたない(取っていった)言うて、なんでもなあ 沢山 取てく事をなあ、ゴシツと言うてなあ、ごいと 取てたやら(取っていったとか) おおた ゴシツもてて(持って行って) おらな(俺の)当りや(は) 無いない(無いのだ)言うて、わがと(自分が) 先い(に) 食うたや(たら) こや、ごいとくたないたらなあ(食べてしまったとか)、ゴシツとか、ごいととか、同じ意味やけどなあ(です)。

**こしづな(腰綱)【名詞】**海女作業の時、海女が腰に巻く綱。1) 作業用の鑿などを差す綱。2) 一端を腰に巻き、一端は船上にある人が持つ。命綱。息綱。(志)[会話] 1) コシヅナ言うてなあ、おおびづな(鮑綱)をしといて(しておいて) そしといて(そうして) 命綱つけんねもんで(つけるので) コシヅナ付けんとさいご(つけないとそのとき)。今しやだ(いまは) 腰縄言うけどだ、昔や(は) おおびなを言うて、じっばん(立派に) みいこん 繕って(三本組んで) もらよ おったの(貰って居ました)。コシヅナをせなはざん(しなければいけない)言うて、桶綱な(が)

抜けてくもんで(て行くので)それを巻き付けるとは ざん (駄目だ) 言うて、島に巻いたたおりん(てしまった時に) 出よ (出よう) 言うても 出やれやせん (出れません)、息な(が) 切れとんのん (ているのに)、巻き付けると(てやると) それとんのん (取るのに) 息はたかすんやんかい (使い果たすのです) そやもんで (それで) きゅつと取られるよん (ように)、桶網結ぶときや(は) ひきほどきんせらったら (にしなれば)。コシツナ きゅつと抜かれんねけど (抜けるのだが) ひよろひよろん (に) しとかな (しておかなければ) 言うて、そやけど (しかし) 又 風な有る時やなあ (は)、潜つとるうちん (ている間に) 抜けてくと (て行くと) 桶な (が) ひゅつと流れてくんやんかい (て行きます)、そやもんで (それで) そげなあんじ (そんな考へ) するもんで (ので) ちよいと (少し) 完全にしばるおもて (縛ろう思って) 縛るそすとこんだ (今度は) 島い (え) 巻いたたおりんなあ (てやった時に) よわんねてや (弱るのです) 泡食うて。

**こして** こうして 此の様にして(志) [会話] コシテした言うのをなあ こげんしてして来たれ (来ました) こげんしてしとけよお (しておきなさい) おや (俺は) コシテすんねよって (するのだから) じよおく (何時も) 言うて。

**こじとめ** 【名詞】 小姑 夫の姉妹(志(立神)、鳥(答志)) [会話] コジトメ言うて、父さんと姉妹ののおをなあ (のを)、コジトメ、旦那と姉妹、コジトメや (とか)、姑や (だ) 言うて、よけ (沢山) 有って、あの家や (は) 言うて、コジトメな (が) よけ有るよってん (から) 嫁んいても (に行っても) えらいど (大変だ) 言うて。

**こしとる** 溢れている

**こじとる** 1) 無理を言う。頑固に言い張る。2) 物が曲がって順調に進まない。曲がって居る。滞る。[会話] 1) コジトテ まあ きやせんわれ (来ない) 言うてなあ、こげんして (こんなにしても) して呉れ (下さい) 言うても まあ コジトテ一つも (全く) ものも言わんと (言わずに) 他処向いとんのを (ているのを) コジトル言うねやわい (言うのです)。そしてなあ こげんしてしよおや (こんなにしてしましよう) 言うても、おら (俺は) そいなこたしたない (そんな事はしたくない) おら、こしてすんね (俺はこうしてするのだ) 言うのを、コジル言うてな。人の話、コジル 人の話をなあ、反対すんのをなあ (するの

を)、コジル言うて あんな じっきん (彼がすぐ)に コジテ来て言うて、反対すんのを (するのを) コジル言うの (のです)。2) とおや (戸とか) なんかを (なにかを) こじあけて来た言うて、開けられやせんとなあ (開けられないと)、ひねったり はねたりすんのなあ (するの)、コジトル言うの、ぼお (棒) で、こじたれ言うたりなあ、コジトル言うのは 曲ったりして、戸や (とか) なんかが (なにかが) 開かん時も、コジトル言うの、まあ 詰まっとなのをな (ているのを)。

**こしなあ** 【名詞】 腰縄、海女が腰に巻く縄、中央を太くし、両端が細い、鮑を獲る金挺子を差したり 命綱を結びつけたりする。こしづな おおびな おおびづな。(志)

**こしなつかい** 粘りが有る 弾力が強い [会話] コシナイカツイナア言うて、こなんだ (この前) 鉄こおて来たや (買って来たたら) コシナ (が) イカツウテ (つくて) どいらい (大変) 糸な (が) 切りのくいなあ (切りにくいのです)。あんまり (あまり) コシナ (が) カットオテ (硬くて) 握ってもなあ やいこお (柔らかく) きゅつと押されんのならええけど (るのならよいのだから) ぎゅつとせなはざんで (強くしなければいなくて)、コシナイカツウテ使いのくいわれ (使いぬくいです) 言うて。他の事でもかつたいと (堅いと) 最後、まあこや (これは) コシナツヨイよ おななあ (だ) 言うて、うどん食うても おた 此のうどん 腰な有って旨いなあとか、腰な (が) のおて (無くて) なんも (少しも) 旨ないなあ (よ) ちよいと (少し) 腰な (が) 有るぐらいええなあ (よい) 言うて、こちつとはあ (歯) え当んのを (当るのを) 腰な有る言うのなあ (です)。

**こしなきれん** 重い物を持ち上げられない 立ち上がれない(志(布施田))

**こしなつよい** 粘り気がある。弾力性が有って折れにくい。

**こしなぬけた** 1) 力が入らない 2) 驚いた

**こしなぬける** 1) 力が抜ける 2) 驚く

**こしぬやげ** 【名詞】 子供の着衣の丈を短かくしておくための縫い上げ こしのやげ [会話] きもんな (着物が) なあごおて (長くて) 縫い上げをしよおった (しました)。腰い (へ) すんのを (するのを) コシヌヤゲ。

**こしのばす** 休む。休憩する。

**こしのやげ** 【名詞】 子供の着衣の丈を、短くしておくた

めの縫い上げ。腰上げ。のやげ(ぬいあげ) [会話]  
腰ぬあげ。昔や(は)なあごお(長く)すると、こげ  
んして(こんなに)して) 腰い(へ) ノヤゲしよおった  
わい(して居ました)。はぼりを、はぼる事なあ(で  
す)。コシノヤゲ 肩ノヤゲや(だ)とか。縫いあげ  
すんのを(するのを)、ノヤゲや(と) 言うね(言う  
のです)、ぬやげ、ノヤゲや(だ) 言うて縫いあげ。  
縫いあげる言う事をノヤゲ。肩い(へ) すんのな(す  
るのが) 肩ノヤゲ 腰いすんのな コシノヤゲ。

こしはじいたた 力を入れて重い物を持ち上げたりして  
腰に痛みを生じた

こしはじく 腰に痛みを生ずる

こしはじく【名詞】 細紐 女性が着物を着る時に主として  
用いる。(阿、南) [会話] コシヒボを よつけ く  
けてあられ(沢山作ってある) 言うてなあ、コシヒボ  
も おもさま くけてなあ(思う存分作って) きもん  
(着物 着るよんなると(ようになると) よけいりお  
ったなあ(沢山要りました)。ながじばん(長襦袢)  
え一つしてなあ、そやもんでなあ(それだの) コシ  
ヒボも きれな(布が) 有ると こしやえとくね(作  
っておくのだ) 言うてなあ。こしのやげな(腰縫上げ  
が) してあんの(有るのは) いっぽ(一本) でええ  
んけど(よいのだが) ぬやげ(縫上) してないのは  
はぼりする言うて、長いのをなあ、ひぼ(紐) で、つ  
ぼんのを(上げるのを)、はぼりな(が) 有るきもん  
きんの(着物着るのに) 世話(面倒) で言うて、そ  
やけど(しかし) はぼりな(が) ないな(のは) みと  
みのおて(見苦しくて)。

ごじぶん(時分)【御時分】【名詞】 食事時、食事中。

(志、南) [会話] コジブンドキ、御飯時、飯喰い時、  
言うのを コジブンドキや(です)。尋ねてくと(行  
くと) 御飯食べとると(て居ると) コジブンかい(で  
すか) 言うてなあ。飯 喰いどきん(時に) 行くと、  
コジブンやのお(です) 言うて。

ごじぶんかい 食べて居るのですか

ごじぶんこ。ごじぶんこお 食事中ですか

ごじぶんつかい(御時分使い)【名詞】 食事の使い。招  
宴に食事を告げる使い人。[会話] ゴジブンツカイ言  
うな(のは)、葬式して、今日は たいやすんのん  
(精進するのに) 来て呉れよ(ください)とか、結婚  
式で、よさや(夜は) 来て呉れえ 言うて、朝 使い  
出すと(連絡すると) 又、もおひとくら(一度)、ふ  
たくらめ(二度目) 夕方に、ゴジブンツカイ言うてな  
あ、使いだすわい(出します)。来て呉れえ 今日

まあ言うて。ゴジブンツカイな(な) 来やせんらった  
(来なかった) 言うて、ふたくらめ行かんと(二度目  
行かないと) おらげや(私の家は) ゴジブンツカイな  
(が) こらったのん(来なかったのに) 言うて、よお  
言うわい(よく言います)。忘れたりするとなあ ゴ  
ジブンツカイな きやせん(のん) (来ないのに) いかよ  
かれたら(行かれませんか) 言うて。ふたあくら  
さそいな(招待の使者) あって、ふたくらめな(が)  
無いと、始めのひとくらはとおりいっぺんで。やうち  
どおしは(親類同志) ゴジブンツカイ来んでも(来な  
くても) 一回、使いな(が) 有ると 行くけど(行き  
ますが)、たいがい(大体) 義理で呼んでもらう、う  
ちやなあ(招待を受ける家は) ゴジブンツカイな(が)  
来やせん(のん) 言うて言う事な(が) 有るんなあ  
(有るのです)。今しゃ(今は) そいなこたしやせん  
けど(そんな事はしないけれど)、一回、電話でゆや  
(言えば) そげん(そんなに) 使いまらせんけど  
(廻らないが)、昔は 葬式とか、なぬかとか(七日、  
七日の精進)、結婚式、披露宴や(だ)、言うても ゴ  
ジブンツカイ 言うて(言って) ふたくらあつ(ず  
つ) しよおったわい(して居ました)。はよ(早く)  
ゴジブンツカイも、いてこなはざんわれ(行かなけれ  
ば駄目だ、いけない) 言うて、ふたあり(二人) で  
提灯つけて、昔や(は) 使い廻りや(だ) 言うてしよ  
おったの(して居たのです)。使いまありな(が) の  
おても(無くても) いかれんこた(行つてはいけない  
事は) 無いけど(が) こっちゃな(こちらが) えんり  
よすんのなあ(遠慮、気配りするのです)。行てもえ  
えねけど(行つても良いのですが) こっちゃな 義理  
で呼んで貰うとさいご(その時)、遠慮きがね(気兼  
気にかける) すんねわい(するのです)。そやもんで  
(それで) ゴジブンツカイな(が) きやせん(のん) (来な  
いのだ) 言う時な(が) あるわい(有ります)。

ごじぶんどき【名詞】 食事時(鈴市) [会話] 飯くい時  
の事をなあ、ごはんどきんなあ(御飯時に) ごじぶん  
かい(ですか) 言うて、飯、くるとなあ(食べてい  
ると) ごじぶんの最中やのお(です) 言うて、朝で  
も昼でも、ご飯食べとる(ている) 時ん(に) 行くと  
なあ ごじぶんしとんねのお(しているのです) ま  
あ、ゴジブンドキ 考えんと(ずに) 来たてのお(来  
てしまって) 言うて 言う時な(が) 有るてや(有  
ります)。

こじべ【名詞】 わざと人の言う事に逆らう人。こじべえ  
扶兵衛 [会話] ねじべに コジベ言うて。

**こじぼお【名詞】** 芋などを洗う時に用いる棒。二本の棒を中心で縛り、洗う時は開けて、X形にして使用する。挟む棒の意 [会話] 芋 こが (桶) 入れといて (ておいて)、もむ時ん (に) コジボオや (だ) 言うのな (のが) 有るわい (有ります)。にほしといて (二本しておいて) 芋洗うのん (の)。

**こじぼら【名詞】** 1) 法螺の一種 2) 麦藁細工の籠 [会話] 1) ゴジボラ言う法螺な (が) 有ってなあ、ねじねじな (巻いているが) よけあんのなあ (沢山有るのです)、ゴジボラ、にごおて食われやせん (苦くて食べられません)。2) 麦藁のひご (芯) 抜いてなあ、ゴジボラや (だ) 言うて編みよおったわい (編んで居ました) 麦藁のひごつなげて (連らねて) 搦じて、ゴジボラや (だ) 言うて編みよおった (編んで居ました)。コジボラ言うのは ねじねじな (が) よけあんの (沢山有ります) 藁細工の籠みたよんしてなあ (のようにして)。編んでくど (行くと) ねじつてくねて や (のです) ゴジボラ言う法螺な (が) あんね (有るのです) その法螺を真似て編むわけやんかいな (です)、ゴジボラ編もや (編みましょう) 言うて。

**こしみず (こしみづ) (濾水)【名詞】** 濾過した水。塩分、鉄分を除くため、砂、木炭、明礬 やしの樹皮等で、層を作り濾過した水。[会話] かなげな (鉄分が) よお (よく) 出て、かなげ濾して、コシミズして。

**こしみの (腰蓑)【名詞】** 腰につける蓑 (志 (布施田)、鈴市)

**こしやう** 作る こしらえる (志 (御座)、鳥、北、尾) [会話] こしやえる、団子こしやえてなれ言うて、拵らえる事をなあコシヤウ、こしやえる。

**こしやえて** 1) 作って下さい 2) 作った 作って [会話] 拵らえて言うのを コシヤエテ言うて 桶屋で、此の桶コシヤエテもろたねたら (貰ったのだとか) 言うて。

**こしやえごと (拵事)【名詞】** 嘘。事実でないのに、偽って本当らしく作った事。こさえごと参照

**こしやえやまい【名詞】** 1) 自分が病気の原因を作った病気。自分の行為で病気になる事。2) 仮病、病気でないのに病気に振る舞う事。[会話] 1) こお (子) 墮したりすると、しくじったて (失敗してしまつて)、ちわづらいみたいんして (血病のようにして)、ながわづらいしとると (長病して居ると) コシヤエヤマイで あんげん (あんなに) なつた。コシヤエヤマイとか、作りやまいしとて (して居て) 2) 偽せ病や。

**こしやえる** こしらえる。作る。調理する。こさえる参

照。(志 (鶴方)、桑、員、三、四、鈴郡、鈴市、安、度、伊、鳥、北、尾、南) [会話] しおばらい (綿入れ) こしやえてくれ (下さい)、こしらえる言う事をコシヤエル こしやえんね 団子こしやえてなれ言うて。

**こじやか【名詞】** むろ鱈の小さいもの [会話] せながの (むろ鱈) ちっさいの (小さいのを) コジヤカ言うて、むろあじの ちっさいのやてや (小さいのです)。コジヤカもうまかりおったけどなあ (美味かったが)。

**こじやかす** もつれさせる。[会話] 話 コジヤカス、風邪引いたや (ら) 葉のおでも (飲んでも) 治らせんと なあ (ないと) 風邪 コジヤカシタテ 治らせんね (ないのだ) 言うてなあ、こじらかしたたんなあ (てしまったのだなあ) 言うて。話、しても、話な (が) うまいこと行かへんと (行かないと) コジヤカス 言うてな、話 こじやしたて まあなつともかつとも 出来やへんね (出来ないのです)。言うた事な (が) 気に入らんで 相手ななあ (が) おこつてく (怒って行く) 事をなあ、まあ こじらかしたて 言うて。こじらかしたて 言うね (言うのです)。うまい事のにげな (人間の) 気に入る話よおせんでなあ (出来ない) そすとまあ、そのにげやなあ (人間は)、気に入らんで話な (が) まとませんと (ないと) 話 コジヤカス 言うてな。

**こしやく (小癩)【名詞】** 1) 差し出がましい事。よけいな世話をする事。2) ませている事。生意気。[会話] コシヤクな おけ (桶、やめよ)。ちっさい杓 (小さい杓子) 桶い (へ) 入れて、こいつ、コシヤクなおけ言うて。2) ちっさいせんおつてまあ (小さいのでありながら)、大人みたいな (のような) 事言うて、コシヤクなこおやなあ (子だ) あやまあ (彼は)。大人みたいな 事言うたり、したりすると、コシヤクななんど (なんだ) そいな事言うたり (そんな事言うたり) したりして言うて。ませとる (早熟して居る) ませこや (ませ子、早熟している子供だ) 言うのやろなあ (でしょう)、ませとんのを (て居るのを) コシヤクな。

**こじやくし【名詞】** 御飯を御櫃から茶碗に移す杓子。めしじやくし参照

**こしやくな (小癩)【形容詞】** 生意気だ。[会話] なんど (なんだ) コシヤクな、いなんことなあ (要らない事を)、なんも知らんとおつて (少しも知らないのに) おせごと (教え事) してなあ、こや こげんしい



(これはこんなにして) あや (あれは) こげんすんね やったのん (こんなにするのだったのに)、こげんせえ (こんなにしなさい) とか 言うとなあ、なんも知らんとおって コシャクナ おせごととして言うてなあ、がいん知らんとおって (あまり知らないのに) 人ん (に) 教え事すると、それを、コシャクナ言うてなあ。生意気やとか (だとか) そお言う言葉やなあ (です)。知らんとおって 知ったかぶりして、人におせごとしたりなあ 指図すんのを (するのを) コシャクナ言うてなあ。

**ごじゃごじゃ** 【副詞】 1) 多数の物が乱雑にあるさま。非常に混雑している様 2) ぐずぐず不平文句を言うさま。[会話] 1) ゴジャゴジャ言うな (のは)、よっけおんの (沢山居るのを) ごやごやとも言うしなあ、ここん (此処に) こららな (子供達が) ごちゃごちゃする程寄つとんね (ているのだ) 言うて、よけ ひととこん (沢山一ヶ所に) 塊まっどと (ていると) ゴジャゴジャしとる (している) とか、ごちゃごちゃしとる とか、ごやごやしとるとか、一緒の事やけどなあ (ですが)、おおたまあ、のら (お前達) 邪魔んなんのん (になるのに)、ごやごやと よけ (沢山) 寄って来てまあ言うて。

**こしやすめ** 【名詞】 腰休め 休憩 [会話] 腰な (が) 痛い、畑い (へ) いとでも (行っていて) 畑仕事してもなあ、腰な (が) いとおて (痛くて) くるい (に) 座って ちょいと (少し) コシヤスメしよおやんか (れ) (しましよ) 言う時もあるしなあ。たあ (田) 植えんなあ (に) 腰な (が) 痛いとなあ “五月田植えん (に) 泣く子が欲しや泣く子かずけにコシヤスメ” 言うてなあ 畔い (に) 腰掛けて 乳飲ましとんのを (ているのを) 言うのなあ。腰な (が) 痛いもんで (ので) 人な (が) いっしょけんめしとんのん (一生懸命しているのに) 立っておられやせんし (居られないし) すんねけど (するのだけれど) こおな (子が) 泣いて来ると 早よそや (早くそれ) 飲ましん来たれ (飲ませに来ました) 早よ飲ませ (早く飲ませなさい) 言うて、畔い (へ) 腰掛けていて (ておいて) こお (子) を乳飲ましてなあ、そすとまあ 腰な (が) 休まるやんない (でしょう)。そやもんで (それで) 五月田植えん (に) 泣く子が欲しや言うて。コシヤスメ言うな (のは) 休む 休憩すること。

**ごしゅいんでしよおった** 大威張りでしている。人目を憚らず行動して居た。

**こじゅうと** (こじうと) (小舅) 【名詞】 夫の兄弟

(志 (立神))

**こじゅうとめ** (こじうとめ) (小姑)。こじゅうとめ 【名詞】 夫の姉妹。め 雌、女、牝、妻、おんな (志 (立神)、鳥) [会話] コジュウトメな (が) ごしやごしやおって (沢山居て) あの家や (は) まあ言うて。

**こしよおがつ** (こしやうぐわつ) 【名詞】 一月十五日 (阿、張、名)

**こじよおし** (小漁師) 【名詞】 一人で又は二人で、漁をする漁師。舟も小さい。[会話] 網かけや (は) 網かけで、日待ちするし、コジョオシや (は) コジョオシでわがとらな (自分達の) グループな (が) 有ってすんねやろ (するのでしょうか)。小漁師の事なあ (です) 一人や二人乗ってちっちゃい (小さい) 舟漕んで行きおったわい (漕いで行って居ました)。

**こじよおもく** 【名詞】 文句 不平 御掟目か ごじよもく参照

**こしよぐりやい** (こしよぐりあい、こしよぐりあひ) (撥合) 【名詞】 くすぐりあい。互いにくすぐりあう事。[会話] こげんして (こんなにして) ふたんなすんのを (二人がするのを) コシヨグリヤイ言うのなあ (です)。こちよこちよとして、まあ あっちゃな こしよぐると (あちらが撥ぐると) こっちゃも、こしよぐるもんでなあ (こちらも撥るので、コシヨグリヤイしましよ (しましよ) 言うてなあ、そげんしよおったなあ (そんなにして居ました) こちよこちよ しよぐられて (腋の下撥すぐられて) まあ言うて。

**こしよぐる** 【他ラ五】 くすぐる こそぐるの訛 (志 (浜島、布施田、鶴方、神明、立神、志島、国府、安乗)、鳥、度) [会話] どこでもだ、こそばいとこを (撥すぐったい所を) 人な (が) コシヨグルとまたなあ どいらい (大変) きゅうとする時な (が) あってなあ。

**こしよぐんな** くすぐるな

**こじよこ** 【名詞】 こちよこ参照

**こしよこしよばなし** 【名詞】 内緒話 ひそひそ話 [会話] なんしよ (内緒) 話すんのを (するのを) こそ こそ話して言うて、耳のもといいて (近くへ行って) 言うのをなあ コシヨコシヨバナシや (とか) なんしよ話や (だ) 言うて。

**こしよつく** 【自力五】 1) こそこそと人目をはばかって行動する こそつく 2) 着物などが体に合わなくて 気持が悪るい

**こしよばい** 【形容詞】 くすぐったい。こそばゆい。(志 (神明、浜島、御座、布施田、志島、鶴方、立神、甲賀、国府)、鳥、一、飯、度) [会話] こそばいわ

(です) よけ (あまり) こそぐんな (るな)。こちよこちよやかか (腋の下だとか)、足のひら (裏) 搔くと、こそばいやんな (でしょう)。そすと こそばいわれ 言うて、よけ こそぐんなまあ 言うて。こしよぐる言うて、足のひら (裏) ちよいちよいと (少し) 搔くと、コショボオテ (くすぐったくて) まいき ってくほど (勢いよく、天に舞い上る程) コショバイ やんない (でしょう)、よけ こしよぐんなまあ、こしよぐんな 言うね (言うのです)。その時 コショバイ、コショバイわれ まあ よけ こしよぐんなまあ 言うて。

**こしよばがる【自ラ五】** くすぐったがる

**こしよばがりや【名詞】** すぐくすぐったくなる人 少しの事にくすぐったい感じを持つ人 [会話] コショバ ガリヤやなあ (だ) 言うて、ちよいと (少し) 当っても わあ 言うて来るにげな (人間が) 有ってなあ。

**こしよばおて** くすぐったくて

**ごじよもく【名詞】** 文句、ごちゃごちゃ言う。(志 (布施田、国府、安乗)) [会話] ゴジョモク、なんやか や (色々) いろんな事を、あれ言ひ此れ言ひしてすると、よけ (あまり) ゴジョモク言うなまあ (言うな)。

**こしらえ (拵)【名詞】** 1) 準備、したく、ものの出来上りの様子。作り、予想される状況に合せて準備すること。支度。したごしらえ (したごしやえ)。2) 身支度 [会話] 1) したくすんの (準備、用意するのを) こしやえ。支度 夕飯のコシラエして貰うとか、ぜんぶん (膳分、御馳走) のコシラエして貰うとか、言うて。こしらえるのを こしやえる言うの (のです)。

**こしらえごと (こしらへごと) (拵事)【名詞】** 1) 事実でないのに、偽って本当らしく作った事。2) 食事の用意。[会話] 1) 嘘ごとと一緒。

**こしらえやまい (こしらへやまい)【名詞】** 自分で病気の原因を作った病気。特に墮胎の失敗した後の体の不調を言う。[会話] こお (子) 墮して、後でまあ、ちわずらいや言うて、ぶらぶらしとると、あやまあ (彼女は) 拳骨やって (墮胎して) コシラエやマイで、あげなね言よおった (あんなの言って居た)。

**こしらえる (こしらへる) (拵)【他ア下一】** 作る 用意する 身支度する (志、鳥、桑、安、一、多、阿、度、伊、北、熊) [会話] おかザコシラエルとか、きもん (着物) コシラエルとか、魚コシラエル (料理する) とか。魚こおて (買って) 来ても、こしやえる (料理

する) にげなのおて (人間が無くて) 言うて。コシラエルで、身支度する、畑い (へ) 行くのん (に) 体もこきえて 早よ (早く) 出るよんせなはざんわれ (ようにしなければ駄目だ) 言うて。こきえんのな、おつそおて (こしらえるのが遅くて) 言うて。姑婆は、まあ、家ん (に) おって (居て) たらもとしもとと (お勝手しまっている)、嫁な (が) まあ、飯 食うて、体い (へ) 脚伴履いて、てがけ (手掛け) かけて、びゅつと 畑い (に) 出ると、ええねけど (よいのだが) 家んおって、早よまあ (早く) あれもせなはざんのん、これもせなはざんのん (しなければいけないのに) まだ、あやれ、ごてごてと、頭なで、顔なでしておんねない (居るのだ) 言うて 嫁な (が) 家出な (が) おつそいと (遅いと) 姑婆さんな (が) ぼえぼえ言うて、婆な (が) 気に入らんね (入らないのです)。

**こじらかず (拗)【他サ五】** 1) 物事を面倒にする もつれさせる 2) 病気を治しそこなって重くする (志 (神明、甲賀、国府、安乗)、鳥) [会話] 1) なんでも、反対して、ああでもない、こおでも無い言うのを コジラカス言うし、2) 病気のコジラカスのも有るし、そしてまあ、なんやかやも (いろいろ) ねじつてて (捲っていつて) 言うて、ねじつてて (曲がつていつて) こやれまあ (これ) いごかせんわれ (動きません) 言うてなあ。

**こじらす (拗)【他サ五】** 1) 物事もつれさせる。面倒にする。2) 病気などを治しそこねる。悪くして長引かせる。(鳥)

**こじり【名詞】** 肛門の上のくぼみ [会話] 尻のコジリ、コジリ言うな (のは) 尻なあ (です)。にげの (人間の) 尻の上 ぼんぼら (肛門) の上とこ (所) へこんどるとこなあ (へこんでいる所です) コジリや (だ) 言うのな (です)。

**こじる (抉)【他ラ五】** 意地悪く、理屈を言って人をやりつける。こじらせる。横槍を入れる。(志 (浜島、鶴方、立神、国府、安乗)、阿、張、名、津) [会話] 芋 コジルとか、人の言う事コジルとか。芋をコジル。芋こじや (だ) 言うて。芋、こが (大きな桶) 入れといて (入れておいて) もむ (揉む、皮をむく) 時ん (に) こじぼお (こじる棒) 言うのな (が) 有るわい (有ります)。にほ (二本) しといて こねんの (こねる)、芋こじ、コジリ言うけど (言います)。人をコジン (こじる) のは、そげん (そんな)に) したらはざん (駄目だ) こげんせなはざんのん (こんな)に)しな

ればいけないのに) 言うて、人のした事を反対すんの(するのを) コジル言うのなあ(です)。かなてこ(金挺子)でコジル。それも コジルやなあ(です)。こや(それは)よお動かさんよって(ないから)かなてこで、こじあげえ言うてすのと(言うてするのと)。

**こじる (挟)【他サ上一】** てこで物を動かす。隙間などに物を入れてねじる。前項参照

**こじれた。こじれてた** 面倒になった もつれた

**こじれる (拗)【自ラ下一】** 1) わざと反対する。もつれる。(志(浜島)) 2) 病気などが重くなる [会話] 1) コジレル言うな(のは)、話をまとまとんのを(て居るのを)、そげなな(そんなのは) はざんやんか(駄目です)、こげんせな(こんなにしなれば) はざんやんかあ 言うて、こじらかしたんの(もつれさせてやるのを)。まとまとんのを(ているのを) うちやったんのを(壊してしまうのを) コジレル。

**こしん** あの所に、こし、所、場所 [会話] あしこの(あすこの) コシン 行くと、あしこのとこい(あすこの所に) 行くと あんどてやらなあ(有るぞとか)、あしこの コシンなれ あんど 言うて、あしこにあられ(あすこに有る) 言うのをなあ、あしこのとこん(あすこの所に) 有る言うのをなあ、あしこの コシイ 行てなれ(に)行つて) よけ取てきたれ(沢山取てきた) 言うて。あしこの コシン いたや、よけ(行つたら沢山) 有つてなれ(有つて)、あいな(あんな) コシン 生えるもんか(物ですか) そや(それは) 言うたりな、コシニ言うね(言うのです)。コシン言うたりな。

**ごしんすい【名詞】** 神前に供える水 [会話] 米あると いてするもんで(洗つてするので)、あらいよね 言うて。そして お水供えと、ゴシンスイ 言うて。ゴシンスイとあらいよね供えとけ(ておけ) 言うて。

**こじんまり (ごちんまり)【副詞】** 小さくまとまっている様 [会話] コジンマリした家、建てて言うて、ちよっこり(小さな)した家を みきりずまい(三部屋)のコジンマリした家建てて言うてなあ、人でも綺麗にしてなあ、きちんとしたふりしとると(格好していると) コジンマリとして あのひた(人は) 気持ちな(が) ええなあ(よい) 言うてな。

**こす (越す)【自サ五】** 1) あふれる コユ(越)の自動詞(南、熊) 2) 追い越す [会話] 1) 水がコス。まんたん(満タン、タンクが一杯になる)になるとコス。茶碗から水があふれるのも コス。そやまあ

(それ) こしてくない(こして行きます) はよ(早く) 水道とめな(止めなくて)は。2) 人より先コス。さきいい(先へ行つて) 先 コサレタレ(越されてしまった)。先 コサレタヨオ 言うて。自分ではよい こ(早く行こう) おもとんのん(思つて居るのに) 人ないたると(が行つてしまうと)。

**こす (濾)【他五】** 濾過する。[用例] 味噌コス。

**ござ【名詞】** ございお ござい(権瑞)。ござゆお。ござい科の魚。なまずに似て居るが、本種では口ひげが、八本有り長い。第二背びれが有る。第一背びれと、胸びれに有るとげに刺されると、激痛を感じる。体側、二本の黄色の縦線は、幼魚では非常に鮮やかである。体長30cm位になる。(志(磯部、鶴方、神明、立神、国府)、鳥(菅島、石鏡)、度) [会話] ゴズイオ ござゆおやし(です)。

**こすい (狡)【形容詞】** 利にさとく、ずるい。狡猾である。けちである。(志(浜島、布施田)、鳥、員、鈴部、鈴市、津、久、一、松、多、上、阿、張、名、北、尾、南、熊) [会話] コスイナア あのなあ(は)。あのなあ こすよもやなあ(狡猾な人だ) 言うて。すこいのお(ずるいのを)、すこい(ずるい) 事すると。すこい事言うて、なんでも 狡猾に廻る(行動する) 人を コスイ。あのひた、すこおて(人はずるくて)、何でもかすり(上前をはねる事) 取つてとか、仕事しとて(して居ても) あや(彼) コスイねよって(のだから)、しやす(容易) とこぼつか まある(所ばかり廻る)とか、そいな(そんなのを) コスイ。

**ございお【名詞】** 魚、ござ参照(三重県全域)

**こすがり【名詞】** 櫓を漕ぐ時 その櫓に手を沿えて助ける人 力仕事を助ける人 [会話] どお(櫓) え、すがる、コスガリ 言うて、どお 漕んで 先を漕んだる(でいる) 人い(へ) こんだ(今度は) 一人なあ コスガリ つけて早よ押せ(早く漕げ) 言うてなあ、すがんの(のです) 二人で 漕ぐのを、コスガリ 言うなあ(言います)。

**こすがる** 櫓や挽き物白などに手を借す 手助けする [会話] ど(櫓) え すがる。コスガル言うてなあ、ど漕んで(櫓漕いで) 先をなあ 漕んだる(漕いでいる) 人い(に) こんだ(今度は) 一人なあ、コスガリ 付けて早よ(早やく) 押せ 言うて、すがんの(手伝うのを) 二人で 漕ぐのを、コスガル 言うなあ。どおな(櫓が) おつきいと(大きいと) 一人で引くのな まあ えらいんてや(大変なのです) すがりな(が) 付くと、かあるうてなあ(軽くて) 舟な(が) おつきい

と(大きいと) どお(樽)も、おっきいやんな(大きいでしょう)。そやもんで(それで)一人で漕ぐとえらいの(大変なのです) そやよって(それだから) みな(皆) すがりつけてなあ。挽き臼で こお(粉) 挽くのなあ それ、すがんのも(るのも) すがれ言うて、じいやんな(爺さんが) とふ(豆腐) 屋しとて(して) いて その豆挽くの(のです) とふ屋の 臼は またどいらいんでや(大きいのです) それをなあ、挽くのん(に) すがらな(なげれば) すがる言うのは 二人ですのを、すがる言うの、手伝や(です) 手伝の事やわな(です)。

**こずくない** 少し足りない(志(布施田))

**ゴスタン【名詞】** 1) 後進 後戻り go-aster nから(志(鶴方、神明、志島、国府)、北) 2) 出戻り 3) 舟を後進させる事 [会話] 2) 後戻りかい(ですか) 嫁んいても(に) 行っても あやまあ(彼女は) ゴスタンして来たれ(来ました) 戻って来るとなあ。まあ あや(彼女は) チンチンゴスタンや どお言うね(だ言うのです) チンチンゴスタンや(だ) 言うて。

**こすよま。こすよも【名詞】** 狡猾な人(志) [会話] コスヨモ すこいの(のを)。コスヨモ。すこい事すると、此れを あんな(彼が) 知らんうちに(知らない間に) 隠しとけ(ておけ)とか、とっとけ(取っておけ)とか すこい事するやんない(でしょう)、かくし事すると。あや(彼は) すこいねよって(のだから) ちゃんとまあ引いてたれ(引いて行った。持って行った)。すこい事して言うて(言って)。なんやかや(色々) 人の知らんうちに(知らない間)、きゅつとしてくんの(して来るのを) すこい。なんやかや分けても 半端になると はあ(半端) だけ ひゅつと入れたり(自分の物にする) すこい事して来る、すこいのをなあ。おっきいの(大きいのを) ねがめといて(にらめておいて、睨んでおいて) 取ると、あや(彼は) すこいねよって いっち(一番) おっきいの(大きい物) 持たれ(持って行った) 言うて、すこよもや(だ) コスヨモや(だ) 言うて。仕事する時や(は) がいにせんとおって(たいしてせずに居て)、そお言う時だけえらいのおを(上手に立ち廻るのを) コスヨモ言うの(のです)。仕事せえ(しなさい) 言うて、仕事さぼっておって(居て)、何か物分けるよ おん(に) なると、どこな(が) おっきいか ええかい(良いかな) おもとて(思つて居て) 一番おっきいの を わがとな(自分が) 取つてすんの を(する

のを) コスヨモ。

**こする(擦)【他ラ五】** 1) 摩擦する。2) それとなく、皮肉を言う。当てコスル。(志(甲賀)鳥上、阿) [会話] 1) 縄をコスルとか 体をコスルとか、なんでも(何でも) おとす時、擦すつたれ(洗う時擦すつてやれ)。2) 人に嫌な事言うのも コスル。なんかさかん(なにかいやな) 事を 当てこすり。当てこすり言うて、じか(直接) に言わんと(言わずに)、謎掛けるよおに言うの(のを)。当てこすり。歌、うとても(歌つても) 当て歌嫌い、煙草吸うても(吸つても) やにや(やには) 嫌い言うも、うなじ(同じ) 事であてこすり言うて、すかんもんやわい(いやなものです)。

**こすれる(擦)【自動下一】** 擦れて当る コス(擦) らるの約(大言海)

**こせ【名詞】** 皮膚病。肌がかさかさになる。乾燥性皮膚掻痒症。こせがさ 雁瘡の略

**こぜい(小勢)【名詞】** 小人数。少ない数。[会話] 家内な(家族が) コゼイのうちや、するけど(家はするが)。

**こせかき【名詞】** こせにかかった人 [会話] “ひぜん(皮癬) 掻いても、かささいかかな(梅毒さえかかなければ)、渡る世界にはじゃ(恥は) かかん” ひぜん かきコセカキ言うて、コセカキ (こせかきは) 今頃ん(十月に) なつて来ると、おこつてくんのなあ(来るのです)。雁な鳴く頃になると おこつて来んのなあ。肌が荒れて、がさがさして、かさかさと落ちて、掻いたふさな(が) 汚いのなあ(のです)、コセカキは。肌なわり(悪い)と、コセカキみたよななあ(のよう)だ 言うて、あれも皮膚病やろなあ(でしょう)。かさみたよおん(のように) かさびたん(かさぶた、痂皮に) ならせんけど(ならないが)、ふさな(が) こぼれて汚いのなあ コセカキ (こせかきは)。秋、春になると おこつて来んの(来るのです) くささき(草先) くさがれん(草枯に)。

**こせがれ(小伴)【名詞】** 年の若い者を、ののしつて言う語。小僧。少年。[会話] コセガレてや(とは) おとぼおやわな(末っ子です)。

**こぜき(小咳)【名詞】** 小さな咳

**こぜきせく** 小さな咳を続けて咳く(志(布施田))

**こぜくる** まぜかえす。人の言う事のあげ足を取つて非難する。

**こせこせ【副詞】** 1) 挙動に落ち付きがなく、あくせくして居るさま。心にゆとりがなく、小さな事にこだわ

るさま。大まかでないさま。コセはコセ（小狭）の意（大言海）コセはコトシメの反（日本国語大辞典）（鳥）2）よく働く人【会話】<sub>1)</sub> コセコセと なんやかや（色々）こまかし（細かい）事に気が付いてなあ。こまかし事に、気が付くと、コセコセとまあ、あの人はせせかし（面倒な、忙しい）人やなあ（だ）。コセコセ 気な（が）付くな（のは）こまごま（小さい事をする）するもんで（ので）、コセコセする人は嫌われるわい（嫌われます）。気持ちに余裕が無い言うんやろなあ（言うのでしょうか）。コセコセと、こまかしとこ（所）に気づく。コセコセとまあ言うて、よお（よく）言う言葉やんかい（です）、手ごこしする人を コセコセして。てごこし言うな（のは）なんやらかんやら（色々）あれもしい（する）これもしい こまかい事を（小さい事を）こてこてと、なんでも（何でも）気、付けける人やなあ（です）。こまごまいごきして こてこてする言うて（言うて）、何でもちっちゃい（小さい）事でも丁寧にする人がある、こまごまと。

**こせつく【自力五】** こせこせする。こまごまとした事まで気を配る。（志（布施田）、津、松、多、上、阿、張、北、尾）【会話】 こせこせとして せせかし（忙しい）人やなあ（だ）。ちっちゃい（小さい）事を、こせこせするとなあ、あの人はまあ こせこせと コセツイテ。せせかし言うな（のは）、かせわし言うのを、せせかして言うのなあ（のです）。こせこせも言うし（言いますし）こそこそと言うしなあ（言います）。こせこせも、こそこそも 一緒やけど（ですが）いいよおななあ（言い方が）その人によって色々となあ。

**こせとる** 大人びている（志（布施田）、一）

**こせる【自ラ五】** ませている 大人びる（志（立神、国府）、上、阿、張）

**こぜる【動詞】** 1) 人の隠し事を、探り出す。人の欠点をほじくる。ほぜる 2) まぜかえす からむ【会話】<sub>1)</sub> なんやかや（色々）言わんでええこと（言わなくてよい事）も、コゼリ出して言うたり（言ったり）、なんやかや コゼリ出して、掘りだして（明るみに出して）おこしたてやら（とか）。こせこせと、そこの（そのあたりの）ぼらんのおも（穴のもの）ほぜくり出して（掘り出して）。<sub>2)</sub> 言葉でも人の言う事を、こまかし（細かい、小さい）事でも、ひっかけて、コゼル言うんなあ（言うのです）。こじる言うたり（言ったり）コゼルとか言うの（言うのです）。こ

まかし事を きい（気）つけて言う人なあ（を）あの人は なんやかや（色々）コゼル言うて。おつきい（大きい）物、いごかすのおほ（動かすのは）こてるやけど（ですが）、コゼル言うのは、こじるとか、コゼル言うのなあ（です）。人のいなん事（よけいな事、いらない事）を、コゼリ出して言うて（言うて）、言うていかんよおな事を 人な（が）隠しときたい（ておきたい）よおな事を、隠しとる（て居る）事でも、ほじくって（掘り出して）言う事 コゼリダス。

**こぜわし（こぜはし）（小忙）【形容詞】** 気ぜわしい。

【会話】 コゼワシ言うのも こせつく言うのも一緒みたいな（のような）事や（です）。せわしない（多忙）コゼワシなあ言うて、かせわしとか。かせわしいのを、コゼワシ言うんかいなあ（言うのでしょうか）。おおたまあ（ああ）、なんやら（何か）いそいそとかせわしなあ言うて。コゼワシ言うた時ん（に）うるさい言うよおな気持ち有るわい（有ります）。うるさいよおな 気持ちやんかい（です）そおゆう時は、コゼワシ言うのはなあ（言うのはですね）、あんまり（あまり）いそいそと、べつんも（特に、特別に）忙がしそおにすんで（するので）はた（側）のもん（者）は、のんびりしとんのおに（して居るのに）うるさいなあ 思う気持ちな（が）有るわい。

**こぜん（小銭）【名詞】** 小額の金銭。小使銭。札に対し以下の貨幣。【会話】 コゼン 十円や五円言うのなあ（です）。コゼンをよけ（沢山）貯めとかなはざんわれ（ておかなければいけない）こららん（子供達に）呉れんのん（るのに）言うてな。今で言うたら十円、五円そいなのおが（そんなのが）コゼンやわな（です）。昔や（は）一銭、二銭で十銭言うたらおつきかったわな（大きかったです）五銭から下を言うんかいなあ（言うのでしょうか）。

**こぜん（御膳）【名詞】** 御飯。食事を丁寧にする。（鳥、桑郡、桑市、員、鈴市、三、四、安、松、多、上、阿、名、伊、北）【会話】 御飯の事を ゴゼン。

**こぜんつぶ（御膳粒）。こぜんつぶ【名詞】** 飯粒（鳥）【会話】 めつぶ（飯粒）。御飯つぶ それをゴゼンツボ言う人もあるしなあ（あります）。こぜん言うて 丁寧な言葉やんかな（です）。はいからに使う言葉やなあ（です）。普通は めし言うし（言います）、そして めしつぶ（飯粒）を めつぶ（だ）。こぜんとか ごはん言うのは、上品で、はいからな言葉や。普通、めしや 言うしなあ（言います）。芋飯や 麦飯や 米の飯や 言うし、米の御飯

や 芋御飯や はん (飯) を付けるのおは (のは) ど いらい (大変) ていねえなのな (丁寧なのです)。

**こそ【名詞】** 密かに物事を行う事。名詞の上につけて人に知られないように、物事をする意を表す。こそこの略。(上、阿)

**こそ【係助詞】** 反語を示す それだけに限り、他の事はそうでも無い事を言う、俺がおればこそ、言うんこそ、言わんこそ。前言を誇示し、後言を強調する(三重県)

**こそすり【名詞】** 内密で売る事。密売(志) [会話] コソウリ言うな (のは)、なんしよで (内緒で) 売る事 なあ (です)。こそ松 (仇名) な (が) こおて (貰って) コソガイ (です)。

**こそがい【名詞】** 内密で買う事。こそすり参照(志(布施田))

**こそぐったい【形容詞】** くすぐったい こそぐり イタシ(甚)の急呼(大言海)

**こそぐる(擽)【他ラ五】** くすぐる。こしょぐる参照 コソはコソぐ(刮)の語根 クルは繰る(大言海)(志、桑市、員、四、鈴郡、鈴市、安、津、久、一、飯、松、上、阿、張、名、伊、鳥) [会話] こしょぐる。こしょぐんなまあ (くすぐるな) こしょばいのおん (くすぐったいのに)。腋の下 掻いたり、足の裏 掻いたり、だれ (どれ) こしょぐったろん (てやろう) 言うて、子供らをこしょぐりおった (くすぐった)。コソグル言おかい (言いません) コショグル言うね (言うのです)。

**こそぐんな** くすぐるな こそぐる参照

**こそげてく** 1) 全部持って行く 2) こすって行く(志(布施田))

**こそげる(こしょげる)【削】【他ガ下一】** 1) こすって落す。かき落す。表面に付着して居る物を、削り取るようにして、そぎ取る。(四、津、多、上、阿、張、名) 2) 何も残さず、すっかり取る。あるだけかき集める。(上、阿) [会話] 1) 鍋の底をコソゲルとか、なんやかや (色々) ひつついとんのおを (て居るのを) コソゲタル とか、こびりついとんと (て居ると) それ (それを) コソゲ 言うて、取ったれ 言うのを コソゲ。コソゲタレ (てやれ) そや (それ) 鍋の底も コソゲ 言うてなあ。こびとんのおを (焦げて居るのを) 杓子でコソゲとけ (ておけ) 言うて。力入れてだ コソゲな取れん (なければ取れない) のも有るし、そつと (そうすると)、コソゲ ても 取れん (取る) のも有るしなあ (有ります)。2) こそつと取っ

たれ、コソゲル 言うのは 全部 取ったれ 言う意味も有るわな (有ります)。全部そや (それ) コソゲ テ、こそつと取ったれ 言う時も使うしだ (使います)。そや (それ) コソゲ テ取ったれ 言うて、こそつと取ったんのか (取ってやるのか) 言うて、おお (はい) こそつと取ったれ 言う時もあるし (有ります)。こそつと 言うな (のは) 全部取れ言うのなあ (です)。こそつと。

**こそこそ(狐崩狐崩)【副詞】** 1) そつと。静かに。2) よい具合に塞がらない。余りがある。物を入れる時、余りがある。[会話] 1) コソコソと まあ、あや (あれ) 内緒話しとられ (して居る)。ひそひそ話しとんのおを (小声での話して居るのを)。コソコソ するとか、人の立ち聞きすんのを (するのを)、コソコソと立ち聞きしとる (している) とか、内緒ですんのを コソコソ。あれは、ちよこつと (少し) とか、ひつそり (内密、静か) とか、言うてなあ。2) コソコソしとる 言うやんかい (言うではありませんか)。なんも (なんにも) 一杯にならへん (ならない) のを、袋に物入れて一杯になるとええんけど (良いが)、なんやら (何か) こそごそしとんのおを (して居るのを) コソコソやんかあ (でないか)、こそごそやなあ (です) 言うて。かあるいと (軽いと) こそごそしとられ。着物、着ておつきい (大きい) 着物 着て、おぶれとる (余りがある) のも、こそごそしとる (して居る) だばだばしとる (して居る) とかなあ。

**こそごそ【副詞】** 1) 絶え間なく、体を動かさず。 (志(布施田)) 2) 物事を緩慢にするさま。 3) 大き過ぎてびったりしないさま こそこそ参照(張、北)

**こそこそねこ【名詞】** あたりをうろつく人 隙を窺う人

**こそこそばなし【名詞】** 小声でする話。内緒話。(尾) [会話] なんしよ (内緒) 話すんの (するのを) コソコソバナシ して言うて、耳のもといいて (近くに行つて) 言うのをなあ。

**こそだて(子育)【名詞】** 子供を育てる事 子供の養育

**こそだてのよざかり【名詞】** 子供の養育に一生懸命の時

**こそつく【自力五】** 1) 内緒でこつそり行動する。(員) 2) 隙間が有る [会話] 1) コソツク 言うな (のは) よお (よく) 盗みしてのお、こそこそと人のもん (物) 盗だのおを (のを) コソツク 言よおつたのお (言っていました)。

**こそつく【自力五】** 1) こそごととする。うろつく。

2) 大き過ぎてびったりしない [会話] 1) こそこそ

ごそごそ よお似とる (よく似ている)。ゴソツク、ごそごそするなあとか、そこらな (が) なんやら (何か) ごそごそするやんかあ (します)。此处へ来てなあ、こんえん (こんにに) してしとんのんなあ (して居るのに)、此の人ら (は)、ごそごそしとるやんない (して居るでしょう)、こいな (こんな) 事を ゴソツク。ひょいと来て ごそごそしとるやんない、あんた (貴方) ごそごそと なんしとんねえどい (何をして居るのですか) 言うんやんかい (言うのです)。そいなのおを (そんなのを)。物置に鼠が入ったよおん (に) ごそごそして言うてなあ こんな時に使うの (のです)。

**こそつと**【副詞】静かに、ひそかに、こっそり。(上、阿) [会話] コソツ内緒で行てこおん (行って来ましょう) 言うて、そおおとと抜けられる事。内緒でコソツ彼女が来たとか、コソツ 置いて来たとか、内緒事みたいな (のような) 事を。コソツまあ 抜けて来たとか言うて。

**ごそつと**【副詞】根こそぎ。非常に多く。ごっそり参照かまいたち参照 (上、阿、張、北) [会話] ゴソツ 取られたたて (てしまつて) ゴソツ とてく (取つて行く)。

**こそつともせん** 非常に静かなさま (員)

**こそで** (小袖)【名詞】絹の着物。紋付き。晴れ着。(志 (甲賀)、飯) [会話] 表も裏も 絹で作つて有るきもん (着物) をコソデ、紋付きのおは (のは) 裏も表も 甲斐絹でしてあるやんない (して有るでしょう)。あいな (あんなのを) コソデ。コソデの紋付き言うて、一番ええきもん (良い着物) をなあ。紋付きを。絹の裏な (が) 付いて、通しで、裾ははっかけ からずうと絹でして有るもんで (ので) コソデ 言うん やらなあ (言うのでしょうか)。

**こそどろ**【名詞】こそこそと人の目を盗んで僅かな物を盗む人、こそは、こっそりの意、どろは泥棒の略 [会話] コソドロ 言うなだ (のは) ちっちゃい (小さい) がいなもん (大きな物) よお盗らんと (よく盗らずに) そこらの南瓜 や (だ) とか、なあや (菜だ) とかなあ、ぜん (銭) でも おつきいぜん (大金) よお盗まんと (ずに) ちよいとした (少し) 其処らん (に) 置いて有るのをなあ すんのを (盗るのを) コソドロ 言うのなあ (です)。けえさついする (警察へ届ける) よおな、おつきいのおやないけど (大きなのではないが) 何んやかや (いろいろ) 人のもん (物) とんのを なあ (盗るのを) あや (彼は) コソドロ であ

言うて。

**こそばい**【形容詞】くすぐったい。くすぐられるなどして、むずむずした感じが耐え難い。(志 (越賀 片田 船越 畔名 鶴方 神明 志島 国府 安乗)、鳥 (相差、坂手、答志、鳥羽)、桑、桑市、員、四、鈴郡、鈴市、安、津、久、一、飯、松、多、上、阿、張、名、伊、北、尾、南、熊)

**こそばがりや**【名詞】すぐくすぐたくなる人 少しの事でもくすぐたがる人 [会話] コソバガリヤ やなあ (だ) 言うて、ちよいと (少し) 当つても わあ 言うて来るにげな (人間が) 有つてなあ。

**こそばがる**【自ラ五】くすぐったい気持ちを、言動に表す。

**こそばやい**【形容詞】くすぐったい (志、松、多)

**こた** 事は (志 (布施田)、度、尾、南) [会話] そいな コタ (そんな事は) あろかい (有りません) 言うてなあ、同じ様な事ばつか (ばかり) 言うとると (言っている) そいな (そんな) 事ばつか 言うてまあ そいな (そんな) コタ 言わんでええわい 言う ね (言わなくてもよろしい言うのです)。そいな コタ よけ 言う てく んな (あまり言うて来るな) とか、そいな コタ よけ すんな (あまりするな) とか言うてなあ。

**こたい (こたひ) (答)**【名詞】答えの変化した語。[会話] その コタイ なん ど お 言う やん かい (なんだ言うて有りませんか)。なん やか や (いろいろ) 問うてだ、なん も (全く) コタイ も せん と (せずに) 言う やん かい (言います) なん やか や た の で も (いろいろ頼んでも) なん の (何の) こた え も 無 か つ た 言う て な、して 呉 れ 言う て 言う た け ど (が) なん も (全く) 返 事 せ ら つ た (しなかつた) 言うの、なん も こた え ら つ た (なかつた) 言うてな。

**ごたい (五体)**【名詞】身体 四肢と胴体

**ごたいてん**【名詞】海が荒れて沖で操業せず、船を漂流させていること。

**こたえ (こたへ) (答)**【名詞】ある行動に対しおこる反応。手答え。[会話] 手ゴタエが無いとか、齒ゴタエが無いとか、こたいな (が) 無い事、たわいなねえ。

**こたえ (こたへ) (堪)** 耐える事。こらえる事。支える事 [会話] そや (それ) かい つ て く られ (倒れてくる) コタエ と け ま あ (支えておきなさい) 言うたりなあ。そして、い っ し ょ け ん め ん (一生懸命に) なつてする事を、ほん ま あ (本当に) コタエ た よ お 言う て な、仕 事 な (が) え ら か つ た (大変だった) ああ、コタエ た 言う 時 も 有 る し な あ。コタエ た 言う の は 突 つ

張つとる(ている)支えるとか、そや ちょいと(それ少し) コタエとれよお(ていなさい) 言うて。物が かいいておとすんのを(倒れようとするのを) かい らさまい(倒さない) 言うて 突つ張つとんのを(ているのを) コタエとれよお 言うねな。しんぼすんのも、コタエル言うて、コタエな足らんで言うて、せんぎり コタエタけど、よお コタエらった言うて、しんぼ(辛抱) よお せらった(しなかった) 言う事なあ。怒られて どいらい(大変) コタエタ 怒られた 時んなあ(に) まあ 身に沁みる、あの人な(が) 言う こた(事は) コタエルなあ、言うて よお言うやん かい(よく言います) 身に沁みる程つらい事を言うん やろなあ(言うのでしょうか)。

**こたえた** 身にしみた。疲れた。こたえ参照(志(布施田))

**こたえやせん** 1) 身に沁みない。2) 苦痛にならない。

**こたえられん** 我慢できない

**こたえる(こたへる)(応)【自ア下一】** 1) 苦痛に感じる。疲れる。2) 応える 刺激や衝動を受け、それを痛手として強く感じる。身に沁みる(南) 3) 耐える(志、鳥、桑市) 4) 支える [会話] あんたな(が) 質問して、わしらな(が) コタエルのも有るし、<sub>1)</sub> 仕事を よけ(ようけ)して 体にコタエルも有るし。 体にきく(作用する)を コタエル。 体に コタエル言うのは、 仕事な(が) きつかって、おおた(ああ) まあ 今日は コタエルなあ 言うわい(言います)。<sub>2)</sub> 人に小言言われたり 何か言われた時も コタエル。きつつい(きつい) 事言うと、コタエルよおな事言うて。

**こたえん** 1) 苦痛でない 苦にならない 2) 応えない 3) 耐えない

**こたおかい。こたおかな(女性語)。こたおかれ** 1) 苦にならない。2) 圧力に対し抵抗出来ない(支柱などが支えきれない)。3) 叱っても効かない。

**ごたがい(御互)【名詞】** 御互い。同じ関係状態にある。自分と相手。又、その双方。[会話] ゴタガイに、あれしよおやんかい(しましょう)、遠慮無しに 両方な(が) 出しおて(出しあって) わりあい(割り合い、頭割り) したのおを(のを)、ゴタガイが 出しおてしよおや(出しあってしましょう)とか、ゴタガイに、そいな(そんな) 事は しっご無しに しよおやん かあ(しましょう)とか、なんやかや(色々) わりや いしよおや(割り合いしましょう)とか、お前げ(あなたの家) したよつて(から) わしとこ(私の所) も

する言うて、そいな(そんな) 事、ゴタガイに やめと いて(止めておいて)、普通で やつとこやんかい(しておきましょう) 言う 時ん(に)、ゴタガイ 言うけど、ゴタガイに そいな事言つこなしに しよおや。

**ごたがいさん【名詞】** 互に 同様だ

**ごたく(御託)【名詞】** むだ話 御託宣の略 自分勝手な言い分を、さもえらそうに言いたてる事。(津) [会話] ゴタク言うのは、あんまり(余り) 聞かへんなあ(聞きません)。ごじよもく(文句) 言うよおな事 かいなあ(でしょうか)。よけ(多く) ごじよもく 言うな まあ(言うな) 言うけど。 ごじよもく 言う事、いろんな事を あれ 言い これ 言いしてすると よけ、ごじよもく(あまり文句) 言うな まあ 言うて そんな よおな言葉 やろ(でしよう)。

**ごたくあげる。ごたくならべる** 自分勝手な言い分をえらそうに言う。つまらない事をくどくど言う。(志(浜島))

**ごたくさ【名詞】** 1) 混雑して居る様 2) 愚図愚図しているさま又その人を罵って言う語 ごたくの 転(大言海)

**こたけとる** 群れている [会話] 生きとる(ている) うちん(内に) 蠅な(が) 鼻ぼらん(鼻の孔に)、コタケトテモ(ていても)、よお追わんやんない(追えないでしょう)。鼻ん(の) なかん(に) へつとた(産んでいた)ので みんな(皆) すごん(蛆) になって 出て 来て。

**こたこた【形容詞】** 騷りものに。いじめに。[会話] 文句 よけ(沢山) 言われた 時ん(に) コタコタン(に) おおたよお(あつた) 言うて。

**ごたごた【副詞】** 1) 物事が秩序なく乱れているさま。(津) 2) もめ事。争い。[会話] <sub>2)</sub> ゴタゴタ な(が) 起つて 言うて なあ、喧嘩して あんな(彼が) ああや(だ) こおや 言うて、うちまな(家庭内)が 揉める事を、うちまな ゴタゴタ して て(して) 言うて。<sub>1)</sub> にげな(人間)が よけおつて(沢山居て) ゴタゴタ しとる(している) 言うのも有るし なあ、混雑した 言う事を、それも 言うし なあ (言います)。そして 話な(が) もつれたのも ゴタゴタン(に) になって 言うて、散らばつとんのは(ているのは) そこらん(周囲)を 散らかして なあ 言う なあ そこらん(その辺に) ゴタゴタと なんやかや(いろいろ) ほつたら かして(ほりつばなして) 言うて、よけひろげとる(沢山広げている) 事を、ゴタゴタと よけ ひろげ 言うけど なあ。



**ごたつく【自カ五】** 1) 混雑する。混乱する。2) 争い  
がおこってもめる。もつれる。(上、阿、津) 3) 愚  
図愚図している [会話] 2) ゴタツク言うなだ (の  
は) 喧嘩ばっかしとんのをなあ (ばかりしているの  
を) ごやごや、もめ事な (が) あんのを (有るのを)  
ゴタツク言うてなあ。あの家や (は) ゴタツイトテ  
(ていて) 言うてなあ。3) さっさとせんのも (しない  
のも) ゴタツク言うのなあ (です) 手間どる事もなあ。  
ぐずぐずとしとんのを (しているのを) ごたごたして  
言うてなあ。ごてごてや (だ) 言うてなあ、ごてごて  
と、いつまであげんしとんねない (あんなにしている  
のだ) 言うて。

**ごだつた** 来なかった [会話] あんたきやらつた (貴  
方来なかった) コダツたなあ言うのを こなんだ。

**ごだね (子種)【名詞】** 精子 [会話] 芋種ぬすでも (盗  
んでも) コダネは盗むな言うて、こおなよけ (子が沢  
山) あるにげ (人間) コダネな (が) よけあんねなあ  
(沢山有るのだ) 言うて、あやまあ (彼は) 渋柿やれ  
(だ) 言うて、長者に子なし渋柿に種多し 言うて、び  
んぼにん (貧乏人) は、こおな (子供が) よけ (沢  
山) 有って、コダネな (が) よけあんね (沢山有るの  
です) そやけど (しかし) 長者は コダネな (が) す  
けのおてなあ (少なくとも) こおな (子が) 有っても、  
もおけやせんのか (産まないのか) ほんど (本当) に  
無いのか知らんけど (知らないが) 長者に子なし 言う  
て。

**ごだま (小玉)【名詞】** 1) 小さなたまご 玉網 2)  
丸くて小さい物、真珠、西瓜、南瓜など。[会話] 1)  
コダマ言うて ちっちゃい (小さい) たまを、コダマ  
や (だ) 言うて、ちっちゃい 魚 掬くる。おおだま、  
コダマ言うてなあ。おっきい (大きい) たまは、ふっ  
かあいのおでなあ (深いので) それい (に) 道具入れ  
て、行たり来たりすんのん (するの) にのて (担つ  
いで)、そして、コダマ言うな (のは) ちっさいのお  
を (小さいのを) ひゆつと、かんこ (生簀) で、魚掬  
くんのを (掬くるのを) コダマですくんねやる (掬く  
うのでしょうか)。2) 真珠のちっさいのも (小さい) コ  
ダマ言うし、西瓜もなあ コダマ言うななあ (のは)  
種な (が) そいな (そんな) 種やもんで (なので) コ  
ダマの種こおて (買って) 来た 言うて、それ、おっき  
いならせんの (大きくならないのです)。丸い小さい  
言う様な意味で、南瓜でもちっさいもんを (小さい物  
を) 言うの。ちっさいの なんきんかぼちゃや (だ)。  
真珠でも、りんだまを、コダマや (と) 言うね (言う

のです)。りんだまな (が) あの家や (は) ええね  
(よいのだ) 言うて、珠入れても、丁度なあ粟粒み  
たよなのおをなあ (のようなのを) 一つの貝え十二位  
っ入れてなあ。

**ごたまぜ【名詞】** 乱雑に入り乱れているさま ごちやま  
ぜ 参照 (津)

**こたら** 目茶苦茶にする。ひどい目にあわす。なぶりも  
の。[会話] なぶりコタラン (に) すんの (するの  
を)。コタラ言うな (のは) あっちゃ (あちら) やっ  
たり、こっちゃ (こちら) やったりすんの (コタラに  
する、よけ (あまり) なぶりコタラン (に) すんなま  
あ (するな)。にげも (人) なんやかや (色々) いろ  
いろ言うて おおた (ああ) こらこらにおおたよお  
(あつた) 言うてなあ。文句よけ (沢山) 言われた時  
ん (に)、おおた こたこたに言われたよお (言われた  
)。こらこらに言われたよお言う。なんやかや な  
ぶつとると (なぶつて居ると) よけ (あまり) こらこ  
らにすんなまあ (するな) 言うて。あっちゃい (のけ  
(あちらへ除け) こっちゃえ (のけ、あっちゃへ、と  
り、こっちゃへ、取りすると、こらこらにして、その  
時 コタラコタラ にして言う。コタラコタラも言うな  
あ。コタラコタラン (に) おおたよお 言う、にげ  
(人) も有るし、コタラン (に) おおたよお 言う (言  
います)。にげ (人) もあるし 同じ意味やけど (で  
す)。

**こだら【名詞】** 海鼠。なまこ。(志 (浜島、布施田、神  
明、立神)、鳥) [会話] コダラ なまこの事を コ  
ダラ。形がだらによお似とるもんで (よく似ているの  
で) あんで (あれで) コダラ 言いおつた (言つて居  
た)。

**こだら【名詞】** 小さな楕円形の蓋付きの桶。[会話] 昔  
や (は) 魚を入れんのんなあ (入れるのに) おおだら  
や (だ) コダラや (だ) 言うて、漁師の家より (の  
み) そや使わせんけどなあ (それは使用しないが) 楕  
円形になつとんのおに (なつて居るのに)、蓋な  
(が) ピチツとして 魚 獲て (獲つて) 来ると それ  
へ入れると、猫な (が) 喰わへんし (食べないので)  
そげんして (そんなにして) かこいおつた (かく  
まった) 漁師の家は。おおだら、コダラ言うて、だら  
い (へ) 入れとけ (ておけ) 言うて。“だら持つて走  
れ” 言うてな、昔や (は) 漁師のうちゃ (家は) 必ず  
有りおつたわい (有りました)。楕円形のおかわみた  
いのおに (持ち運びする便器のようなのに)、蓋な  
(が) 付いとんねてや (付いて居るのです)、ピチツ

と。それを だらや (だ) 言うて、おっきい (大きい) のは、おおだらや (です)。それい (へ) 入れてなあ、今しみたいに (今のように) 冷蔵庫は無いし、石 押そてしいおった (押えてして居ました)。漁師の家よりほかは (他は) そえんよけ (そんなに沢山) 無いけど (が)、普通の家でも魚よけ (沢山) 扱ううちゃ 有りおった (有りました)。

**こたらこたら** 【副詞】 目茶苦茶にする、ひどい目にあわす。鬻物にする。こたら参照 (志 (布施田))

**こたらひき** 【名詞】 海鼠の採集 (志)

**こたらん** 【名詞】 1) 薄馬鹿。たらん。足りぬ。頭の働きの悪い。愚で有る。(志 (布施田、鶴方、立神、安乗)) 2) 少し不足している [会話] 1) ちよいと (少し) あんごしのおを (のを) コタラン。ちよいと あんごし 事言うと、コタランねよってに (ないのだから) 言うて。あやまあ ちよいと (彼は少し) コタランほおやよってなあ 言うて。こあんごしのおを (のを) 言うの (のです)。ちよいと、あや (少し彼は) もやしな (麦芽、酵素が) 足らんねよって (足りないのだから) 言うてなあ。もやしな (が) 足らん 言うのは、飴にならせん (ならない)。そやもんで (それで) あやまあ ちよいと もやしな (が) 足らんねど お (足りないのだ) 言うて、あんごしのおをなあ (馬鹿なのを)。

**こたらんおおた** ひどい目にあつた 鬻りものにされた [会話] 今し (今) 言うと、苛めすんのを (するのを) コタランオオタ。

**こたらんする** 鬻りものにする 馬鹿にする

**こたらんもん** 【名詞】 馬鹿者

**こだれとる。こだれる** 【自ラ下一】 木に果実が沢山ついて居る。コダル (木垂) (枝が垂れる) の意 (度) [会話] 木に 桃な (が) よっけなつとんのおを (沢山なつて居るのを) コダレトル。沢山なつとる (なつて居る) のを、コダレトル。

**こだわる (こだばる)** 【自ラ五】 気に掛ける。気にしなくともよいような事を、気にする。細事にかかわる。 [会話] なんやかや (色々) こげん言うた、たら (こんなに言つたとか)、こげん言うたら (こんなに言つたら) 言うて。きい使てすんのを (気使つてするのを) コダワル。コダワナマア (こだわるな、気にするな) 言うやんかい (言います)。そいな事 (そんな事) に いちいちコダワラント (一つ一つ気を使わず) に 言うて 気にする事を。気にする言う事やなあ (です)。なんやかや 言うと、それを気にして 神

経よおだり (病んだり) する人を、よけ そいな (あまりそんな) 事 コダワラント (こだわらずに) ほつとけやええねない (放っておけばよろしい) 言うて。

**こたわん** 1) 耐えない。支持出来ない。力が及ばない。 2) 身にしみない。効が無い (志 (布施田))

**こたんこたん** 1) 鬻りものにする。 2) ひどく叱責する。 [会話] 1) コタンコタンにおおたよお (遭つた) 言うのな (です)、こらこらんおおて (遭つて) 言うてな、子供らな (が) おっきいのおらな (大きい子供達が) ちっちゃいのおをな (小さい者を) ごおい らかしたり (いじめたり) こつちやから (こちらから) 突いたると (てやると) また こつちや むいてして (向つてして) 又、こつちやから 突きするやん ない (でしょう) こらこらん (に) すんなまあ (するな) 言うてなあ なぶりもん (物) に、一人のこお (子) をなあ 何人もがすんのを (するのを) こらこ ら言うの (のです) コタンコタンにおおた 言うてな。

**こち (東風)** 【名詞】 東風 東から吹く風 (志 (畔名、片田、布施田、御座、浜島、安乗、名田、船越)、鳥 (神島、坂手、相差、国崎、桃取、答志、石鏡、鳥羽)、桑市、員、三、鈴市、安、津、松、多、名、度、伊、北、尾、南、熊) [会話] おしま (大島) と こおしま (小島) のあい (間) から吹いてくんと (来ると)、いなさゴチ (東南東の風) ホンゴチ言うのは これ (東) から吹いてくんな (来るのが) ホンゴチ。北ごち 言うな (のは) 北から吹いて来んのな キタゴチで、いなさ (南東) から吹いて来ると イナサゴチ。そして 三日も四日も吹いとると (て居ると)、ヒヤレゴチ 言うて。三日四日吹いとると (て居る) 時な (が) あるわい (有ります)、コチばっか (ばかり)。おおた (ああ) ヒヤレゴチ で、沖行かれんでなあ (行けなくて) 言うて。

**ごち** その物と共に、一緒に。(志 (布施田)) [会話] 入れもん (物) え、入れたな がら (まま) そのまま、入れもんゴチ もろて (貰つて) 来た言うてな。そんなり (そのまま) 入れもん (物) も、やるわ (あげます) 言うよおな意味やわなあ (でしょう)、入れもん もて来んでも (持って来なくても) ええわい (よろしい) 言うて、やる (あげる) 時な (が) 有るやん ない (でしょう)。それを、入れもんゴチもろたとか (貰つた) 呉れたとか言うて、しなもん (品物) と 入れもん (入れ物) と一緒にやる (あげる) 事をなあ、入れもんゴチ 言うね 入れもん ゴチ もおて (貰つて) うまい事したよお (しました) 言うて。

**ごちかぜ**【名詞】東風 ちち参照 (志、鳥、桑郡、桑市、四、上、阿、張、伊)

**ごちごち**【形容詞】飯、芋などが半煮えの状態。

**ごちこむ** ねじ込む 無理に入れる (志 (布施田))

**ごちそおごと**【名詞】宴会 [会話] 昔や (は) 扇風機な (が) 無いし、家で ゴチソオゴト よけ、しよつたもんで、(沢山したので) 鮭の飯さますのん (冷すのに) ごんぼうちわでおおんでさましよおつた (あおいで冷して居ました)。

**ごちのあたまはよめにくわせ**【俚諺】大きいが食べる身がない

**ごちび**【名詞】1) 背の低い人 (志 (布施田)) 2) 子供 [会話] 1) せえ (背) のちっこおいのなあ (小さいのです) コチビやなあ (だ) あや、ちっこいねなあ (彼は小さいのだ) 言うてなあ。

**ごちや**、**ごちやくちや**【形容詞】二つ以上の物を秩序なく混ぜ合わせること [会話] 目茶苦茶ん (に) したた (してしまった) 言うの (のを) ゴチャクチャン (に) したた 言うねやんかい (してしまった言うのです) 子らな (子供達が) 豆や、とびき、なぶつとて (ていて) それ まぜこぜんしたて (混ぜ合わせにしてみました) わややれ (目茶苦茶だ) 言うて、混ぜたんの (てやるのを) 混ぜたて (てしまって) ゴチャクチャしたたない (してしまった) 言うて、ふたあつ (二つ) のもん (物) を一つにしたると (にしてやる) と まあそやれ (それ) ゴチャクチャしたてまあ 言うて。

**ごちやごちや**【副詞】無秩序に多数の物が、入り乱れている状態。混雑している状態。ごたごたの賑 (大言海) (志 (布施田)、鳥) [会話] ゴチャゴチャ言うな まあ (のは) まぜまぜん、なつとん (になっている) のを ゴチャゴチャ 言うのなあ。

**ごちやごちやいな** 文句を言うな 喋るな

**ごちやつく**【自力五】ごちやごちやする 混雑する ごとつく参照

**ごちやば**【名詞】短い手縫いの針 [会話] コチャボ 言うのは、縫うのんなあ (のに) 短かい、コチャボ と、ちゅうちやぼ (中ちやぼ) と、そして 長針と 言うて (言つて) 有るやんな (でしょう)。くけん (くけるのは) 長針。ちっちゃい (小さい) 縫うのなあ (のです)、縫うのも、ふたたて あるやんか (ふたとおり、二つあります)。コチャボ と ちゅうちやぼ 言うの な (のが)。

**ごちやまぜ**【名詞】いろいろの物が、雑然と入りまじ

っているさま。[会話] ごちやごちやも一緒や こねこねん (に) したんのを (してしまうのを) ごちやごちやんしたた (にしてしまった) 言うてなあ。こねこねやたら (だとか) ごちやごちややたら ゴチャマゼ やたら なあ 一つの事言うのん (に) いろいろあんの (有るのです)。

**ごちやら**【代名詞】こちらの方。自分に近い所 [会話] こつちやい (こちらへ) 来い 言うのを なあ コチャライ 来い 言う人な (が) 有るんなあ (有るのです)。コチャラや (だ) あちやらや (あちらだ) 言うてなあ。

**ごちよ**【名詞】五目並べ (阿、張、名、南、熊)

**ごちよこ** (ごじよこ)【名詞】1) 小型の鯉船、十九屯未満の漁船の乗組員 2) 背の低い人 [会話] 1) コヂョコ 言うんよつて (言うのだから) こまかい舟 で 小型船 を なあ。コヂョコ な (が) 今日は かとな (鯉が) 大漁 やて わい (だそうだ) 言うやんかいなあ (言います)。こまかい (小さい) 小型 で 行く 人ら を なあ コヂョコ や (だ) 言うてなあ。こじよおし (小漁師) 言う時は 一人か二人 やけど なあ (だが)、コヂョコ 言うのは 小型 の ちよいと (少し) 沖い (へ) 行く の を なあ 一人で 行く、けんけん 曳いと る (ている) 舟 より おつきいし (大きいし) おつきい (大きい) のより ちっさいし (小さい) 中途 やわい なあ (です) その コヂョコ は、2) そして にげ な (人間が) ちっさい の おでも (小さいのでも) あや (あれば) コヂョコ や なあ (だ) 言うてなあ。

**ごちよごちよ**【名詞】1) 腋窩。俗に言う腋の下。上腕と胸壁の間にはさまれた、くぼみである。このくぼみは、胸壁から上腕に向かってのびる二つの筋。大胸筋 (前) 潤背筋 (後) が堤防のように、走って居るため生ずるものである。思春期になると腋毛が生え、腋窩腺の分泌が高まる。(志 (布施田、鶴方、神明、立神、国府)) 2) くすぐる時の囁し言葉。[会話] 2) コチョコチョ と こしよぐる もんで (くすぐるので)、コチョコチョ 言うんや ろ なあ (言うのでしょう)。くすぐる事も コチョコチョ。子供らん (に) だれ (どれ) コチョコチョ 言うて、こしよぐる やんかい (くすぐります)、コチョコチョ したるか (してやるか)、コチョコチョ したろん 言うて (してやるぞ言つて) よお こしよぐり おつたわ (よくくすぐりました)。子供 な (が) わろて (笑つて) 喜ぶ の おな (のが) 面白 おて (くて)。そやけど (しかし) なんも こしよば 無い (なにもくすぐつたくない) こお な ある なあ (子供があります) あや (あれば) 神経 な (が) 無い んかい な

あ (無いのでしょうか)。

**こちょこぶね【名詞】** 小型の漁船 こちょこ参照 [会話] 梅福 (19t 型の漁舟) や (とか) あいなのおを (あんなのを) コヂョコブネ言うんなあ (言います)。

**こちょっこり【副詞】** 小さくまとまっている様 (志 (布施田 鶴方 甲賀 国府 安乘)、鳥 (鳥羽)) [会話] コヂョッコリした ええ (よい) 家やなあ (だ) とか、コヂョッコリとして あやれ (あれ) あの人見よまあ (見なさい) ええ人やなあ 言うて。何処その人な なれ (がです) 言うて、どげなあ (どんなですか) 言うて、コヂョッコリした人な (が) 有るやんない (有るでしょう) 言うて、よお言うやんかい (よく言います)。体な (が) ちっそおて (小さくて) きちんとし とる (している) 人をなあ コヂョッコリした ええ 人やなあ 言うてな。

**ごちよならべ【名詞】** 五目並べ (張)

**こつ【名詞】** 物事を行う勘どころ。要領。急所。(志 (布施田)) [会話] あひた (人は) コツな (が) 有るやんかあ (のだ) 言うて、あひた 何んでも コツ知っとて (ていて) 言うて、秘密みたよな (のよな) 事やなあ (です)。急所どこ (処) を知っとる (ている) 言う事やろなあ (でしょう)。人の知らん事を知っとんの (て居るのを)、あひた どいらい (大変) なんやら (何か) コツな (が) あんねてや (有るのだ) 言うて、コツな (が) 有って、なんでも (何でも) 上手なね (のだ) あや (あれは) なっとす んねかいなあ (どおするのだろうか) 言うて、コツな (が) あんねやろなあ (有るのだろうか) 言うやんかい (言います)。かな (勘が) 働くこと。おら あげんしても (俺はあんなにしても) じっばんならせんけど (立派にならないが) あの人な (が) すると じっばん あや (あれは) コツな (が) あんねなあ (有るのだ) 言うてなあ。

**こつあげ (骨揚)【名詞】** 火葬した人の骨を拾いあげる事 こつひろい

**ごつい【形容詞】** 1) 厳格である。頑固だ。生真面目である。融通が効かない (員) 2) 世間知らずである。身振り、格好があかぬけない。(志 (布施田、鶴方、神明、立神、甲賀、国府)、北、度、鳥、員、鈴市、安、津、一、松、多、伊、尾) 3) 立派だ 大きい (志 (布施田)) [会話] 1) ゴツイなあ あや (彼は)、なんやかや (色々) かたくるし (堅苦しい) と、あや (彼は) ゴツクサイ、ごつよもで (馬鹿正直) 言うてなあ。人の言う事をちよいと言うても

(少し言っても) 怒ってくんのなあ (来るのです)、じっきに (すぐに) 冗談言うても それほんどん (本当に) して怒って来るにげな (人間、人が) 有るやんかな (有ります)。あや (彼は) ゴツイよってん (だから) 嘘言うても (言っても) 怒って来る言うて、ゴツイ言う。馬鹿正直やわいなあ (です)、人な (が) 冗談言うても それを ほんどんしとんねよってなあ (本当して居るのだから)。融通な (が) きかん (きかない)。

**こづか (小柄)【名詞】** 小さな切れ物。短刀。[会話] コヅカ 言うて ちっさあい (小さい) 刀、短刀 コヅカ。

**こづかいせん (こづかひせん) (小遣錢)【名詞】** 特定の目的を持たないで、自由に出来る金。又、小額の金錢 [会話] コヅカイセン 幾ら使うんどうい (使いますか)。こづかや (小使いは)、嫁んいても (に行っても) 盆 に一円か、しょんがつん (正月に) 二円より貰らわんと、そんで (それで) 済んでたのなあ (済んで行ったのです) そんだけ (それだけ) で、子供ら んなあ (に) なんやかや こおて (いろいろ買って) 呉れたり、そして、風呂い (へ) 入りん (に) 行くのも、そのぜん (錢) で、いてやんない (行ってでしょう)。

**こつから** ここから (志、安、伊) [会話] 此処から言うの (のを) コッカラ 言うの (のです)、コッカラ 此処まで しや (それ) おらげの (俺の家) だいやどお (場所だ) 言うて、畑い (へ) いても (行っても) コッカラ 此処まで おんな 打つよって (俺が耕すから) コッカラ 此処まで そや (それ) のな 打てよお (お前が耕やせ) 言うて、競争してなあ しよおった (して居ました)。コッカラ 言うのは、此処から言うの。コッカラ 此処まで、しや、せえよお (それ、しなさい)、コッカラ 此処まで、おれげ (俺の家) の もんやどお (ものだ) 言うて、さいめん (境界) する時もあるなあ、コッカラ 此処まで言うてなあ。

**こづき (小搗)【名詞】** 1) 麦を精製する時、二度搗くの最初。荒搗き。麦などを搗く時最初に搗く事 麦は あらづき (こづき) と、まづき と、二度搗いて食べられるようにした。(志 (布施田)) 2) 餅を搗く時、始め静かに搗く事 (南) [会話] 1) 麦の コヅキ にや (には) 〇〇小父頼 のめ言うて、昔や (は) 麦 一番になあ あらづき しといて (しておいて) 又 いったん (一度) 干して、みい (箕) で ひつて (振って) 糠 取って、又 こんだふた あくらめ (今度は二度目) 搗く の まづきや (です)。麦 あらづき と まづき 言うてな

始め搗くのはあらづきで、ふたあくらめ 搗くな (のが) まづき言うてなあ、ふたあくらあつ (二度づつ) 搗きおったの (居たのです)。あらづきの方はなあ よけ (沢山) 搗かなはざんし (なげればいけななし) まづきや (だ) 言うて ちよいと (少し) コツキのおりより (時より) 早よ終んねやんかい (早く終るので) す。麦コツキ言うて、麦 唐臼で搗いて、糠 離し といて (ておいて) こんだ (今度は) まづき 言うて、もおひとくら (一度) 搗くのなあ (のです)、そして (そうして) 一番 (始め) に搗くのをコツキ 言うて。

**こづきさがす。こつきまあす (こづきまわす ころつきまはす) (小突回) 【他サ五】** 1) あちらこちら探し 回る 2) あちらこちら撫でまわす さわる 3) 叩く [会話] 1) コツキマアス あのひた (人は) ごごごと と (一つ一つ) コツキマアシテ (まわして) あしこら (あの辺) を言うて、そして おなご (女) のとこい (所へ) よばんしいんたりなあ (夜這いしに行ったり) すんの (するのを) あのひた (人は) ごごごと と (一つ一つ) 後家の家ばっか (ばかり) コツキマアス てやらなあ (とか)、こそこそしてまあ あやまあ (彼は) けけましとんねどお (惚れているのだ) 言うてな。3) 拳骨なあ こつかれたとか 抗な (が) 頭上げて来たら、ちよいとコツイトケ (少し叩いておけ) 言う時もあるしなあ。この時は叩くとか打つとか、拳骨で むくつとけ 言うて、頭 こつく時々なあ (は) 拳骨で むくつとけ 言うてなあ。

**こづきまあす** 叩く。はげしく、長時間に渡って殴る。  
**ごつきり 【副詞】** 1) 根こそぎ。すべて、全部、残らず。(志 (布施田、鶴方、神明、立神、志島、国府)、鳥 (坂手)、上、阿、張、名) 2) 沢山 [会話] 2) ゴツキり減った、きんにや (昨日は) 波な (が) 有ったけど (が) 今日ではまあ ゴツキり減って、ええ (よい) 風や (だ) とかなあ。なんやかやを (いろいろの物) ゴツキりとられたたよお (取られてしまった) ゴツキりとて 無いんよお (取って行って有りません) 言う時もあるし。ゴツキり言うな (のは) よっけ (沢山) でなあ、よけとてく (沢山取って行く) 言う事や (です) ごっそり 言うのも、ゴツキり 言うのも一緒やけどなあ (です)。ごっそりとてた (取って行った) 言うて、皆 もてた (持って行った) 言うんなし (言うのです)。

**こつく (小突) 【他カ五】** 1) 魚釣で魚が餌に、当りをくれる。2) 鳥が嘴でつつく。(員) 3) 叩く (志 (船越、浜島、布施田)、員、三、鈴郡、松、上、阿、

北、尾) [会話] 2) コツク、鳥な (が) コツキン (こつきに) 来たとか、雀な (が) コツイタ とか。3) わがとら (自分達) でも そやまあ (それ) そこ (其処) コツイテ 穴あけたたれ (あけてしまった) 言う時もあるし (有ります)。1) 魚な (が) 餌い (へ) あたん のも (当るのも) コツク。引っ張ると (魚が餌を引く張る) そや (それ) 餌 コツキン (に) 来た言うて。餌 喰いざりん来んねやろなあ (喰いちざり来るのでしよう)。鶏な (が) コツク のも 有るしなあ (有ります)。庭 コツイテ 草雫ととる (ている)、かいどし (一本爪のくまで) で コツイとけ (ておけ)、かいどしでコツカナ (なげれば) ねえな (根が) 来やせん (来ない、根から取れない) 言うて。こんこんとコツク。叩く事をコツク 言うんかい。

**こづく** 叩く。打つ。(志、鳥) [会話] 拳骨で こつこつ やられるのもコツク。頭コツカレタ 言うて、げんこむくられた (拳骨叩かれた) 言うて、コツク。こつこつ言うのも 有るし。

**ごつくさい** 1) 厳格である。生真面目である。ごつい 参照 (志 (浜島、布施田)、鳥、桑市、員、鈴市、安、一、多、北、尾) 2) 垢抜けない。(志 (鶴方、立神、国府、安乗)) [会話] 1) ゴツクサイ 言うな (のは) ひらけやせん の (開けない、世間に明るくないのを)。ゴツクサイ。2) がっこ (学校) あがり (卒業) をなあ。あや (彼) まだ まんた で ゴツイ なよってん (のだから) 言うて。色気知らずの、ゴツクサイ ねよってん 言うわい (言います)。この時のゴツイ は 世間知らずや (です)。あや (彼は) まだゴツクサイ んよってなれ (のだから) まんた やよってんなれ 言うて。まんた 言うのは 色気知らずの事や (です)。色気知らずの野暮天男言うて、きもん (着物) のこおと (地味) な のを着ても ゴツクサイ なあ あや (あれは) 言うなあ (言います)。みなりや (身振りとか) なんやちよいと (なにか少し) 変なふう (格好) して 汚ないよおなふうすんのも (格好するのもの)、おおた (ああ) ゴツツイふう (格好) して言うて。昔のにげやもんで (人間なので) あや (彼は) ゴツツウ てゴツクサイ 言うて。

**コツクちよお (コック長) 【名詞】** 炊事の指揮者 炊事係の長

**コックば (コック場) 【名詞】** 炊事をする所

**こづくり (子作) 【名詞】** 性交、子供を作ること [会話] 子供を作る 肝心のコづくり で、コづくり な (が) 上手やなあ (だ) あ のひた (人は) 言うしなあ。

**こづくり** (小作) 【名詞】 【形容詞】 1) 体の作りが小さい事。又、そのさま。 2) 作り方が小さい事 [会話] 1) 体もちよいとちっさい (少し小さい) 人を、コツクリやなあ (だ) 言う人も有るし。 2) 植えたもん (物) でも、ちよいとちっさいと、こや、ちよいと (此は少し) コツクリやったなあ (だった) 言う時もあるしなあ。

**こっこ** 【名詞】 幼児語 1) 鶏 (志) 2) 着物 3) 下駄 (上、阿、名) [会話] 2) 子供のコッコ言うて、きりもん (着物) の事のコッコ言うてなあ、ええ (よい) コッコ着たなあ言う時な (が) 有りおったわい (有りました)。コッコ言うたり、ここ言うたり一緒やけどなあ (です)。 1) 鶏の事もコッコ、コッコこおとんねなあ (飼っているのだ) 言うてなあ。

**ごっこ** 【副詞】 硬くて、でこぼこのあるさま。硬いさま。滑らかでないさま。[会話] ゴツゴツして、なんやかや (色々) かたまつとる (て居る) と、おおた (ああ) ゴツゴツしとんなあ (して居る)。何でも物でも 喰うもん (物) でも、かったい (固い) と、おおた ゴツゴツしとんなあ 言うなし (言うのですし)。何か物でも かたまつとると (堅くなっている) と おおた いがみ (魚名) の みい、みたいん (身のように) ゴツゴツしとんなあ 言うて。かったいとこな、あやあなあ (硬い所が有れば) ゴツゴツしとる (して居る)。かったいとこや (ところとか) やいこいとこ (軟らかい所) が有ると ゴツゴツしとる。

**こつごも** (小晦日) 【名詞】 大晦日の前日。十二月三十日。こつごもりの訛。ツゴモリはツキ (月) コモリで月が見えなくなる意。旧暦では月末になると月が見えなくなる。(志 (浜島) 熊) [会話] コツゴモ言うな (のは) おつごも (大晦日) のまえび (前日) コツゴモ。昔は コツゴモは こもちの祝い (子持ちの祝い) 言うて (言っ)、嫁さん (が) つねにや (常、普段の日には) わりもん (悪い物) 喰とるもんで (食べて居るので) コツゴモン (に) になると、嫁さんに感謝の意味で 五目して喰わしおったんなあ (食べさせて居ました)。

**ごっしゃ** 混ぜ合わす

**ごっしり** 【副詞】 残らず、全部。(志 (浜島)、阿、張、名) [会話] みんな (皆) 残らずもてくと (持って行く) と ゴっしりさらえてた (さらって行った)。

**こっすい** 【形容詞】 ずるい 狡猾だ (志 (立神、国府、安乗))

**ごっそ** 【名詞】 御馳走 (志 (甲賀、国府)、南) [会話]

こや (これは) ゴッソやなあ (だ) 言うて、そげん (そんなに) 言う人もあんでや (有るのです) ゴッソオやなあ 言うて、御馳走を。

**ごっそおさん** 【名詞】 御馳走様 食後の言葉 御馳走さま (鳥) [会話] ゴッソオサン言うて 終いになあ。子供らな (が) 何時迄くとと (食べていると)、ゴッソオサンせんかれ (しなさい) 言うし、わがとら (自分達) でも、箸置く時や (は) ゴッソオサン言うて言うし、ごっつおやったなあ (御馳走でした) 言うて、御馳走さん ゴッソオサン言うて。

**ごっそおやなあ** 御馳走だ

**ごっそごそ** 【形容詞】 1) 容器などに余分の多く有るさま 2) 衣服の身に合わず大きいさま

**ごっそり** 【副詞】 人に知られないように、ひそかに物事をする事。静かなさま。(志 (布施田)) [会話] コッソリとまあ、なんしよ (内緒) で、いて来たなあ (行って来たのだ) 言うて。何処い (へ) いたんど言うたや (行ったのですか言ったら) みんなん (皆に) 知らさんよん (ように) コッソリとまあ温泉え いとたんよお (行って居ました) 言うて、コッソリと言うと なんしよ (内緒) でする事なあ (です)。コッソリとまあ言うてなあ。そしてまあ なんか (何か) ちよいとした (少しの) 人ん (に) よけ知らしたない (あまり知られたくない) 事なあ、わしげや (私の家では) こおこおで 娘まあ 嫁ん (に) 行たねけど (行ったのだが) こそと 家だけ 樽入れしたんよお (しました) 言う時もあよおったなあ (有りました)。こそと 家だけ 兄弟申だけ コッソリとしたん言うて、なんしよ みたよん (内緒のように) えごと (十分に) 式せんうちんなあ (しない間に)。

**ごっそり** 【副詞】 残らず、全部。又、数量の多いさま。(志、鳥 (坂手)、阿、上) [会話] ゴッソリ取られた (てしまった) 言うてなあ、とてくとなあ (取って行くと) 胡瓜や南瓜 (が) なつとたや (なつていたら) ゴッソリ盗られたよお (てしまった) 言うて。皆 とてた (取って行った) 言う事、全部言う事をなあ、ゴッソリ言うてなあ。

**ごった** 【形容詞】 いろいろの物が、無秩序に入りまじって、混乱しているさま。[会話] ゴッタがやしやなあ (だ) 言うて、ごたごたんした (に)してしまつた) 言うてなあ、こねこねんしたて (に)してしまつて) わやんしたる (目茶苦茶にしてやる) 事、ゴッタンしたて (に)してしまつて) まあ言うてなあ。

**こったいび** (骨体美) 【名詞】 痩せている人と言う 肉

体美に対して

**ごったかえす (ごったかへす) 【自サ五】** 混雑する。

(多、尾) [会話] 人な (が) 一杯おって (居て) ゴツチャカエス。

**ごったまぜ 【名詞】** 色々の物が乱雑に混ざっている 様

**ごっち 【名詞】** 魚名。わが。笠子。カサゴ科の海魚。

全長約25cm、体色は黒褐色から赤色まで、体側に約五條の不規則な暗褐色横帯が有る。背鱗の棘は十二本、沿岸の岩礁帯に住む。(志) [会話] ごっち。魚のゴッチ。

**ごっち 【名詞】** 虫。カブト虫の幼虫、体色は白く曲玉状に曲がる。頭部は黒く体長3~5cm (黄金虫) 10~15cm (カブト虫) 腐葉土、朽木の中に生息する。

**ごっちなあ 【名詞】** 笠子の延縄漁

**ごっちや (此方) 【代名詞】** こちら ごっち 此方。こちらの転。此の方向。指示代名詞 近い方行、場所を指し示す。ごっちやべた参照 (志 (浜島、布施田)、鳥 (坂手、加茂)、桑郡、員、三、四、鈴郡、鈴市、安、津、久、一、松、多、上、阿、張、名、度、伊、尾、北、南、熊)

…**ごっちや 【接尾語】** 事だ えらいコッチャ (大変な事だ) (志、桑、桑市、員、鈴市、亀、安、津、久、一、松、上、阿、張、名、度、尾、北、南、熊)

**ごっちや** 一緒くた。色々の物が入りまじって居るさま。雑然として居る。ごっちやまぜ。ごちやまぜを強めて言う語。ごちやまぜ。ごちやごちやと 色々の物が秩序なく、入りまじって居るさま。

**ごっちやい** こちらへ (員、安、尾)

**ごっちやえ** こちらへ (上、名)

**ごっちやかえす** 雑然として居る。混雑している。ごったかえす [会話] 人な (が) 一杯おって (居て) ゴツチャカエス。

**ごっちやくちや** 雑然として混ざり合って居る [会話] ゴツチャクチャ ごちやごちや、こねこね 皆 一緒や (です)。

**ごっちやごちや** ごっちやに同じ [会話] 一緒や (です)。ごったも ゴツチャゴツチャ。

**ごちやごちやいうな** 文句を言うな (志 (布施田))

**ごちやごちやしとる** 雑然として居る。

**ごっちやごんろく** ごっちやに同じ [会話] ゴツチャゴンロク言うな (のは) 付け言葉や (です) ごったも一緒やんかい (です)。

**ごっちやべた 【名詞】** 話し手側の方向。こちらがわ (員、

北、南) [会話] 自分のほお (方、方角) コツチャベタ、言うとき わし (私)、あつちやべた (あちら側) 言うとき、あんた (貴方)。べた言うのは、ほお (方向) 言う事。貴方のほお 私のほお こっちがわ (側) あつちがわや言うのを、コツチャベタ もてこい (持って来い) とか あつちや (あちら) べたえ やつとけ (やっておけ)。べた付けんのな (付けるのてす)。

**ごっちやまぜ 【名詞】** 雑然と混ざり合っている [会話] ごちやごちや ゴツチャマゼんしたた (にしてみました) 言うてなあ。

**こつちり 【副詞】** 魚肉などが弾力性を持って堅くしまつて居る状態。体の筋肉が硬くしまつている状態。[会話] コツチリしとる (している)、旨いなあ言うて。ちよいとかつたい (少し堅い) 様ななあ、あんまり (あまり) かつた (堅く) 無いのを、しこしこと ええなあ (よい) 言うたりなあ、しこしこがつたいなあ (です) 言う時も有るやんかい (有ります)。ちよいと (少し) こお、やいこお (柔らかく) も無し、かつとお (堅く) も無しすんのをなあ (するのです)。しこしこがつたい言うて しこしこと がいな (大変) 旨いなあ言うて。

**ごつつい 【形容詞】 【副詞】** 1) 大きい 粗っぽい 豪勢な (志、張、南) 2) 粗野である 田舎くさい (志、鳥、鈴市、一、松、多、張、伊、北) 3) 非常に 沢山 4) 堅苦しい [会話] 1) あのひた (人は) ゴツツイ人やなあ (だ) 言うて。堅苦し人や (だ) 言うのなあ (のです)。2) ゴツツイねよってん (のだから) 言うて、田舎臭い人をなあ。あのひた ゴツツイ格好 して言うてな、やぼくたい 言うのも有るし、格好ななあ (が) なつと言うんか (何と言うのか) はいからなふう (格好) しやせん (しない) 人をなあ、ゴツツイふうしとんな (格好している) あのひた (人は) 言うて。ゴツクサイのんなあ (のに) 言うて あの人あ (は) ゴツクウテ 言うて、堅苦しとなあ、あんまり (余り) 鷹揚で無い人を ゴツツイ人や (だ) 言うて。3) ゴツツイ おつきい (大きい)、どいらいおつきい (大変大きい) ゴツツイなあ こや (此れは) 言うなあ、おつきい となあ。

**ごつお (ごつお) (御馳走) 【名詞】** 御馳走。平常より立派な料理。招宴。御馳走の急呼 (志 (越賀、浜島、布施田、志島、鶴方、神明、立神、国府、安乗)、鳥 (石鏡、加茂、鳥羽)、桑郡、桑市、三、四、鈴郡、鈴市、阿、張、名、度、北、南) [会話] 御馳走。ゴ

ツツオ言うて、べつんも (特別に、特に) うまないよ  
おなけど (まずいよですが)。

**ごっつおさん** 御馳走さま。食後の挨拶言葉。招宴後の  
挨拶言葉。(員、三、阿、張、南) [会話] ゴツツオ  
サン言うて、ごっそさん言う人も有るなあ 御飯の後  
で、ごっつおめし (御馳走飯) 喰うた後で、御馳走さ  
ま、言うのを ゴツツオサン。はよ、ゴツツオサンせ  
んか (しなさい) 言うて、子供らでもいつまで喰とる  
と (いつまでも食べて居ると)、まあ (もう) ゴツツ  
オサンせえよお言うやんかい (しなさい言います)。  
いつ迄喰とると まあ、しまい (終わり) にせえ (し  
なさい) 言うのを ゴツツオサンせえよお。御馳走言  
うのをごっつお。

**ごっつおする** 御馳走する

**ごっつおめし** 【名詞】 1) 混じりもの (雑穀、芋等) の  
入っていない白飯。2) 味のついて居る五目飯等。  
(志 (鶴方、神明、立神、国府、安乗)、度)

**ごっつんごっつん** 【名詞】 頭を打ち合す事。鉢合わせ。  
[会話] 頭を ゴツツンゴツツンして言うやんかい  
(言います)。頭をな ふたんな (二人が) やりつけ  
やいすんのを (ぶつけてするのを) ゴツツンゴツツン  
したよお (しました) 言うて、ゴツツンゴツツンせえ  
言うて (しなさい言つて) よおさせおったなあ (よく  
させて居ました)。こらら (子供達) を、ゴツツンゴ  
ツツンしてまあ言うて、額と額をなあ。こおしてすん  
のを (するのを) ゴツツンゴツツン。なんも (何も)  
遊ぶこた (事は) 無いし、ゴツツンゴツツンしたれ言  
うて、さしおったんなあ (させて居ました)。こらら  
言うのは子供ら。

**こつて**、**こつてうし** (特牛) 【名詞】 1) 牛、雄牛、こ  
とうし、こつていうし、こと、こつてい。2) 頑固者  
(志 (神明、布施田、浜島、船越、鶴方、立神、国  
府)、鳥、員、三、四、鈴郡、鈴市、亀、安、久、一、  
飯、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、南) [会  
話] 2) コツテウシ言うな (のは)、人の言う事聞かん  
と (聞き入れずに)、わが (自分) 言う事だけ聞いて、  
あや (彼) コツテウシで人の言うこた (事は) 聞くで  
なし (聞くのでない。聞かない) 言うて、わがと (自  
分) 思うよおに何んでもして、人の言うこた (事は)  
聞かへんのなあ (聞かないのです)、わがとな (自分  
が) 言う事ばっか (ばかり) おや (俺は) こげんすん  
ねよつてん (こんなにするのだから)、おや こつち  
や (この方向) へ行くねよつてん言うて、人な (が)  
こお行こや (こちらから行きましょう) 言うても聞か

んと (言つても聞かずに)、わがとな 意見通して、  
あや (彼は) コツテウシやつてに (だから) 人の言う  
こた 聞かへんよつて (聞かないのだから)。コツテ  
やよつてん (だから) 言うて、簡単に言う人も有るし  
(有ります)。

**こつてく** 凍って行く。[会話] てえなつめとおて (手  
が冷たくて) コツテク 言うてなあ、まあ 今日はつ  
めとおて てえ (手) も、足もコツテク。かねこりや  
ない (だ) 言うて。

**こつてり** 【副詞】 1) 濃厚なさま。2) 濃くて、しつこ  
いさま。程度のはなはだしいさま。いやと言う程、ひ  
どく。(上、阿) [会話] 1) コツテリ 言うやんかい  
(言います)。につめやどき (鮭につける調味料な  
ど) に、どつさりつけとけ (つけておけ) 言う事を、  
コツテリつけとけ 言うやんかい。味つけが濃い時で  
も、コツテリした味や (だ)。2) 白粉つけるのでも  
べつたり言うけどなあ (言います)。べつたり、あや  
(あれ) 白粉つけて言うて、につめ 塗のでも (塗  
るのでも) べつたり塗とけ言うけど (言います)。  
コツテリ言う人も おんねてや (居るのです)。

**ごつと** 【接尾語】 たびに、ごと、毎。促音添加。来るご  
つと。言うごつと。ごと 名詞、動詞の連体形につい  
て…のたびに等の意を表す。(志 (片田、鶴方、神明、  
立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥、鈴市、伊) [会  
話] するゴツト、するたびに言う事を、するゴツト  
に言うて。するたびに言うて 今の人ら言うけどなあ  
(言います)。わしら (私達が) 言うのは、するゴツ  
トん (に) あいな (あんな) 事して、言う。ゴツト  
ひとくら (一回) ゴツトん 口答えるとか。来るゴ  
ツト呉れる言うて なんでも、土産もろても (貰つて  
も) 来るゴツトもろてなあ (貰つて) とか言うて。そ  
のたんび (たび) に 言う事。

**ごつと**、**ごつと** その都度 度々 (津、南)

**ごつとに** たびに 毎に ごつと参照 (志、三、鈴市、  
安、松、多、阿、張、名、北、尾)

**こつとり** 【副詞】 物静かなさま。(志 (布施田) 一) [会  
話] コツトリ言うな (のは)、静かにしとる (して居  
る) 事なあ (です)。コツトリしとんなあ (して居ま  
すねえ) 言うて (言つて)。あの家や (は) 今日はコ  
ツトリしとんない なつともないんやろかなあ (して  
居る何とも無いのだろうか)。

**こつとる** 1) 一心に仕事などをしている 2) 筋肉が  
堅くなる

**こつとる** 凍っている



ごっどん 度に 毎に ごっと ごっとに参照

**こづの (小角) 【名詞】** 疑似餌。小角は牛の角の尖の中の硬い骨。これから疑似餌を作った。(志 北、[会話] いか引く コヅノかい (ですか) ひげはやして しとんの (して居るのを) コヅノ。 さわら (魚名) かけんのも (引っ掛けるのも) コヅノでかける言うし。

**こづのひき 【名詞】** 1) 疑似餌で釣る漁法。2) 密会 (志) [会話] 1) コヅノヒキ言うな (のは)、 さわ (竿) のはない (先へ)、 てぐすつけといて (つけておいて)、 そしといて (そうしておいて) こづのを よっけ (沢山) 幾つも つけといて、投げて キュッ キュッとすると、 鯛な (が) こづのい (へ) みのん (養) なっくてくんの (多く釣れて来るのです)。 鯛のわいとる (群がって居る)、 時ん (に)、 こづの投げると、竿投げてキューと引くと 一杯つられて来て (ぶらさがって来て)。 板間い (へ) とんと落すと そんな (それが) 離れて。 わが (魚名) でも、朝はよ (早く) 夜明けん (に) わが掛けんいこや (釣りに行きましょう) 言うて、その こづのを よっけつけといて (付けておいて) よっけつられて (沢山ぶらさがって) 来て ペンと 板間い (へ) 落すと ばらっとそんな (それが) はずれんねやんかい (はずれます)。

**こっば (木っ端) 【名詞】** 木っ片。斧や鋸で切った木の切れ端。価値のない物。とるに足りない物。(志 (布施田) 北、尾) [会話] 木の切れ端の事を コッパ。 コッパな (が) よけ (沢山) 出来た言うて 木、削ったりするとなあ。

**こっばい (こっばひ) (骨灰) 【名詞】** 1) 骨折り。ご苦労。2) 粉に砕く事。又そのさま。さんざんな目にある事。強くたしなめられる事。3) 面倒で骨が折れる事。苦労する事。(志 (甲賀)、鳥 (鳥羽)、北、尾、南) [会話] 3) コッパイ になつたれ (なった) 言うて (言って)、仕事して いしよけんめ (一生懸命) になった。仕事して いっしよけんめ になった言う事を、 コッパイ ミソロク になつたれ 言うて みそろく 言うな (のは) つけ ことばや (です)。

**こっばいみそろく** 汚い仕事をして、体も汚れて、疲れる事。こっばい参照 [会話] コッパイ ミソロク ん (に) になった言うて、仕事して くたばった (疲れ果てた) 言う事やろなあ (でしよう) あんで (あれで)。仕事して汚れて、 くたばった 言う事やろなあ、 コッパイ ミソロク になつたれ (になった) 言うて。 コッパイ ミソロク 言うのは、体もよごれて、汚い仕事したる (してやる) 時に言う言葉や (です)。 コッパイ ミソ

ロク やれ (です)。汚い仕事するやんない (でしよう)。 埃 な (が) したりすると、 コッパイ ミソ ロク ん (に) になったなあ。

**こっばいんなる** 一生懸命に働く 働いた 疲れた (北) [会話] コッパイ ンナル、まあ 今日、 いっしよけんめん (一生懸命) になった事を こっばい 言うのなあ (です)。仕事 よけ (沢山) するとなあ あれもして、これもして 皆 こや (此れは) せなはざん (しなければいけない) 仕事 ばっか で (ばかりで) こっばい やれ (だ) こっばい みそろく や (だ) 言うてなあ。 コッパイ ンナル は いっしよけんめん になって まあなあ、仕事 な (が) よけ (沢山) 有って まあ コッパイ ンナル タツ よお (なりました) 言うて。 いっしよけんめん になって、仕事する事をなあ こっばい や (だ)。

**こっぴとる** 年より大人びている。ませている。

**こつぶ (小粒) 【名詞】** 粒の小さい事。またそう言う物 [会話] こや (此れは) コツブ や なあ (だ) 言うて、 言うけど (言います)。 コツブ や なあ (だ) 今年 ん なあ (ののは) 言うて、 みいな (実が) わり (悪い) となあ、今年 や (は) みいな わり いて (実が悪くて) コツブ や (だ) 言うて。 こまかい (小さい) 粒の事、 コツブ や (だ) 言うて。

**こつぶ 【名詞】** 海底の岩場。こつぶれとも言う

**こつべた 【形容詞】** 子供が年より大人びている。ませている。こつべとる参照 (北、尾、南)

**こつべてきた** 子供が大人びて来た。ませせて来た。[会話] こお へ て 来た も コッペ テ キ タ も ひね こ し の おも (大人びているのも) 一緒の事。

**こつべとる** ませている。子供が大人びた行動、言動を行う。(志 (浜島、布施田、志島、甲賀)) [会話] コッペ トル ひね こ し (大人びている) 事、 コッペ タ 事言うて まあ言うてなあ、 ひね た (大人びた) 事言うて。 コッペ タ 事 ばっか (ばかり) 言うて、言う。 ませ て きた (成長してきた) 言う事やなあ (です)。 コッペ トル、 コッペ テ キ タ なあ 言うて、 ませ て きた 言う。 ち つ そ お (小さく) てもなあ、 コッペ テ キ テ ひね こ し (大人びて) になって来たこと なあ (です) 大人 みた よ ん (のように) になって来た事をなあ 大人の真似して来ると コッペ トル 言うてなあ。

**こつべり 【副詞】** 残らず、ことごとく、すっきり。(志 (浜島、布施田、鶴方、神明、立神)、桑市、三、鈴市、津、一、多、上、阿、張、度、伊) [会話] コッペ リ 言うな (のは) 全部言う事。 コッペ リ 取 ら れ た た

れ(とられてしまった)言うて。道具(釣道具)引っ掛けたて(てしまって)コッペリ取られて来たよお言うて、漁師の人らよお言いおった(よく言っていました)。その島(暗礁)へ、底(海底)で引っ掛けたて(てしまって)いくらしやくつても(引っ張つても)来んで(取れなくて)、しゃびいても(しゃびいても)来んで ねえごち(根、根本ごと、根本から)取られたる(てしまう)、切れてく(ていく)時な(が)、喧嘩やよつて(だから)、そげん(そんなに)するとコッペリ取られて来た言うてよお言いおったわい(よく言つて居ました)。全部の事や(だ)全部取られて来た言うのなあ(です)。そすと(すると)ごっそりも、コッペリも一緒や(だ)。

**こっぺる【動詞】** 老成、大人ぶる。(志、度、北、南) [会話] コッペル言うな(のは)ひねとる(て居る)こと。ひねこし事。ませとる事。にげな(人、人間)がませた(年令以上)事を、ひねこし事を、コッペル言うて。

**こつばい【形容詞】** 小さい。小型である(志(神明、立神)) [会話] ちっさいのおを(小さいのを)コツボイ言うの(のです)。今年の梅や(は)コツボイなあ言うて、人でも せえな(身長が)ひっくかつたりすると(低かつたりすると)コツボイなあ言うて。

**こつぱり【名詞】** 歩く時の音から、裏を大きく、くり抜いて有る下駄、ぼっくり。(志(片田、浜島)、鳥(鳥羽、菅島)、一、多、上、阿、張、伊) [会話] コッポリ言う下駄な(が)有りおったやんかい(有つたで有りませんか)。芸者さんな(が)履く、コッポリ。あいな(あんなのを)履かして(せて)貰うと嬉して(しくて)コッポリゲタや(だ)言うて。ほんと嬉しかりおつたなあ(本当に嬉しかった)。コッポリゲタ 格好よおて(よくて)。コッポリゲタや(だ)コッポリゲタや 言うて、どいらい(大変)ちよおほおがりおつた(重宝、大切に居りました)。子供らの時分(時代)、あいな(あんなのを)わしらの足に、よお履こかい(履けません)。コッポリゲタ履くな(のは) はいからさん(上流)の家の 子やなけななあ(でなければ)、わしらみたいななあ(のような者は) 履かせん(履きません)。わしらげ(私の家) 杉下駄の足洗下駄や(です)。

**ごつぱり【副詞】** 全部。すっかり、ごっそり。沢山。(北) [会話] ゴッポリやられたよお(盗まれてしまった)言うて、なんやかや(色々)盗まれたたり(てしまつたり)、台風やてて(でも)畑のもん(物)で

も 風にやられたるやんない(倒されてやるでしょう)、だいだいゴッポリ(根こそぎ) やられたたよお(倒されてしまった) ひまのかあやれ(大変です)。

**こつぱりげた【名詞】** 下駄、こつぱりに同じ(志(鶴方、布施田)、鳥(答志)、熊)

**こづめ(小爪)【名詞】** 1) 小さく割れて生える爪  
2) 爪の生え際の白く見える三日月型の部分 [会話]  
1) コヅメ言うななあ(のは)違うとこ(所)えなあ ちっちゃあいのな(小さいのが)出てくんの(来るのを) コヅメな(が)出て来た言うやんかい(言います)。爪も別れて ちっちゃあいのなしてくんの(小さいのがして来るのを) あれも言うねなあ(言うのです)。コヅメな(が)出て来て痛いわ言うの(のです)。2) 爪の白いのも コヅメ、体な(が)健康ん(に)なって来たかして(と見えて) コヅメな(が) よけ(沢山)出て来た言うて。体な(が)健康ん(な)って来ると、こや(此れは)出て来んのなあ(来るのです) 具合な(が) わり(悪い)時や(は) こや出やせん(これは出ません)。

**ごつよま。ごつよも【名詞】** 野暮な人間。融通の効かない人。[会話] あや(彼は)ゴツヨモやよつてん(だから)、嘘言うても怒つて来る 馬鹿正直やわい(です)。冗談言うても ほんとんしとんねよつて(本当にしているのだから)。

**こづらにくい(小面憎)【形容詞】** 1) 面憎いを強めて言う語。こ、は、強調の接頭詞。顔を見るのも、憎らしい。顔を見るだけでも、なんとなく癪にさわる。  
2) 小生意気である。[会話] 1) にくたらしなあ、わり(悪い)ことするこお(子)を コヅラニクいなあ言うて。好かん(嫌な)事言うとなあ、おおた(ああ) コヅラニクイ あげな(あんな)事言うて、小面な(が)憎いなあ言うて。

**ごつんごつん【名詞】** 鉢合せ ごつんごつん参照

**こて(小手)【名詞】** 腕 腕関節 手首

**ごてかえす** 混雑する。ごたごたもめる。[会話] ゴテカエス言うんかい(言うのですか)。ごつちやかえすも一緒やわいなあ(です)、ゴテカエスも。物事の納まとんのを(決定している。決着がついて居るのを)、なんやかや、こんだ(色々)と今度は違う事言うて(言つて)、ごつてかえすとか、ごつちやかえすとか言うて。あんな(彼が)来て ごつちやかえして、喧嘩さして言うて、そげな(そんな)時に使うなあ(使います)。人が一杯おつて(居て) ごつちやかえしとられ(して居る)とか、一杯おつてゴテカヤスと

か、人がよけ(多く)おる時をそげん言うねなあ(そんなに言うのです)。

**ごてくさ【副詞】** 1) ぐずぐず文句を言う事。又、その人。糞、糞野郎のくそ。くさ。(員) 2) ぐずぐずして居る事。する事が遅い、又その人。[会話] 2) なめとこ(はっきりしない人)、ゴテクサ言うの(のを)なめなめ(はっきりしない)しとる(して居る) 事やわい(です)。ゴテクサ ゴテクサしとる言うてなあ。したよおな事ばっか(ばかり)、ごてごてとしとらんと(しておらずに) さっさとしたれまあ(してしまいなさい) 言う事やなあ(です) ゴテクサ言うのは。ゴテクサと 手ののろい(遅い) 事なあ(です)、のろいにげ(遅い人、人間) ゴテクサとしとらんと はよしたりや(早くしてやれば) ええけど(よいのに)、ちゃっちゃと(早くするさま) まあ言うて、手な粘かたり(手早くしない) どおき(動作) な鈍いにげ(人間)をなあ、ゴテクサゴテクサ言う。ぐずぐず言うのも ゴテクサ 言うて。1) なんやかや(色々) ぐずぐず言うとる(言うて居る) 人な(が) 有るやんかい(有ります)、そいなんを(そんなのを) 言う時も 有るわい(有ります) ゴテクサゴテクサ言うて。

**ごてくさい** ぐずぐずしている。まどろかしい。もどかしい。

**ごてくさい** 色々と不平不満を言う

**こてこて【副詞】** 1) 丁寧にする。2) 粘る。3) よく働く。(志(布施田)) [会話] 3) こまいごきして(小さく動いて)、コテコテすんな(するな) 言うて。1) ちっちゃい(小さい) 事でもてえねん(丁寧)にする。

**ごてごて【副詞】** 1) 物事のもめるさま。文句を言うさま。(志(布施田)) 2) 手ぬるいさま。遅いさま。ぐずぐず ごそごそ。[会話] 2) なつと言うたて(なんとと言っても) ゴテゴテしとられ(している)。

**ごてごていう** 文句を言う(上、阿)

**こてこてびんぼ【名詞】** よく働くのに、いつ迄も貧乏している事。[会話] りこお(器用)で、なんやかや(色々) こてこてすとなあ、あやまあ(彼は) コテコテビンボやなあ(だ) 言うてなあ。なん(何)でも よおすんねけど(よくするのだが)、わりかた(比較的) びんぼしとるもんでなあ(貧乏している)、仕事するわりにや(割には) びんぼ するもんで(ので)、あやまあ(彼は) コテコテビンボやなあ 言うて。そして なんでもよお(何でもよく)する人はなあ、まんのおたっして いっしんとどかず(万能 達し

て、一心届かず) 言うて、なんでもえらい(なにでもよく出来る) 人はなあ あんまり(あまり) 成功しやせんのなあ(しないのです)。いろいろとてえ(手) 出すもんで(ので) 成功しやせんねやろなあ(しないのでしょうか)。人並みには出来んねけど(るのだが) それ以上には出来やせんの(ないのです)。昔の人な(が)、なんでもえらい人を あのひた(人は) なんでもえらいんけど(何でも出来るが) まんの おたっして いっしんとどかず 言うて な よお 言うやんかい(よく言います)、成功しやせんと(しない)。コテコテビンボ言うな(のは) よお(よく) 働いとんねけど(ているのだが) あんまり(あまり) 金持ちならせんのなあ(にならないのです)、ふじゅうすんのなあ(貧乏するのです)。がいん(あまり) 豊かな生活しやせん(しない) 人をなあ あや(彼は) コテコテビンボやなあ 言うて。びんぼしとて(して)いて こてこてすんのやなしん(するのでなくて) よお(よく) 働いても びんぼしとんね(貧乏しているのです) そやもんで(それなので) コテコテビンボ 言うて なあ。

**こてつかい【名詞】** 痴漢 手でひそかに女性の体を触れる人 饅 小手 こてつかう 参照

**こてつかう** 手でひそかに女性を触ること [会話] 男の人らな(が) おなご(女) のとこい(所に) てえお こすと(手出すと) コテツカウ 言うやんかい(言います)。あの人 コテツカイで言うて、ちよいちよいつ(少しずつ) てえ(手) 握りん(に) 来たり、前の方い(へ) てえ(手) してくる人な(が) 有ると あの人 コテツカイで嫌い やなあ(だ) いうて。

**こてつく【自力五】** ぐずぐずしている。[会話] コテツク、ごてつく 言うんかい(言うのですか)。仕事すんのん(するの)に ごてごてと まあ はよよお せんで(早く出来なくて)、仕事な(が) しのくいと(しぬくい)、なんやら(何か) コテツイトテ まあ(ていて) 言うて、仕事な(が) 捗かどらん でまあ(なくて) 言うのも 有る しなあ。そして 喧嘩 ばっかしとる(ばかりしている) 家も、ゴテツイ テ ばっか(ばかり) 居る なあ 言うて。

**ごてつく【自力五】** 1) 物事がごたごたする。ごたつく。順調に行かない。(鳥、津、上、阿、張、名) 2) ぐずぐず文句を言う。ごねる。ねだる。[会話] 2) なん やかや(色々) いろん な 事を、あれ 言い、これ 言い して ゴテツク 言うて。仕事 し と ても(して居ても) した よお な 事 ばっかし とんの(ばかりして居るのを) ゴテツク。言葉でも なん やかや 言う た よお な 事 ばっ

か(ばかり) 言うとると(言って居ると)、ゴテツク言うてなあ。

**ごてて【名詞】** 後夫 寡婦の後添い [会話] ゴテテ言うのは ととな(夫が) 死んだ後い(に) 婿ん(に) 行くのを ゴテテ言うて おなご(おんな)は、後妻 やし(ですし) 男は ゴテテ言うやんかい(言います)。

**ごてどく【名詞】** 無理を言ったり、しつこく文句や不平を言って、余分に自分が利益を得て、とくする事。ごねどく。

**こてとる** 1) 強情張っている 拗ねている 2) 支障が有って順調に進まない

**こてなおれん(小手折)** 痛くて手首が曲らない。[会話] 手首な(が) くたぶれて(疲れて) 痛いやんない(でしょう)。ちよいとすんのも(少しするの)も 痛いんてや(のです)、そいなのおを(そんなのを) コテナオレン。

**こてにあわん(小手合)**。こてにおよばん(小手及) 手に負えない。簡単に出来ない [会話] 人の言う事 なんも(全く) 聞かへんし(ないし)、こじれた よおんしとると(にしている) にっちもさっちもいかへんわれ(行きません)。コテナオヨパンワレ。

**こてば(小出刃)【名詞】** 小さな包丁 小刀(志、鳥(国崎)) [会話] ちっちゃい(小さい) 出刃、コデバ、里芋こさえたりすんのん(調理したりするの)に ちっちゃい出刃でなあ、じょくくしよおった(いつもして居た)。里芋こさえてもなあ(調理しても)、おっきい(大きい) 出刃ですと、しのくいもんで(しぬくいので) コデバでなあ、こさえてすんの(調理するのです)。

**こてる【動詞】** 1) てこで支えたり、動かしたりする。(度) 2) 相手のあげ足を取ったり、文句を言ったりする。ごてる。(志(布施田)) [会話] 2) コテル 人の言う事をゴテテばつかおってなあ(ばかり居て)、こげん(こんなに) 言う あんた(貴方) そげな(そんな) 事、言わんでもええやん(言わなくてもよろしい)、こや(これは) こおやのん(だのに) 言うて、人の言う事をなあ、コテル言うのなあ(です)。なんでも(何でも) コテテまあ言うてな、おらまあ(俺は) そいなこた(そんな事は) したないてやら(したくないとか)、こげんして しよおやんか(こんなにしましょう) 言う おらまあ(俺は) そいなこたしたない。こんして(こうして) しやええのんてや(すればよいの) にと云えば おら(俺は) そげんす

んな(そんなにするのは) 嫌いや(だ) 言うてな、反対すんのを(するのを) コテル言うなあ。コテトテ(ていて) まあ とおな(戸が) あかせんわれ(開きません) 言うたりなあ、なんか(何か) 詰まっとると(していると) コテトテまあ、言うたり 曲がとててやら(ていてとか) 言うてなあ。1) 舟でもすべり当てても行かせん(進まない) 時や(は)、はよ(早く) 柱もて(持って) 来て こてえ(なさい) 言うて、こてよおったやんかい(て居たで有りませんか) そすと(すると) 行きおってなあ(進んで行って) そお言うのも言うしなあ、挺子みたよん(のように) して、動かすのおも(のもの) コテル言うてな 重たい石やどけなあ(など) かなてこて コテテなあ寄せてすんのなあ(するのを)、かなてこて、コテル言うてな。

**ごてる【自他下一】** ぐずぐず文句を言う。ごねる。(志(布施田、鶴方、神明、立神、甲賀、国府、安樂)、上、阿、張、名)

**こてんあわん。こてんおよばん** 手におえない。手に余る。[会話] おらの(私の) コテナアワセンワレ(ありません)、おらの(私の) 手におわん(負えない) 言う事な(です)。仕事もやし(そうですし)、言う事でも あんまり口のえらい(あまりよく喋る) 人に 行きあわすと(出会うと)、わしら(私の) 言うこた(事は) コテナアワンわれ、あや(彼) 口な(が) えらいよってん(のだから) 言うしなあ(言います)。仕事でも 自分よりえらい(よく出来る) 人を、あの兄弟な(が) えろおて(よく出来て) おらな(俺の) コテナアオカレ(相手にならない) 言うて。仕事するの(のが) えらい人も言うし(言いますし)、口がえろおても(えらくても) 言い曲げられるよってん(言い伏せられるから)、コテナアワン言う場合も有るし(有ります)。仕事そのものがえろおても(えらくて、大変で) コテナアワン。えらい(大変な) 仕事の時ん(に) こや(これは) 私らのコテナアワン。むつかし(難しい) 仕事の時ん(に)。

**こてんこてん** 徹底的に、やっつけたり、やっつけられたりする状態を表す語。完全に、さんざん。[会話] こらこらん遭う言う事なあ(です)。コテナコテナ おおた(遭った) 言うてな 目茶苦茶ん(に) しやれた(された) 言うのを、コテナコテナにしやれた。

**こと(事)【名詞】** 大変な事 ことや参照

**こと** 文末に有って軽い感動、強調を表す(桑市、阿、張)

**ごと【名詞】** ひきがえる。藁蛙。ごとひき参照 ゴトゴ

トと鳴く声の擬声語（方言俗語語源辞典）（志（和具、布施田、船越、鶴方、神明、甲賀、国府、安乗）、鳥、一、飯、名、度、伊、北、尾）

…ごと（助）【動詞】共 接尾語 コトゴトク（悉）の上略（大言海）1）～のまま …と共に（志、員、鈴市、亀、安、張、北、南）2）…のように 如 ゴトク（如）の語根（大言海）3）毎度に 事事（ソレゾレ）の上略（大言海）ごとと参照 [会話] 1）それゴトおこせ（寄こせ）言うて、全部おこせ（寄こせ）言うのなあ（です）。入れもん（物）ゴト全部言う事をなあ、ごち言うのも一緒に事や（です）。入れ物い（に）入れたまま、そのままおこせ 言う事をなあ。

ことおい。ことおおい 忙しい 多忙だ

ごとかます（五斗吠）【名詞】五斗の物が入る吠 [会話] 四斗はいんな（入るのは）しとがます 五斗はいんな（入るのは）ゴトガマス。

こときき（事利）有用である よく間に合う

ごとく（五徳）【名詞】火鉢や炉の中に、釜、鉄瓶、薬缶などをのせる金属製の道具。（志（布施田）、南）[会話] ゴトク、三徳言うてなあ、足な（が）さんぼ（三本）よりないんけど（のだが）ゴトク言うやんかいなあ（言います）。火鉢の中い（え）入れよったやんかい（入れて居ました）。

…ごとく（如）【形容詞】…のように。同じ事を上略し活用した語（大言海）[会話] あのゴトク、あの人な（が）言うゴトク、言うのも有るしなあ。あんな（彼が）言うゴトしとけ（しておけ）、あんな 言うゴトんしとけ 言うてな、言うよおんせえ（ようにしなさい）言うのをなあ、言うゴトクせえ（しなさい）言うのをなあ、言うゴトしとけ、言うゴトんしとけ 言うね（のです）。言う通りんせえ（にしなさい）言うのを 言うゴトんしとけ 言うて。

ことこまか（事細）つぶさに 詳細に（志（布施田））

ことしより（小年寄）【名詞】少し年を取った人。[会話] おおどしより（大年寄、大そう年とった人）と、コドシヨリと言う事な（が）ちごとて（違って居て）。

ことしら（今年等）【名詞】今年あたり。今年など。[会話] 今年の事をコトシラ。コトシラの年に祝わん（ぬ）者は、鬼もおけ（産め）じゃあもおけ（蛇産め）角の生えたこお（子）、もおけ 言うてなあ いんのこもち 掲きおったやんない（掲いでいたでしょう）。山の神さんになると、藁を茶碗にこしらえてなあ、小豆飯入れて、さいら（秋刀魚）をぜにぎりん（丸切りに）してなあ それい（え）乗せて、山の神

さんえ（に）供えん（に）行くの（のです）。山の神さんやなあ（だとか）辻 辻い（へ）供えん行きおった（に行きました）霜月の なぬか（七日）に。

ことた 身に沁みた。応えた。疲れた。[会話] 今日は仕事なえろおて（大変で）まあ 体い（へ）コトタよ お言うてなあ、疲れた事をなあ。そして何処やかやな（あちらこちらが）仕事して いとなつて（痛くなって）来るとなあ、あの仕事な（が）コトタんかして（のか）腰な（が）いとおて（痛くて）言うて、何処やかやな 仕事した後で痛いと あれしたや（したら）コトテ体中な（が）痛いね（のだ）言うて、あんなまり（あまり）仕事な（が）えろおて（大変で）疲れた、言う意味やわいなあ（です）。そしてまあ、あげくん（その後で）具合な（が）わり（悪る）かったりすると、あんな（あれが）コトタんなあ（のだ）、具合な（が）わりなつて来たなあ言うて言う時な（が）あんな（有るのです）。説教な（が）身にコトタ言うて のらまあ（お前達）外でこや（これ）、こいな（こんな）事しとんねやんか（しているでないか）しとる（している）言うやんか（でないか）そいな（そんな）事したら はざんやんか（駄目だ）こげんせな（こんなにしなければ）はざんやんか 言うて、小言言われとる事をなあ、あの説教な（が）身にコトタよ お言うてな。

ごとちゃん【名詞】青洩 にほんぼ参照

ことづかりもん（言付物）【名詞】他人からことづけられた物。依託されたもの。

ことづかる（言付）【他カ五】人からある事を頼まれる 依頼された事柄を引き受ける

ことづけ（言付、託）【名詞】依頼、伝言など。ことづける（言付）【他カ下一】1）古くは、ことつて、ことづての訛。依頼する。人に頼んで、伝言して貰う。又その言葉。他人から伝え聞く。（桑郡）2）人に頼んでして貰う。（志（布施田））[会話] 1）コトツケ、あんな（貴方）まあ あんたげ行たら（貴方の家行ったら）、かあさん（お母さん）にこげん（こんなに）言うてくれえ（下さい）言うて、コトツケ。物でもこれ持てて呉れるかい（持って行って呉れますか）言うて（言つて）、あんなん（に）頼む事をコトツケル。言葉でも、そんな言うた（そんなに言った）、あげん言うた（あんなに言った）言うて、言うてくれえ（下さい）言うのを、コトツケコトバやし（ですし）。2）物を持って（持って行って）それ（それを）あんなんとこへ（貴方の所へ）やってくれえ 言うて 頼むのな

(のを)、しなもん (品物) をコトヅケル。頼むことも コトヅケル言うのな (言います)。

**ことづけことば**【名詞】伝言 [会話] あんたげんいたら (貴方の家に行ったら) かあさん (母さん) に こげん (こんな) 言うてくれえ (下さい) 言うて コトヅケコトバ。

**ことづて** (言伝)【名詞】1) たより。知らせ。伝言。  
2) ついでに [会話] 2) なんやかやをする時ん つんでに言う事やろなあ。ついでに言う事もなあ コトヅテ。1) 遠いとこから、コトヅテも無い言うて、便りもなんもない言う事なあ。

**こととおい** (こととほい) (事遠)【形容詞】遠い将来

**こととしだい** 内容によっては なり行きでは (志 (布施田))

**こととる** こたえている 身にしみている (志 (布施田))

**ことなあ** …と言う事です。事は [会話] これ したて呉れ (してやって下さい) 言うて、それをよおせん (出来ない) 様な事が有るとなあ。そいな コトナア おらよおせんわれ (俺は出来ない) とか そいな (そんな) コトナア じつきなもんにしたられ (すぐにしてやる) とかなあ、この人ん (に) こやって (このように) 言うたて呉れえ (言ってやって下さい) 言うて、言いのくい (ぬくい) 事が有ると そいなコトナア、おらよお言われ (俺は言えませぬ) 言うてなあ。

**ことなら** 仮定の表現を表す であれば ならば

**ことば** (言葉)【名詞】物の言い方。口のきき方。言いぐさ。(志) [会話] 親に向かって そのコトバ なつと (なんと) 言う事ど (だ)。そいな (そんな) 事言うコトバかれ (か) 言うてなあ、無理な事言うたり道理ん (に) あわん事言うとなあ、そいな コトバ 親ん (に) 向かって言うコトバか言うたり、あいな (あんな) 人に、そいな コトバ、言うコトバかれ (か) 言うて。一つ一つのコトバやなしん (でなくて)、口のききかた 喋り方を 無理な事言うたり失礼な事言うたりするとなあ、そいな コトバ つこたら (使ったら) 失礼ん (に) 当たるやんか (でないか) 言うて。

**ことばかず** (言葉数)【名詞】口数 語数

**ことばじり** (言葉尻)【名詞】他人の言葉の言い損ないの部分。あげあし

**ことばついえ** (言葉費)【名詞】多く話す事

**ことばつき** (詞附)【名詞】物の言ひ方 言葉の様子

**ことばづけ**【名詞】物の言い方。物言い [会話] あい

そしやせん (挨拶しない) コトバヅケ すけないにげ (少ない人間) はな、あいそなし言うて。

**ごとばな**【名詞】青黄緑色の化膿性鼻汁。(志) [会話] 青い洩たらす 青洩言うのを。ゴトバナうと べつんも (特別に) 汚い。今しや (今は) 洩たらす子ら (は) 無いけど (が)、昔や (は) 青洩たらして、おおた (ああ) 汚のおて (汚くて)、口い (へ) 迄して来ると ずっとすすつたて ほんどん、ゴトバナ汚い。あんげな子ら (あんな子供は) 今し みやせんもんなあ (今は見ませぬ)。昔や (は) よお (よく) 洩たらして それ (それを) きもん (着物) の袖で拭いて、袖な (が) かばかばん (に) なってなあ、せんだかすんねなし (洗濯はするのでなし。しないし)。昔や (は) 一枚のきもん あるたや (着物洗ってしまえば) 着るもんな (物が) 無いし、ゴトバナを、きもんの袖で、すうつとこすつて こな (これが、袖か) くろお (黒く)、ぴかぴか光つとりおつたなあ (光って居ました)。あれも病気やろなあ (でしょう)。みずばなど ゴトバナと違うもんなあ (違うから)、ゴトバナたらしとるな (のは) 特別有りおつたもんなあ (有りました)。あれもなつとぞや (何かです)、病気のうちやろなあ (でしょう)。

**ことばなすぎる** 度を越して言う。言つてはならない事を言う。

**ことばのはし** (言葉端) ちよつとした言葉

**ごとひき** (ごと) (糞)【名詞】ひきがえる。がま。背の疣の多い 大きな蛙。後頭の両側に大きな隆起があり、これから白い乳状の毒液を分泌する。(志 (浜島、鶴方、神明、立神)、鳥 (鳥羽、坂手、国崎)、一、多、度、伊、北) [会話] ゴトヒキ、蛙のそれ どいらいのおを (大きいのを) ゴトヒキ。ゴトヒキ、今しや (今は) あいなの (ああ言うのは) とりん行かせんけど (取りに行かないが)、昔や (昔は) 取りんいて (に行つて) 喰いおつたねんなあ (食べて居たのです)。その おいしいのおな (のが)、焼いて匂いのええこと (好ましい事) 言うたら (言つたら)。奈良の水取りな (が) 済むと 取りん行くんやんかい (取りに行くのです)、にしだ (西田、地名) のほお (方角) へ。三月の水取りんおんの (に居るのです)。そおすとなあ みいんな (皆) つるんどんの (交尾して居る)。たあ (田) のおくぼら (穴の奥、深い所) のほおに よけおつてなあ (沢山居て) うなぎ籠一杯もとて来た (取つて来た) 事な (が) 有る。芋 掘るよおん (ように) になると 芋のきいんなかに (木の中に、

きい、茎) おって (居て)、芋 刈ったると (葉を刈り取ると) 出て来て、そして、足しばって (くくつて) さんがらかしとけ (吊り下げておけ) 言う、いつのあい(間)に抜けてて(て行って) おらせんね (居らないのです)、足しばっていても(くくつていても)。血 飛ばすと めえなくれてく (目が暮れて行く、見えなくなる) 言うて (言つて)、みずん (水の) 中で 頭 落とすやんかな (切り落とします)。めえなくれてく 言うて いそめがね (磯眼鏡、海女作業の時の眼鏡) 掛けてしいおったわい (して居ました)。それを つけ焼きした事なら (したら)、そのかざ (匂) のええのなあ (好いのです) まあ おいしいの、ほんどやに (本当ですよ) とり (鶏) 喰うよ おなもんやわい (ものです)。たあ (田) のすま (隅) のほお (方、場所) に、ずっと奥のほお (方) に、入り江になつとる (なつて居る) どて (土堤) の隅のほおに、畔の所には おらせんの (居らないのです)。すまのほおに、おんの (居るのです)。あやなあ 奈良の水取り済んで その時やてや (その時です)。いまだきんも (今頃も、十月頃) よけおるわい (沢山居ます)。芋のきい (茎) 刈ると よけ出て来いよつて (出て来て)。ゴトヒキ、うまいのはうまいねけど (美味だが)、おとして (怖くて) よおこさえんもん (よく調理できない)。あれ ここに (両側頭) 毒もつとて (持って居て) まっ白な毒、それやよつてになあ (それですから) こしやえる (調理する) 時は どいらいなあ (大変) きい (気) つけてこしやえなはざんの (調理しなければいけないのです)。水ん(の) 中で 切らな (なければ)、ちいな (血が) 飛ぶと めえなくれてく (目が見えなくなる) 言うて、磯眼鏡掛けてしいおったわい (しました)。つるんどる (て居る) 言うのは 雄と雌と一緒に おる事や。交尾しとんの (して居るの)。

こども 子供は(度)

こどもし(子供衆)【名詞】子供達。子供衆。又他人の子供を敬つて言う語。単数、複数とも使用。(三、鈴市、一、久、張、伊) [会話] コドモシ、コドモシユウ言うんやろ(言うのでしょうか) そや (それは)。コドモシユウらな(ら、複数、達が) 言うてなあ (言います)、コドモシユウな(が) よけたかつて (沢山集まって) 言うて、子供らや (だ) 言うのを コドモ。

こどもしゅう(子供衆)【名詞】子供達 こどもし参照

こどもびや【名詞】子供部屋 [会話] こなんど (小納戸) は 子供ら部屋やなあ (です) 今しで言う、コ

ドモビヤ。

こどもらべや(子供部屋)【名詞】子供部屋

ことや(事) 大変な出来事である。又そのさま。大変だ。

(鳥) [会話] まあ そげな (そんな) 事したら コトヤ、まあ (もう) あれん見やれたら (彼に見られたら) コトヤどお (ぞ、です)、そや (それ) 言うてなあ (言つて)。あれん (彼に) 聞かれたや (たら) コトヤドオ とか、見やれたら コトヤレ 言うて。えらいコトヤレ (大変な事だ) 言うのを、コトヤ 言うて、えらい事 になつて来る 言うのを。コトヤレ それ見やれたや 言うて。それ 聞かれたら コトヤレ、言うたり したりする事 あのにげ (人、人間) に聞かれると まあ えらい (大変な) コトヤレ (だ) 言うのを えらい事言わんと (大変な事言わずに) コトヤレ。それこそ コトヤレ 言うて。

ことやすい(事易)【形容詞】簡単だ(志(布施田))

ことやれ 大変だ ことや参照

こどりまあし(ことりまわし、こどりまはし)(小取回)

【名詞】上手に立回る。たくみに操る。機転がきいて、きびきびしている事。とりまわし、取り回し、手に取つて回す事。取り扱い、処置、とりなし、工夫 準備 立ち振舞い。コは接頭語 [会話] コドリマアシ 言うてなあ、する事な (が) はよおすんのな (早くするのが)、手早いのを (早く物事を行うこと)、なんしても (何をしても) ピュッピュッと てばよおすのを (手早くするのを)、あや (彼は) コドリマアシな (が) ええよお (好い) みよまあ (見なさい) 言うて。磯いて (海女作業に行つて) 物とんのでも (取るのでも)、ひじき取るとか ふのり (海草名) つんでも (摘んでも) あや (彼は) コドリマアシな (が) よおて (良くて) あてえな (手が) 早い事 みよまあ 言うて。島の上のもん (物)、きつききつと とんのん (取るのに) どいらい (大変) てえ (手) の早い人な (が) 有るわい (有ります)。のそつと (ゆっくりと)、ふのり 摘んどても (て居ても)、ひじき 取つとも、こげんしとんのおを (ゆっくりして居るのを) のそつと 言うし、シュッシュツと すると あや (彼は) コドリマアシな (が) ええよおみよまあ (よいのを見なさい)。畑の仕事でも そおやわな (そうです)、畑でも さつさとすんのを (するのを) コドリマアシなええ (良い) 言うて。コドリマアシな よおて (よくて) 仕事すんのな、はよおて (するのが早くて) 言うて。だんどり (段取り、準備) したりすんのな (するのが)、上手なのおも (のもの)、コドリマア

シなええ (好い) 言うやんかい (言います)。

**こどりまし【名詞】** 細かく動く事。情勢に応じてよく動く事。こまわり。こどりまあし参照 (志 (国府、安乗)) [会話] こまわりな (が) ええよお (よい、コドリマシな (が) ええよお 言うてなあ。仕事してまあ。てがるやかん (手軽く) する人な (が) 有るわい (有ります)。そすと (すると) あや あの人な (が) コドリマシなええよお 言うて。

**ことわけ【事釈】【名詞】** 1) 理故。てんまつ、内実、事情、物事の理非。2) 弁解、いいわけ (志 (浜島)) [会話] <sub>1)</sub> コトワケテ言うのを、コトワケ 言うんかいなあ (言うのでしょうか)。なんか (なにか) 言うのを、えごと (充分に) コトワケテ言うてせな (しなければ)、そや わからせんわれ (それは判らない) 言うて。あんた (貴方) は 此れしてええ (して下さい)、あんた (貴方) は こやって (このようにして) 言うたれえ (言いなさい) 言うて 言うの (のです)。コトワケテ言わざいたら (言わなかったら) そや判らへんど (それは判らないですよ) 言うて。誤解されるよってんなあ (から)、コトワケテえごと (充分) 訳言うて (言って) 納得するよおん (ように) して、わけて言えよお (言いなさい) 言うてなあ、言う時ん (に) そいなのを (そんなのを) コトワケテ言えよお 言うて。

**ことわけて** 順序だてて、条理をつくして、事細かに。(志 (布施田)、阿、張、名) [会話] コトワケテ、言うてあんのん (有るのに)、今日はおれぎや (俺の家では) 年忌やけど (だが)、なんもよおせんし (なにも出来ないし) ほん (本当に)、汁と飯だけやけど来てくれえ (下さい) 言うて、まあ、その 訳を言うのを、コトワケテ、言うといいて (ておいて) 来たのん (のに) 来てくれやせんなあ (くれない) 言うてなあ。そげな (そんな) 時んなあ (に)、コトワケテ 言うたのん (のに) 言うて。

**ことわり【断】【名詞】** 1) 謝罪、おわび わびる。(志 (布施田 浜島) 鈴郡、安、津、上、阿、張、北、尾) 2) 許可 [会話] <sub>1)</sub> コトワリ言うな (のは) ことわる事を。謝る事を あげんして (あんなにして) 言うたけど (言ったけれど) おんな (俺が) 言うた事は、わりかったよってん (悪かったから) とか、頼んだけど (依頼したが) ええわい (もう必要ありません、よろしい) とか、言うのを コトワリ言うのな (です)。言葉 言い過ぎたて (てしまつて) コトワルとか。謝る事を コトワル言う。謝る言葉な (が)、コ

トワリや (です)、コトワリにいて (行つて) 言うて。

<sub>2)</sub> ももの言わんと (言わずに) 使うと コトワリも無しん (許可も受けなくて) 言うて、あの方は おつちやくなねよって (横着なのだから) コトワリも無しん なんてもつこて (なにでも使つて) 言うて。

**ことわる【断】【他ラ五】** 1) 相手の希望や申し出を拒否、拒絶する。2) わびる、謝罪する。(張) 3) 許可、了解を得る [会話] <sub>2)</sub> わしとか (私、所は) 此の嫁さん 家風に合わんよってん (から) まあ ひとばか (しばらく) 預かつて呉れ (下さい) 言うて、言うてくのを (行くのを) コトワル 言うて、なことおやななあ (仲人が)、コトワリん行きおつたの (に行つて居たのです)。いなん言われやせんしなあ (要らない言えないし) 家風に合わんよって しばらく 預かつてくれ 言うのを コトワル 謝りん (に) 行くのなあ (です)、コトワリん 行く、コトワッてまあこらいて (許して) もろて (貰らつて) 来た言うてなあ。<sub>3)</sub> 物を借りん (に) 行く時ん (に) コトワル、借りて来た、此れ貸してくれえ (下さい)、ちよいとすまんけど (少し済まないが) 二、三日貸して呉れるかい (くれますか) 言うて コトワリ言うと、そしたら (そうしたら) 使やええやんかい (使えばよろしい) 言うてなあ、コトワリ言うて、訳言うて かつてくんのと (来るのと)、まあ 此れ ちよいとかつてこん (少し借りて行こう) おもて (思つて) なつとも言わんと (なにとも言わずに) もてくんのを (持つて来るのを) コトワリも言わんと (言わずに)、あんたまあ (貴方) おららつたもんで (居なかつたので) コトワリなしん (に) かつて来たんよお (借りて来ました) 言うてな。今しで言う、許可やわい (です)。許可も無しに 誰もおらへんもんで (居ないので) かつて (借りて) 来た言う事をなあ、コトワリなしに。

**こどん【名詞】** 不器用 (志 (布施田)) [会話] コドン 言うな (のは) 鈍な事。コドンなねよって (なのだから) 下手な事な (です)。あや (彼は) コドンなねよってん 言うて 下手な にげ (人、人間) を 鈍な事すると コドンなねよってん 言うて。“何をしてなり コドンな私、良いと言われた事はない” 言うやんかい (言います)。

**ごどん【如】** …のように …の通り [会話] 言う如く せえ (しなさい) 言うのを 言うゴトンしとけ (しておけ) 言うね (言うのです) 言うゴトンしとけ 言うて。

**ごどん【毎】** 度に その都度



**ごな【名詞】** やどかり 頭、胸部は堅い甲で覆われて居るが、腹部は細長い。甲は小さく柔らかい。全体が少し、ラセン状になって居る。一番前の足は、蟹のように鉋になって居る。海老と蟹の中間の性質。古名ごうなの訛 ゴウナは寄居虫の事。己の家より外へ出る事あたわず内にと居る例えなり(物類稱呼)(志(片田、船越)、鳥、尾、南)[会話] ゴナのやどかり、ゴナだ(は) なんでも (何でも) 殻へ入り込むよ ってんなあ (入り込みます)、ささえの殻やると(であろうと)、ほら (ほら貝) の殻やると、なんの (どんな) 貝へでも。ゴナでも ホンゴナに(本ごなど) ポンチロゴナに カタアシゴナやてら(とか)。カタアシゴナ、足が かたつぽな (片一方が) ちっちゃおて(小さくて)、かたつぽ 大きいて(大きくて)、カタシゴナ (片足ごな) はらんだるのは(妊婦は) 喰うな(食べるな)。

**こない【名詞】** 三つ組に編むこと(志(布施田))[会話] コナイ言う と 綱 打つん(に) 三つん(に) 合わすんやんかい(のです) さんぼ (三本) 合してなあ、三つで綱打ちや(だ) 言うて、三人で よりやつといて(ねじり与えて) 捻じる時は一人かわし番して、二人で なんごお(長く) 引つ張つといてな あ(ておいて) 三つん(に) 合わすの(のです)、てえ(手) で 三つん(に) なのは ぐたぐたみたよんしとて(のようにして) はざんの(いけないのです) いそなあ (磯縄) でも、コナイしといて(しておいて) 打つてもらおうと どいらい (大変) しゃんとするし、三つん(に) 合わすのおを コナイする言うの(のです)。

**こないだ(こなひだ)(此間)【名詞】** この前、先日、此の間の転。数日前、つい先日、先頃 ちかごろ、このごろ。このあひだの、あの略(大言海)(志(浜島、鶴方、神明、立神、甲賀、国府、安乗)、鳥、桑市、員、鈴市、安、一、松、多、上、阿、名、伊、北、尾、南、熊)[会話] コナイダ、こなんだ こなんだ言う ねなあ (言うのです)。済んでた事なあ (済だ事です)。済んでた事 こなんだ言うて コナイダ言わんと (言わずに) こなんだ 此の間言うのを。此の間はなあ 世話やったなあ (面倒かけました) とか、おおきんえ (有難う) とか言うのを、こなんだ言うのなあ (言うのです)。

**こないだうち(こなひだうち)(此間内)。こないだちゅう(こなひだちゅう)(此間中)【名詞】** さきごろ、このあいだ、先日のうち(鈴市、安、上、阿)[会話]

コナイダチュウ言うのは きのおや (昨日だ) おとつ いや (一昨日です)。コナイダチュウ 寝てまあ 二、三日前の事なあ、このまえちゅう、日和な(が) わり いてなあ (悪くて) とか、日和な(が) よかったなあとか言うてなあ。コナイダウチ言うのも 一緒やわい (です) まあ 二、三日前の事をなあ コナイダチュウとか コナイダウチとか言うてなあ。

**こなか(小仲)【名詞】** おおなか(大中)に対する語  
1) 稼ぎの中から少し内密に天引きしておく、へそくり。2) 仲間の物の内から、少し内密に取り込んでおく。(志(甲賀)) 3) 一同の食事の前に、少し食べておく。(主に食事の支度をする人が行う)。(志(布施田))[会話] 2) なんぼく (南北、四隻張、網漁法) 行ても (行つても) 魚を積むやんない (漁獲物を積み入れるでしょう)、そすとさいご (その時)、そんな よけ (それが沢山) ある中で、だれんも言わんと (誰にも言わずに) わがと、かくれて (自分がかくして)、まげもん (曲物) に入れたり、籠へ入れたり、人に 見 せんとすんの(見せずにするのを) コナカ言うの(のです)。内緒ですんの コナカ。なんぼくいて(行つて) コナカな(が) よけ (沢山) あつて言うて。人な(が) 知らんうちに(間に) 入れこむの(入れるのを) コナカよけ (沢山) して言うの(言うのです)。おおなかやら (仲間の物とか) コナカやら (とか) 言う ねよつてん (言うのですから)。コナカよけ して、魚どつさり持て来たれ (持って来た) 言うて、内緒にしてくんの (来るのを)。人な(が) せんのを (しないのを) わがと (自分) よつけ (沢山) 内緒ですんの(を) (するのを) コナカ言う。

**こなぐすり(粉葉)【名詞】** 粉末状の葉。こぐすり。散葉。

**こなこな(粉粉)【形容詞】** こなこな 小さく砕く 粉のように細かく砕けたさま。こつぱみじん参照 [会話] コナコナンしたる(にしてやる)、ちっさあい (小さい) 粉にしたる 事を、木葉微塵。

**こなし【名詞】** 1) しぐさ 仕打 2) しコナシ 着コナシの略

**こなし(子無)【名詞】** 子供の無い事、その人(上、阿、張、名)

**こなす(熟)【他サ五】** 1) 小さく砕く 細かくする。日本紀に、熟の字を読み。粉すの義なるべし。人をコナス。見コナス、言いコナスなども、我熟したる詞なり。又人を粉にするといふも通ぜり。田をコナスは稲にもいへり。食をコナスは克化也。(志(浜島))

2) 処理する さばく 始末をつける。調理する (志 (立神)、鈴市、安、上、阿、張、名) 3) 胃腸にて消化する [会話] 2) コナス言うな (のは)、こしらえる事を コナス。魚 コナス。鯉のおっきい (大きい) のを コナシテもらおやんかれ (貰おうではありませんか) 言うて、こしらえる事を コナシテもらおや (貰いましょう) 言うて、1) きい (木) でも切って こかして (倒して) あると、あのきい (木) も コナシタラナはざんわれ (こなししてやらなければいけない) 言うて、こまこお (小さく) 板ん (に) なつとんのおを (なつて居るのを) コナス。木 コナシタラナはざんわれ 言うし (言います)。なんか (何か) 物を搗いても コナシテイテから (ておいてから) せなはざんわれ (しなければいけない) 言うてなあ (言います)。畑も コナシトル (て居る)。畑のもんでも (物でも)、麦 こついても (小搗く、脱穀する) コナシテイテからせえ (ておいてからしなさい) とか、餅 搗いても すぐから (すぐに) 杵 ばたばたせんと (せずに)、コナシテイテから搗かな (ておいてから搗かなければ) 飛ばれ (飛びます、米飯粒が飛び散る) 言うて、1) そおすると おっきいもんを (大きな物) ちっそお (小さく) するの コナス。

**こなすか (小砂) 【名詞】** 小砂 小さな砂 (志) [会話] コナスカ言うのは しいろい (白い) 広の浜の砂を コナスカな (です)。

**こなみじ (こなみぢ) (粉微塵)** こなみじんの下略。粉となり、微塵となる事、固体が碎けて非常に細くなる事。[会話] コナミジ、ごおなわいて (腹が立って) まあ 茶碗も、コナミジにうちゃんね (壊してしまふのです) うつつけて (叩きつけて) まあ言うて、ととな (夫が) 怒って よんべや (昨夜は) 茶碗も皿もうつつけて (投げつけて) まあ コナミジンにしやれて (されて) 言うてなあ、みじんにしたた (してしまつた) 言うな (のは) こおん (粉に) したた 言うのなあ。

**こなれ (熟) 【名詞】** さつま芋の小さい物。小さい物。(志 (布施田)) [会話] 芋のコナレとか ちっちゃいもん (小さい物) を コナレ。あや (あれは) コナレやなあ (だ) 言うて たいてい (大体は) 芋のちっちゃいのを コナレ言うなあ (言います)。コナレばつかで まあ言うて (言つて)。

**こなれ** 消化 (志 (布施田))

**こなれなわり** 消化が悪るい (志 (布施田))

**こなれる (熟) 【自ラ下一】** 1) 小さくなる 2) 消化

される

**こなんだ** 此のあいだ。こないだ参照 (志 (布施田、片田)、北、南)

**こなんだ** 来なかつた。(多、度、伊、北、南) [会話] あんた (貴方) コナンダなあ言うのは きやらつた (来なかつた) コダツタ なあ。よそ (他の所) の人は コナンダなあ言うし (言いますし) こころん (こころ辺の) 人は コダツタ なあ。

**こなんど (小納戸) 【名詞】** 物置き 寝室 納戸 家の一室 (志 (布施田、片田)) [会話] コナンド言うのは、寝間 (寝室) の次に 二畳や三畳や言うの (のです)。寝間は 四畳とか六畳とか言うてするし (有ります)。その脇に コナンドや (だ) 言うて にじよ (二畳) か、さんじよ (三畳) の部屋な (が) 有りよつたわい (有りました)。それを コナンド。他所の人は 寝間を なんど言うわい (言います)。そやもんで (それで) ちっさいもんで (小さいので) コナンド。寝るとこ (所) が無い家は、コナンドへ寝るわい (寝ます)。寝間は主人公が寝るし (寝ます) 座敷は若夫婦が寝るよおにして、コナンドは 娘とか 子供ら部屋やな (子供部屋です)。今し (今) 言うて。今はまあ 皆 部屋割りが 違うけど (けれど)、昔や (は) 座敷と寝間とコナンドと有つて そして おもて言うて (表言つて) おおと (大戸、正面玄関) の とこ (所) に 物置きみたいなのな (のよふなのが) 納屋みたい (のように) にして 使うとこ (所) が ありよおつたわい。座敷の部屋のさきに。

**こにくたらし。こにくらし (小憎) 【形容詞】** 妙に癪にさわつて憎らしい。嫌だ。小面憎い。[会話] このか あ (子は) 好かんなあ (嫌だ)、コニクラシなあ言うて、嫌いな事をなあ。コニクラシなあ言うて。このか あ (子は) 嫌いやわい (です) まあ、おっちゃく (横着) して、言うのをなあ、ほんどん (本当に) このか あ (子は) コニクラシア言うて、面な (が) 憎い 言うのをなあ。このか あ (子は)、言うこと聞かずで 面な (が) 憎い 様な、こおや (子だ) 言うのをなあ。コニクラシなあ言うてなあ。

**こにわ (こには) (小庭) 【名詞】** 履き物などを脱ぐ土間。入口の中庭。平常、家族の出入りする所。(志 (神明、志島、甲賀、国府、安乗)) [会話] おおとにわ (大戸庭、正面玄関) 言うな (のは) 二枚で (戸が二枚で)、コニワ 言うな (のは) 一枚戸で 一枚ですとこ (所) が コニワ 言うて (言つて) ありよおつたわい (有りました)。おおかた (たいてい) コニワ から

出入りしよおったわい (して居ました)。おおとは そげんに (そんなに) おつきい時やなきや (大きい時でなければ) 使わんよおなかつたなあ (使いませんでした)。コニワから おおかた出入りしよった (して居ました)。コニワは うち (家) のもん (者) が出入りすると こ (所)。昔や (は) 玄関 今しみたいん (今のよう) に ぜんちよくのな (のが) あるかな (有りません)。皆 コニワ から 出たり入ったりしいよ ったわい。コニワから 入ると すぐに だいどこ (台所) で。おおとは はなあ (はです) ね そげん (そんなに) よけ 使わせん のなあ (多く使いません)。そや よって、つね (だから) 常、いつも (は)、一枚戸 のどこ (所) で コニワ から 出入り なあ (出入りしました)。おおとは 開け立て (あけたり、しめたり) は するけどなあ (しますが) そげん (そんなに) 出入り は よけ しやせん のなあ (あまりしません)。どいら い ごっつお (大変な御馳走) したり、嫁どり (結婚式) の式したりとか、なんやかや (色々) した時は 使うけどなあ (使用するが)。つねは おおかた コニワ で 玄関 言うて (言つて) ないん よって (無いのですから)。

**ごにんぐみ (五人組) 【名詞】** 五本の指 [会話] 此の柿 ゴニングミ で よばよ (食べよう)、ゴニングミ 手掴み を、ゴニングミ 言うの (のです)。

**こにんず (小人数) 【名詞】** 人数が少ない事 少しの人数 [会話] こおぜ (小人数) の事、仕事 あ (は) お お ぜ て せえ (しなさい)、旨い も な (物は) コニンズ で 食え 言うて、こおぜ で 食へ 言うの、コニンズ で 食へ 言う人 も有るし なあ。こおぜ (小勢) 言うの (のは) こが まい (小構、小人数) の事、あの 家 や (は) こお ぜ (小勢) で なあ、おら ぎ や (俺家は) お お ぜ (大勢) で 言うて、小人数 と 大人数 の事を こお ぜ や (小勢とか) お お ぜ や (大勢だ) 言うて。

**こぬか (小糠) (粉糠) 【名詞】** 米を搗く時にでる粉、糠 粉糠をあらぬかと言うのに対する語 (員、四、鈴市、亀、安、津、一、飯、松、多、上、阿、張、名、度、伊) [会話] コヌカ 言うたら 糟、米 を 搗 いた のお を (のを) 振 う の な (が) コヌカ、コヌカ な (が) さん ご (三合) 有 たら 婿 入り す ん な (するな) 言う 人 も有るし、こぬ か り 無 かつ たら 婿 入り す ん な (するな) 言う 人 も有るし なあ。

**こぬかり 【名詞】** 手落ち 油断 手ぬかり 如才 [会話] ヌカリ 言うて なあ 抜け 目 の ない 事 を なあ、ヌカリ な の お て (無くて) なん で も (なにでも) 一人 で

出来る 言う 事 や わ な (です)、そ い なん や つ たら (そんなのだったら) 婿 ん 行 か ん で も ((に行かなくても) ええ や ん か (よいでないか) 嫁 も ら や ええ や ん か あ (貰えばよいでないか) 言う。

**こぬかりなかつたらむこいりすんな 【俚諺】** 手落ちなく生活出来るのなら婿に行かなくてもよい、小糠三合有ったら婿入りするなに対する言葉 [会話] 小糠 な (が) 三合 有 たら 婿 入り す ん な (するな) 言うて。小糠 な (が) 三合 有 たら それ を も と ん (元手に) して 所 帯 な (が) も た れる よ つ て ん (持てるから) 婿 ん ((に) 行 か ん で ええ (行かなくてよい) 言う 言葉 と、それ を 替 えて コヌ カ リ ナ カ ツ タ ラ ム コ イ リ ス ン ナ 言うて、抜 か り な (が) 無 い に げ や つ た ら な あ (人間だったら) 婿 ん 行 か ん で も ((に行かなくても) 世 帯 が 持 てる 言う こと や わ い な あ (です)、か い し よ (甲斐性) が 有 る 言う 事 や わ な (です) 抜 か り な (が) 無 い 言う 事 わ な あ。

**こぬき (小抜) 【名詞】** 間引き。大根など、発芽して密生しているのを間引く事。(多、度) [会話] ひ と ば か (少し程) コヌ キ し たら な は ざ ん わ れ (してやらねばいけない)。

**こぬく** 間引く

**こぬすつと 【名詞】** こそ泥

**こねくりかえす (こねくりかへす) (捏返) こねくりさがす。こねくりまあす。こねくりまわす。こねくる (捏回) 【他ラ五】** 1) かきまぜて、均一にする。2) 集団の秩序を乱して、争いをさせる。(志 (布施田)、北、熊) [会話] ② うち ん な か (家の中) か き ま あ して コ ネ ク リ マ ア シ テ コ ネ ク ル。

**こねこね** 入り混じっていること [会話] コ ネ コ ネ や たら (だとか)、ご ち や ご ち や や たら 言うて、同 じ 事 を 言う の ん (のに) い ろ い ろ あ ん の (有るのです)。

**こねざあ 【名詞】** 駄々っ子 無理を言う子供 こねぞおはの詰まった語 [会話] 子 供 ら な (が) 泣 いて、い つ 迄 泣 いて、よ け ご ね ん な ま あ (あまり無理を言うな) 泣 く と 最 後 (その時) ご ね て ゴ ネ ザ ア。

**こねぞ。こねぞお 【名詞】** よく無理を言う人。駄々っ子。 [会話] ゴ ネ ゾ オ 言う な (のは) 言う けど な あ (言います)、あ の か あ (子は) ゴ ネ ゾ オ で 言うて ご ね て ば っ か (駄々こねてばかり) お ん の お を (居るのを) ゴ ネ ゾ オ 言うて、ぐ ず ぐ ず ば っ か (ばかり) 言う と ん の (言っているのを) あ や (彼は) ま あ ゴ ネ ゾ オ や れ (だ) 言うて 人 の 言う 事 一つ も 聞 か ん と (少しも聞かずに) ゴ ネ ザ ア 言うて。

**こねたくる(捏)【他ラ五】** やたらに捏ねる。捏ねまくる。[会話] なんもかも(すべて)コネタクル言うてなあ。きもん(着物)でもなあ 箆笥の中から でんぐり(ひっくり)かえて コネマクツイテタ 言うし、なんもかも(すべて)コネタクツテ 有るよつて(から) ぬすつとな(盗人が)入ったんなあ(のだ)言うて。

**こねたくる** さかんに無理を言う。駄々を言う。[会話] ごねて あやれ(あれ)あの こおな(子が)言うてぐずぐず言うのを、今日は、あんな(彼が)ゴネタクツテ ほん(本当に) おきのくうてなあ(子守しぬくて)言うて。守りすんのを(子守りするのを)、このこおな(子が)ゴネタクツテ おら(俺は)まあ よおおかんわれ(子守出来ません)言うてな ごねてゴネタクツテ 幾ら たらしでも(なだめても)聞く ねなし(のでなくて)、おら(私は) よおおかんわれ 言うてなあ。

**ごねどく【名詞】** 無理を言って、得をする事。無理や文句を言って、相手を譲歩させ、余分に自分が利益を得て、得をすること。

**こねば(捏棒)【名詞】** 便所の中をかき回す棒。[会話] こやしすんのん(肥料するのに)、したままでは かつとおて(便所の中そのままでは堅くて)、杓で汲まれやせんやんない(ないでしょう)、コネボ言うのな(が)あつて 水で薄めといて(ておいて)それで捏ねてすんの(するのです)。

**こねま(小寝間)【名詞】** 家の一室。寝室の小さいもの。(志(布施田、船越))[会話] コネマ言うのは こなんどの事。こなんどを コネマ言うのなあ(言うのです)。おつきい(大きい)寝間と コネマと。寝間は 寝間言うて こなんど言うのを コネマ。

**こねまあす(こねまはず)【他サ五】** こねまわすの訛混ざる こねる こねくる参照

**こねる(捏)【他ナ下一】** 1) ぐずぐず理屈を言う。不平、不満、要求をあれこれと言う。あれこれとくだくだしく考えたり、言ったりする。粉練の義なり。泥土にいふも同じ。人のむつかしくいふを、こねると俗にいふも義かよえり。2) 泥や水、その他の物をかき混ぜる。(志(布施田 鶴方))[会話] ① コネクル 団子コネル。味噌コネルとか、味噌仕込んで(新しく作って) コネナはざんわれ(なければいけません) 言うて(言うて)。一生懸命、手でコネル。手で コネナはざんわれ 言うて。味噌仕込むと ひとつき(一カ月) 位コネルワイ(こねます)。裸になつといて(な

つて)片肌のんどいて(脱いでおいて)味噌コネンン(こねるのに) 底コネルもんで(こねるので、かたつぽ(片一方)裸になって、さぶいのんなあ(寒いのに) のんで、コネヨツタ(脱いでこねました)。今は 潰して有るもんで(ので) とおか(十日) 位 コネトイテ(ておいて)。昔や(は) 団子と くじ(籤、くじ引き)は、コネヤ(こねれば) コネル程 ええ言うもんなあ(よい言います)。味噌もコネル程 ええんやんかい(よいのです) 塩あわせ(塩の配分)が効いて。つぶやったもんで(粒だったので) 豆をこなさなはざんかった(小さくしなければいけなかった)。粒は 潰さなはざんで(さなければいけないで、コネテ 手でみんな(皆)にぎつて 豆、潰しよつた(ました)。今は 蒸すと(味噌豆を) すぐん(に) 潰してもろて(貰つて)、そやもんで(それで) とおか(十日) 位 塩あわせしてな。昔や(は) ひと月(一ヶ月) 位しおつたんなあ(して居ました)。そんでなあ(そうして) コネルと 味な(が) ええんやんかい(良いのです)。塩が いきまわつて(平等に配られて)、粒も潰して、そやもんで(それで) ひと月位 片肌のんどいて うさぶいのん(大変寒いのに) しおつたねんなあ(して居たのです)。片肌のんで 味噌ん(の) 中 むいて(向かつて) 手 突込んで かぶれて(皮膚炎をおこして)。そいで(そうして) さぶなつて(寒くなって) 来ると ゆう(湯)から先へ 沸かしといて(ておいて) コネタ後 パケツへ 手 突つ込んで またコネオツタの(こねて居ました)。そげんせな(そんなにしなければ) しとだるやよつて(四斗樽だから) 底へ届かせんの(届きません)。

**こねる【自ナ下一】** 1) すねる。不平、不満、要求をくどくど言いたてる。(志(布施田)、鈴市、安、津、上、阿、鳥、南) 2) 死ぬ(桑郡、鈴郡、上、阿、鳥(鳥羽)、北)[会話] ① よお子供らな(よく子供達が)泣いて、いつ迄も泣いて ゴネンなマア(いつ迄も、泣いて居るな) 言うて(言うて)、泣くとさいご(最後、その時) ゴネル。ごねざあ言いおつたわい(ごねぞう言つて居ました)。泣いて いつ迄も ぐじゃぐじゃ言うるとと(言うて居ると) ゴネトテ(ごねて居て)言うて。それを ゴネル。大人が理屈言うたりすんのも(言ったりするの)も あんな(彼が)理屈言うて ゴネル言うけど(言います)。

**こねんな** こねるな 掻き回すな [会話] こや(これは) 澄ましてあんねよつて(有るのだから) よけ(あ

まり) コネンナ。

**このあと (此後) 【名詞】** 先ごろ、此の間、先日 (尾)  
[会話] コノアト、あの家い (へ) いたけど (行ったが) だれんもおららった (誰も居なかった) 言うてな、二、三日後の事をなあ、こないだ (此の間) の事をやるなあ (でしよう)。

**このうえなし** 最高で有る (志 (布施田))

**このかずんなるけど** 此の様に年令を取っているが、未経験の事について言う

**このかた (此方) 【代名詞】 【名詞】** 1) 此の人。  
(鈴市、多、伊) 2) その時より後、それ以来、最近、近ごろ。[会話] <sub>1)</sub> コノカタ、あのかた言うて コノカタな (が) 今日は来て言うてなあ、此の人な (が) 来て言うのをなあ、ちよいと (すこし) 位の ええよおな (よいよな) 人は コノカタ言うねなあ (言うのです)。普通の人ん (に) 言うな (のは) 此の人な (が) 言うんけどなあ (言うのだが)。<sub>2)</sub> コノカタ けえも (少しも) 訪れて きやせんなあ (来ない) 言うて。ひにち (日数) の事も 言うの 此の頃言う事 やるなあ (でしよう) 此の頃 あのひた (人は) けえもきやせんなあ 言うて、コノカタ めえやせんなあ (来ない、見えない) 言うて ひにち (日数) の事をなあ。

**このかたら** 此の人達 (鈴市、伊)

**このぐらい (此位) 【名詞】** 1) 程度や分量が、示されたものとはほぼ同じである事を示す。2) 程度や分量が少ない事を示す。[会話] <sub>1)</sub> コノグライ、言うて、大きさも コノグライ 言うて、あんなれ (あのね) どげなのおどお (どんなのですか) 言うて コノグライ 有ったれ (有りました) 言うて、てやい (手ぶり) してなあ すんの (するのです)。長さでも 丸さでも 丁度コノグライのなれ (です) おっきいのな (大きいのが) おつてなれ (居て) とかなあ、コノグライ ちっさい (小さい) のな (が) おったとか (居たとか) そのもん (物) の 形や程度を。

**このごら (此頃) 【名詞】** 最近は、近い過去から現在迄の、漠然とした時間。このごらはの詰まった語 [会話] あのひた (人は)、体な (に) しつらいな (疾患が)、あのかして (有るとみえて) コノゴラ えらい (大変) 元気な (が) 無いなあ (有りません)。

**このさい (此際) 【名詞】** ある状態に置かれた、こうゆう時、此の機会。[会話] コノサイ、はつきり 断つとけ (ておけ) 言うて、今のうち (間に) はつきり断るとか、はつきりしとかなはざんわれ (しておかかけ

ればいけない) 言うて、コノサイ言うて。コノサイ言うこた (事は) 今の内 言う事やわいなあ (です)。

**このさき (此先) 【名詞】** 此れ以降、今後 [会話] コノサキや (は) なつと (なんと) なつてくんかいなあ (なつて行くのだろうか) 言うて、これから先は なつと なつてくんねやか (来るのか)、此の世の中今は こげなけど (こんなのだが) コノサキや (は) なつと なつてくんのか (なつて来るのか) 心配やなあ (だ) 言うて。子供でも この子な (が) コノサキや どげなこおん (どんな子に) なんねやかなあ (なるのだろうか) とかなあ、案じる事やなあ (です) 先をなあ。賢いこお (子) は コノサキ どげえろお (どんなに偉く) なるかなあ思うし あんごし (馬鹿) こお (子) は これからさき なつと するとええんかいなあ (よいのだろうか) このかあ (子は) 阿呆で言うて 将来言う事や (です)。

**このしろ 【名詞】** 海魚 コノシロ科全長約 25 cm に達す。イワシ型で体高が高く、背鰭の最後の軟條が長く糸状に伸びている。背側は青藍色で黒い斑点が有り腹部は全長白色を帯びる。(鳥、鈴市、安)

**このせつ (此節) 【名詞】** 近頃。近い過去から現在、及び近い将来を含めたある時期 [会話] このさいの事やわな (です) コノセツ。

**このつき 【名詞】** 今月 (志 (布施田))

**このぶん (此分) 【名詞】** 話し手が、問題にしている、又は直面している状態や事柄。

**このまえ (このまへ) (此前) 【名詞】** 近頃 数日前 [会話] コノマエ 言うな (のは) 二、三日前 言う事なあ (です)。昔で言うて こなんだ (此の間) 言うてな、こなんだ ほんおとっしや (本当に) どいらい (大変な) ごっつお (御馳走) よばれてのお (招待されて) 言うて、二、三日前 言う事を こなんだ 言うて。

**このまし (好) 【形容詞】** 好ましい。感じがよくて心が引かれる。好感が持てる。望ましい。そのようになれば好い。好きである。好みにあう。このもしい。[会話] ううた (ああ) 立派で、コノマシよおななあ (ようだ)。ええ (良い) 事を 言うのなあ (言うのです) 綺麗な美しい事を。ううた あや立派で コノマシよおななあ 言うて。あのうち (家) の子供らな (が) 皆 よお (よく) そろて (揃って) コノマシよおなこら (子供) やなあ とか 言う時も使うなあ (使います) コノマシ言うう (のを)。立派な事を言うんやろなあ (言うのでしよう) あやなあ (あれ

は) 素晴らし事をなあ。ええ(良い)事をコノマン。

**このみ【名詞】** 海女が持つ鮑を獲る小さな金属の筥柄がついている(志、鳥) [会話] ええ(柄) な(が) 付いとんの(ているのを) えのみ 言うて、曲がとんなあ(ているのは) ひっかけのみ言う、えのみとコノミと有って えのみ言うな(のは) なあがい(長い)のに ええ な 付いとんの(ているのです)。コノミ言うのは えのみな(が) つかえて、獲られん時 ながのみな(が) つかえて使かえんで、そすと(すると) ちっちゃい(小さい) こんだけのばかの(この位の) ええ の付いとんのな(ているのが) 有って、コノミ使うの(のです)。おおびとり(鮑獲り) やなけな(でなければ) 使わせんけど(使かわないが)。

**このよぬすどる。このよぬすどる【俚諺】** 長生きしている [会話] あや(彼は) コノヨヌスドネ よって(でいるのだから) まあ言うて 長生きすると、あの婆 まあな 何時、死んでたてて(でいっても) だ いじかれ(かまわない) コノヨヌスドネ よってん 言うて。

**このわた【名詞】** 海鼠(ナマコ)の内臓(伊) [会話] 海鼠のコノワタ、こだら(海鼠)のコノワタ いっぼ(一本)が さんり(三厘) や(だ) 言うて、こらら(海鼠) や(だ) 言うてなあ。ど(樽) 拍子んなあ(に) こららの コノワタ いっぼなさんりや言うて ど(樽) 漕ぎおったね(漕いで居たのです) あれのわたを しごいてなあ したの(したのを) ほっそい(細かい) やんな(でしょう) そして いっぼ(一本) な(が) さんり(三厘) しよおったんやろなあ(して居たのでしょう)。

**こばい【名詞】** 小蠅 蠅の小さいもの しょうじょう 蠅(志(布施田、立神、国府))

**こばし(小箸)【名詞】** 小さな箸。宴会の時、客に渡す箸。[会話] ひろぶたの上へ、銚子や(とか)、盃や、てしよお皿、(小皿) コバシや、置いといて(ておいて) 人な(が) 来ると 最後(その時) ひとつつつ(一つ一つ) 取って やりおったの(渡して居たのです)。

**こばし(香)【形容詞】** 香ばしい。よい匂いがする。

**こばしか【名詞】** 粉になった麦の穂先 [会話] コバシカ言うな(のは) こまかあい(細かい) こおん(粉)に になつとる(なっている)、ほお(穂)の さかもげな(が) こまこお(小さく) なつとんねもんで(なっているの) 体い(へ) ひつくと はしかい

んやんかな(のです)。

**こばしり(小走)【名詞】** 歩幅の狭い急ぎ足。

**こばす** 1) 焦がす 2) 歌を歌うとき節廻しをつける [会話] ② 歌 うとても(歌っても) あんまり(あまり) コバ言うて、小節を まあす(廻す) 事をなあ、あのひた(人は) 歌を あんまり(あまり) コバの おでなあ(ので) 言うてなあ。① 飯が焦げる事を 飯 コバ まあ 臭いわれ(です) 言うて。飯 コバ シトルかして(ているのか) どいらい(大変) 臭いわれ 言うてなあ。

**こはぜ(小鉤)【名詞】** 足袋、脚絆、帛などを止める爪形のもの。コハジ(鉤端)の転 簾を巻いて釣り上げておく鉤。[会話] 足袋のコハゼ。足袋のつめがきを、昔や(は) つめがき 言うたり(言ったり) コハゼ 言うたり。女は しょんべん しながら 足袋のコハゼをするけれど、男が 足袋のコハゼをしたならば、顔も頭もしょんべんだらけ 言うて。浪花節があんねんなあ(有るのです) 浪花節の枕に その足袋のコハゼ 他に使わせんなあ(使いません) 足袋だけや(です)。

**こばたらき(小働)【名詞】** こまごまとした雑用をする事。ちょっとした働きをする事。[会話] コバ たらきな(が) わり(悪い) 言うて、こまごまと働かぬ(働かない) 人をなあ、あや(彼は) コバ たらきな(が) のおてなあ(無くて) 言うてなあ。大きな こえ(肥料) 持ったり、土方したり そいな(そんな) おっきい(大きい) こた(事は) ええんけどなあ(よいのだが)、こしゃこしゃと、草、筆たり お勝手したり すんのを(するのを) コバ たらきすんな(するの)が 嫌いでなあ あのひた(人は) 言うてな。こまごました仕事な(が) 嫌な にげ(人間) な(が) 有るしなあ、あらしごた(荒仕事は) えろおても(よくしても) こまごまと コバ たらきな(が) 嫌いで そいな(そんな) のおを(のを) 言うのなあ(のです)。

**こばな(小鼻)【名詞】** 鼻の先の左右のふくらんでいるところ。[会話] コバ な(が) 開いとんのおを(ているのを) ぶくな(が) おっきい(大きい) 言うの。

**こはば(小幅)【名詞】** 幅が狭い事。物の値動きの少ない事。[会話] コハ バ、たんもななあ(反物は) 大巾とコハ バと有るよって(から)、コハ バ言うな(のは) 並巾の事を コハ バ言うて、ダブル ん(に) なつとんの(なっているのを) ダブル 巾言うのも有るしなあ。大巾言うな(のは) また、並巾の倍ののおを(のを)。

**こばば (小婆) 【名詞】** 祖母、但し、曾祖母の有る時。

**こばむ (拒) 【他マ五】** 反対する。のけ者にする。[会話] あんな (彼が) こげん (こんなに) 言うて (言つて)、コバム 言うて。なんやかや (色々) したり 言うたり (言つたり) すると のけもん (除者) にする 言う事かい (ですか)。コバム 言うて (言つて)。あんな こげん 言うて コバム よお (拒みます) 言うて。のけもん にする よおな 意味やなあ (です)。コバム 言う事は。

**こばやい (小早) 【形容詞】** 少し早く、早い目に 1) 急ぎ気味である。2) 時間的に少し早い。[会話] 2) コバヨオ 行こやねえ (行きましょう) 言うの (のです)、ちよいと (少し) はよ (早く) 行こやなあ (行きましょう) 言うて 今日は コバヨオ おいて (終つて) 何時もより コバヨオ 行かな (なければ) はざんわい (駄目です) 言うて。

**こばよお** 少し早く **こばやい**参照 (志 (布施田))

**こばら (小腹) 【名詞】** 腹について、ちょっとした作用が起こる時に言う。コバラが減る。コバラを入れる。(志 (鶴方、国府)) [会話] コバラ ふくらか しとけ (ふくらしておけ) 言うて、よばれて (招待されて) 行く迄に 膳へ付くまで ん (に) 腹な (が) 減る よってん (から)、家で ちよいと (少し) くてけ (食べていけ) 言うの なあ (です)、コバラ つくる て (作つて) 言うて。いて (行つて) すぐん と (すぐに) かつちえど (飢えている人) みたよん (のように) 食われやせんし (食べられないし)、家で ちよいと コバラ つくつて かな (作つていかなければ) 言うて、一膳 がさがさ と 茶漬け くうたり (食べたり) 鯨 でも 一切れ 食うたり すん の を なあ (するのを) コバラ つくる て かな 言うて なあ、言う と し おくい (味見) やわい (です)。

**こばら** いれる 少し食べる

**こばら** がへる 少し腹がへる

**こばら** つく と く。**こばら** つく らう 少量の物を腹に入れる 一時凌ぎに食べる (志 (布施田)) [会話] よばれて (招待されて) 行く迄に、膳へ付く迄 ん (に) 腹な (が) 減る よってん (から) 家で 一膳 くてけ (食べて行け) 言う の な、コバラ ツク ラウ 言うて。

**こばら** なへる 少し腹がへる

**こばら** ふくら か す。**こばら** ふくら す 少し食べて一時の空腹を満たす。こばらつくらう

**こはら** み (子孕) 【名詞】 妊娠。(志、鳥 (答志)) [会話] 子を孕む 妊娠する事 なあ (です) コハラ ミ。

ハラム。

**こばら** を いれる 少し食べる

**こばりもん** 【名詞】 配り物 [会話] コバリモン 言う な (のは) こば つて く の を (配つて行くのを) コバリモン。結婚式 や なん や の (とか) 内祝い を こば つて く 言うて、配 つて く (て行く) もん (物) を コバリモン 言う。さと (砂糖) でも せ と もん (瀬戸物) でも なん でも 配 る の を なあ コバリモン、言う の (のです)。コバリモン も みな して まあ 安心 や なあ (だ) 言うて なあ。

**こばる (配る) 【動詞】** くばる。配る。割り当てて渡す。手配する。適当な所に割り振る。(志 (布施田、鶴方、立神、国府、安乗)、鳥、北、度、尾) [会話] くばる 言う の を コバル。なん や か や (種々) 海女 さん な (が) 若布 か ず い て 来 ると (取つて来ると) めえ (若布) コバ ッ て 来 た。くばる 言う の を コバル 言う の (のです)。一周忌 や と か (だとか) 祝い 事 なん や かん や 品 物 くば り 物。配 る の を コバル 言うて。それ こば つ と い て (ておいて) こい (来なさい) 言うて。

**こはん** だい 【名詞】 御飯を入れる小さな飯櫃 [会話] おひつ でも なあ、こま か い の な (小さい) こびつ や (だ) 言うて なあ、お っ き い (大きい) のは お お は ん だ い。お お は ん だ い や (とか) コハン ダイ や 言うて、おひつ の 事 はん だ い や (だ) 言うて、コハン ダイ 一 杯 飯 も 入 れて も て け よ お (持つて行きなさい) 言うて 畑 い (へ) 行 く の ん (のに)

**ごはん** つ ぼ 【名詞】 御飯粒 飯粒 [会話] め つ つ ぼ、飯 の つ ぼ (粒) の 事 なあ (です) ゴハン ツ ボ。

**こはん** と き (小半時) 【名詞】 少しの時間、今の約一時間。

**こはん** に ち (小半日) 【名詞】 殆ど半日近くの間。[会話] 昼迄 と か 昼 から と か 言う の な あ (です)、半 日 の 事 なあ (です) コハン ニ チ。コハン ニ チ 今日 は か か つ た 言 う と 昼 ちよ い と (少し) 過 ぎ て な あ、コハン ニ チ か か つ た れ (かかりました) 言うて なあ。

**こび** 【名詞】 1) 皮膚にたまった垢のひどいもの。黒くこびりついた垢。又、器物に付着して容易に取れない汚れ。沈澱物のこびりついた物。(志 (布施田) 度) 2) 物とか人が密着して居る状態。3) こげた飯 おこげ (志 (浜島、布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)) [会話] 3) 飯 の コ ビ。飯 が 焦 げ つ く の (のです)。2) そ こ ら (そのあたり) ん (に) なん や か や (色々) つ い と て も (付着して居ても) コ

ビツク言うてなあ(言います)。なんかこお 柱へつ  
けたても(付けてしまっても)、汚れて 乾いてくと  
(乾いて行くと)、コビツイテタレ(こびついていつ  
た)コビツイテ 取れやへんわれ(取れません)言う  
て。<sup>1)</sup> 垢な(が) ついて こや(これは) コビツイト  
ラレ(て居る)言うて。 かっぱ(乾燥している状態  
ん(に) なつとると(なつて居ると) コビ。昔の子ら  
(は) 風呂へ 入らへんもんでなあ(入らないので)。  
洩な(が) コビリツイテ こやれ 言うて。誰かに  
すがりついてくやる(いくでしょう)。子供らでも、  
抱きついてくとな(て行くと) コビツイテ来て 言う  
て。 ううた(感嘆詞)あ の ふたんな(二人が) コビ  
ツイテ 寝とる(寝て居る) 言うて。 ひつついて(く  
つついて) 寝とる(寝て居る) な(のは) 彼女と彼氏  
が寝とても(寝て居ても) コビツイテ 寝とられ(寝  
て居る)。

**こびき(木挽)【名詞】** 1) 山の木を切る人。木樵。(多、  
上、阿、張、南) 2) 木材を大鋸で引いて、板を作る  
人。(多、上、阿、張、南) [会話] <sup>2)</sup> コビキヤ  
(は) 一升喰い さがり引き 言うて、どいらい(大  
きい) 木 切るの(のを) コビキ。コビキヤ(は) ど  
んと座つて 引いて さがる(退る) もんで(ので)  
コビキヤ一升喰い さがり引き、そおしといて 飯よ  
け(沢山) 喰うもんで(食べるので)。コビキヤ  
(は) 腹な(が) 減るわい(減ります)。大きな が  
んど(大鋸、おおが) で こげな(こんな) ひいろお  
い(広い)、こげな 大きな がんどで しとりおっ  
たの(して居ました)。

**こびくさい【形容詞】** 物の焦げる匂いがする。焦げ臭  
い。こがれくさい参照。(志(布施田)、鈴市、亀、安、  
一、伊) [会話] 焦げたの(のを)。御飯がこびて  
(焦げて) すると コビクサイ。こびると かざ  
(匂) な(が) してくるわい(して来ます)。ううた  
(ああ) どいらい(大変) コビクサイわれ(です) 飯  
な(が) 焦げとるかして(焦げて居ると思えて) 言う  
て。魚でもなあ 焼くと こがれ(焦げ) 臭い。こが  
れ臭いも一緒や(です)。コゲクサイのおも(のもの)  
一緒やけど(ですが) 言い方な(が) 違うだけで。そ  
やけど(しかし) 御飯な(が) こびたのは よけ(多  
く) コビクサイ言うなあ(言います)。ほかのなあ  
(他の物は) コビクサイ言うけどなあ(けれども)。  
御飯な(が) こびると ううた(ああ) コビクサイわ  
れ どいらい 言うて。

**こびしゃく(小柄杓)【名詞】** 小さな柄杓(志(布施

田) 上、阿、南) [会話] コビシャク言うて、てんど  
り(茶釜) から 汲むのな(のです)、ちっちゃあい  
(小さい) 竹を、節のとこ(所) を底にして ええ  
(柄) つけて、てんどのしゃく(杓) や(だ)、コ  
ビシャクヤ(だ) 言うて ちゃあかえんの(茶を入れ  
るのに)。

**こびた** 1) 焦げた。固まりついた。2) 少女 [会話]  
<sup>1)</sup> 御飯な(が) コビタ、御飯こぼす(焦す) 事 コビ  
タ 言うて。<sup>2)</sup> そして ちっちゃい(小さい) おなご  
(女) のこお(子) を、コビタ言うてなあ、びたや  
(だ) 言うて。

**こびた【名詞】** 尻 しりコビタ

**こびつ(小櫃)【名詞】** 1) 御飯を入れる小さい櫃。  
(鳥) 2) 物を入れる小さな櫃 [会話] <sup>2)</sup> おっきな  
(大きな) 櫃を大櫃言うし、そのちっちゃい(小さ  
い) のをなあ、コビツん(に) 一杯入れた言うてなあ、  
なかね(腰巻) や まえかけ(前掛け) その コビツ  
ん(に) 入いっとる(ている) やんない(だろう) 言  
よおったわい(言っていました)、ちっちゃい 小物  
は コビツい(へ) 入れとけ(ておけ) 言うてなあ  
ちっちゃい(小さい) 櫃を コビツや(だ) 言よおっ  
た。

**こびついた** 1) 乾いて強くくつついた 2) 焦げつい  
た [会話] <sup>1)</sup> コビリツカシタ言うて 鍋や(とか)  
おひつの ふちいなあ(縁へ) 乾き付いどる(てい  
る) のをなあ、コビツイタ言うてなあ。

**こびつかず** 焦げつかず。沈殿物などを固めてしまう。  
[会話] こびりつくも一緒の事や(です) 炊いて焦げ  
んのも有るし、こび(焦げ) こさえて(作って) コビ  
ツカス言うのも有るしなあ。

**こびつく【自カ五】** 1) 焦げつく。(志、鳥、三、鈴市、  
上、阿、伊) 2) かたくくつつく。(志(鶴方、神明、  
志島、国府)) [会話] <sup>1)</sup> コビツク。こげつく。

**こびつちよ【名詞】** 小柄な人を、あざけつて言う。特に  
子供。(志(志島)、鳥、北) [会話] ちっちゃい(小  
さい) 子を、此の子は コビツチよでなあ(で) 言う  
て。普通より ちっちゃい 子をなあ。

**こびとる** 焦げている [会話] こがれくさいわれ(焦  
げくさい) まあ こや(これは) どいらい(大変) コ  
ビトル 言うて。

**ごひまち(郷日待)【名詞】** 部落の人が集まってする宴  
会。[会話] ごより(郷、寄り) や(だ) 言うて、ゴ  
ヒマチ(郷、日待) な(が) あつて。

**こびや【名詞】** 納屋、小部屋。[会話] コビヤい



(へ) 入れとけ (ておけ) 言うて、ちっちゃあい (小さい) へし込む (押し込む) とこ (所) な (が)。

**こびりつく【自カ五】** 1) 固くくつつく。2) 焦げつく。

(阿、北) [会話] 1) コビリツク、子供らな (が) ひつついて くんのも (来るのも)、コビリツイテ来て、言うてな。婆やん、婆やんとか、かあやん、(お母さん) かあやんとか言うて、離れんと (離れずに) おる (居る) やんない (でしょう)。そすとまあ、よけ (あまり) コビリツイテ くんなまあ (来るな) 言うて、コビリツイテ 来た言うし。2) 御飯な (が) こびりても (焦げても) コビリツク言うて、1) 鍋い ま、コビリツカシトラレ (て居る) 言うてなあ、ふち (縁) いなあ (へ) 乾き付いとる (ている) のをなあ、コビリツク 言うてなあ。鍋のふち (縁) や (とか) おひつ ふち い (に) ひつといとんのなあ (ているのです) かとお (堅く) なつとんの (なっているのを) コビリツイトル (ている) たら (とか)、乾き付いとる (ている) のおを (のを)、そげん (そんなに) 言うね (言うのです)。昔や (は) コビリツイトル (ている) のえなあ ゆう (湯) 入れといて (ておいて) ほとばかしといてなあ (させておいて)、杓子 で こそげて、飲みおったのなあ (居ました)。

**こびる【動詞】** 焦げる。(志 (浜島、鶴方、立神、国府、安乗)、鳥、鈴市、伊)

**こびる【自上一】** 古くなる ひねコビル

**こびる【小昼】【名詞】** こひる。こは接頭語正午に近い時分。朝食と昼食との間に食べる軽い食事。少量の昼飯の意 (大言海) 小昼の意 (方言俗語源辞典) (志 (浜島、船越、越賀、布施田、波切、立神、鶴方)、鳥 (加茂)、桑、員、三、四、鈴市、安、津、一、飯、松、多、上、度、伊) [会話] コビル 喰わな (食べなければ) はざん (いけない) 言うて (言って)。昔や (は) えさ (餌、食べ物) な (が) わり (悪い) かったもんで (ので)、腹な (が) 減るもんで、今しや (今は) めったん (めったに、全く) コビル 喰わせんけどなあ (食べませんが)。そして 働きが (労働が) えらかったもん (大変だったので)、働きは えらいし 喰うもんは わりし (悪いし)。コビル 言うて 昼と朝のあい (間) に、もいっぺん 食べてなあ 又 昼と夜との あい (間) でも、いっぺん (一度) つつ食べて 百姓の人らなあ (人は)。百姓のうち (家) は、朝が早いもんで、喰ううち (家) な (が) ありよおったなあ (有りました)。朝と昼のあい になあ。言うて休む言う意味やわい (です)。朝

はよから (早くから) 十二時迄言うてえらいし、そおすると 一服 (休憩) すんのん (するの) お茶漬け なあ (を) かさがさと喰うて、しよおった (して居ました)。大百姓のうちや (家は) 朝の五時頃ん (に) 喰うねよってんなあ (食べるのですから)。コビル 言うのは 朝から昼までの間で ゆざけ 言うて 昼からよさ (夜) までのを ゆざけ。

**こびる** 生意気だ こましくれる こっぺる参照

**ごひんそく** 格好 姿 あわれな姿 [会話] ゴヒンソク 言うな (のは) 格好な (が) わり (悪い) のを ゴヒンソクな (が) わり (悪い)。ひん (品) な (が) わり のおを (のを)。

**こびんぼ【名詞】** 子供の多い家は貧乏する [会話] 子供な (が) よおけ (沢山) 有るもんで (ので) コピンボ言うて、びんぼ (貧乏) しとる (しています)。田地な (が) よけ (沢山) 有っても、子供な (が) よけ 有って 働かれやせんし (働けないし) コピンボ言うて 子供な (が) よけ 有る家や (は) びんぼ (貧乏) するわい (します)、食わさんならんし (食べさせなければいけないし) 着せんならんし (着せなければいけないし)。

**こぶ【瘡】【名詞】** 1) 足首の関節の突起。(度、鳥、北、尾、南、熊) 2) 子供 3) 膨れているもの [会話] 3) 芋もなあ 今頃になると、中な (が) すいすいん (に) なって来ると、コブな (が) 出来て来てなあ、芋つぼい (に) 入って 芋のコブ ばっか (ばかり) くとた (食べていた) 言うて、コブな (が) 出来て くんね (来るのです)。その コブ は 新芋みたいな (のような) 味な (が) すんね (するのです)。2) 子供な (が) 有る 嫁さん 貰らうと 出戻り貰らうとなあ コブつきやけど (だが) まあ 言うて、男でも おなご (女) でもだ 子供な (が) 有るとこい なあ (所へ)、そすと (すると) コブツキ 言うて。

**こぶ【名詞】** 中壁、荒壁と化粧壁の中間に塗る壁

**こふきいも【粉吹芋】【名詞】** 蒸すと、粉がふいた様になる薩摩芋。[会話] こお (粉) な (が) ふいとる (ている) 芋を コフキイモ。真土の畑の芋あ (は) こおな (が) ふいて 真っ白ん (に) しとんのなあ (して居るのです)。くらぼくの 畑な (ののは)、びちやびちや こお (粉) な (が) ふかせんね (ふかないのです)。

**ごふくみせ【呉服店】【名詞】** 織物を売る店。呉服屋。[会話] 呉服屋言うなあ (言います)、たんもん (反物) を売る店を ゴフクミセや (です)。

**こぶくろ (子袋) 【名詞】** 1) 子宮 2) 出産時、胎児を覆って居る薄い膜。卵膜 [会話] <sup>2)</sup> コブクロ 言うな (のは)、腹ん (の) 中で コブクロん (に) 入っとる (ている)。袋 覆って出て来る子も有るやんかい (有ります)。うっすうい (薄い) 膜、覆って出て来る。

**ごぶごぶ (五分五分) 【名詞】** 互に優劣のない事。差し引きに違いない事。

**こぶす** 小さくする。砕く。[会話] 畑打つと (耕すと) ごそごとと起こして、塊つとると (していると) コブスのを こなしとけ (小さくしておけ) 言うて。

**こぶた 【名詞】** 尻、しりコブタ、瘤。(上、阿) [会話] シリコビタ、シリコビタな (が) 痛い 言うなあ (言います)。シリコビタ言わんと シリコビタ言うなあ、シリコビタな (が) 今日は 仕事よけ (沢山) したや (したら) 痛おて (痛くて) 言うて。

**こぶつ (古物) 【名詞】** 古い品物。[会話] わたし (銚子)、今しや (今は) じっば (立派) な 絵塗ってあんの (あるのを) 使とるけど (使っているが)、昔の コブツんなあ (のは) 鉄でして 上はじっばん (立派に) うるし塗りの 蓋がしてあんね (してあるのです)。

**こぶつき 【名詞】** 子供を連れてる事。(上、阿)

**こぶとり (小肥) 1)** 少し太っている事。又そのさま。[会話] ちよいと (少し) 太った人なあ (です)、あや (彼は) コブトリな (が) した人やなあ (だ) 言うて。

**こぶね (小舟) 【名詞】** 1) 小さい舟。2) 子供 3) 頭 [会話] <sup>1)</sup> ちっちゃい (小さい) 舟、コブネ、ちっちゃい 舟の事 いそど (海女) 舟でも、コブネで行く言うて ちっさい (小さい) 舟で行くのなあ (です)。おら (俺は) おぶね (大舟) やよお (だ) 言うて、おぶね や (とか) コブネ や 言うて。<sup>2)</sup> コブネ連れて ちっちゃいの (ちいさい子供) 連れとるとなあ (ていると) 伝馬、連れて言うて コブネも一緒やわいなあ (です)。<sup>3)</sup> 頭のもも、亀の コブネ いっこんでたれ (入っていった) 言うて。

**こぶら (腓) 【名詞】** こむら：脛の背面のふくれた部分。ふくらはぎ。(一、飯、上、阿、張、名)

**こぶらがえり (こぶらがへり) (腓返) 【名詞】** 激しい痛みを伴う、局所性の痙攣。もつともよく見られるのが、ふくらはぎの痙攣で、一般には此れをさす。(上、阿、張) [会話] 足の こぶらな (が) いとおて (痛くて) 言うて、コブラガエリしてた言うて、びいんとしてくねなあ (して行くのです)、寝とて (寝てい

て) のび びいんと したると (してやると) コブラガエリ してて (していって) すじな (が) やめて (痛くて) あ痛よお 言うて、まあなあ、なつともかとも (なんともかとも)、命な (が) 持てん程 いと おてなあ (痛くて)。

**こぶり (小振) 【形容詞】** 他に比べてやや小さい事、小形なさま。又そのさま。[会話] ちっさい (小さい) のおを (のを) コブリやなあ (だ) こや (此れは)。ちっさいとなあ、今日の かた (鱧は) まあ、コブリでうまないわれ (美味くない) 言うてなあ。

**こぶり (小降) 【名詞】** 雨や雪などが、少し降る事。降りかたが弱い事。(熊) [会話] 大降り は 養も着たけど (が)、コブリのうちは (間) もつぱ (刺子) だけで、しとりおったんやんかい (していたのです)。

**こぶれる** 零れる。[会話] こぶれる言うのなあ、一杯積んだら コブレル やんかあ (でないか) 言うてな。

**こべ (頭) 【名詞】** 頭 (志 (浜島 船越、志島、甲賀、布施田、片田、畔名、鶴方、立神)、南) [会話] コベ 言うな (のは) 頭の事。魚のコベ、にげ (人間) のコベ、シャレコベ。カルコベ 言うて (言って)、あんごし (馬鹿) の (のを) カルコベ。こおべの宮さん (頭の宮) あれも そおやなあ (そうです)、あの紀州へ行く方の 大宮の こおべの宮。こおべの宮言うのな (のは) 参ってくんなあ (御詣りに行きます)、受験やなんや 言うて、なんやら (何か) 石も てて (持って行って) 置いといて (ておいて) 石 撫でて。

**こへいかずき (御幣担) 【名詞】** 縁起を気にする事。又その人。迷信家。おはらいかずき。[会話] おはらいかずき 言うのか (言うのですか)。おはらいかつぎ 言うのなあ (言うのです)。おはらいかつぎ 言うな (のは)、なんやかや (色々) 神さんの事 あんして (あのようにして) すると 罰な (が) 当たるとか、こげんして (こんなにして) したや (したら)、神さんに たたりが有るとか 言うて (言って)、きびよお (気病、気にする) をやむ (病む) のを おはらいかずき 言うのなあ (言うのです)。どげんした (どんなにした) 言うてな (言っでは)、神さんへ たたりが無いかしらん (無いだろうか)。こげんすると (こんなにすると) 神さんとおや 言うて、そいな (そんな) 神さんの事で きい (気) 使う事を おはらいかずき。あや (彼) おはらいかずきやよってん (だから)、そや (それ) そこへ そげん (こんなに) すると はざんわれ (駄目だ) 言うて。神さんの

事を言うと、あや (彼は) おほらいかづきや よってん。今日は 日柄な (が) わり (悪い) よってん したらはざん とかな 言うと、おほらいかづきや よってん 縁起とるの (のを) ゴヘイカズキも 一緒や わい (です)。

**こべこむ** 詰め込む [会話] ロ一杯 コベコムのを ほぼくる (ほおぼる)。

**こへとる** ませている

**こべり (小縁) 【名詞】** 1) 舟の両側の上縁 (志 (布施田、鶴方、国府、甲賀、安乗) 北) 2) 陰唇 [会話] <sub>1)</sub> ふち (縁) を 両方のふちを コベリ言うて (言います)。両側を、あの 舟の おも舵 とり舵言うて あるやんない (有るでしょう)、あれを コベリ言うの (言うのです)。あれに腰掛けると コベリへ腰掛けんまあ (掛けるな) たかごし (高腰、腰の位置が高い、舟の重心が高くなって、不安定になる。) 掛けて 言うて、男の人ら に 怒られよったの (て居ました)。両ふちは コベリ言うの (のです)。

**こへる** 年を取る。古くなる。こうへる。(志 (国府)、阿、張) [会話] コヘル 言うのは 年取ったのを。

**こぼく (古木) 【名詞】** 年を経た樹木。老木。ふしくれだつて居る物。(飯、多) [会話] 古いきい (木)、コボク言うな (のは) 古いきい のお (です)。

**ごぼごぼ 【副詞】** 1) 衣類や靴などが大きくて、隙間の有る事。容器に隙間の有る事。(志 (布施田)) 2) 沢山、よく儲かる。[会話] <sub>1)</sub> 靴な (が) おつきいて (大きくて) ゴボゴボや (だ) 言うてなあ、ごそごそしとるとなあ (していると)、服でも おつきいと ゴボゴボや (だ) とか、ズボンな (が) おつきいても ゴボゴボ しとられ (している) 言うてなあ おつきいのおをなあ (大きいのを) ゴボゴボしとる (している)。<sub>2)</sub> 水が、ゴボゴボ 吹き出してまあ言うてな、やいこおて (柔らかくて) 足な (が) ゴボゴボ 入ってかれ (て行く) 言うなあ あの、ぐしやぐしやしとる (していり) とこい (所に) 行くとなあ。

**こぼし (零) 【名詞】** 水翻 (みずこぼし) 火鉢の隅などに置いて、余分の湯茶を捨てる容器。[会話] 火鉢の横に 置いとて (ていて) 隅の三角い (に) 置くのを コボシ。なんや (なにか) ごみくた 入れんの (入れるのです)。煙草の吸い殻やけどなあ (などを)。三角の のおな (のが) 隅んなあ (に) とごり (残り) を 今度 汲む時に、空けたり すんねやろなあ (するのでしょうか)、角火鉢で、横に板な (が) 敷いて有って こびしゃく (小杓子) 置いて それで ちゃあ 汲ん

で ちゃあ (茶) たてて そのよこちよい (横へ) その三角、置いてなあ。

**こぼす** 不平を言う。愚痴を言う。零す。溢す。落す。[会話] 何かを 喰うて 落すと、よけ (沢山) コボスな 言うて。めつつぼ (飯粒) 落したり おかず落したりするやんな (でしょう)、よけ コボスな まあ言うし、なんでも つぶもん (粒物 穀物) でも まけると そやれ (それ) 豆コボスとか 麦コボスとか 言うて。まける事なあ まけたる事を。上から落したり すんの (するのを) コボス 言うね (言うのです)。お茶なんかでも 一杯つんで (入れて) コボレルと。そや コボレタレ (た)。愚痴コボスのもあるし。

**こぼす (小坊主) 【名詞】** 1) 年少の僧 (志 (布施田)) 2) 少年を親しみ、又あなどつて言う語。[会話] <sub>1)</sub> ちっちゃい (小さい) 坊主、コボズ。<sub>2)</sub> ちっちゃい こお (子) でものお、コボズや (だ) 言うしなあ。<sub>1)</sub> 寺にちっちゃい のおな (のが) 茶坊主 言うのな (が) おつてなあ、ちゃあ (茶) 汲んで来て 一休さんみたよな (のよな) のおな (のが) おつて なあ、コボズな (が) なれ (です) 言うて。親は大坊主で ちっちゃいの (のを) コボズや (だ) 言うて、コボズな (が) おらげや (俺の家は) ちんちん (お経) まあって (廻つて) 来て 言うてなあ、親坊主な (が) こんと (来ずに) コボズな (が) 来て 言うて。

**ごぼち 【名詞】** 畏 おとし穴。首打、こうべうちの転。ぼち、穴：墓地からの転か。(志 (片田、浜島、布施田)、鳥 (鳥羽、加茂)、一) [会話] ゴボチ 鼠ゴボチ とか、狸ゴボチ とか、器械 でて あんのなあ (有るのです)。狸ゴボチ よお (よく) 掛けて有つて、山行くと 挟まれんの (挟まれるのが) 有るやんか (有ります)。鼠ゴボチ やとか (だとか) いたちゴボチな (が)。鼠ゴボチ 掛けると いたちな (が) よお 掛かりよおった (掛かって居ました)。箱の のおえ (のへ) 土をしたのな (が) ごとんと 落ちると いたゴボチ 家でこしらえて。かね (金属製) のは かざ (匂) な (が) して、掛かって すぐん (に)、水につけたると (つけてやると) ええんけど (よいのですが)、いつまで 置いとくと (置いておくと) あんで (あれで) 臭いねやかなあ (のでしょうか) しばらく 掛からせんけどなあ (掛かりません)。といた ゴボチ 言うのな (のが) 一番よお 掛かりよおった (掛かりました)。子供らん時 (子供の時に) よお 穴掘つて あれも ゴボチ。あれも 穴掘つて いて (ておいて)、人な (が) 通つて来ると どぼんと

飛び込むよおん (ように)、上へ かこい (囲い、目隠し) して、よおしよおった (よくして居ました)。はあ (木の葉) を やっとくと (しておく) 判らせん (判らないので)、走って来ると 引っ掛かって飛び込みよったんよお (しました)。あれも ゴボチヤ (です)。

**こぼね (小骨) 【名詞】** 魚の小さい骨

**こぼれ (零) 【名詞】** 余録。計算外の利得。[会話] もとすると、コボレな (が) 有るもんで (ので)、もとして わりな (悪いのは) 火元ばかや (ばかりだ)。

**こぼれもない** 少しの利益もない (志 (布施田))

**こぼれもん (零物) 【名詞】** 1) こぼれた物。残り物。未婚者 2) こぼれやすい物。液体。[会話] 1) コボレモンや、(です) にげ (人間) でも あやまあ (彼は)、コボレモンやよってん (だから) 言うてなあ。嫁ん (に) 行きそここのたり (そこなったり)、婿ん (に) 行きそこねたり するとなあ、あやまあ (彼女は)、コボレモンやなあ (だ) 言うてなあ、零れた物(者) を。

**こぼれる (零) 【自ラ下一】** 雨が少し降る。(津、北)

**ごぼんばし (五本箸) 【名詞】** 素手で物を掴んで食べる事。ごにんぐみ。五人組。こびる参照。

**こま (小間) 【名詞】** 境された一定の空間。[会話] 屋根、今年や (は) 南のコマ、葺いたよってん (から)、こんだ (今度は) 北のコマ 葺くとか。

**こま 【名詞】** 長方形の家の短い方を示す。こまわり参照

**ごま 【名詞】** ささのはべら、にしきべら：べら科の魚。雌、雄で色彩がかなり異なり、雄は灰赤黄色で、背部に黒色縦線が五ヶあり、背びれのとげの一部に一黒斑がある。雌は雄より赤味が強く、背びれに小黒斑が二列に並んで居る。全長 20 cm位になる。(志) [会話] ゴマ 言うて ちっさい (小さい) 魚。ゴマ 釣って。どぼ (どぼはぜ) の あね (姉、少しましの表現) ん のを (のを) ゴマ。あの美し ちっちゃい。ゴマ ばっか (ばかり) 釣って来た 言うて。

**こまあし (小回) 【名詞】** こまわし：細かく動く事。動かす事。[会話] 海女のわりなあ、(下手なのは) おっきい (大きい) はんざり (桶) 持っても、コマアシよおせんやんない (出来ないでしょう)。

**こまあり (こまわり) 【名詞】** 細かく動く事

**こまい (細) 【形容詞】** 小さい。(一、員、張)

**こまいごき 【名詞】** 小さい事でもよく気をつけてする事。怠らなく [会話] ちっさい (小さい) 事でも、よお (よく) きい (気) つけて すんのを (するの

を) コマイゴキ。

**こまいど 【名詞】** 八丁櫓の櫓の位置。[会話] ろお (櫓) でも、あいども、コマイド 言うてなあ、右側ん (に) しとんな (しているのは) あいどもで ともの前ん (に) 言うて コマイド。

**こまいり 【名詞】** 屋根の形による玄関の場所。家の狭い方に玄関の有る建方。(志) [会話] 家でも、コマイリ、ひらりり、言うのな (が) 有って、ひらりりは ひらくとお (平らに) なった。家な (が) 横ん (に) なっとる (なっている) ひらから入る、こまかい (小さい) ほうへ 玄関つけると コマイリ。

**こまいろ 【名詞】** 櫓の位置。こまいどに同じ

**こまえ (こまへ) (小前) 【名詞】** 役職のない人。一般の人。

**こまおひつ 【名詞】** 御飯を入れる小さなお櫃。[会話] 真ん中ん、(に) どいらい (大きな) はんざり (桶) い (へ) 飯な (が) 入れてあんね (あるのです)。これを ありあり (各人) ん (が) コマオヒツ 一つ持つとて、(ていて) それい (へ) 汲み入れて。

**こまかあい (細) 【形容詞】** 小さい 吝嗇である

**こまかい (細) 【形容詞】** 小さい (志、鳥) [会話] コマカイ 小さいのを コマカイ。コマカイ ちっちゃい (小さい)、ちまかい (小さい) 言うて。

**こまかい 【形容詞】** 金銭的に少しの損得も気にする。勘定高い。吝嗇である。(阿、鈴市、安、南)

**こまかし (細) 【形容詞】** 小さい。こまごまとした事。[会話] ちっさい (小さい) 事言うの (のを)、いろいろ コマカシ事 言うの (のを) こまごと。

**こまがた 【名詞】** 付き人 こまかた、駒方。駒を引く者の転か。[会話] コマガタ 言うな (のは) 今しの (今の) 付き人やわい。(です) その人の世話する役。

**こまげもん 【名詞】** 小さな曲物。わっぱの小さい物。[会話] おおまげもんに、コマゲモン言うてなあ、椀のまげもん (曲げ物) 言うてなあ。丸くたい (丸い) のおえ (のへ) うちおい (うちおい蓋) ん (に) なっとてなあ (なっていて)、磯 (海女) い (に) 行く時んなあ (に)、それい (それへ) 麦飯 もやげて (盛り上げて) もてて (持って行って) 梅干を一つ突っ込んで入れといて、(ておいて) こんだ (今度は) 味噌を 持てといて (持って行っておいて) なすび (茄子) 焼いて まげもんの 蓋いなあ (へ) しといて (して置いて) 味噌 まめんで (塗って) 食うの (食べるのです)。おおまげもんや (とか) コマゲモンや 言うて おっきいな (大きいのは) おおまげも

ん、ちっちゃいな (小さいのは) コマゲモン、あのまげもんで 飯 食うな (のは) 旨かりおった (旨かった)。

**こまこい (細) 【形容詞】** 1) 小さい (志 (志島、上、阿、張、北、尾、南、熊)) 2) 吝嗇である こまこいの訛 こまい参照 (張、名、南)

**こまこお** 小さく (松、北、熊) [会話] 小さい する言うな (言います)、コマゴト切って言うてなあ。こまかあい (小さい) のおな (のが) 寄って来ててやら (とか) 言うて、ちっさい (小さい) のおをなあ (のを)、こまかあい のおや (のだ) 言うて。

**こまごと (細言) 【名詞】** 1) 小さな事。ささいな事。とるにたらない事。2) 小言、不平、不満。(志 (布施田、浜島)) [会話] 2) コマゴト 言うのは、なんやらかんやら 色々の事、言うど。わしらが (私達が) ど (樽) 漕んどんねけど (漕で居るのですが) その拍子に「表 (船の前部) の看板 白根な (が) はえたか 代ると申さん さいさい (再々、度々) 代れば さいそか (催促は) 申さん」言うて (言って) 言うのを コマゴト 言うの (のです)。どておしん (漕ぎながら) コマゴト 言うて。堂 (つね、普段) は やいやい 言うて 漕んどんねけど (漕いで居るのだが)、漕ぎ漕ぎして たんの (堪能、たんのう、飽きる) して来ると、そげんして (そんなにして) コマゴトも入れてなあ、賑おて (わって) 漕ぐのを コマゴト入れて。ちよいちよい (少し) 不平を言う。いろいろと、そいな (そんな) あてこすり (面当て) みたいな (のような) 言い方を どべよおし (樽拍子) で、ど (樽) 代りに 来やせん 言うなあ (言うのです)。直接言わんと (言わずに) どべよおしで さいさい 代われば 催促申さん 言うて。1) ちっさい (小さい) 仕事とか コマゴトもなあ なんやかや (色々) と こまごました仕事をせな (しなければ) はざんしなあ。ちっさい事をなあ あら仕事 (荒仕事、粗仕事) や (で) なしん (なくて)、ちよいちよいした (こまごました) 片付け事をすんのを コマシゴトも せんならんし (しなければいけないので) 言うて。片付けしたり すんのを (するのを) コマシゴトも せなはざんのん (しなければいけないのに) 言うて、荒仕事ばっか (ばかり) しとるけど (して居るが)、コマシゴトも まだ せんとおんねな (しないで居るのだ)。言葉で言うのは コマゴト。仕事ですんのは (するのは) コマシゴト。こまいごき (細働) 言うの も 有るしなあ (有ります)。

**こまごま (細細) 【副詞】** 丁寧に、細部迄。[会話] ここぐる なんもかも (なにもかも、すべて) コマゴトとする事を。

**ごまさば 【名詞】** 鯖の一種。黒色の斑点が体表に有る。

(志、度) [会話] 点々な (が) 有る鯖な有るやんかい (有ります)、ゴマサバ 言うのな (のが)。あいなのおは (あんなのは) なま (生) で 食べられやせん (ない) 言うやんかい (言うて有りませんか)。かあ (皮) むいといて (はいでおいて) ちよいと (少し) 塩あてたると (当てる、ふりかける) 当らせんねけど (当たらないのだが)、そやけど (それですが) 魚屋へ 買いにいても (行っても) こや (これは) ゴマサバやよって (だから)、なまで 食べられやせん (食べられない) 言うもん (言います)。そんでも (それでも) かあ むいて 食べる人ら (が) あんねんなあ (有るのです)。なまで 食べるけどなあ (食べます)。鯖でも かあ むいて 塩して。一塩当てる 喰うと 又 うまいねえ (美味のです)。鯖の いきぐさり 言うて。うす塩 (少しの塩) ちよいと (少し) あてといて (しておいて)、鯖の料理すんの (するの) うまいに 又。うす塩 あてたると (当ててやると) しっかりとなつて (身がしまつて)。大阪のほお 行くと ばつてら 言うんかい (言うのですか)。鯖してなあ。

**こまざらい。こまざらえ (こまざらへ) (細把) 【名詞】**

竹製の熊手に柄のついたもの。庭掃除、ごみ集めに使用する。木間浚で樹間の木葉を浚う義 (大言海) (志 (布施田)、伊) [会話] 高砂の 爺さん婆さん (が) 持つとるの (のが) コマザラエ。

**こまし 【名詞】** 漁に使用するまき餌。こませ。(志 (鶴方、甲賀)) [会話] コマシ 言うのは あの かぶせ (こませ、魚を集めるための撒き餌) ん (に) やんのなあ (するのです)。コマシ取るな (取るのは)、浦漁師な (が) 蚊帳みたいなの (のようなものを) やつといて (仕掛けて)、目な (が) 細かい 蚊帳やなあ (です)。そんで (それで) すくんのなあ (掬います)、コマシ かぶせん (に) やんの (やるのは) あれやなけな (でなければ) はざん (駄目です)。

**こまし (小増) 【名詞】** 1) ややよい事。2) 小さい事。

[会話] 2) コマシやなあ (だ) 言うて、ちっさい (小さい) と さいご、(その時) コマシみたいなの (のようだ) 言うけど、ちっちゃいもんで (ので) にげ (人間) のちっさいの あや (彼、あれ) コマシやど (だ)、あや (彼は) コマシや (だ)。しらが (老人) みたいん (のように) しとるもんなあ (して居る

から。そやもんで (それで) ちっちゃいと コマシ みたいなあ (のようだ) 言う。① コマシ ちよいと おっきかったり (大きかったり)、ちよいと (少し) ましやなあ (だ) 言うの (のを) コマシやなあ 言うて。ちよいと (少し) おっきいと (大きいと)、あいな (あんな) ちっちゃいのより ちよいと コマシや なあ (だ)、あれより コマシやなあ (だ) 言う事や わな (です)。ちっちゃい のおな (のが) ちよいと (少し) なりかけんのをな (大きくなりかけて居るのを) コマシやなあ (だ)。

**こましごと【名詞】** 小さい仕事。片付け仕事。[会話] 荒仕事 (力仕事) ばっか (ばかり) しとるけど (しているが) コマシゴトモ まだ せんとおって (せずに居る)。

**こました** 1) 得をした。小増、こましの完了形。  
2) 動作の完了を表す。たてこました。「しきりに行く」の意を表す。こましたる:ある動作をしようとする。自分の意志を表す。してやる。やってやる。[会話] ① コマシタナア 言うて、なんやかや (色々の物) 貰うとな、よかったなあ言うのをな、そやまあ (それはそれは) コマシタナ コマシタコトしたなあ 言うて。うまい事したなあ 言うのを コマシタナア。自分な (が) なんやかや もろたり (貰ったり) して とく (得、利益になった) する事を コマシタ。

**こましたろん** してやる してやるぞ

**こましな** 程度が少しよい 少しましだ (上、阿)

**こましになる** 少しよくなる

**こましゃくれ【自ラ下ー】** ませている早熟な子供 コマ (細) さくじの転 (大言海) (志 (甲賀) 南)

**こましゃくれた【自ラ下ー】** ませている事。(子供に対し使用する。) (志、鳥) [会話] ひねこし (年齢以上に見える) 事を、コマシヤクレトルナア (て居ます) ましえとる (ませせて居る、年齢以上に見える) 事を コマシヤクレや (だ) 言うの (言うのです)。

**こましゃくれとられ** ませている

**こましゃくれる【自ラ下ー】** 子供が大人びた、ごさかしい事をする。子供がませた様子をする。さくじりといふ詞。此伊勢のおのが里わたりの言に、童のさかしだちておとなめきたるを、こましゃくれたりといふ。これかの物語なる、さくじりによくあたれり。(玉かつま) サクジリ 動詞サクジルの連用形の名詞化。利口ぶった生意気な言動をする事 又その人。こましゃくれ。サクジリ 利口ぶった生意気な言動をする。[会話] コマシヤクレル 言うて、ちっそおて (小さく

て) おってんなあ (いながら) ひねとんのを (大人びているのを) コマシヤクレとて (ていて) まあ この言う事 見よまあ (見なさい) 言うてなあ。大人みた よな (のような) 事、言うとなあ、おおた コマシヤクレテ 此のこお (子) な (が) 言うてなあ。大人の真似する事をなあ コマシヤクレル まあ こんな (これが) ひねて (大人びて) 来て言うてなあ、コマシヤクレル言うな (のは) ひねこし (大人びた) なった言う事なあ (です)。ひねこし言うのは、ひね 言うのな (が) 古いもん (物) やもんで (なので) そやよって (だから) 大人のなあ 真似すんねやんかい (するので) その子供らな (が)、そやもんで (それで) 小癪な事して コマシヤクレテ来て 言うてなあ。

**こます** 1) してやる。している。思い切って物事をする気持ちを表す。又、している事を表す。(上、阿)  
2) 得をする [会話] ② コマスてや (と云えば) なんやかや (いろいろ) もろて (貰って) コマシタナア 言うて。ええもん (よい物) もおて (貰って) コマシタナア 言うて、良かったなあ言うのを。有難いとか そげん (そんなに) 言う意味や (です)。① エテコマシトンネ (得意になっている) 言うて あいな (あんな) 事言うな (のは) えてとんね (得意だ) えてこいやよってん (得意だから) 言うてな、人になあ、嫌な事言うたり 冗談も言うたりすると、あいな 事言うな (のは) えてこいやどお (得意だ) 言うてな する事でも なんでも 変な事すると あや (彼は) あげな (あんな) 事すんな (するのは) えてこいやなあ 言うてな。コマス いて (行って) コマス やら (とか)、してコマス やら 言うやんかい。(言います) いて コマシテキタなあ 言うて。舟な (が) いて コマシテキタ。沖から来る時でも 勢いよお (よく) 口の島へ いて コマシテ来たれ (来ました)。鯛な (が) 浜へ いれ コマシテ来て、ひろて (拾って) 言よおったのんなあ (言って居ました)。浜い (へ) うちやがって (打ち上がって) 来て 鯛な (が) ばちやばちやないざ (波打ち際) して (でして) うちやがって 来てなあ。鯛な (が) いれ コマシテ来て あいな (あんな) とこ (所) い (へ) いれ コマシテ来た言うて。ないざ へ 皆 よやがって (よりあがって) 来て やうち (一同) な (が) 掻き集めんの (るので)、いれコマシテ来る。そおゆう時は、鯉なんか追われて おいもん (追物、鯉、鱒、まぐろ等大きな魚) な (が) ついて こや (これは) ここい (へ) いれ コマ

シテ来たれ (来ました) 言うて。おいもんな ついて  
いれコマシテ来た。

**ごますり (胡麻摺) 【名詞】** 人にへつらって、おせじを  
言う者。播鉢で、胡麻をすると、四方に付く事から。

(志 (越賀)、鳥 (相差)) [会話] まいすこく (お上  
手を言うの) のなあ (です)。あんたぎゃ (貴方の家  
は) 金持ちで ええなあ (よいです)、なんもかも  
(何も彼も) よれで (沢山で) 言うてなあ、まいすこ  
いて なんやかや (いろいろ) 貰うもんで (ので)  
まいすこいて、そげな (そんな) 時ん (に) ゴマスッ  
テまあ言うて。まいすこく人の事を ゴマスリや  
(だ) 言うわい (言います) 上手言うてなあ すん  
のをなあ (するのを) あや (彼は) ゴマスリやよつてん  
(だから) 言うてなあ。

**ごまする (胡麻摺) 【他ラ五】** ある人に付き従って、そ  
の人に気に入られるようにして、自分の利益を計る。  
おべっかを使う。ごますり。(志 (越賀) 鳥 (長岡))  
[会話] ゴマスル 言うのは まいすこき。ゴマスッ  
テ あや (あれ) 言うて。お前とか (所は) どおや言  
うて こおやな (こうですね) おまえげ (あなたの  
家) おまえ (貴方) な (が) えらいよつてんなあ (か  
ら)、奥さんな (が) えらいよつてん、うた (ああ)  
あんたとか みんな (皆) かしこおて (賢くて) とか、  
えろおて (偉くて) とか、上手言う事を ゴマスル言  
うのな (のです)。ゴマスッテ言うて、まいすこく  
言うのを ゴマスル言うの (言うのです)。

**こませ 【名詞】** 1) 魚を集めるための播き餌。こまし、  
かぶせ。(三重県全域) 2) 子供が少し大人びている  
事 [会話] <sup>2)</sup> あや (彼は) まあ ちよいと (少し)  
ませとんなあ (大人びている) 言うのな (です)。あ  
や (彼は) コマセやなあ (だ) 言うて、ちっちゃい  
(小さい) 子らなあ (が) ひねこし (大人びた) 事  
言うとなあ まあ、こましゃくれとられ (ている) た  
ら (とか) 言うて、<sup>1)</sup> かぶせの事は あや (あれは)  
コマシ言うの (のです)。

**こまばたらき (細働) 【名詞】** 細かく気を配って常によく  
立ち働く事。[会話] コマバタラキ言うな (のは)  
こしょこしょと 其処ら きい (気) つけて、庭も掃  
いたり、草も刈ったりなあ、其処らも片付けたり す  
んなあ (するのは) コマバタラキ言うてなあ こま  
いごき言うてな。こまいごきな (が) して、偉いなあ  
あや (彼は) 言うてな。そして あや (彼は) どおま  
ん (怠け者) で おおへちまあり (大雑把) で こま  
いごきな (が) 出来んで (出来なくて) 言うて。

**こまめ 【形容詞】** 小さい所まで、十分気を配ってよく働  
くさま。(志 (布施田、立神)、阿、張、名、南) [会  
話] コマメに よお働くなあ。よお働くのを コマ  
メに働く。影、ひなた のお (無く) 働くのを、コマ  
メに よお (よく) 働いて。

**こまものみせだした** 1) 嘔吐した 2) 散らかした

**こまものみせだす。こまものみせひろげた** 1) 小間物  
店出す。嘔吐する。飲食したものを吐く。2) 散らか  
す [会話] <sup>1)</sup> コマモノ ミセ ヒロゲたれまあ言うて、  
げえ (嘔吐) すんのも (するもの)、げえ (嘔吐) する  
言うて汚いもんで (ので)、コマモノ ダシたれ  
(出した) まあ 言うて、酒のおで、(飲んで) げえ  
申したり (嘔吐したり) するやんない (でしょう)、  
そすと (すると) コマモノ ミセ ヒロゲた言うて <sup>2)</sup> な  
んやかや (いろいろ) よけ (沢山) 広げると コマ  
モノ ミセ ダシた よおなあ (ようだ) 言うて、物を広  
げとても (ていても) あやま (あれあれ) コマ  
モノ ミセ ヒロゲたくらいやなあ (だ) 言うて。

**こまもん (小間物) 【名詞】** 小間物。細かい雑多な物。  
コマモノ (細物) の義 (大言海) [会話] 小間物店  
広げたれ (ました) 言うて、なんやかや (いろいろ)  
よけ (沢山) 広げると 櫛や簪や そいな (そんな)  
おなご (女) 小道具をコマモン。

**こまやか (細) 【形容詞】** 1) 思いやりの気持ちや、親  
愛の気持ち、すみずみ迄行き届いているさま。  
2) 細かい所迄、よく手が届いているさま。 3) 小  
さい [会話] <sup>3)</sup> せえ (身長) な (が) コマヤカな  
(だ) とか、体な (が) コマヤカやなあ (だ) とか  
なんでも (何でも) こぶり (小さい) とか 言うて、  
ちっさい (小さい) のおをなあ (のを)、<sup>2)</sup> コマヤカ  
な仕事な (が) てえねん (丁寧) になあ あのひた (人は)  
仕事な (が) てえねんで コマヤカで 仕事さすと  
(させると) じょおんなあ (上手だ) 言うて こま  
かい (精密な) 仕事する人なあ

**こまりきる (困切) 【自ラ五】** 此の上、困りようがない  
と言う程、困る。困り果てる。[会話] コマリキル  
まあ弱った言うのなあ (です)。おおた (ああ) コマ  
リキッタよお 言うて 仕事を よおせんで (出来な  
くて) 困るとか、お金ものおて (無くて) 困るとか  
人に いろんな (いろいろな) 事言われて 困るとか。  
まあ ほん (本当に) 困って 返答の しよおな (仕  
様が) のおて (無くて) コマリキル言う時な (が) 有  
るやんかい (有ります)。

**こまりもん 【名詞】** 困者。取り扱うのに困る者。頑固者。

**こまる (込) 【自ラ五】** 中に入れられる。中におかれる。

はさまる。詰まる。コメラル (籠) の約転 (大言海)  
[会話] 此の穴 コマラセンワレ (詰まりません) 言うて いれもん (入れ物) な (が) ちっちゃおて (小さくて) コマラセンワレ とか 穴な (が) ちっちゃおて コマラセンワレ こめんの (詰めるのを)。単のぼちい (穴へ) こめこんどけ (詰め込んでおけ) 言うてなあ。単のぼち (穴) 止めるよおん (ように) なると 芋つぼい (へ) 単な (が) 入いって、ぼら (穴) 開けるとさいご (その時) その ぼら い (へ) こめこんどけ 言うて、おもさま (思う存分) こめこめ (詰め込め) 言うて 石を穴に突つき込んだり そして かみのいちを すとなあ はあ (歯) い (へ) 引つ掛って 食われやせんやんない (食べられないでしょう)、かみのいちな (が) ええね (よいのだ) 言うてなあ 頭といた (梳いた) かみのいち よっけ (沢山) 貯めといて (ておいて) その穴いなあ (へ) 突っこんだり しよおったんよお (して居たのです)。髪のけえ (毛) の事 かみのいち。コマル言うのは 穴い (に) コメンノ (詰めるのです) 穴い (へ) 皆 コマツテたよお (詰まりました) 言うてなあ、穴い (へ) 皆 入いっていくと、詰めんのをなあ コメタ 言うてなあ はなぼら (鼻の孔) い (へ) 綿 コメタ てやら (とか) 言うやんかい (言います)。

**こまわり (こまはり) (小回) 【名詞】** 細かな身のこなし。情勢に応じてすばやく動く事。[会話] 体な こしよ こしよ と よお (よく) いごくなあ (動くのは) コマワリ。コマワリな (が) ええなあ (よい) こどりましな (が) ええなあ 言うてなあ、仕事してもなあ てがるやかん (手軽るく) する人な (が) 有るわい (有ります)。そすと あや (あれ) あの人な (が) こどりましな (が) ええよお (よい) 言うて。

**こまわりなきく** 臨機応変、小さな出来事にもすぐ対応出来る (阿、張、名) [会話] コマワリナキク 言うな (のは)、なんもかも (いろいろ) 気な (が) ついてなあ 体もよお (よく) いごく (動く) のおなあ、コマワリナキク 言うて 言うんやろなあ (言うのでしょうか)。

**こまんとしとる** ぼんやりしている。元気がない。[会話] コマントシトル とぼんとしとる言うな (のは) 言うけどなあ (言います)。あやまあ (彼は) うと とお (馬鹿) みたよん (のように) とぼんとしとられ (している) 言うてな。かんこい (生簀に) いち (魚名) 活けた様な とぼんと しとられ 言うな (の

は) 言うけどな (言いますが)。ぼやんとしとるとか とんぼりしとるとか 言う。のっそりとしとる人なあ (です) あやまあ (彼は) うとけ (阿呆) ほぼつとん ねどお (頬張っているのだ) 言うてな うとけやれ (だ) あや (彼は) 言うてな。

**こみ (込)。ごみ (込) 【名詞】** 均等でない品物を、一まとめにして、均一値段で取引する事。又、その値段。或いは、本体とその付属するものが、一緒であること。[会話] コミ なんもかも (すべて) まぜコミ 言うやんか (言います)。ちっちゃい (小さい) のも、おっきい (大きい) のも、皆 まじえて (混ぜ込んで) ゴミ いくら 言うやんか (言います)。まじえコミ (まぜこみ) で ゴミ いくら 言うのなあ。まじえコミで 計ってくれえ (下さい) とか おっきいのな (が) ほしきや (欲しければ) おっきいの (のを、物を) 言うけど、まじえコミで ええわい (よろしい)。コミと ゴミ と 一緒 (に) なんの (なります) ゴミ 言うて (言つて)。ゴミで ええな (よろしい) 言うて。おっきいのも ちっちゃい のも ゴミ で こおてもおた (買って貰った)。

**ごみ (塵) 【名詞】** 枯れて落ちた木の葉。落ちた松葉。(志 (布施田、鶴方、立神、甲賀、国府)、上、阿、張) [会話] 山い (へ) ゴミ 掻きん (に) 行くのなあ (です)。柴な (が) 落ちとると (ていると)、ゴミ 掻きん (に) 行こや (行きましょう) 言うて、薪 (に) する、ゴミ やし (です)。柴 でもなあ ゴミ 掻きん (に) 行こや 言うとなあ 松山い (へ) 行きやなあ (行けば) マツゴミ ばか (ばかり) 有るけど、はあ (葉) な (が) 落ちとんのなあ (ているのです) ゴミ 掻きん (に) 行こや 言うて 薪 な (が) 無い もんで (ので) 落葉 をなあ さら い (熊手) 持って なあ 掻いて くんね (来るのです)。山い (へ) 行たり、道端 のきい (木) な (が) 有る 下の方 い (へ) いて なあ (行つて)

**こみあう (こみあふ) (込合) 【自ラ五】** 混雑する。沢山の人が集まる。

**こみあげる (込上) 【自ガ下一】** 1) 胃から食べた物を吐きそうになる。2) 胸につかえる。感情がたかぶる。

**ごみいれ 【名詞】** 屑入れの容器 (南)

**ごみかき 【名詞】** 枯れ落ち葉を掻き集める事。(志 (鶴方、神明、立神、甲賀、国府、安乗)、張) [会話] 落葉 を集めんなあ (に) さら い (熊手) もて て (持つて行つて) 集めてなあ たねて (束ねて) すん の (すのを) ゴミ カキ。



**ごみかく** 枯れ落ち葉を集める。

**ごみくず** (塵屑) **【名詞】** その場を汚している物。役に立たない汚い物。(熊) [会話] 紙屑や(です) ゴミクズだらけや(だ) 言うてなあ 紙のきれ(切れ端) な(が) おっとると(落ちていると) 紙屑や(だ) 言うてなあ。

**ごみくた** **【名詞】** ごみあくた：塵芥、価値のない物、汚い物の例え。ごみ：物の屑、不要になったもの。役に立たない物。自然にたまった ほこり等の総称。あくた：ごみ、ちり、くず、転じて、つまらない物。(志(布施田、鶴方、神明、志島、国府、安乗)、鳥(国崎)、多、上、阿、張、名、度、北、尾、南、熊) [会話] そこらの(その辺りの) ゴミクた 掃いとけまあ(掃いておきなさい)。 ゴミクた、そこらんのも(その辺りののも) 寄せて ほりに(捨てに) 行かな(行かなければ) はざんわれ(駄目だ)。 焚いたれ(てやれ) とか。

**ごみくたざかな** **【名詞】** 色々な小魚、市場におおせない魚、雑魚 [会話] いろんな魚の ちっさいのを(小さいのを) ごみくた(塵) みたよな(のような) のおを(のを) ゴミクたザカナ ゴミクたザカナよけ(沢山) 釣ると ざこやなあ(だ) 言うて

**ごみくてば** **【名詞】** ごみ捨て場、汚い物を捨てる一定の場所。[会話] ごみ捨て場 八幡さんの川の前 ゴミクテバでなあ、川 埋めたる程 ごみふてば やったの(でした)。 そして 大時化な(が) して来ると 大川ん(に) なって 海ん(に) なっくてんやんかい(なっくて行くのです)、その両縁は 皆 ごみふてばで ごみ 皆 ほつてなあ(捨てて)。 ゴミクテバ言うて ごみ ふてんねけど(捨てるのだが) ゴミクテバい(へ) ほつたれ(捨てよ) 言うてなあ ごみ捨て場 言わんとなあ(言わずに) ゴミクテバ “く” やなあ(です) ごみふて場 言う人も有るし ゴミクテバ言う人も有るしなあ

**ごみごみ** **【副詞】** 混雑しているさま。まとまりがなく雑然としているさま。[会話] なんやかや(いろいろ) ゴミゴミ 此処らい(へ) よけ(沢山) 置いてまあ 言うてなあ、ごちゃごちゃと よけ 置いて有るとなあ ゴミゴミと よけ 置いて 言うて。

**こみじ(こみぢ)** (粉微塵) きわめて小さい事。又、細かく砕ける事。こなみじん、こっぴみじん。(志(布施田)) [会話] コミジ 言うのは、ちっそおな(小さく) びしゃいたる事を(砕いてやる事を)、 コミジにしたて(してしまつて)。 なんでも うちやつたり

(壊したり) 壊したりすると、こまこお(小さく) したると、(してやると)、 コミジや(だ) 言うて(言うて)、 コミジにしまあ 言うて。

**こみしお(こみしほ)** (込潮) **【名詞】** 潮の満ちて来る事。満潮。沖から寄せて来る潮流。(志(布施田、鶴方、神明、立神、志島)、鳥、桑市、度) [会話] コミシオ 言うは、満ちて来る事な(事です)。 干いてく(て行く) ときや(時は) ひきしお(干潮)、 さげしお(下潮) とも言うし、 潮な(が) にっくて(満ちて) 来る時 コミシオやど(だぞ)。 にっくて来る時をな 潮のはな(端先) が 来たとか。 潮のはなな(が) 来た 言うのは、満ちかけて来た事な(が) はなな(が) 来たれ(来ました) 言うて。 にっくて来る、始めの ずううつと 干ききつて(て行って)、 これな(が) そこりやな(だな) 言うて。 干ききつた(干ききつた) 時をそこりやなあ(だ) 言うて、 干潮の時を。干ききつてくと(行くと) コミシオん(に) なって 潮のはなな(が) 来た。泡なふいてくんねなあ(泡だつて来る)。 島もとえ(島の波を打つ所に)。潮のはなな来た。泡な吹いて来たれ(来ました) 言うの(のです)。干いた(干潮) 時に、 岩の間むいて、(に) 空気な入つたもんで(入つて居たので)、 そんで(それで) 潮な 入れて来たもんで(入つて来たので) 泡になつて くんねやろ(来るのでしょうか)。 そや(それ) まあ(もう) 泡ふいて(泡が出て来る) 来たもんで(ので) 潮のはなな(が) 来たど(来たぞ) 言うて。 いそばた(磯端) いとるとさいご(行つて居る時に)。 そこり 言うのは 干潮の 一番潮な干きつた時、そんな(それが) 一番どん底で、 そして一杯干いた後で、すぐん(すぐに) みち潮ん(に) なつて それを 潮のはなな来た 言うの(のです)。 満ち潮で 一杯になつた時は そこり 言わせん(言いません)。 だつぷりみち やなあ(だ) 言うて。 だつぷり 言うのは 島一杯(全部) 潮な来て だつぷり(どつぷり、たつぷり) 島な(が) つかつてくね(つかつて行きます。沈んでしまう) だつぷりみち。 だつぷり たつぷり 一緒やわい(です)。 たつぷりも、だつぷりも。

**ごみする** 散らかす 屑を作る (南)

**ごみぼこ** **【名詞】** 屑入れ

**ごみふてば** (塵捨場) **【名詞】** ごみを捨てる場所。ごみく<sup>て</sup>場。ごみす<sup>て</sup>場。(南) [会話] ごみ捨て場 ゴミフテバ言う人も有るし ごみく<sup>て</sup>ば言う人も有るし ごみふてんねけど(捨てるのだが)

こみみ (小耳) 【名詞】 耳 こは接頭語

こみみにはさむ 聞く 聞くともなく聞き知る。

こみやい (こみあい、こみあひ) (込合) 【名詞】 1)

こみあい。込合。多くの人が入りこんで混雑する事。又、その人ごみ。雑踏。2) 混雑の中で押し合う事。[会話] 1) コミヤイ言うな (のは) よけ (沢山) にげ (人間が) 混んだのを (でいるのを) コミヤイ、にげ な まあ 今日 は コミヤイやった (だった)、今日は 口開けやって (だつて) よけ にげ な 出て コミヤイであま ほん一杯で 足の立場も無い程 や (だ) 言うてな こみやつとて (混み合っていて) 言うてなあ。

こみやう (こみあう、こみあふ) (込合) 【自ワ五】 混雑する

こみやげる (込上) 【自ガ下一】 1) こみやげる。込み

上げる。胃の中の物が、口の方へ戻って来る。吐きそうになる。2) 感情が湧き上がる。3) つき上げる。[会話] 3) どこやかや いとなつて (痛くなつて) 来ると いぬごもと (リンパ腺) コミヤゲルまあ。できも ん (出来物、腫瘍) な (が) しとると (出来て居ると)、いぬごもとへ コミヤゲテ、おおた (ああ) いと おて (痛くて) 言うて。どこやら (何処か) こお、すじ (筋) つとて (伝わって) コミヤゲル 言うのな あ (言うのです) 傷しとるもんで (して居るので) いぬごもとから コミヤゲテ来て、おおた 痛おて まあ 言うて そいな時ん (そんな時に) 使うしなあ (使います)。1) 腹な (が) 痛おて むかむかして来ると、コミヤゲル 言うしなあ (言います)。2) 悲しい時に 胸が コミアゲテキテ、泣かれる (涙の出る) 時も コミアゲル。つわりやなんかの時も (のような時も)、胸い (へ) コミアゲテキテ むなぐる して (しくて) 言うてなあ。

こみんする。ごみんする 一緒にする。混ぜる。

こむ (込) 【自マ五】 1) 混雑する 2) ある場所一杯

に人や物が入りあう 3) 潮が満ちる [会話] 1) よ お (よく) コムなあ 言うて。今日はまあ 芝居小屋 な (が) 混んで 一杯やつたれ (でした) 言うてな、芝居みいん (見) いてもなあ (行つても) 一杯おると (居ると) 芝居小屋な (が) コンドテ (でいて) 入 いられやせんわれ (ないです) 言うて、一杯ん (に) なんと コンドテ 言うて。3) 潮な (が) コム言うの なあ (です)。潮な (が) こみしお (満ち潮) やなあ (だ) コンデキタなあ言うて。

…こむ ……する: ぼちコム。すりコム。なりコム。

怒鳴りコム。(北) [会話] ボチコムやら (とか) ト ビコムやら、ぼちこんだ (落ちた) てやら (とか) お ちこんだてやら 一緒の事やけど (です)。おつてく (落ちて行く) 事を 言う けど なあ。穴な (が) 落ち る 言う 事を、ボチコム 言う の (言います)。島 の上 から ボチコム、飛びコムてやら 落つてく (て行く) 事を ボチコム。今日は 尻 貰 て 弱 つた よ お (困りました) ナリコマレルト。…コム 言うのは する、(行く) しやれた、(された) したてな (してしまった)、した (行った) 事を 言う ね やる なあ (言うのでしょうか)。オチコム 言う と ずる ずる つ と す べ つ た (て行った)。ぼちこんだ 言うのは わざ と (承知して) 入 る ん や なし に (入るのでなくて) 知ら ん と (知らずに) ボチコム。トビコム 言うのは なあ わ が と (自分) 承 知 し て 飛 び 込 ん で く ね け ど なあ (行くのですが) ボチコム 言うのは 知ら ん と お つ て (知らずに居て)。

こむぎだんご 【名詞】 1) 堅い。融通が利かない。2)

小麦粉の団子 (志 (布施田)) [会話] 2) コムギダンゴ みたい なあ もん (のような物)、コムギダンゴ と び き だ ん ご。コムギダンゴ 言うて (言つて)。

こむし 【名詞】 子供ずきの人。[会話] 爺やんな (が)、

コムシ や も ん で、(なので) 世 話 し て (面倒みて)、こ ら ら な (子供達が) だ ん び だ ん ろ く ん (汚して) し と ん の を (いるのを)。

こむすめ (小娘) 【名詞】 年齢の若い娘

こむそお 【名詞】 虚無僧 薦憎 尺八を吹き鳴らし門

付けをする者 (南) [会話] こ も そ お か い (ですか)。コムソオ 言 わ ん と (言わずに) こ も そ お な (が) 来 た 言 う て ふ ご (編み笠) 被 つ て 笛 吹 い て あ ん な (あれが) 来 る と コムソオな (が) 来 た そ や (それ) お と し ど (怖いぞ) 言うて。

こむづかし (小難) 【形容詞】 面倒だ。理屈のみ言う。

叱言を言う。[会話] コムヅカシ 言うのは、なん や ら かん や ら (何か彼か) そ げ ん (そんなに) し たら は ざ ん (駄目だ)、これもはざん それもはざん、そげんしたらはざん言うて、いろいろの事を 叱言言うの な (です)。む づ か し (むづかしい) 事 ば つ か (ばかり) 言うて (言つて)、なんでも お お や け に す や (大様にすれば) え え け ど (よいのに)、こまごま と こ や (此れは) そ げ ん し たら は ざ ん や ん か (駄目だ)、そ こ い (其処へ) それ を 置 いた ら 邪 魔 ん (に) なる や ん か (なるでないか) 言うて、むづかし事言うのを、コムヅカシ。ほん (本当に) コムヅカシ

テ、きむつかしてなあ。あの うちや (家は) どいら  
い (大変) ととな (父、主人が) コムヅカシねえ (の  
だ) 言うやんかい (言います)、コムヅカシンよって  
(のだから) 言うて。

**こむら (腓) 【名詞】** 脛の背面のふくれた部分。こぶら  
小叢肉の義 (大言海) (桑市、飯) [会話] コムラ  
足の後を コムラな張って言うて こむらがえりして  
くと (行くと) まあ いとおてなあ (痛くて)。

**こむらがえり (こむらがへり) (腓返り) 【名詞】** ふく  
らはぎの筋肉が、突然痛みを伴って、収縮する発作。  
腓返の義。腓の筋の転ずる意 (大言海) (志 (甲賀))  
[会話] コムラガエリ 言うのはなあ、足の裏 (こむ  
らの部分) な (が) すじな (が)、あいたたたった  
(痛い) 言うて、この裏のすじな 痛とて (痛くて)  
歩かれんで (れなくて)。その 痛いのおな (のが)  
しばらくすると 治ってくんけど (行くのだが)、治  
ってた (行った) 後もどいらい (大変) 痛いの (ので  
す)。十日も痛いわな (痛んで居ます)。妊娠すると  
よけ (よけいに、多く) なりおったんよお (なりました。  
おこしました)。ううたなあ (感嘆詞) この裏な  
(が) つってくんやんかい (痙攣して行きます)。だ  
ばだばな つってくね (痙攣して行くのです)。まあ  
その痛いのな (が)。あんな (あれが) 一番痛いなあ。

**こめあげる (こみあげる) 【自ガ下】** こみやげると同じ [会話] いぬごもと (太股の付け根) い (へ) コ  
メアゲル言うてなあ、はっち (蜂) ん (に) 刺された  
りするとなあ やめると (痛むと) コメアゲテ来てな  
あ いぬごもとい コメアゲル言うてな、ここらい  
(へ) 迄 つきやげて (突き上げて) 来てなあ ちち  
よちちよ (腋の下) の方い コメアゲテ くんのなあ  
(来るのです)。足すると いぬごもとの方いなあ  
(へ) コメアゲンねてや (るのです)。吐きそおん  
(に) なるのも むなさきい (上腹部へ) つきやげて  
来て言うて 胸な (が) わりいて 胸な わりいて  
(悪くて) コメアゲテ来てなあ 言うてなあ、悲し  
時 んなあ (に) コメアゲル言うて

**こめいし 【名詞】** 粘りなく小さく砕ける白い岩

**こめかしおけ 【名詞】** 米を研ぐ桶 [会話] コメカシオ  
ケ言うて 米かすのは別んなあ (に) しよおったわい  
(して居ました)。米も いっしょ (一升) も にし  
よ (二升) もかすねやねえし (研がないので) 茶碗に  
一杯 かすねよってなあ (洗うのだから) ちっちゃあ  
い (小さい) 桶でええもんで (よいので) コメカシオ  
ケや (だ) 言うて ちっちゃあいの しいおったなあ

(して居ました)。

**こめかす** 米を研ぐ。

**こめかみ (頑) 【名詞】** 耳の前、髪の毛の生え際の所で、物  
を噛むと動く所。[会話] コメカミい 力 入れて  
もの言うて、疳な (が) 立つとる (ている) 時やなあ  
(は) 疳すじ 立てて コメカミい (へ) 力 入れて  
怒ってなあ 言うてなあ。昔や (は) 頭な (が) やめ  
る (痛い) 言うとなあ、ここい、米 こおで (噛ん  
で) 貼りおった (居ました)。米 噛む時ん (に) い  
ごく (動く) もんで (ので) コメカミ言うんやかな  
(言うのでしょうか)。

**こめくいむし (こめくひむし) (米食虫) 【名詞】** 徒食  
して居る人。怠け者。

**こめこむ** つめ込む。[会話] 小納戸へ、子供ら コメ  
コンで、寝よおったやんかい (寝て居ました)。

**こめこめ** 詰め込め 詰め込みなさい [会話] おもさ  
ま (思う存分) コメコメ 言うて、詰めん (る) のお  
を (のを)、入れんのを。

**こめこんどけ** 詰め込んでおけ 詰めておけ [会話]  
そのぼら (穴) い (へ) コメコンドケ言うて、石を穴  
い 突つき込んだりなあ

**こめた** 詰めた [会話] 詰めん (る) のをなあ コメ  
タ言うてなあ、はなぼら (鼻の穴) い (へ) 綿 コメ  
タ。

**こめだあら (こめだわら こめだはら) (米俵) 【名詞】**  
米を入れる藁製の俵。(志 (布施田)) [会話] コメダ  
アラ 言うて、たあら (俵) ゆう (結う) 言うて、米  
や麦入れといて (ておいて) それをみいとこ (三ヶ  
所) からげて (括って) 二人で引く張ってなあ 足で  
蹴りもて (ながら) すると よお (よく) 締まるし、  
一人や (だ) 言うて こっちやで (こちらで) 蹴って  
こっちや (反対) からも蹴りして たあら ゆう 言  
うて、たあら (俵) しばんのをなあ (縛るのを)。コ  
メダアラや (とか) 麦だあらや (とか) 言うて たあら  
い (へ) 入れよおったね (入れて居たのです)。  
それから こんだ (今度は) 呷ん (に) なって来てな  
あ、そしたや (そうしたら) 今しや (今は) 袋でなあ  
米を入れる俵を コメダアラ やなあ (だ)。そすと  
(すると) そんな (その) あがりで (古いので) は  
いであら言うてなあ。

**こめつぼ (米粒) 【名詞】** 1) 米の一粒一粒。米つぶ。  
2) 小さい物の例え。[会話] ② コメツボ コメツボ、  
ちっさい (小さい) のでも、コメツボ位 なんやかや  
(色々) たとえことば (例、言葉) ん (に)。めつ

つぼ 言うのは 炊いたの。コメツボ 言うのは、生の米を、なんか (何か) ちっさいのん (のに) 例えんのん (例えるのに) コメツボ位のおお (のを) 言うて、<sup>1)</sup> なまごめ (生米) の事なあ (です) コメツボ。つぼは つぶ (粒)。米つぶの事を コメツボ。

こめとく 1) 詰めておく 2) ふさいでおく

**こめぬか (米糠) 【名詞】** 糠 糠 (員、鈴市、津、一、飯、上、阿、張、名、度、尾) [会話] 米の糠をコマヌカ。米 搗くと 糠な (が) 出来てくんね (来るのです) 一俵 搗くと 五升位 糠な (を) 出来てくんね。上皮な (を) 剥いたる (てやる) まで 搗くと玄米を白米にするとなあ、糠ななあ (が) 四、五升出て来るなあ (来るのです) 磨き砂を入れて するとなあ はよ (早く) おれる (出来る) もんでなあ (ので) 磨き砂入れんねけど (るのだが) 糠 食べよ (食べよう) 思うと、磨き砂入れんと (入れずに) 搗くんやんかな (搗くのです)、そして それ ほおろくで焙って さと (砂糖) 入れて ほぼるとなあ、体の栄養ん (に) もなるし 旨いねなあ (のです)。もちね (餅米) の糠をなあ もちね 搗くと 磨き砂入れんと (入れずに) 搗こやんかれ (搗きましょう) 言うて、そすと 糠をあぶって それ ほぼるの (食べるのです) 美味しいんでや (のです) こおぼして (香ばしくて)。そして 脚気ん (に) になると あれ食うとええ (よい) 言うて くよおったね (食べて居たのです)。

**こめのめし (米飯) 【名詞】** 米飯 米以外になにも入っていない飯 (志 (布施田))

**こめのもち (米餅) 【名詞】** もち米だけを搗いた餅 (多) [会話] もちまい (餅米) ばっかんの (ばかりののを) コメノモチで。わしらげんな (私の家のは) 米や (は) ちょおいとやし (少しです) こが (樽) に一杯つ、とびきや (とか) 栗や 言うもん (物) は すんねけど (するのだが)、茶碗に一杯つ もちね (餅米) を 敷いてなあ 栗や (とか) とびきを搗くね (搗くのです)。そすと さいご (その時) 粘りな (が) よおて (よくて) 米な (が) 入いつとる と (ていると) 旨いんやんかい (のです)。そやけど (しかし) よけ (沢山) 入れやせん (入れないので) す)、もちね はんだら (半俵) か一俵より よお買わんもんなあ (買えないので)。そんで (それで) 餅搗いて あられしてやんない (でしょう) そやよって (だから) 小餅は ちょおいとやわい (少しです)。一俵も買うわ言うと よくよくの家やなあ (です) よ

け (沢山) 稼ぐ家らは まあ いっぴよ (一俵) も買うけどなあ (が) はんだら (半俵) ぐらいな。そすと はんだら 小餅も搗いて あられもして とびきや栗いも (へも) 敷いたるとなあ (てやると) ちょおいとより (少しより) 無いねてや (のです) そやよって (だから) まあ お供えを みいくぼ (三臼) 位なあ、搗くぐらいの事やったなあ (でした)。そすと ひとくぼ (一臼) で六十位つ こんだけ (これだけ) ばか (ばかり) のおな (のが) できよおってなあ (出来ました) ちっちょお (小さく) してなあ 洋服の ボタン位ん (に) しとけ (しておけ) 言うて 三ヶ日は コメノモチ 食わな (なければ) はざんもんで (いけないので)、そして おっさい (大きく) 取ると まあなあ しいじゅう (四十) 位ん (に) そこらより取られやせん (取れません)。

**こめびつ (米櫃) 【名詞】** 1) 精米した米を入れておく箱。(志、四、亀、一、飯、上、阿、張、名) 2) 生活費を供給する者。稼ぎ手。3) 生活の糧となるもの収入源

**こめみそ (米味噌) 【名詞】** 味噌を仕込む時、豆と共に米を入れた味噌。

**こめもん 【名詞】** 込物 物と物との間に又、穴などに詰め入れる物。

**こめやげる** こみあげる。つきあげる。嘔吐しそうになる。

**ごめんそおめんひやそおめん 【俚言】** あやまった後の戯れ言葉 (上、阿)

**こめる (込) 【他マ下】** 物の中に入れる。詰める。閉じこめる。(志 (布施田)) [会話] 詰める。穴い (へ) コメトケ (ておけ) 言うて、単のぼら (穴) い (へ) コメル 言う。

**ごめんな** 1) 許して下さい (志、一、上、阿、松) 2) 他家を訪問した時の挨拶 (北) [会話] <sup>2)</sup> 今日 (こんにち) は 言うのを ゴメンナ 言うたり、<sup>1)</sup> なんやかや (いろいろ) したや (したら) こらいてくれ (許して下さい) 言うの (のを) ゴメンナ 言うたり 入いつてく (て行く) 時の挨拶で ゴメンナ 言うたり ゴメンナア 言うたり。へえ (屁) へつても (しても) ゴメン 言うて ゴメン も言わんと なんどお (なんだ) へえ ひつても (しても) 言うてな。昔や (は) へえ (屁) へると (すると) ゴメン 言よおったね (言っていたのです)。

**こも (薦) 【名詞】** 1) 荒く編んだ蓆。古くは菰で織ったが、それ以外に、すげ、ちがやい、がま、葦、竹の

類でも織る。今は主に葦を用いる。昔、庭上はもとより、殿上の大床にも用いられた。民俗、神事の敷物としての薦は、神聖な物とされるが、民間では、こもは、粗末な蓆として、さげすむ風が強い。例えば、乞食の異稱を、こもかぶりと言うが、此れは乞食がいつもこもを被って居たからである。家の戸が一般に使用される迄は、小さな家は、入口にこもを垂れておくのが、普通であった。現在も当地方では、風雨の強い時、台風時に、雨戸の外側にカンヌキで止め、風雨や音の侵入を防ぐのに用いられる。2) 戸の代わりに下げたむしろ。[会話] せんちや (便所) の コモ。せんちやの コモで むしり (筆) 取られて なわ (縄、名前) 残る 言うて。昔や (は) 皆 かどさき (門先、出入口) ん (に) 便所言うて (言うて)、瓦ぶきで立てんと (瓦屋根で立てなくて)、トタン一枚したり、そおぎ (掃木) でしたり、コモふいたり、うち (家) の すま (隅) の ほお (方) の だれ (垂、庇) の ほお (方) の 道端へでも どこでも ねき (近く) の ほおい (へ) しとりおったわい (して居ました)。とお (戸) の代りに コモを さんがらかして (さがらせて) あんの (あるのです)。尻拭くよおんなと (時に)、そのコモ 千切って 皆 尻拭いたるもんでなあ (拭くので)、なあ (縄) だけ 残るもんで (ので) “せんちやの コモで 筆り取られて なあ 残る” 言うて、なあ (縄) だけ 吊つとりおったわい (て居ました)。昔や (は) 藁で けつ (尻) 拭きよったもんで (拭いて居たので)。藁で けつ (尻) 拭いて、てばな (手漬) かむの (のです) かみや (紙) は 無いし てえ (手) で、ぼんとほるもんで (ので) “藁で けつ (尻) 拭く 手漬かむ” 言うて 道歩いとてても (て居ても) こいん (こんなに) しといて (しておいて) きゅつとなあ。

**ごもく (五目)。** **ごもくめし (五目飯) 【名詞】** 各種の具を混ぜて炊いた味付け御飯、加薬飯。ごもく：五目、五種の品。また、色々の物が混じって居る事。かやぐ：加薬、香辛料として料理に沿える物。五目飯などに入れる、肉や野菜。具。(志 (布施田) 鈴市、津、度、松、熊) [会話] ゴモクメシは、ごんぼ (牛蒡) や、人参や、こんにやくや、昆布や入れて、刻みこんぶ (昆布) 入れて ずいきやら (とか) わりなもなあ。わりなな (言うのは)、里芋の茎の 剥いたの (のを) 乾したの (物) な (です)。

**こもじろ 【名詞】** 元気の無い事、元気の無い子供  
[会話] そのの コモジロよ言うて。コモジロみたよ

ん (のように) しとんない (している) 言うて。にげ (人間) ななあ (が) 元気な (が) のおて (無くて) すくだよん (くすんだように) しとるとなあ (していると)、あや (あれ) コモジロみたよん しとんなあ (している) 言うてなあ

**こもそお (虚無僧) (薦僧) こむそ** 虚無僧 こもそお 薦僧 普化宗に属する、有髪の托鉢僧。天蓋を被り、尺八を吹いた。多くは浪人。[会話] コモソオ言うのは ふご (藁で編んだ、運搬用の籠) みたいなの (ような物) 被って 映画に出て来るやんない (でしよう)。あれ コモソオ。

**こもそおかぜ 【名詞】** 旋風 [会話] まいまい風 (旋風) やなあ (だ) こや (これは)、コモソオカゼやったんなあ (だったのだ) 言うて、吹きまあしてくもんで (廻して行くので)、こもそお (虚無僧) 笛 吹いて来るよつてなあ (から)、こやまあ (これは) コモソオカゼやれ (だ) 言うて、ふきまあして (吹き廻して) そこら中 ごみくた (ごみ) を 陰い (へ) よせてくねやんかい (集めて行くのです)。

**こもち (餅) 【名詞】** 1) 小餅。小さい餅 (正月用の) (南) 2) 粉餅：芋の粉と芋で作った団子。(志 (布施田)) [会話] ちっさい (小さい) 餅、コオ (粉) ノモチ、コオノモチも言うしなあ (言いますし)。1) しよんがつ (正月) ん (に) 取る餅も コモチ言うてなあ (言つて) ちっちやい (小さい) の取ると (作ると)。2) 団子餅 芋のこおで搗くの (のを) こお (粉) の餅言うて (言つて)、はやもちやとか (だとか) 団子餅やとか言うて こおの餅を。1) しよんがつ (正月) に ちっちやい 餅取ると コモチ取つとけよ (取つておきなさい) 言うて。おつきいな (大きいのは) 鏡餅。2) 芋のこおと、芋と、芋を鍋で炊いといて (ておいて) 水ごち (水と一緒に) ぼんと あけといて (あけておいて) 芋のこおを 茶碗に一杯でも (位) 入れて、杓子でこねまわして 白でピチヨピチヨしたると (してやると)、芋とこおと こめあいさいしや (混じりあえば) それ (それを) 団子餅 言うの (言います)。団子餅 あや (あれは) はやもち 言うのなあ (言います)。

**こもち (子持) 【名詞】** 1) 妊、産婦 (上、阿、南) 2) 子供の有る婦人。(志 (布施田))

**こもちのいわい 【名詞】** 子供を持って居る人のお祝い。嫁さんの慰勞。こつごも参照 [会話] こつごも (十二月三十日) は、コモチノイワイ、言うて 嫁さんな (が) つね (普段) にや (には) わりもん (悪い物)

喰とる (食べて居る) もんで (ので)、コモチノイワ イ言うて 嫁さんに 感謝の意味で 五目 (混ぜ飯) して 喰わしおったんなあ (食べさせました)。

**こもちばら (子持腹) 【名詞】** 乳飲み子を持つ母親の盛んな食欲。(志 (布施田)) [会話] コモチバラ 言うたら (言ったら)、こお (子供) もおけて (産んで) 子供ん (に) 乳飲ます時ん (に)、コモチバラで 乳飲まさんならんよって (飲まさないといけないので) よけ (沢山) 喰とけよ (食べておきなさい)、入れこんどけよ (入れておきなさい)、言うて (言って)。 そすと よおけ (沢山) 食べると コモチバラでまあふるわらんじ (古草鞋) でも こめたられ (つめこんでしまう) 言うて。コモチバラいわなあ (へは) 古草鞋も こめえ (入れよ、つめよ) 言うて よお (よく) 喰うもんで (食べるので)。古草鞋でも何んでも (何でも) よけ (沢山) 喰う 事やわい (です)。 子持で 乳飲ましたるもんで (飲ましてやるので) 腹な (が) 減るし。そやもんで (それで) コモチバラや (には) 古草鞋も こめとけ 言うて 昔の人ら (は) 言よおったの (言って居たのです)。 産んだ後子供らん (に) 乳飲ましたるもんで (してやるので) 栄養分 皆やられたて (取られてしまつて)、腹減つてしゃあないもんで (仕方がないので)、コモチバラ言うの (言います)。 コモチバラやよって (だから) おもさま (十分に、思うだけ) 喰とけよお (食べておきなさい) 言うてなあ 年寄りの人ら (は)。 若い わかがか (若嬢、若い嫁) ら 働きゃ (仕事は) せんならんし (しなければいけないし)、こお (子) に 乳 呉れんならんよって (飲まさないといけないので)、腹な (が) 減るやんかい (減ります)。 いしぐら (石垣、芋飯) ぐわして (壊して) 取りおったもん (取って居ました)。 とんぼのめえ (麦飯) 喰うてのお。コモチバラやよって おもさま 喰とけよお言うて。とんぼのめえ 喰て (食べて) いしぐら (芋飯) ぐわしておったもん (居たので)。 孕んどの時 (妊娠している時) は 言わせん (言いません)。 もおけた後 (出産後) で コモチバラや (だ) 言うて。古草履も こめええ (詰めよ) 言うて。そすと (すると) こんだ (今度は) 腹な (が) おつきなつて来て (大きくなって来て)、喰い広げて あやれ (あれ) 腹みよまあ (見なさい) 言うて ほんとや (本当です)。 よけ 食べて、こんだ (今度は) 孕んどのおより、腹な (が) おつき (大きく) なつて来て、そすと コモチバラへ こめこんで まあ 腹みよまあ (見なさい)

言うて。

**こもちまむし 【名詞】** 妊娠している虻。警戒心が強く、よく人をおそう。(志 (越賀、布施田))

**こもちやとうよりちんばをやとえ 【俚諺】** 子持ちは足の不自由な人より能率が上がらない。(志 (布施田))

**ごもてんじん 【名詞】** 天神様、動かずに姿勢よく座つて居ること、又 その人。[会話] ゴモテンジンな (が) 降りたよん (ように) 言うてな、なんもせんと (なにもせずに) 座つとるとな (ていゝと)、ゴモテンジンなおしたよおん (座らしたように) なんも (なにも) せんと (せずに) 朝から座つとんね (ていゝのだ) 言うてな。座つとると (ていゝと) ゴモテンジンや (だ) 言よおった (言いました)。 天神さんは しゃんとして 座つとる やんかい (ていゝます)、そんで (それで) こえん (こんなに) して 座つとるとちんと座つとるもんで (ていゝので) それを 例えとんねかいなあ (ていゝのかと) 思うね (のです)。

**こもまき 【名詞】** こもかぶり 菰で包んだ酒樽 [会話] さけだる言うて 四斗樽も有るし、一斗樽も有るしなあ (有ります) たある (樽) さけだある言うて 今しや (今は) コモマキ言うやんかい (言います) 菰で巻いてあんの (有るのを) コモマキ こかしとられ (転がしている) 言うて。

**こもり (参籠) 【名詞】** あらかじめ定めた日数の間、社寺にとじこもつて身を浄め、祈願する事。一定期間、社寺に泊まり込んで、勤行や祈願する。参籠する。[会話] 病氣したりすると 信心ひまち (日待) 言うてなあ (言つて) ミッカゴモリ (三日籠) 言うて。みつかあつ (三ケ日) コモツテ、こんだ (今度は) 又 レエゴモリ (礼籠) 言うて 又 後で いちにちいつ (一日) コモンノ (籠ります)。 今しや (今は) よけしやせんけど (あまりしません) 昔や (は) 皆しよおった (して居ました)。 大病ん (に) になると しんじんひまちや (だ) 言うて。言うとなあ (例えれば) 医者に見放されるよおな 病氣するやんない (でしよう)、そすと ちからひまちや (だ) 言うて かんのんさん (観音様) へ 信心して、隣や (とか) 親類のもんら (者達) な (が) 行て (行つて)、みつか (三ケ日) の間 コモツテ こんだ (今度は) 又 レエゴモリや (だ) 言うて 又 すんの (するのです)。 そすと ちからひまちやよつてん (だから) 言うて、小豆をつけた餅 (握り御飯、形は丸い) を お供えにして、みんなに (皆に) 食べてもろて (貰つて)、昔や 日待すると 餅 (団子) しよおったわい (して居

ました)。そして こばって (配って) 親類へも 力餅や (です)、力日待 やよって (だから) 言うて 皆んなのおかげ (力) で まめん (元気に、健康に) なるよおん (ように) 言うて、その餅を ふたつうつ (二つ宛) こばよおったわい (配りました)。信心日待 力日待 一緒の事やわい (です)。後は レエゴモリ。そすと四日。レエゴモリ 一日と、ネガイゴモリ (願籠) 三日となあ。団子え 小豆付けて 日待団子、日待の餅 言うて、あれ 又 おいしいんでや (美味しいのです)。あや さと (砂糖) 入れやせん なあ (入れません)、ぼたもちや (は) さと 入れる けどなあ (入れるが)。

**こもり (子守) 【名詞】** 子守り、子供の守りをする事。  
又、その女性 (南)

**こもりど (籠人) 【名詞】** 神社、仏閣、堂にこもって、祈願する人。“ど”は、人の意。(志 (布施田)) [会話] 病氣や (とか) なんや (なにか) の時んなあ (に) 籠り しょおや (しましよう) 言うてな 信心日待 言うてなあ みつかあつなあ (三日づつ) 観音さんえ籠ってなあ 大病ん (に) なってなあ 言うて 医者の手に余る様な時な (が) 有るやんない (有るでしよう)、そすと はよ (早く) 信心日待 しょおや んかれ (しましよう) 言うて、籠りん (に) いて (行って) 三日籠って こんだ (今度は) またなあ れえ (礼) ごもり や (だ) 言うてなあ その時ん (に) 籠る人を コモリド言うてなあ。

**こもる (籠) 【自ラ五】** 1) 神社、寺院などに泊って祈願する。2) 中に入って出ないで居る。家や部屋にとじこもる。[会話] <sub>1)</sub> 和尚さんなあ (が) 唱え言うてすると それい (へ) わがとらも (自分達も) 付いて 唱え言うてなあ 心経 唱えたりしてなあ 其処で黙禱して 二、三時間 おってくんの (居るのです) コモル。

**こや (小屋) 【名詞】** 物置：海岸、田、畑にあり、海女、漁夫、農夫が道具を入れたり、休んだりする仮の家。(志、鳥 (相差)、上、阿、張、名、北) [会話] 浜のこや 畑のこや たあ (田) のこや。仕事すると こ (所) い (へ) こや 建てときおったなあ (建てておきました)。たあ (田) でも たあ (田) の 番する (見張りする) バンゴヤ (番小屋) 言うて、とびきが らや あわがら (粟殻) で 建てよおったなあ (建てて居ました)。杭 打っついて (ておいて) 粟殻や とびき殻 持て来てなあ (持って来て)。わがとらな (自分達が) ゆわえて (くくつて) ちっちゃい (小

い) 家 建てて しょおった (して居ました)。たあ (田) の バンゴヤ (だ) 言うて (言うて)。畑や (は) 畑で 又なあ なんやかや (色々) 鉾や なんやかや 入れんのん (入れるのに) 言うて。ひととこ (一ヶ所) ん (に) よけ (多く) 一反も畑な (が) 有る うちゃ (家は) おっかい (大きい) のなあ (のを) 建てる 家も有るし (有ります)、ちよいと (少し) の、うちなあ (家は) ちっちゃい (小さい) のおな (のを) 鉾や とか (だとか) 鎌や とか 入れんのを (入れるのを) こや (だ) 言うて 建て とよおった (て居ました)。道具 入れんのなあ (入れるのです)。道具入れると こ (所)。雨な (が) 降ったり すや (すれば) そこい (そこへ) 雨宿りするし、暑い時や (は) ちよいと すくで (すくんで、隠れて) 蔭で休んだりするなあ (します)。

**こや 【名詞】** 墮胎 (志)

**こや 【感動詞】** 1) 叱る時の言葉。こら。(志 (布施田)) 2) 疑問を表す時に使用する言葉。これは。(志 (波切、越賀、立神、甲賀、安乗)、鳥 (答志)) 3) 他人に呼び掛ける最初の言葉。これ、こやあれ。4) 不意の出来事。重大な出来事に合った時、又 らしい物を見聞した時に発す語。(こりや) 各々、アクセントに違いが有る。[会話] <sub>1)</sub> コヤ 糞野郎 言うて 怒る時に こや 言うて。コヤ くそやら (糞野郎め) 言うて わり (悪い) 事 しとると (して居ると)、拳固で むくつとけ (殴っておけ) 言うて。<sub>3)</sub> コヤアレ 言うのは 又 普通で呼ぶ事なあ (です)。やさしいてなあ。コヤアレ 言うけどなあ (言います)。ごおなわいとる (腹が立って居る) 時や (は) こや 言うの (言うのです) 力入れて。発音が 違うね もん (違うのです)。普通の時は 優し (優しく) 言うてなあ (言っ)、コヤアレ 言うんけど (言うのですが) なんやら (何か) わり (悪い) 事 しとると (して居ると) こや なんしてけつかんねど (何して居るのか)、くそやら 言うて。

**こやあら 【感動詞】** 人に呼びかける時の最初の言葉。これ。[会話] コヤアラ せんこ (しなさい)。

**こやあれ 【感動詞】** これ。呼びかけの語。こや参照 (志)

**こやいび (小指) 【名詞】** 1) 小指：ゆび、いび、指はすべていびと発音する。(志、鳥、張、北) 2) 妻、妾、愛人 [会話] <sub>1)</sub> 小指言うの こやいび 言うて、おやいび なかいび 言うて。指の事 皆 いび。指 言わんと (言わずに) いびや (です)。<sub>2)</sub> これ (此

れが、小指) 言うて、そや (それ) のげの (お前の家の) これな 言うな (言うのは) おなご (女) の事。これや (親指) 言うて 旦那の事。コヤイビ 言う時は 家の家内 (妻) も言うし 妾 も言うし はなかけ (第三婦人) でも。盗み するこた (事は) あや (彼) ちよいと (少し) これで 言うて 指な (が) 曲つとる (て居る)。

**こやがけ【名詞】** 仮小屋を作る事。(南)

**こやぐみ【小屋組】【名詞】** 1) 小さな小屋を立てること 2) 家を立てる前に梁や柱を組み合わせて見ること [会話] 1) 小屋、建てんのなあ (るのに) こやだて。コヤグミ言う人も有るし、2) そして 大工な (が) 大工小屋できい (木) きどる (組み合わせる) のも コヤグミしとる (している) 言うて。

**こやこや** 初心者 こやこやあま参照 (志 (布施田))

**ごやごや【副詞】** 混雑しているさま、群がり集まって居るさま。(桑市) [会話] ゴヤゴヤ言うな (のは) 大勢 おって (居て)、おおた ゴヤゴヤと、今日は あの家い (へ) てったいん (手伝いに) いたや (行ったら) にげ (人間) な (が) おおぜ (大勢) で ゴヤゴヤしとて (して) 言うてな、よけ (沢山) おる事を。そして なんやかや (いろいろ) 物な (が) よけ (沢山) 有つてもなあ ごちゃごちゃ しとるとか ゴヤゴヤしとるとか 言うてなあ ごちゃごちゃ も ゴヤゴヤも一緒やけどなあ (だけれど)。

**こやこやあま【名詞】** 1) 海女になったばかりの人。海女になりたてのほやほやの人。2) 獲物の少ない海女。[会話] 1) よけ (沢山) よお獲らんのなあ (獲れないのです)。こちよこちよと ないざ (浅い所) でしとんのなあ (しているのです)。コヤコヤアマ 言うな (のは) まあ、はまこ (稽古中の海女) や (とか)、はまこのあがり やなあ (です)。あいさがもや (とか) みな一緒やわい (です)。あいさがもで そや (それ) ないざ で ばちやばちやしとられ (している) 言うてなあ。なりたても有るしなあ ちよいと (少し) より よお獲らんの (獲れないのも) コヤコヤ言うの (のです)。2) 年 取つとても (ていても) よお獲らんの (獲れない人が) 有るやんかい (有ります)、年 取つとても 行きつけん (ない) もな (者は) 磯がいしよな (が) 無い言うの (なあ) (です)。“五貫獲る身も 百匁のわしも 肌の ぬれめ (濡れるのは) は 同じこと” 言うて 同じ 二時間 入いつとてもなあ (ていても)。

**ごやごやしとる** 混雑している。沢山集まっている。

**こやし【名詞】** 肥料、肥料にする大、小便。[会話] 肥料の事、コヤシ、尻から でんのも (出るのも) シモゴヤシ しもごえ。そすと、金 出すのは きんぴ。かねごえを どつさり (沢山) して言うて、磷酸やて やら (だとか) 言うてなあ 昔や (は) 今頃ん (に) なるとなあ ええ 刺して 来た 言うてなあ 泥棒鯛 をなあ 刺いて (掬って) くんねやわい (来るのです)。そすと 浜い (へ) 皆なあ 籠 持って 貰ら いん (に) いてなあ (行つて)、泥棒鯛 言うて はだ (鱗) な (が) 有つて 旨まないんやんかい (旨くないのです)、くや (食べれば) 食われんねけど (食べられるのだが) それを 舟 一杯も さいて 来る時な (が) あんね (有るのです)。そすと そいなのおを なあ (そんなのを) 糠や (とか) 灰でまめんで (混ぜ合わせて) 干し といて (ておいて) コヤシ に しよ おつたね (して居たのです)。灰で まめんだり 糠 で まめんだり してなあ かんからこんし といて (乾かして) 十月ん (に) 麦 撒く時ん なあ (に) 肥料や (です)。コヤシと、こえ 一緒やわい (です)。こえも コヤシ 言う人も有るしなあ (有ります) こえ言うてなあ こえもたな (持たなければ) はざんわれ (駄目だ) こえ かけな (なければ) はざんわれ (いけない) 言うてなあ コヤシ をなあ こえや (だ) 言うの (のです)。

**こやしおけ(こやしをけ)【名詞】** こえおけ。大小便の汲み取り、又は流し水を入れる桶。[会話] た あご (担桶) の事、たあご をなあ、コヤシ オケや (だ) 言うなあ

**こやしかえ【名詞】** 大、小便の汲み取り。こえかえ。

**こやしもち【名詞】** 大、小便を汲み取り、田、畑へ運ぶこと こえもち (阿) [会話] こえもち、今日はまあ叔父さん家の コヤシ モチ に頼まれて言うてな 肥 年寄りで よお持たん 家や (持てない家は) おれげの (俺の家の) 肥持ちん (に) 一日、来てくれや (くれれば) ええやれ (よいのに) 言うて 頼みおつたね (居たのです) そすと まあ 一日 肥 に のて (担なつて)。

**こやす(沃)【他サ五】** 肥料などで土地を沃えさせる。地味をよくする。[会話] 土、コヤス のん (に) 言うてなあ、ごみくた、落葉 や (だとか) なんや (いろいろ) 積んどいて (でいて) 堆肥 を こしらえん のなあ (作るのを)、コヤス 言うの (のです)。今し (今) では、堆肥 を作る言うやんない (でしょう)、それ昔やなあ (は) 土 コヤス のん (に) 其処らのごみく



たも 皆 積んで いましごい こさえな (作らなければ) 言うて。いましごいや (だ) 言うね (言うのです)。今 し 堆肥を。いましごい こさえて (作って) 言うて、ひととこい (一ヶ所へ) 穴 掘っといて (ておいて) それい (へ) なんもかも (すべて) ごみくたを入れ込むね (のです)、そすと そんな (それが) 腐って来てなあ 堆肥になるやんない (なるでしょう) それをなあ 土、コヤスのん (に) そや このいましごい やらな (やらなければ) はざんわれ (駄目だ) 言うて。

**こやだて (小屋立) 【名詞】** 1) 小屋を作る事。2) 新築時に木材を組み合わすこと [会話] 1) 小屋 建てん のなあ (るのです) コヤダテ 言う人も有るしなあ。小屋、建てんのん (るのに) 今日 みんな (皆) な (が) 寄って言うて。海女な (が) ひい (火) 当る小屋や (だ) とか、畑いなあ (へ) ちよいと (小さい) 小屋建てて なんやかや (いろいろ) 置くのん (に) 言うてなあ。たあ (田) の番すんのん (するの)に たあ (田) の小屋 建ておった (建てて居ました)。杭を しほ (四本) 打っといて (ておいて) とびきがらを ぐるぐると してなあ。コヤダテする言うて 2) 大工さんな (が) きい (木) きどり (切ったり削ったり) するやんない (でしょう) コヤダテした。

**こやつ (此奴) 【代名詞】** 此の奴 (津)

**こやって** 此の様に。 (志、安、一、阿、度、伊)

**こやどふ (高野豆腐) 【名詞】** こおりどうふ 凍豆腐 こうやどおふ 高野豆腐 豆腐を冷凍させ、すを立て乾燥させた物。高野山の宿坊で初めて作られたと 言われるが、異論あり。(南) [会話] コヤドフはなあ、とふ (豆腐) を こおらしたのおな (凍らせた物です) コオヤドオフ (高野豆腐) コヤドフ 早口や (です)。豆腐言うのを とふ言うの (のです)。それこそ とふ汁や (です) “あいまにや (時には) とふ汁 かも汁 (鴨汁) ねぶか (葱) も きりこで” (切り込んで) 言うなあ (言います) とふ汁。昔や (は) とふはち (豆腐汁) な (が) どいらい (大変な) ごっつお (御馳走) やった (だった)。

**こやなあ。こやのお** これはですね。なあは女性語 のおは男性語。(志)

**こやまあ 【感動詞】** これはこれは (志)

**こやみ (小止) 【名詞】** 雨や雪が少しの間、降り止む事。降り方が少なくなる事。(志 (布施田)) [会話] 雨な (が) コヤミのうちん (間に) 行こやんかれ (行きましよう) 言うて、雨のよけ (多く) 降つとらん (てい

ない) コブリん (に) なった時ん (に) こや (これは) 小降りん (に) なったとか コヤミン (に) なったとか 言うてなあ。

**こやゆび 【名詞】** 1) 小指 (志、阿、上) 2) 妻、妾、愛人 [会話] 1) 小指を コヤユビ こやいびや (だ) 言うてなあ、こやいびを 切つて まあ 言うてな こやいび おやいび。

**こやら 【感動詞】** もしもし、これ、呼び掛けの言葉。女性語。(志) [会話] しゃあら (それ) てやら (とか) コヤラてやら 言うてなあ 年寄りの人らな (が)。

**こやれ 【感動詞】** これ、もしもし、呼び掛けの言葉 (志) [会話] コヤレ 言うて これ言うて あんた (貴方) これ 言うのを コヤレ 言うね (言うのです)。

**ごよお (ごえふ) (五葉) 【名詞】** 五葉松の略。[会話] ゴヨオノマツ

**こよさ 【名詞】** 今晚。今夜。[会話] コヨサ、言うの (のを) こいさ 言うね (言うのです)。今日のよさり (夜) 今晚言うのなあ コヨサ まあ 俺家い (へ) 来いよお (来なさい) 言うて

**ごよじ 【名詞】** 役場の小使い。ふれ回り役。くちあけ参照 (志) [会話] おれげ (俺家) のててや (父親) 役ん (に) ついたよお 言うて、何役にや (ですか) 言うたら、ゴヨジや (だ) 言うて。ゴヨジや (と) 言うて 皆 ふれよおったの (ふれまわったのです)。

**こよめ (小嫁) 弟の嫁** [会話] 兄貴の嫁や (で)、なしん (なくて) 弟の嫁は コヨメ。

**こより (小寄) 【名詞】** 小人数の寄り合い。集合。[会話] こまかい (小さい) より (集会) すんのん (するの)に 今日 まあ コヨリ しょおやんかれ (しましよう) 言うて、コヨリ 言うな (のは) にんず (人数) な (が) よけ (沢山) おらん (居ない) より の事を 言うんやろなあ (言うのでしよう)

**ごより 【名詞】** 部落の集合。郷寄 [会話] ゴヨリや (だ) 言うて 郷 (部落) で ごひまち (郷日待) な (が) 有って。

**こら (子等) 【名詞】** 子供 (北、南) [会話] 俺家の コラななれ (が) 言うてなあ 子供の事を 俺家の コラな (が) 言うて あの家の コラな 言うて お おぜ (大勢) の事を言うのを コララ 言うて 一人の のおは (のは) こお (子) な 言うんけどなあ (言うのだが)、二人も三人も言う あのコララな 言うて。

こら【感動詞】これは コレ (是) の転 (大言海) (志、阿) [会話] コラ なんやな (なんですか) 言うの (のです) 此れは なんやな 言うの (のを) こや (此れは) なんどい (なにですか) 言うて。

こら 頃は (志 (立神))

ごら【代名詞】頃。頃は。[会話] この頃 言うの このゴラ 言うてなあ、このゴラ がいん (大変) よお (よく) 太って来たなあ とか 言うてなあ、この頃 言うのを このゴラ。このゴラ まあ よけ (あまり) きやせん (あと) とか (来ないとか)。このゴラまあ 飯 よお (よく) くて (食べて) 来たとかなあ

こらいたらせん 許してやらない [会話] 許してやら せん (やらない) 言う事をなあ コライタラセン言うの (のです) こらいてくれえ (許して下さい) 言うと コライタラセン言うてなあ。

こらいたられ。こらいたる。こらいたるわ。こらいたるわい。こらいたるわな (女性語)。こらいたるわれ 許してやる。こらえてやる。たる、・・・してやる ころえる参照 [会話] 許したるわ (てあげます) 言うの。まあ コライタルワ まあ そんなきや (それでは) 言うてなあ、まあ 今度から そいな (そんな) 事 すんなよお (するな) こや (此れは) コライタルけど (が) 言うてなあ

こらいたれ 許してやれ。

こらいて 許して。許して下さい。(桑市) [会話] かんべんしてくれ 言うのは コライテクレ (下さい) 言うの (のです)。

こらいてくれ。こらいてくれえ。こらいてくれや 許して下さい ころいて参照

こらいといてもら 許しておいて貰う。

こらいとる 1) 我慢している。辛抱している。 2) 支えている。

こらえ (こらへ) (堪)【名詞】 1) ころえる事。我慢する事。 2) 支え、支柱。[会話] 1) コラエル。便所 ん (に) おりたいねけど (行きたいのだが) コラエとる (ている)。昔の人ら じゅうそくの荷は 持たれるけど くそくの荷は 持たれん言うて 糞の しんぼ (辛抱) は 出来やせん (出来ません) もん (ので) で、“朝寝して 人には楽に思われて しょんべん (小便) コラエテ 何がよかるお” 言うて。どこやかやな (どこかが) いとおても (痛くても) しんぼ (辛抱) よおせんのをなあ (出来ないのを) コラエ な のおて (が無くて)、病気 な (が) ちよいと (少し) わりい ても (悪くても) よお コラエンデ 何処 な (が)

わり (悪るい) 此処 なわり 言うてなあ しんぼ する言う事をなあ、コラエ な (が) のおて (無くても) ほん (本当に) ちよいと、わりと まあ 医者 い (へ) そらかして (走って) 言うてな。 2) 此の棒で しや (それ) コラエ しとけまあ (しておきなさい) こっちやい (こちらへ) かたんで (傾いて) くられ (来る) 言うて、かたぐ (傾く) 時ん (に) 突っ張り (支柱) かうのなあ (当てるのです) おらえ とけ (ておけ) とも 言うし

こらえしよ (こらへじやう) (堪性)【名詞】 忍耐力。耐え忍ぶ気性。我慢する性分。許す気持 (志) [会話] コラエシヨ言う な (のは)、まあ よお しんぼ (辛抱) をする にげ (人間) を言う のなあ (です)。しんぼ 強い にげ (人間) をなあ、あの ひた (人は) まあ コラエシヨでなあ 言うてなあ コラエシヨ な (が) ええよってん (よいから) 言うてなあ そして その しんぼ (辛抱) な (が) 足らん にぎや (人間は) コラエシヨ な (が) のおて (無くても) まあ言うて

こらえじよ (こらへじやう) (堪情)【名詞】 忍耐力、許す気持、こらえしよと同じ (張) [会話] コラエシヨ な (が) のおて (無くても) じつきん (すぐに) 怒って来て言うて、ちよいと (少し) 言うて 怒って来て、コラエシヨ な (が) ないんよって (無いのだから) 言うてなあ 堪忍 な (が) 足らん言う事なあ コラエシヨ な (が) のおて。

こらえたる 許してやる (桑市)

こらえたるわ。こらえたるわい。こらえたるわな (女性語) 許してあげます [会話] 許したる (てやる) 事 なあ (です) コラエタルワイ言うて、ちゃあ (茶) かけたて (てしまつて) こらいてえ (許して下さい) 言うて おお コライタルワ、コラエタル、コラエタルワ、コラエタルワイ、みな 一緒や (です) 目上の人 ん (に) 言う時 や (は) コラエタルワイまあ 言うしなあ。目下の もん (者) にや (には) コライタルワ 言うて その人 ん (に) よつてなあ ちよいちよいつ (少しづつ) 言葉使 いな (が) なあ。

こらえて 1) 許して下さい (志、鳥、松、伊、南) 2) 耐えて

こらえてくれ 許して下さい ころえてくれえ参照 (南、熊)

こらえてくれえ。こらえてくれよお 許して下さい [会話] ころえて、コラエテクレ、コラエテクレエ、一緒やけどなあ (です)、皆 許して下さい。そやけど (しかし) その人 柄ん (に) よつて言い方 なあ

(が) 目上の人ん (に) 言う時ゃなあ (は) コラエテクレエ言うて、え、つけんの (つける) なあ (のです)、目下のもん (者) に言う時ゃ (は) コライテクレエオ 言うてなあ。

**こらえど【名詞】** 耐える力。許す感情。忍耐力。[会話] それよお (よく) 我慢せんと (せずに)、当り散らして、わるいたり (叱ったり)、叩いたりすんな (するのは)、コラエドな (が) 無いね (無いのです)。

**こらえよおなねえ (こらえやうなねえ)** 耐えられない。許す事が出来ない。腹が立つ。[会話] しんぼ (辛抱) よおせん (出来ない) 言う事やわな (です)。コラエヨナ (が) アロカイ (ない) 言うてな。しんぼな (が) できよかい (出来ません) 言うのなあ。コラエヨナ (が) デキョカイ こらえよおな (が) 足らん言うてな しんぼ しぬくい事を コラエヨオナ ネエ言うてな。

**こらえよなないね** 我慢が出来ない。

**こらえられん** 1) 許せない (桑、阿、張) 2) 耐えられない [会話] 1) 許してやらせん (やらない) 言う事 コラエラレン。

**こらえる (堪)**【他ハ下一】 1) 許す。2) 我慢する。耐える。こらえる。堪える。苦しみ、痛みなどをじつと我慢する。辛抱する。耐える。感情や欲望が外面に出ないようにおさえる。外から加えられた力に負けないように保つ。持ちこたえる。外から加えられた力に負けない。処罰したり、叱ったりすべき所を許す。堪忍する。(志 (浜島)、鳥、桑市、三、四、鈴市、安、上、阿、度、伊、北、尾、南、熊) [会話] 1) 許したる (てやる) 事を コライタル 言うて。コラエルも 一緒やなあ (です)。2) しょんべ (小便) コラエル、1) 堪忍する事を コラエル。許したる (てやる) のを コラエ、許して貰うの コラエテもろた (貰った)。コライテくれよお (下さい) 言うて。コラエヨオナない 言うな (のは)、よお (よく) 我慢せんで (出来なくて)、当り散らして、やうち (一同) を わるいたり (叱ったり)、どづいたり (叩いたり) すんな (するのは)、コラエドな (が) ないねよってん (無いのだから) 言うて。コラエドな (が) のおて (無くて) 堪忍袋 切ったんね (切ってしまうのです)。

**こらえるわい。こらえるわな** 1) 許します。 2) 我慢します。

**こらかす (懲かす)【他サ五】** こらしめる。こらす。[会話] コラカシとけ (ておけ)、ゴリヤカシとけ、言う

て、ひとばか (少しの間) あげなもな (あんな奴は)、ゴラカシとけ 言うて、ほらくととけ (ほうっておけ) 言うのを。こらす (懲罰を与える) 言う事を、コラカス 言うて。ゴリルも一緒の言葉。まあ (もう) ゴリタカ 言うて、あんで (あれで) ゴリタカイナア (こりただらうか) あんな (彼が) しぶとおて (強情で) ゴリヨカレ (ない) 言うて。あんな (彼が) あの位の事で ゴリルよおな しろもん (者) やろかれ (ではない) 言うてな。

**ごらかす (懲)【他サ五】** こらしめる。後悔させる。[会話] こらかす、こりやかしたる (してやる) 言うん かい (言うのですか)。コラカス言うのを、ゴラカス。ゴリヤカシタロン (てやるぞ) 言うてな ま こんで (これで) ゴリタカ (懲りたか) 言うて。ま こんで コリヨよ (懲りなさい)、まあ すんなよお (するな) 言う事をなあ、ゴリヨ (懲りなさい) 言うのなあ (です)。ゴリタカ言うて、そして こおじくな (強情な) なあ (のは) そいな (そんな) 事ぐらいで ゴリヨカレ (懲りない) 言うてなあ ゴラカス 言うのは 懲らしめる のをなあ。

**こらこら【副詞】** 散々な目に合う。騷りものにされる。こたらこたら参照。(志 (布施田)) [会話] なぶり こたらんして コラコラやれ (だ) 言うて、あつちやい (あちらへ) やり こつちやい (こちらへ) やり すんな (するのを) コラコラ。猫でもなあ 抱いたり ほったりすると、コラコラン (に) すんねない (するのだ) 言うて 足で蹴とばかしたり すると 猫なつとも (なにも) せんと (しないで) おんのん (居るのに) コラコラン (に) すんねない 言うて。

**ごらす (懲)【他サ五】** こらす。懲りて二度としないようにさせる。懲らしめる。(北、南) [会話] ごりや かすも一緒や (だ)、ゴラスも。

**こらだ【名詞】** 子供。こららに同じ。[会話] 子供の事を ころも 言うたり、コラダ 言う人な (が) あんの (有るのです) “ど” よお使わんで (が発音出来なくて)。

**こらった** 来なかった。[会話] こじぶん使い (招待の使者) な (が) 来やせんらった (来なかった) 言うて、ふたくらめ (二度目) 行かんと (行かないと)、おらげや (俺の家は) ごじぶん使いな (が) コラッタのん (のに) 行かれよかれ (行けない) 言うて。

**こらったのん** 来なかったのに こらった参照

**こらら【名詞】** 子供。子供達。単数、複数、共に使用。(志 (畔名、船越、片田、浜島、神明、鶴方、布施田、

立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥(国崎 浦村)  
**こらら**【名詞】 なまこ(志)  
**こららのこのわたいっぱなさんり**【俚諺】海鼠のこのわ  
た一本が三厘、値高い  
**こられる** 来る事が出来る(桑郡、員、四、鈴市、安、  
津、一、飯、松、多、上、阿、張、伊、南)  
**こり**【名詞】 氷。(志(浜島)、鈴市)  
**こりかたまる**(凝固)【自ラ五】一つの事に熱中して、  
他を顧みなくなる。夢中になる。(志(布施田)) [会  
話] いっしょけんめ(一生懸命) になつてく(なつ  
て行く)事をなあ。仕事すん(するの)でも コリ  
カタマル言うてなあ、あやれ(あれ) しこつとられ  
(凝っている)とかな、まあ凝つてく(て行く)事を  
なあ コリカタマル言うてなあ、天理教い(へ) いっ  
しょけんめ(一生懸命) ん(に) なるやんない(なる  
でしょう) そすと まあ あやれ 天理教え(に) コリ  
カタマツトンネよつてん(ているのだから) 言うて  
な いっしょけんめん なる言う事。  
**ごりがつお**【名詞】 身が堅く臭味の有る鯨  
**こりき**(樵木)【名詞】 枯れ木 薪 [会話] きい  
(木)を、はあ(葉)が、落つてたのおを(落ちて行  
ったのを)、コリキばっか(ばかり) くべて(焚い  
て) 言うて、枯れ木の事。枯れ木なあ(です)。はあ  
(葉) な(が) 落つてて(落ちて行って)、枯れ木ん  
(に) なつたのを コリキ。コリキばっか。きい  
(木) しいんいても(取りに行つても)、コリキ よ  
おせんで(出来なくて)、はあ(葉) ばっか(ばかり)  
して来た たら(とか) 言うて、枯れ木の事やわ  
い(です)。  
**こりくつ**(小理屈)【名詞】 つまらない理屈。とるに足  
らない理屈。[会話] 理屈、こくのなあ(言うので  
す) どいらい(大変な) 大理想は よお こかんねけ  
ど なんでも知つたかぶりしてなあ なんでも ちょ  
いちよいつ(少しづつ) 理想こいてなあ(言つて) そ  
や(それは) こおやれ(こうだ) そや ああやれ(あ  
あだ) 言うて 理想張る ことなあ(です) コリクツ  
やとか(だとか) 理想張るとか 言うてな。理想な  
(が) えろおて(多くて) 屁理想こいて 言うて な  
んも(なんにも) なんん事言うと 屁理想ばっか(ば  
かり) 言う 言うて。  
**こりこお**(こりこ)【小利口】**【形容詞】** 小才のきくさ  
ま。眼前の事はうまくやつてのけるが、大局を判断す  
る力に欠けて居るさま。[会話] 利口なのおな(ので  
す)。ちよいと(少し) 利口な(だ) 言う事やわいな

あ(です)。コリコオ言うな(のは) あんまり(あま  
り) 上手やないんけどなあ(ではないが)、コリコオ  
なね(なのだ) あれもなあ(彼も) 言うて。普通の人  
よりちよいと 利口なのおを(のを) コリコオ言う。  
ちよいと 色 付けたよおん(ように) 言う。  
**こりこり**【副詞】 食べ物の歯ざわりよく噛み切れる状態。  
少し硬いが気持ちよく噛み切れる。(志(布施田))  
**こりごり**(懲々)【形容詞】 ひどく懲りるさま。[会話]  
まあ コリゴリやれ(だ) 言うて、あげん(あんな  
に) して言われて あしこい(あすこへ) 行くな(の  
は) ま 嫌やや(だ) 言うて、嫌やで 嫌やで しゃ  
あないのを(仕方ないのを) コリゴリしたれ(しまし  
た) 言うて 言うのなあ(です)。コリゴリや(だ)  
せんざり(十分) しても なんやかや(いろいろ) 言  
うて まあ ごりた(懲りた) ごりたれ(ました) 言  
うてなあ。  
**ごりごり**【副詞】 物の固い状態。[会話] こんげん  
(こんなに) ゴリゴリしとて(していて) 喰われよか  
れ(食べられない)。  
**こりしょ**(凝性)【名詞】 こりしょう。一つの事に熱中  
して、満足するまでやり通す性質。物事に執着する性  
質。[会話] なんでも しこつたる(凝つてしま  
う) 人なあ(です)。あやまあ(彼は) コリショで。  
パチンコすると パチンコい(へ) ばっか(ばかり)  
こつとて(ていて)、パチンコい(へ) 行くし。酒な  
が 好きなひた(人は) 酒ばっか(ばかり) 飲みん  
(に) 行くし、博打な(が) 好きなひた 博打い  
(に) こつとて(ていて)、今しゃ(今は) カラオケ  
こつとる やんかい(です)。そいなのおを(そんな  
のを) 言うんなあ(言うのです) そればっか(ばかり)  
しとんの(しているのを)。  
**ごりぜん**【名詞】 五厘銅貨 大正5年(1916) 制定  
昭和28年(1953) 12月末日限り通用停止 [会話]  
ごり(五厘) のぜんなあ(銭です)、ちっちゃあい  
(小さい) ぜん(銭) でなあ 一銭をふたあつん(二  
つに) 割つたのなあ(です) ゴリゼン、五厘 貰らう  
と 嬉しかりおつたねんなあ(かったのです) ちっさ  
い(小さい) 時や(は)。ごり(五厘) な(が) すす  
はき(大掃除) すると あわい(間) から出て来ると  
ああ ゴリゼンな(が) 出て来た 俺ん(に) 呉れや  
(下さい) 言うて もおて(貰らつて) 飴がしん(菓  
子) 買うのん(に)。  
**ごりた** 大変懲りた。(志(布施田)) [会話] こんで  
(これで) ゴリタ あの家 こた(事は) やめた

言うのを ゴリタ言うてな。あげな (あんな) 家のこた ゴリタレ (ました)。せんざり (十分) しても なんやかや (いろいろ) 後で 小言 言うたり 不足 (不平) 言うたりすると あの家の こた (事は) まあ ゴリタナア言うて。

**ごりたか** 懲りたか、ひどい目に合って、二度としないと思うか [会話] こんで (これで) ゴリタカ 言うて。

**ごりたれ** 懲りました [会話] せんざり (十分に) しても なんやかや (いろいろ) 言うて そやよって (だから) あいな (あんな) 家 いきたくないわ (行きたくない) まあゴリタレ 言うてなあ。

**こりみず** (こりみづ) 【名詞】氷水 [会話] 氷水 言うの コリミズや (だ) 言うなあ (言います) コリミズ のもや (飲みましょう) 言うて

**こりゃ** 【感動詞】是は、不意の出来事、又は重大な出来事に会った時発する語。又 珍しい物、異常な物を見たり、聞いたりした時に発する語。(員、安、松、度、伊、北、尾、熊)

**ごりやかしたれ** 懲らしめてやれ [会話] ゴリヤカシタレ言うね (のです) 懲らすことを。

**ごりやかしたろん** 懲らしめてやる。二度としないように懲罰してやるぞ。[会話] ゴリヤカシタロン。こんで (これで) ごりたか (懲りたか) 言うて。

**こりやかす。ごりやかす** 懲らしめる。懲りさせる。[会話] ゴリヤカシたれ (てやれ)。ゴリヤカス 言うね (言うのです) 懲りさす (させる) 事を

**ごりやく** (御利益) 1) 神仏を信ずる事に依って受ける恵み、幸運。2) 女性との性交。

**ごりやす** 懲らしめる。ごらかす参照。

**ごりやせん。ごりやせんわ。ごりやせんわい。ごりやせんわな** (女性語)。**ごりやせんわれ** 懲りません。身に堪えない。[会話] ゴリタカ (懲りたか) 言うとこおじくななあ (強情なのは) そいな (そんな) 事ぐらいで ゴリヤセンワ言うて 言う事 聞かんと (聞かずに)。

**ごりよ** 懲りよ 二度とするな [会話] まあ すんなよお (するな) 言う事を ゴリヨ言うのなあ。

**ごりよかい。ごりよかい。ごりよかな** (女性語) **ごりよかな** (女性語)。**ごりよかれ。ごりよかれ** 懲りない。身に堪えない [会話] そいな (そんな) 事ぐらいで ゴリヨカレ ゴリヨカレ言うて。

**ごりよよ** 懲りなさい。[会話] ま こんで (これで) ゴリヨヨ まあ すんなよお (するな) 言う事なあ。

**ごりる** 【自ラ上ー】こりる。懲りる。失敗や過失又は、叱責されて二度とやるまいと思う。(志、松、北、尾、南)

**こりんと** 性こりもなく。懲りずに (上、阿)

**ごりんと** 性懲りもなく。懲りずに [会話] こりやせん (ない) 言うの (のを) ゴリントまあ言うて あげん (あんなに) しやれても (されても) ゴリントまた すられ (する) 言うてなあ。

**こる** (疑) 【自ラ五】 1) 夢中になる。ふける。普通の程度では不満足で、いろいろ工夫する。2) 肩が張る。凝る。[会話] ① 肩がコルとか ① 仕事をコルとか。仕事いっしょけんめ (一生懸命) ん (に) なつとんの (なつて居るのを)、仕事い (へ) コル。仕事い コトテ、人の言うこたあ (事は) 耳のぼち (穴) い (へ) 入れやせん (入れない)、言うて。夢中になつたる (なつてしまう) 事なあ (です)、いっしょけんめ ん なつとる (なつて居る) 言う事やなあ (です)。② 肩な (が) コル、むしくつとると (夢中になっている) 肩な (が) 張つて、肩な 張つて 言うのを 肩な (が) コッテ 肩な (が) コッテ。

**コルタン** 【名詞】コオルタル。石炭を乾留して出来た黒色の液体。(志(鶴方、神明、立神、国府))

**これ** (此) 【代名詞】 【感動詞】 1) 人名代名詞。二人称此の人。(志、鳥、鈴市、松、多、伊) 2) 人に呼びかけ注意を引く語。(北、南) [会話] ① コレへ 言うのも 言うし (言います)。コレげ (家) の家い (へ) いたや (行ったら) 誰それな おつて (居て) とか。コレげ (家) とか、この子げ (家) やとか (だとか)。

**これええ** 【感動詞】呼びかけの言葉。勧誘や催促の気持ちを持っている。これこれ。(北) [会話] だあ (どれ) 言うて コレエエ 言うのを だあ言うね (言うのです)。

**これかい** これですか。・・・かい参照。[会話] コレカイ あれかい言うて コレカイ 言うたや (言ったら) 違われ (違います) 言うて、あれかい (あれですか) 言うて こんだ (今度は) 違うのを 言うのなあ (です)。あれ言うな (のは) 違うのを言うの (のです) これ言うと 今し (今) めえ (目) で みとんの なあ (見えているのです) コレカイは これですか言う事 あれは あれですか 言うのを

**これかれ** これですか。

**これぐらい** (此位) 【名詞】此の程度。此の位。

**これしき** (是式) 【名詞】此れ位、此の程度、シキはシ

キ (底) で其処の場で位の事 (大言海)

**こればかり** 【名詞】 【副詞】 1) 此の程度。これくらい。これ程。程度の少ないのを強調する時が多い。 2) この物ばかり。使用する頻度が高い。[会話] <sub>1)</sub> コレバカ 言うな (のは) ちょおいとの (少しの) のおを (のを) コレバカ言う時もあるし、<sub>2)</sub> 一つのもん (物) を、コレバカ つことる (使っている) 言うてコレバカ しとんね (している) とか。コレバッカ (ばかり)、同じよおなもん (物) 呉れるとなあ、かしん (菓子) でも 物でもなあ おおた コレバカや (だ) いつ呉れても コレバッカやなあ (ばかりだ) 言うのも有るやんかい (有ります)。物のすけない (少ない) 時や (は) こんだけのもん (此れ程の物) 言うんなしなあ (のですし)。こんだけ (此れ程) やそこら言うてな ちょおいと (少し) 呉れると、こんだけやそこら よお (よく) 呉れた事や (だ) 言うて、鼻糞ほどしか (より) 呉れやせんとかなあ (ないとか)

**こればかりか** (此許) 【名詞】 【副詞】 単に此れだけ、此の物のみ。

**こればな** これを、これおぼ [会話] あれん (彼に) やんね (くれるのです) コレバナ おや (俺は) まあいなんよって (要らないから) 言うて

**これほどき** 【名詞】 此れ程、多少、両方に使用する。是れほどと言う詞のかはりに伊勢にて、これほどき、あれほどきと言う (物数称呼) (三重県全域) [会話] コレホドキ 此れ程おっきい (大きい) こげんも (こんなにも) 有った てやら (とか) これくらい言うたりなあ、一緒の事やけど (ですが)。なんべんもなんべんも説教しても コレホドキ言うて 此れ程言うても いくくら (幾度) 言うて 言うてあんのん (有るのに)

**これやで** これだから

**これやのん** これだのに

**これやもん** これだから

**ごれんちゅう** (御連中) 【名詞】 仲間。一統。

**ころ (頃) 【名詞】** 手ごろ。丁度よい程度、時間。適当な時。[会話] あのコロ、このコロ、夜明けゴロとか、朝ゴロとかなあ。朝方言うのも アサゴロ言う人も あるし (有ります)。ぼちぼち (ぼつぼつ) コロやんかい (です)。昼ゴロやなあ (だ) 言う時もあるし、夕飯時やなあ 言う人もあるし (有ります)。人が来る時も ぼちぼち来るコロやなあ (だ) 言うて、時間な (が) 来ると まあ (もう) 行くコロやなあ (だ)。

丁度 ええ (良い) 程度や (だ) 言うのも ぼちぼち コロや (だ)、丁度 ええコロや (だ)。丁度ええ 位やなあ 言うとんも (言っているもの) 丁度コロやなあ (だ) 言うのなあ (言います)。

**ころ (転) 【名詞】** 1) 舟を引き揚げる時、船底に当てる枕木 (すべり)。2) 重量物を運ぶ時、下に敷いてころがす丸太。(志 (布施田)、鳥、上、阿、張、名、尾、南) [会話] <sub>1)</sub> コロ 言うな (のは) すべりの事。<sub>2)</sub> 家こかすの (移動させる) それ 算盤のコロや (だ) 言うて、ひきかた (引いて移動させる) する時の コロもあるし、<sub>1)</sub> 舟ひく (引き揚げる) コロ。すべりを、コロや (だ) 言う家もあるし (有ります)。<sub>2)</sub> 家をひきかた する時ん、(に) ひきかたのコロや (だ)、算盤や (だ) 言うて、算盤みたやな (のような) のおな (のが) 有って それの上 (へ) コロを並べといて (ておいて)、ジャッキで引っ張る。

**ごろ (頃) 【名詞】** ころ (頃) に同じ。

**ごろ 【名詞】** ごろつきの略 定職も定まった住所も持たず、あっちこっちうろついて、弱い者をいじめたりたかったりする、ならず者、無頼漢。(志 (布施田)、上、阿) [会話] ゴロ 言うな (のは) 今のしの (今の) やくざやなあ (です)。十五夜の月 言うな (のは) 見たこたあ 有るけど (が) ゴロツキ 言う月や (は) 見たこたあ (事は) ないわれ (ありません)。やくざん (に) なったのおを (人を) おとしがって (怖がって) あや (彼は) ゴロツキやよってん (だから) てっか (鉄火、難癖) 切って来ておとしね (怖いのだ) かもたら (相手にしたら) はざんどお (駄目だ) 言うて。

**ころあい (頃合) 【名詞】** 適当な時期、よいしおどき。

丁度よい程度。[会話] てがやし (手入れ) する頃な (が) あんねてや (あるのです)、コロアイな (が)

**ごろおじ (ごろうじ)** 見なさい。しなさい。[会話] ゴロオジ 言うのは 見よ言う事やんかい (です)。拝見なしたか ゴロオジなしたか 言うんよってんなあ (言うのだから) 見たか 言うんやろなあ (言うのでしよう)。“京 (京都) の金閣寺の 茶の間の座敷 拝見なしたか ゴロオジなしたか” 言うんよって (言うのだ) そいな事 (そんな事を) 言うんやろなあ (言うのでしよう) 見る 言う事やろなあ。楠と桧の てんじよ (天井) の 一枚板で、萩な (が) ちんがいらに (違い棚で) 南天床柱 言うもんで (ので) どげな (どんなに) おつきい (大きい) 南天やか (だろうと) おもたや (思ったら) この位の おな (のが) 建って。茶の間やよってん (だから) にじよ (二畳)

より ないもんなあ (ありませんから)。それに まあ こおかたんで (傾いて) くずれかけとんねけど (て居るが) 此れを 言うたんなあ (言ったのだ) おもて (思っ) て見て来たんなあ (来ました)。

**ごろおじる (ごろうじる ごらうじる) (御覧) 【他ザ上一】** 見るの尊敬語

**ころがる (転) 【自ラ五】** 1) ひっくり返る。ころげる、転ぶ。回転しながら進む。(一、南) 2) 横になる(南) [会話] 2) 此処い コロガッておんないとか (居るとか)、1) あしこから (あすこから) 石ころな (が) コロガッてきたやんか (でないか) とかなあ。コロガル言うてなあ。あのかあ (子は) コロガッてバック おるやんか (居る) 言うて こけてばっか おる言うのをなあ、コロガッてバック (ばかり) おる言うて。

**ころくがつ (ころくぐあつ) (小六月) 【名詞】** 陰暦十月頃の秋に、又三月の春に 夏を思わせるような暖かい日のある事。[会話] あつつうい (暑い) ひい (日) な (が) 来ると、おおた、コロクガツ みたよ ななあ (のようだ) 言うて 言うやんない (言うでしょう)。しんがつ (四月) や (とか) 五月に、暑い ひい (日) な (が) 来ると コロクガツの陽気やなあ (だ) 言うて、六月 (旧暦) によお (よく) 似た 陽気を コロクガツ言うう (のです) 四月、五月、その頃に、あつつい (暑い) 日な (が) するとなあ、秋でも、十月頃でも ぬくたい (暖かい) ひい な (が) するとなあ、おおた コロクガツやなあ (だ) 言うて。十月頃 芋 掘る頃ん (に) あつつうい 時な (が) 有ってなあ コロクガツの陽気やなあ 今し (今) 言うて。あつつうて (暑くて) 芋 掘つとると (ていると) 汗 ぶうぶうする 時な (が) 有って。

**ころげる (転) 【自ガ下一】** 転ぶ。ひっくり返る。ころぐるの自動化 (大言海) (桑市、鈴市、鈴郡、安、伊) [会話] こけるとなあ コロゲル言うんなあ (言います)、こけたれ (ました) まあ言うて

**ころころ 【名詞】 【副詞】** 1) 小さな丸い飴玉。2) 芋の団子。3) ひどい目に合う。4) 背の低い人。5) 丸い形の物。[会話] 2) コロコロ団子の事 コロコロ 言うし、芋のコロコロ言うし、3) 人にやりこめられて言い込められてしたのな (のが) コロコロ (に) お おた (逢った) 言うて。あげん (あんなに) 言や (言えば) こげん (こんなに) 言いして、言いまげられる と (言いまかされると) あれん (彼に) コロコロ お おた よお 言う時も あるなあ (有ります)。5) 物

まるける (丸める) と コロコロしたたれ (してしまつた) コロコロ (に) したたなあ (してしまつた)、しや (それ) ももぐつて 言うて。

**ごろごろ 【副詞】** 1) あちこちに、物が雑然ところがって居る状態。それから転じその価値が低く見える程、沢山あるさまを表す。更に仕事をしないで、むだに過しているさまを表す。2) 物が転がって行く状態。[会話] 1) ゴロゴロと まあ ひがないちんち (一日中) 寝とんねない (寝ているのだ) ひがないちんち 座敷で ころでなあ (寝ていて) 横 (に) なつたり 縦 ゴロゴロと 大きな くそべ (糞尻) しておつて (居て) ゴロゴロと ころでばっか (寝てばっかり) おんねない (居るのだ) 言うて。どじもんぐさ (怠け者) の事なあ (です)。なんやかやと (いろいろと) よけ (沢山) 有ると ゴロゴロしとられ (している) 芋な (が) なあ よけ いっとると (入っていると) ゴロゴロと 面白いよおなよお (ようだ) 言うてなあ 芋 掘るよおん (ように) になると。こお (子) な (が) よけ (沢山) 有る家でもなあ おおた あの家や (は) こおな よけ有って、ゴロゴロしとん なあ (している) 言うて。雷な (が) 鳴っても ゴロゴロな (が) 鳴って来たど (来たぞ) そや (それ) 言うて。そして 腹な (が) わり (悪い) 時や (は) 腹な (が) ゴロゴロ鳴って来た 鳴る腹くだる言うて そや (それは) くだつてくんど (下痢するぞ) 言うて

**ごろごろ 【名詞】** 雷 前項参照

**ころころだんご 【名詞】** 小さく丸めた米の粒を蒸して作り、佛前に供える団子。(志 (布施田)、鳥、度) [会話] 盆になつて 佛さんへ コロコロだんご 供え つと (供えると)、必ず かいしきな (が) 要つて。コロコロだんご言うと 葬式のおり (時) 三角に盛つて有る。死んだ時に、枕団子 枕団子みたいなのやけど (のようなのだが) 枕団子と違うやんか (違うのです)。その団子やけどな (だけれど) 三角に 盛るやんな (でしょう)。下へ五つすると その次は三つしてくと (していくと) こおなんのやんか (なるのです)。

**ころざめ 【名詞】** ねこざめ かすざめ (熊)

**ころざれる** 酷い目に合う (志) [会話] 仕事よけ (沢山) しやされると (さされると) おおた あの家や (は) 仕事な (が) えろおて (大変で) コロサレヨオ ツタヨオ (る所だつた) 言うて。仕事な (が) よけ しやされた (さされた) 時でもなあ あれも せえ (しなさい) これも せえ言うて それ てつたいん

(手伝いに) 行くとなあ コロサレヨオツタレ 言う  
てなあ 酷い目に遭う言うのを ま コロサレヨオツ  
タレまあ あの家い (へ) いたや (行ったら) あれも  
せえ これも せえ 言うて 使いコロサレル 言う  
て。

**ころされおった。ころされた。ころされよおった** 酷い  
目にあった (志 (甲賀))

**ころしやい【名詞】** 殺しあい。[会話] さいめんせせり  
(境界のとり込み) で、隣で なかつがい (不仲) す  
んの (するのです)、コロシヤイ したのおも (の  
も) あんね (あります)。

**ころす(殺)【他サ五】** 1) 手を尽したが、死亡してし  
まった、と言う意を込めて、亡くす、死なせる。  
(鳥) 2) 酢で調理する。変質させる (南)

…**ころす【補助助詞】** 動詞についてその動作の甚だしい  
事を表す。笑いコロス。(志 (布施田))

**ごろすけ。ごろすけどり。ごろすけほっぽ【名詞】** 梟  
ゴロは鳴声 (大言海) 擬人化して助と言う (方言俗語  
語源辞典) 鳴き声ホーホロスケットオショオのホロス  
ケの訛。(志 (浜島、波切、船越、片田、布施田、鶴  
方、神明、立神、甲賀、国府、安乗)、鳥、三、四、  
鈴郡、鈴市、亀、安、久、松、多、度、北、尾) [会  
話] ほっぽ ごろすけとおせ 言うて。八幡さんの  
ゴロスケな (が) 鳴いて来た 言うて (言つて)。そ  
やもんで (それで) じやま (地山) の ほっぽな  
(が) 鳴いて来た 言うて。じやま言うて 此処を  
(八幡さんのある所) じやま 言うんやんかい (言う  
のです)。八幡さんの糞ほぜり 言うて、鳴くと、あ  
や (あれ) 八幡さんの糞ほぜりな (が) 鳴いとられ  
(て居る) とか、じやまの ほっぽ 鳴いとられ 言  
うて、八幡さんで鳴くと、じやまのほっぽな (が) 鳴  
いとられ 言うて。ほっぽ 言うて ごろつきとおせ  
言うて 又 言うんでや (言うのです) 聞いとるとな  
あ (て居ると)。ほっぽ 言うて 鳴いといて (てお  
いて) 後で ごろつきとおせ 言うんやんかい (言う  
のです)。じやまのほっぽな (が) 鳴いて来た 言う  
て、此処のほっぽな (が) 鳴くのを 時計の代りに  
しとよおった (して居ました)。じょおし (漁師) は。  
そや (それ) ほっぽな (が) 鳴いて来たよってん 今  
ごろ (今頃は) 三時やなあ (だ) 四時やなあ (だ) 言  
うて 時計な (が) 無いよってん (から)、鳴き声  
聞いて 起きて 網くりん (くり、揚げた) 行きよ  
おったの (行って居たのです)。爺やんも 婆やんも  
早よ起きて 言うて ほっぽな (を) 時計の代りみた

よん (のように) しよおったの (して居たのです)。  
(附) じやまの ほっぽな 鳴いて来た。じいじ  
(爺) も ばあば (婆) も 早よ 起きよ。おらげの  
とと (父) らは 網くりに行たわいなあ 行たわいな  
あ。

**ころだ** 1) 転んだ。倒れた。2) 寝た。[会話] 1) ひ  
っくり返つて けつまげて (つまずいて) コロダ、2)  
寝ころぶ言うのも コロダ 言うし (言います)。

**ごろた(五郎太)【名詞】** 1) ごろた石の略。ごろた石、  
道に転がって居る丸い石。石ころ。(上、阿、張、名、  
尾) 2) 土の塊 (志 (布施田、鶴方、神明、志島、甲  
賀)) [会話] 2) ゴロタを こなしとけ (小さくして  
おけ)。畠い (へ) いて (行って) ごつごつと おこ  
したの (のが)、鉄で ごしゅつとしたのな ごろご  
ろしとると (して居ると)、おおた (ああ) ゴロタな  
(が) ごろごろしとられ (して居る)、ゴロタや  
(だ) 言うけど (言います) ゴロタも こなしとけ 言  
うて。ゴロタばっか (ばかり) ごろごろして あやあ  
れ (あれ) 言うて。雨降りあげくん (に) 仕事い  
(へ) 行くと、ゴロタな (が) よけ (沢山) 出来て  
さばけやへんもんで (小さくならないので) 雨で固ま  
つとて (て居て) 土の (が) 塊つとると (て居ると)  
それを ゴロタや (だ) 言うて。

**ころだら** 1) 転んだら 2) 寝ころんだら、横になっ  
たら

**ころだらんかれ** 横になって休みなさい

**ごろつき【名詞】** 無頼漢 ならず者 ゴロゴロ (転々)  
の名詞化、空しく転り居て務むる事のない状態。(大  
言海) (張) [会話] ゴロツキ、博打うちでなあ 喧  
嘩したり ちよいとした (少しの) 喧嘩 こおて (買  
つて) すんのなあ (するのです)。あや (彼は) ゴロ  
ツキやよってん (だから)。

**ころつく** 目に異物の入った感じ。

**ごろつく【自カ五】** 人に嫌がらせをする。泥酔してくだ  
をまく。ゴロゴロ (転々) を活用した語 (志 (布施  
田)、上、阿、張、名) [会話] ゴロツク言うな (の  
は) なんやかや (いろいろ) くだらん事言うて 喧嘩  
かう (買う) 事なあ (です)、そいな (そんな) 人を  
なあ あや (彼は) ごろつきやよって (だから) かま  
うなよお 言うて。

**ころっと【副詞】** 1) すっかり、全く、完全に。  
(志 (布施田)、鳥 (加茂)、員、鈴郡、鈴市、安、  
一、上、阿、張、名) 2) 急に、突然、あつげなく、  
急変するさま。死んだり、負けたりするさま。 3)



一回転して落ちるさま。[会話] 1) コロット 忘れたよお 言うて、なんやかや (色々) 忘れて、ど忘れ しとる (して居る) 時ん、(に) おおた まあ (ああ) コロット 忘れとたよお (て居ました)。3) コロット 転んだ 言うのも有るし、コロット ごろね (寝) して 言うて。コロット 忘れとたは、全然覚えな (が) のおて (無くて)、言うと、ど忘れ しとた (して居た) よおな 時の事やろなあ (でしょう)。コロット 忘れとた。全然覚えな (が) 無かった 言う事やなあ (です)。2) コロット 死んでた (死んでいた) 言うと、病氣しとらんと (して居なくて) まめ (健康) なかったのん (で有ったのに) こつん (突然) 死んでく (で行く) のを、言うて、なつとも (何とも) なしん (無しに) おつた (居た) のに、死んでたのおを (のを)、心臓麻痺みたよん (のように) してくのを (して行くのを) コロット死んでた。急に言う事やろなあ、急に言う言葉、コロット 言うね やるなあ (言うのでしょう)。

**ごろっと**【副詞】 1) 重い物、大きい物が、転がって居るさま。2) 寝ころんでいるさま [会話] 1) 転ぶ事を ゴロット言うけどなあ (言います)。2) 此処らしい (へ) 転んだのをなあ (でいるのを) ゴロット ころで (転んで) まあ言うて。

**ころで** 転んで、倒れて [会話] あの かあ (子は) コロデ (転んで) ばっか (ばかり) おんない (居る) 言うて こけて ばっかおる 言うのをなあ。

**ころでく** (転) 倒れて行く。転がって行く。[会話] 芋も コロデクもんなあ (のです) ごろごろと。

**ころでくる** 転んで来る [会話] 銭を 壁か と お (戸) むいて (向って) あいな (あんな) すべ な ええとこい (滑らかな所に) うつつけと (叩きつけると) コロデクンネ やんか な (です)。

**ころどる** 1) 寝転がっている。2) 倒れている。横になっている。 3) 転んでいる。

**ごろね** (転寝)【名詞】 寝間着に着かえないで、所かまわず横になる事、又そのようにして眠る事。ゴロゴロ (転々) 寝る意 (大言海) (志 (布施田)、熊) [会話] ゴロネ 言うな (のは) きもん (着物) 着たながり (まま) 寝巻 着やんと (着ずに) 着のままで転ぶのなあ (です) ゴロネして 言うてなあ。やうちな (皆が) ゴロネしや (すれば) ええわれ (よろしい) 言うてなあ、布団 敷かんと (ずに) そんなり (そのまま) ねんの (寝るのを) 盆やどけでも (などでも) お客さん な (が) よけ (沢山) 有るとなあ 正月あ

(は) 布団も要るけど (が) 夏はええわれ (よろしい) ゴロネしや ええし (よいし) 言うて、みんな な (皆が) 着たままで 寝巻もきやんと (着ずに) そのまま 寝んのなあ (寝るのです) ゴロネ言うて。

**ころばかさされる** 倒される。転ばされる。[会話] 突き とばしたるとなあ (てやると) コロバカサレル 言うて。しおあびん (海水浴に) いとると (行っている) 波ん (に) コロバカサレル 言うて、波な (が) 来ると。風な (が) 吹いて コロバカサレヤオッタヨオ (るところだった) 言うて ころがされる事をなあ。浜ん (に) おつても (居ても) ないざ (波打ち際) で 泳いどるとなあ (でいると) 大きな波な (が) 来ると どこまで (何処までも) ころころと、コロバカサレル。

**ころばかす** (転)【他サ五】 転ばす 転倒させる (志 (浜島)、三、伊)

**ころばす** (転)【他サ五】 1) 転倒させる。転がす。倒す。(三、伊) 2) 寝転ぶ ころぶ 横臥する。寝転ぶ。[会話] 1) こつちや (此処) から コロバス、突き飛ばして コロバカス 言うのも 有るし、わがと (自分) な (が) 転んだのは ころだ。人な (が) こかしたると コロバカサレタ。ころだ 言うて、わがと (自分で) 転ぶ わがとな (自分が) 一人ころんで言うし、ころぶ言うな (のは) わがと (自分が) 承知して 此処い (へ) 転ぼん (転びましょう) 言うて すんのを (するのを) 転ぶ。ころんだ 言うて、わがと 知らんとおる (居る) うち (間) に ころだのおを (のを) 転んだ 言うし。コロバス 相手にやられる事なあ (です) コロバカサレタ。

**ごろはち**。**ごろはちぢゃわん** (五郎八茶碗)【名詞】 普通よりやや大きい目の、呉須手の粗製の茶碗。五郎八は創製した陶工の名 (大言海) (津、松、南) [会話] おつきい (大きい) のおを (のを) ゴロハチチャワン 言うわい (言います)。どんぶり (丼) みたよな (のような) のおな (のが) 有るやんない (でしょう)、ゴロハチチャワンで 男の人らは (人は) 五、六杯 やらかして (食べて) 言うてな (言って) ゴロハチや (です)。

**ころび**【名詞】 芸を売らず、肉体を供する芸者 コロブ の名詞化 [会話] 枕芸者 コロビ、転ぶ (寝る) 芸者を言うね (言うのです)。

**ころひちべえさん**【名詞】 芋飯 芋と米との割合 ころは芋の切った物。べえは米。芋七米三の割合。[会話] 芋と米と コロヒチベエサン 芋な (が) 七分で米な (が) 三分や (です) そやもんで (それで) コロヒチ

ベエサン言うて。

**ころびやあるく** 転がる。横になる。[会話] ぼてん (竹製の生簀) おか (陸) ん (に) 有ると、こらら (子供達) な (が) それん (の) 中い (へ) 入って 遊びおったんなあ (遊びました)、コロビヤアルイテ。

**ころぶ (転)** 1) 転倒する 2) 寝る 3) 同衾する [会話] <sub>1)</sub> 一人 こけんのなあ (転ぶのです) けつま げて (蹴つまづいて) コロブ言うて。<sub>2)</sub> 寝るのも わ しゃ (私は) 此処い (へ) コロブ言うて、横ん (に) なんのをなあ (なるのを)、まあ ちよいと (少し) コロベマアエ 一休み コロベマアエ (横になりなさい) 一転び せええ (しなさい) 言うて。<sub>3)</sub> あや (彼女は) あの人と コロンダてわれ (そうだ) 言うてな 関係した事を。

**ころべまあえ** 寝転がりなさい。横になって、休息しなさい。[会話] まあ ちよいと (少し) コロベマアエ 一休み コロベマアエ 言うて、横ん (に) なんのをなあ (なるのを)。

**ころも (衣) 【名詞】** 1) 袈裟 (けさ) 2) てんぶら、フライ等につける粉。(志 (畔名) 松 上、阿) [会話] <sub>1)</sub> コロモ、おっさん (和尚さま) のかい (ですか)。おっさんの コロモかい (ですか)。<sub>2)</sub> てんぶら え (へ) こお (粉) 付けんの おも (るのも) コロモ 言うなあ (言います)。てんぶらの こお も コロモ やなあ (です)。コロモな (が) あつつい (厚い) とか うつつい (薄い) とか 言うて (言つて)。

**ころも 【名詞】** 子供 (志、松、上、阿) [会話] 子供の事を コロモ 言う人な (が) おんの (居るのです)。どを よお (よく) 使わんで (使えなくて) コロモ 言うたり (言ったり) こらら 言うたり、こらだな (が) 言うて。こらだ 言うて こらら 言うの (のを) こらだ 言うて。“ろ”と“ど”廊下の事を どおか 座敷のどおか。だら どろよお (充分に) 言わんのなあ (言えません)。どおか だら どろ でれ 言うの (のを) よお言わんね (充分に発音出来ない)。廊下 言うの (のを) どおか言うたり (言ったり) ローソク 言うの ドオソク 言うたり。

**ころり 【名詞】** 1) コレラ 死亡率が高く、死ぬ迄の期間が短いので、民間に言われた言葉。コロリと死ぬ意。(広辞苑) 2) 転ぶ。[会話] <sub>1)</sub> コレラの事を コロリ 言うて (言つて)。ころっと 死んでく (で行く) もんで (ので)、コロリ 言うてわい (言うのだそうです)。<sub>2)</sub> コロリや (だ) コロリ コロリ 言うて 転ぶのも コロリ 言うしなあ (言います)。“芸者

の下駄は 転ぶ 転ぶと 音がする” 言う (言います)。<sub>1)</sub> 朝鮮でも 不潔なもんで (ので) コレラな (が) 毎年はやりおって (流行して) コレラん (に) になると 尻な (肛門が) いきぬきで (しまりがなくて) たれながしやんかい (です)。そして 熱な (が) するもんで (ので) 水くれ 言うて おめくんやんかい (叫ぶのです) そすと (すると) 助けよ (よう) おもたら (思ったら) 水やるとはざんね (与える) と駄目だ 水 飲ますな 言うて すんねけど (するのだが) こげんなつてくや (こんなになって来れば) め ったん (絶対に) 助からせんねよつて (ないのだから) 水もほしだけ (欲しいだけ) 飲ましたよや (てやろう) 言うて、浜の砂い (へ) ころばかし といて (転がしておいて) 尻や (は) あけほけで 砂い (へ) 皆出るよ おん (に) して 水 にないで (にない桶で) 枕もと とい (へ) 置いといて (ておいて) 杓で ほしだけ (欲しいだけ) 飲ましたれ (てやれ) どおせ 死んでくねよつて (行くのだから) めったん 助からせん ねよつて (ないのだから) 言うて。そしたや (そうしたら) 熱で燃えるもんで (ので) 体な (が) 火になつ とんね (なつて居るのです)。そして 水くれ水くれ 言うて おめくと (叫ぶと) 杓ん (に) 一杯つ やると がぶがぶとのおだんねてや (飲んでやるのです)。どうせ 無い命やよつて (だから) ほしだけ (欲しいだけ) 飲まして とくしん (得心・なつとく) して 殺したやええわ (てやればよい) 言うて にないん (に) 一杯も 飲まして (したら) したや そんでよか ったんかして (それでよかったのか) 助かって あや (あれば) 腹の わりもんを (悪い物を) 水で 皆、出したんで (てやったので) よかったんなあ (よかったのだ) 言うて。

**ころわい (頃) 【名詞】** 丁度よい時期、程度。ころあいの転 ころあい参照 [会話] コロワイ考えて 行けとか、せえ (しなさい) とかなあ、今し (今) 丁度 ええ (よい) 言う時を コロワイな (が) ええわれ (よろしい) 言うて、ええ (よい) じき (時) の事を コロワイ 言うの。

**ごろん 【副詞】** 横になる 寝転ぶ (志 (布施田))

**こわ (木端) 【名詞】** 丸太を製材する時、最外側の樹皮の付いて居る木片。(志 (浜島、鶴方、神明、立神、国府、安乗)、松、一、多、上、阿、張、名、北、尾、南) [会話] きい (木) のコワ。きいのへた (端) を ふちくた (端) を、真ん中 芯取つたて (取ってしまった) ふち (端) を コワや (だ) 言うて。

**こわい (こはひ) (強) 【形容詞】** 固い (志 (布施田、鶴方)、上、阿) [会話] 物な (が) かったい (堅い、固い) のおも (の) コワイ。コワイなあ こや (これは) 言うし。御飯な (が) コワイとかなあ 言うてなあ。なんでも (なにでも) かったいと (堅いと) こや (これは) コワイなあ 言うてなあ。肉でも 此の肉あ (は) コオオテ (硬くて) 食われやせんわれ (食べられません)。

**こわい (こはひ) (怖、恐) 【形容詞】** 怖い (志 (鶴方、片田)、鳥 (相差、桃取、坂手)、桑郡、桑市、三、四、鈴市、鈴郡、亀、安、津、一、飯、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、尾、南) [会話] おとろし (怖い) おとしよお (怖いです) 言う コワイ事を。今日は まあ どいらい (大きな) 時化な (が) して来て おとしかったよお (怖かった)。おとしよお (怖い) 言うて。

**こわかいし。こわかいしゅ (小若衆) 【名詞】** 若衆に準ずる者。(志 (布施田)、伊) [会話] 少年の事。コワカイシュ 言うてなあ (言って)、十四、五ん (十四、五才に) なる コワカイシュやよってん (だから) あや (彼は) 言うて。おおわかいしゅ (大若衆) 言う な (のは) 十七、八 青年団 おおわかいしゅ。十四、五や (とか) 十五、六あなあ (は) コワカイシュ。が っこ (小学校) 出たて (出てすぐ) のほやほや。それも しょおがっこ (小学校) 出たての ほやほややわい (です)。わしらな (私達が) 六年でおりと (卒業すると) 十四 (数え年) やんかい (です)。それから、磯 (海女作業) 行くと さいご (その時) コワカイシュ 早よ (早く) きい (木) 捨て来い (拾って来なさい) 言うて 浜い (へ) つけるとさいご (舟を着けると、その時に)。男でも おなご (女) でも コワカイシュ 言う。

**こわがり** 臆病者

**こわけ (小分) 小小さく分ける事。[会話] ちっそお (小さく) 分けんのなあ (ののです) コワケしとけよお (しておけ) そや (それ) 言うてなあ。**

**ごわごわ (ごはごは) 【副詞】** かたくこわばって、しなやかでないさま。(志 (布施田)) [会話] きもん (着物) でも 木綿の のえ (のに) 糊したると (してやると) ゴワゴワしとるやんかあ (しているでないか) 言うて、絹のきもん やいこいし (柔らかかいし) やんない (でしょう) 木綿のきもん ゴワゴワしとるしなあ (しているし) かったい (堅い) 事 ゴワゴワしとる (している)。

**こわし。こわしけない。こわしない (強、硬) 【形容詞】** 堅い。こわい参照 (志 (浜島、鶴方、神明、立神、甲賀、国府、安乗)、鳥 (鳥全城)、度、伊、津、多、上、阿) [会話] かったい (固い) 事を どいらい (大変) コワシケナイなあ。かったいとさいご (その時) どいらい ひねとて (古いので) コワシケナイとか なんやかや (何か彼か) かったいのを コワシケナイ。

**こわしたた** 壊してしまった **こわす**参照

**こわしたて** 壊してしまつて

**こわしたんだ** 1) 壊しました 2) 壊してしまうぞ

**こわす (こはす) (壊) 【他サ五】** 1) 約束を破る。

2) まとまらない 3) 両替する (金銭) [会話] 壊れる コワス うちやつたんのを (てやるのを) 壊れる 言うな (言います)。一人で (自然に) うちやれてくのを (て行くのを) 壊れてた (てしまった)。こっちや (こちら) から うちやんな (のは) コワシタタ (てしまった)、うちやつた (てしまった)。茶碗 うちやつたたれ (壊してしまった)。皿 うちやつたたれ 言うて。こっちや から うちやんのは (るのは) うちやつた 言う。そして 一人 (自然に) うちやれてくのは (行くのは) うちやれてた。なつともせんと (何もせずに) おんのん (居るのに) うちやれてたれ 言うて、誰それん (誰かに) うちやられた 言うて。人な (が) うちやつた (てしまった) 後なあ (です)、誰それな (が) うちやつ いて いた (行った) とか。<sub>2)</sub> 人の話し コワス言うて、人な (が) 話し しとんのん (して居るのに) わがと (自分) そやこや 言うてくと (行くと)、人の話 コワス言うて。あんな (彼が) 来て おらな (自分が) こげん 言うて (このように) きめたや (たら)、コワシテイテ (ておいて行って) 言うて よお (よく) 言うなあ (言います)。うちやつ いて 言うて、壊すのを うちやつ いて、いなん (いらぬ) 事 言うて うちやつ いて (ておいて) 行たねえ (行ったのだ) あんな (彼が) 言うて。<sub>1)</sub> 約束も 約束コワス うちやつ 言うて、約束守らんと (守らないと) 約束破つたとか。

**ごわす** 崩す (南)

**こわつてきた** 陣痛が始まつた

**こわない** 1) 怖くない、恐ろしくない (鈴市、上、阿、伊) 2) 固くない [会話] <sub>1)</sub> コワナイ なんも (少しも) あや (彼は) おとしないんど (怖くないのだ) 言う時まあ、コワナイ。こわいよ (怖い) 言うと、

なんも あや おとしかろかれ (怖くないのだ) 言うてなあ 怖い事をおとし 言うの (のです)。

**こわばる (こはばる) (強張) 【自ラ五】** 1) 腹などが張って痛む。胃が痛む。2) 固くなる。しゃちこぼる。緊張する。[会話] 2) てえ (手) な (が) コワバル 言うて よお (よく) 言う。なんやかや (色々) 力仕事すると あんまり (あまり) よけ (沢山) すると、てえ (手) な (が) ごわごとと にぎんのん (握るのに) コワバル。体な (が) コワバツテ 曲らせんない (ない) 言うて、体も なんも (何も) せんと (せず) に おると、体な (が) おりまがって (折れ曲る) すんの (するのが) しにくくなって (しにくくなって) 来ると、おおた (ああ) 体な コワバツテ いごかれやせん (動けない) 言うて。いごきつけると (動かさつづける) ええねけど (よいのですが)、いごかんと (動かずに) おると 体な (が) コワバツテ (てしまつて) いごかせんなあ (動きません)。こましごと (小さい仕事) な (が) しにくいなあ (しにくいのです) そげな時ん (そんな時に) コワバル。偉い人の前で 体なしゃちこぼつてた (ていった)、コワバル 言うて、あんまり 緊張すると そいな時も (そんな時も) 言う。1) 腹な (が) いっぱいん (に) なつて、腹な (が) 張つて 腹な (が) 張つて コワバルとか 言う時もある。腹な (が) 張つて、腹な コワバツト ンナイ (て居る)、飯よけ (多く) 喰うたり、しよんべ (小便) な (が) したいの (のを) しんぼ (辛抱) しとたり (して居たり) すると、腹な (が) 張つて コワバル 言うて、しよんべん (小便) こらえて コワバツテ来たよお 言うわい (言います)。

**こわめし (こはめし) (強飯) 【名詞】** 糯米を蒸したものの。おこわ。歯ごたえがある。普通の飯に対して言う。(志、鳥、桑市、松、上、阿、度) [会話] もちね (餅米) を 蒸したのをなあ、コワメシ、おこわ 言うて、餅、搗くのん (に)、餅ん (に) したらんうちん (してしまわない間に)、おこわくおやんかあ (食べましよう) 言うて、じゅう (蒸し器) からあげたのなあ それをなあ こなしたると (搗いてやると) 餅ん (に) なつてくもんでなあ (なつて行くので)、杵入れん (ぬ) うちんのおを (間ののを) コワメシ 言うて。

**こわらかす (こはらかす) (強) 【他サ五】** 壊す。[会話] うちやつたる (壊してやる) 言うの (のです)。それを壊す言うの、うちやつたられ (壊してしまう) そや (それは) 言うてな。コワラカス、そや (それ) そげ

んしたら (そんなにしたら) 壊したるやんかあ (でなにか) 言うて。

**こわり 【名詞】** いけす、生簀。漁獲した魚を生かして置く装置。あるいは、その装置の有る場所。普通は餌としての魚を貯えて置くのが目的である。生きた餌を使用する漁業、例えば、鯉釣り漁業を行なうには、網で作った生簀が海に仕掛けて有り、その中に飼われて居た鰯を船内の生簀 (かめ) に移し、鯉の漁場に行つて使用する。形、大きさはまちまちで木製の箱形のもの。竹製の籠生簀 (ポテン)。網が、袋になって居る網生簀。船底の一部に水が流れるようにした、船生簀 (カンコ) などが有る。どれも、海水のみ自由に出入りし、魚は出られないようになって居る。(志 (布施田)、度、北) [会話] コワリ。魚 いける。鰯 いける 四角なあれを コワリ 言うて、コワリい (に) いけて有る 言うて。ぼてん 竹で組んだ (編んである) ぼてん あれも魚いけるし (いけます)。今しや (今は) あいな (あんな) もん (物) 使わせんねやろなあ (ないのでしょう)。今しや 生簀や (だ) 言うて (言つて) 生簀にするもんで (ので、コワリ 使わせんねやかなあ (使わないのしょうか)。生簀や 言うけど (けれど) 昔の コワリと一緒や (です)。コワリは 網で編んで して有るし 生簀や 言うて コンクリとかピニール みたよなもんで (のような物で) 杵にしとんのを (して居るのを)、コワリ代りやろなあ (でしょう)。あれん (あれに) なんやかや 魚 いけといて (ておいて) 掬るやんかい (掬ります)。

**こわりする** 小さく割る。[会話] 丸太の二つに割つたの (のを) ぼん 言うね (言うのです)。そのぼんを コワリシトイテ (しておいて) 飯 炊くねけど (炊くのです)。

**こわる (こはる) (強) 【自ラ五】** 1) 疲れて筋肉が硬くなり動かなくなる。こわばる。2) 腹が痛む 張る 3) 陣痛が始まる [会話] 3) 陣痛な (が) 来た 言うの (のを)、コワリな (が) 来て 言うて。2) 腹な (が) 緊張して 痛となつて (痛くなつて) 来るもんで (ので) 腹な (が) 痛と (たく) なつて くんのを (来るのを) コワル。

**こわれ 【感動詞】** 1) 呼び掛けの語。これ。 2) 此れこの様です。[会話] 1) によっこり (によっきり) 出て来たない (来ました) コワレ。

**こわれもん (こはれもん) (壊物) 【名詞】** 1) 壊れた物 2) 壊れやすい物、陶磁器、ガラス製品など。(上、

阿) [会話] うちゃれもん言う、コップな (が) 此 処ん (に) あんねよって (有るのだから)、うちゃれもんやよってん (だから) 大事ん (に) せな (しなければ)、うちゃれもんやよって きい (気) つけえよ お (つけなさい) てえねん (丁寧) に扱かわな (なければ) はざんど (駄目だ) 言うて、壊れる物を コワレモン言うの (のです)、うちゃれもんやよって そや (それ) 言うてな、ちよいと (少し) 当ると壊れてく (て行く) よおなもん (物) を、コワレモン言うの なあ (です)。<sup>1)</sup> 壊れたもん (物) も うちゃったた (壊してしまった) のも、こや (これは) 壊れた コワレモンや (だ) 言うてなあ、うちゃれもん呉れて 言うて。

**こわれる (こはれる) (壊) 【自ラ下一】** 1) 約束や計画が駄目になる。2) 物事がまとまらない。[会話] <sup>1)</sup> <sup>2)</sup> 結婚の話がコワレル。結婚も 破談になると、あやまあ うちゃれてたない (壊れたそうだ) 言うてなあ、コワレタ言うて、はいからは言うけど あやまあ、うちゃれたんてわれ (壊れてしまった) あいら (あの入達) まあ ゴスタン (戻った) したんてわれ (したそうだ) 言うてなあ。

**こん (根) 【名詞】** 根気。事をするのに耐え忍ぶ。気性。こんがええ、根気が強い。[会話] コン 詰めて 根気な (だ) 言うて。こまかし (小さい) 事を 根気つめて しとる (して居る) 言うて、休まん (休まずに) こごと (丁寧) に しとんのおを (して居るのを) 根気言うんやるなあ (言うのでしょうか)。あの ひた (人は) 根気で、こまかし仕事 いつでも よお (よく) しとんなあ (して居る) 言うて。こまかし (小さく、丁寧に) する事を根気や (だ) 言う。こごと 休まん (ずに) じょおく (いつも) しとる 言う事を、こごとに しとる 言うの (のです)。じょおく言うといつも 常 (つね) に 言う事やわい (です)。コンも こんき も 一緒。コンな (が) ええ (よい) とか 根気や (だ) 言うねよって (言うのだから)。

**こん** 来ない。こ、来、くの命令形の古語。こい。(志、員、四、安、一、飯、松、多、上、張、度、北、尾、南、熊) [会話] 来やせんなあ (来ません) 今日、あの 人な (が) コンナア (来ない) 言う人も あんなあ (有ります)。今日は コンナア あやなあ (彼は) あの ひた (人は) きやせん (来ません) 言うの (のを)。

**こんい (懇意)** 仲のよいこと。親しいこと。またそのさ

ま。[会話] コンイに しとる (している) 人なあ (です)、ちかし (親しく) しとる 人を、コンイに しとて (して) あの 人 と言うてなあ。仲よお (よく) しとる 人なあ (です)、コンイにしとる 人 や (だ) 言うて。

**こんか** 来なさい。来ないか。(員、鈴市、久、上阿、度、尾)

**こんかい** おい出なさい。来なさい。(志、尾) [会話] 後へ 付いて といて (いつて)、コンカイ はよまあ (早く) 言うて、引つ張んねんかい (るのです)。

**こんかいだ** 来なさい。

**こんかつた** 来なかつた。

**こんかな** 来なさい こんかの参照 (伊、北、尾)

**こんかの** 来なさい [会話] おら (俺は) まあ 行く ねどよ (のだぞ) はよ (早く) コンカノ 言うてなあ、コンカナ (来なさい) 言う ねなあ (のです)。

**こんがらかず** 焦す

**こんがり 【副詞】** 丁度よい焼き色がついて、こおばしく焼けるさまを表す語。コンガは焦るの語根の音便転 (大言海) (志 (布施田)) [会話] コンガリ 言うて 焦がしたらんと (てやらずに) 狐色ん (に) 焼くと コンガリ と よお (よく) 焼いたなあ、上手ん (に) 言うて。やきもん (焼魚) でも、コンガリ 焼けたよお言うて、からり コンガリ ひとこえなき 言うて 言うやんかい (言います)。やきもち焼き過ぎると はざんし (いけないし) 又 焼かんのもわりんてわな (悪いそうです)。

**こんかれ** 来なさい。幾分命令調。(度、尾) [会話] コンカレ 言うのは 来い 言うの なし (です)。

**こんき (根気) 【名詞】** 熱心なさま。忍耐力。物事を飽きずに、がまん強く続ける気力。こん。こんきしごと 参照 (志、鳥 (桃取))

**こんきしごと (根気仕事) 【名詞】** あきないで、我慢強く続ける気力のいる仕事。[会話] コンキ な言うて 飽きんと (ずに) コンキ に、いっしょけんめ (一生懸命) しとる (している) 事を コンキ な、あの ひた (人は) コンキ な (が) 強よお (強よくて) 言うてな。こまかい (小さい) 仕事を 飽きんと する事をな コンキ 強よお (強よく) しとる (している) 言うて。コンキシゴト言うて その コンキ の要る こまかし (細かい) 仕事を コンキシゴト や (です)。

**こんきな** 根気よく。辛抱強いきさま。

**こんきに** 根気よく、長く続けて (志、鳥 (桃取))

**こんきまけ (根気負) 【名詞】** あきずに我慢強く続ける

気力がなくなる事。根気が続かなくなる事。[会話]  
コンマケ言うなあ、コンキマケしてまあ言うて。

こんくらい 此の位

コンクリ【名詞】セメント コンクリートの略。(上、  
阿)[会話] セメントの練ったの コンクリ、コンク  
リみたよな (のように) かったい (堅い) 人やなあ  
(だ) 言うて、にげ (人間) でも、いちがいな (一途  
な) 堅い人なあ コンクリより かったいわれ (堅い  
です) あや (彼は) 言うて

こんげな【形容動詞】1) こんな このような 2) こ  
んなに

こんげなもん こんな物 (者)

こんげん こんなに こんげん参照 (志、鳥 (答志)) [会  
話] おおた コゲンしてまあ 言うて、なんやかや  
(色々) 仕事をよけ (多く) すと (すると)、コン  
ゲンよけ (沢山) したんか (したのか) とか、貰う時  
も よけ (沢山) 呉れると、おた (おお) コンゲンよ  
け呉れんのか (沢山くれるのですか) 言うて。仕事し  
ても コンゲンよけ したんかい (したのですか) 言  
う時も有るし。コンゲン 言うて よけ (沢山) する  
言う事やなあ (です)。よおけ (沢山) する 言う事  
を コンゲン 言うんなあ (言います)。

こんこ【名詞】此の子供 (北) [会話] コンコな (が)  
あんこな (あの子が) 言うてなあ、コンコな はざん  
でなあ (いけなくて) 言うてな 三つか四つのちっ  
ちやい (小さい) こらん (子供達に) 言う時んなあ  
(に)。

こんこ 来なさい 来ませんか (度) [会話] 此処い  
(へ) コンコ。コンコ言うて、来い言う事なあ。わい  
も (貴方も) こいの (来なさい) 言うのをなあ、此処  
い (へ) コンコ、わいも、おらな (俺は)、じょおく  
(いつも) いとんねのん (行って居るのに) 言うて。

こんご【名詞】五合 (志 (御座、浜島、片田、国府、志  
島、鶴方)、鳥 (相差、国崎、桃取、答志、坂手)、鈴  
市、安、津、一、飯、松、多、上、阿、張、名、度、  
伊、尾) [会話] ゴンゴ 言う 五合 言うの (の  
です)。ゴンゴ 言うて、親父な (が) どんび (大きな  
陰囊) 出しとて (て居て) こげに (こんなに、あぐら  
で座って居る) しとて (して居て) 親父 どいらい  
(大きな) もんやのお (物ですな) 言うたや (言った  
ら)、おお (はい) ゴンゴ 握った、言うて 五合握  
った 言うの (のを) ゴンゴに握った 言うて。五合  
言うのを ゴンゴ。

こんごおしゃ。こんごおしゃど (こんがうしゃど) (金

剛砂砥)【名詞】金剛砂で出来た砥石。(北) [会話]  
研ぐ とお 荒砥やとか コンゴオシャドや 仕上砥  
や。

こんごふぐ (こんがうふぐ) (金剛河豚)【名詞】箱河豚  
ハコフグ科の海魚 全長約40cm に達する体は箱状で  
体の横断面はほぼ四角、尾柄部以外は堅い甲でおおわ  
れるので此の名があり棘は無い体色は黄色または青緑  
色の円紋があり各鱗は黄橙色。(志 (安乗) 鳥、度)  
[会話] コンゴフグ言うて 口な (が) ちっちゃあい  
(小さい) のおな (のが) 有るやんかい (有ります)、  
口な (が) ちっちゃい のな (です)。コンゴフグの  
口みたいなあ (のようだ) 言うて。

こんごへえか【名詞】皇后陛下 [会話] 修学旅行 行  
く時ん (に) 天皇陛下とコンゴへいカ (皇后陛下) と  
来て 明治天皇 やったんな (でした) その時なあ  
(です) 四年生のおりやったんかいな (時だったか)  
学校で 行ったのな (行ったのが) そんな (それが)  
始めて 伊勢行たの。

こんこめる 一心になる。一生懸命にする。精力を集中  
する。[会話] コンコメル 言うな (のは)、こまか  
し (細かい) 事を、休まんと (まずに) しとる (して  
居る) 言う事やなあ (です)。コンツメル 言うな、  
根気な (熱心に) こまかし 仕事を 休まんとしとる。  
いっしょけめ (一生懸命) しとる。コンツメルも コ  
ンコメルも 一緒やなあ (です)。

こんころ【名詞】小さな球状の物。(志 (布施田)) [会  
話] なんやかや (何か彼か) なりもん (果実) な  
(が) なって来たや (ら)、コンコロな (が) なって  
来た 言うやんかい (言うで有りませんか)。ちっさ  
あい (小さい) のおな (のが) めぎんで (芽を出し  
て) 来た ばか (ばかり) の時を、コンコロ言うて、  
コンコロな (が) なっとられ (なって居る) 言うて。  
ちっちゃい まあい (丸い) のおお コンコロ言う  
て。蜜柑でも、ちよいと (少し) ちっそおお (小さ  
く) めぎんで来た時の事を コンコロ言うのなあ (言  
います)。蜜柑になりかけの事を 花ふるて、芯にち  
よいと して来ると、コンコロや (だ) 言うのなあ。  
なんでもなあ (何でも) コンコロん (に) なって来た  
れ (来た) 言うて、きゅうりでも、なんでも、コンコ  
ロな (が) なって来た言うて なりもんに、して来る  
と (なって来ると)、めぎんで来ると、コンコロん  
(に) なって来たない (来た) 言うて。花ふるう 花  
な (が) 落ちる事なあ (を) 花振う 言うて。花な  
(が) 時期な (が) 来て 散ってくと、(て行くと)

まあ (もう) 花振るたよってん (散ったから) コンコロ (に) になって 来たれ 言うて、花振るたると (てやると) 花な (が) 雌芯の中から ころんとして 来んのを (来るのを) コンコロな 出来たれ (出来ました) 言うて (言うて)。

**こんこん** 【名詞】 狐 こんこんさん参照 (志 (布施田)、桑市、三、鈴市、阿、張)

**こんこんきょお (こんくあうけう) (金光教)** 【名詞】 金光教 [会話] てんりん (天理) 教とか コンコンキョオとか 色々 今しゃ (今は) 宗教な (が) よけ (沢山) 有るやんかい (有ります)。

**こんこんさん** 【名詞】 稲荷の使いの狐 (上、阿) [会話] 稲荷の狐、コンコンサン。コンコンサン 言うやんかな (言います) 稲荷さんの事を。狐 コンコン 言うもん (ので) で、コンコンサン言うんやろなあ (言うのでしょうか)。

**こんざい** 【副詞】 絶対に、金輪際の略。[会話] コンザイ、こんじんざい 言うな (のは) 言うけどなあ、こんじんざい おらまあ (俺は) あんな (彼の) 言うこた (事は) 信じやせんわ (ない)、こんじんざい あいらと (彼等と) 付き合わせん (ない) 言うて 言うやんかい (言います) こんじんざい あいらな (彼等の) こた (事は) 構わん 言うたりなあ、絶対言うよ おな言葉やなあ (です)。

**ごんじ** 【名詞】 駄々、子供の我儘。(志 (鶴方、神明、立神、志島、国府))

**ごんじ** 【名詞】 うるめいわしの小さな物 (志)

**ごんじきり** 【名詞】 駄々っ子。[会話] ごんじきる 言うんかな。(言うのですか)。子供らな (が) いじんの おを (駄々言うのを) ゴンジキリ 言うし、大人でも なんやかや (色々) こじる (文句言う) よおな事 言うと、あや (あれ) ゴンジキリ 言うて 大人でも 言うけどなあ (言います)。人の言う事 こじると あや ゴンジキッテ まあ 言うて。いじる 言うな (のは)、子供らに なん こおてくれ (買って呉れ) とか あんな (あれが) ほし (欲しい) とか 言うの (のを)、いじられて言うやんかい (言います)。

**ごんじきる** 駄々を言う ごんじきり参照

**こんしごと** 【名詞】 根気の要る仕事 [会話] 根気で根つめて コンシゴトで、まあ ほん (本当に) くたばったよお (疲れた) 言うて。

**こんじょ (こんじやう)** (根性) 【名詞】 生まれつきの性質。ひねくれたり、ずうずうしかつたりして好ましくない時に多く使用する。こんじょうの変化した語。

[会話] コンジョな (が) わり (悪い)、腹な わり 言うのなあ (です)。ドコンジョな (が) わり いて (悪くて) 言うてな、心な わり 言う事やわい (です)。あの おなが (女は) こんじょくさりで 言うて 気立てのわり (悪い) 事を コンジョな わり 言うてな。

**こんじょぎたない** 意地が悪い [会話] コンジョギタナイ、こんじょくさり、こんじよなわり、こんじよわり 皆 一緒の事やわい (です)。こんじよおわり 言うなあ、コンジョギタナイ 事 して 言うて、食う事 を なあ、すけない (少ない) とか 多い とか 言うて、ほん (本当に) コンジョギタナイ 事 言うて。気立てな (が) わり (悪い) 言う事やわいなあ (です)。こんじょくさり や (だ) こんじよわり や (だ) 言うな (のは)。

**こんじょくさ。こんじょくさり (こんじやうくさり)** (根性腐り) 【名詞】 根性の悪い事。又その人。その行為。意地悪、又その人。(志 (布施田、浜島、鶴方、神明、立神、国府、安乗) 鳥 北、南) [会話] コンジョクサリ 言うな (のは)、意地くさり 言う人 を、する人 を、コンジョクサリ や (だ) 言うて (言うて)。此処らの人ら (は) コンジョクサ、意地なわり (悪い) 事 言うの を コンジョクサリ や (だ) 言うて なあ。コンジョクサリで あや (彼は) まあ 意地くさりで 言うて なあ。腹のわり 事、言うと、あや コンジョクサリで いじくさり や (だ) はらわり や 言うて なあ。こんじよなわりも 一緒の事。こんじよなわり 言うのと コンジョクサリ や。心な (が) わり 言うの コンジョクサリ や よってん (だから) 言うて なあ。

**こんじょくさりのあさわらい** 【俚諺】 その日に悪い事が有る。よい事が長続きしない。しゅうとめのあさわらい参照。

**こんじよなわり** 意地が悪い

**こんじよもん** 【名詞】 1) 根性のしっかりした人。

2) 負け嫌いの人。

**こんじよのどよおぼし** 頑固一徹のさま、互いに言い張って譲らない事

**こんじよわり** 【名詞】 意地が悪い 又その人 こんじょくさ参照 (上、阿、張、南、熊)

**こんじん (金神)** 【名詞】 1) はぜの仲間 2) 激しやすく、おだやかに話の出来ない人 (金神、殺伐を好む、恐るべき神) [会話] 1) はぜの、コンジンも有るし、2) にげ (人、人間) も むづかし (気むづかしい) 人

コンジンや(だ)言うわい(言います)。キモンコンジンや(だ)言うて、むつかし人を。キモンコンジンの事を言うんやろなあ(言うのでしょう)。きもん(鬼門)は 崇るとえらい(大変)やんかい(です)。命取りするよってん(するから)、そやよって(だから)むつかし人 例えたんやろなあ(たのでしょう)。あんまり(余り)なんすると あや(彼)鬼門へ しょんべ(小便)たれたのおより(したのよりも)えらいねよってん(のだから)言うて。鬼門へ しょんべたれると(小便すると)崇りな(が)えらいね(ひどいのです)。にげ(人)も あんまり(あまり)すかん事(嫌な事)言うたり、したりすると、あやまあ(彼は)キモンコンジンで 鬼門へ しょんべたれたのおより えらいど(大変だ)あれ(彼)怒らしたら(怒らせたら)言うて。

**こんじんざい【副詞】** 金輸際。物事の底の底まで、絶対に。[会話] のらの(お前達の)言うこた、(事は)コンジンザイ しらんわ。(知らない)

**ごんず。ごんずい【権瑞】【名詞】** 魚名。こずに同じ。  
(志(磯部、布施田、鶴方、神明、立神、国府)、鳥(答志))

**ごんぞ** 1) 面倒。面倒を見る。世話をやく事。 2) 洞の奥に入って居る鮑。世話をやかせるので。ごんぞせやごせ参照

**ごんぞかく** 1) 腹の立つ程注意する 2) 一生懸命に仕事をやる。(志(布施田))

**ごんぞする** 苦勞する。苦心する。

**ごんぞせ** ごんぞ1)に同じ(志)

**ごんぞせかく** 一生懸命になる。世話をやかさせる。腹の立つ程注意する。(志)

**ごんぞせやごせ** ごんぞ1)に同じ [会話] ゴンゾセヤゴセや(だ)言う(言います)。ごんぞせ かく言うのは、いっしょけんめ(一生懸命)で 世話やくの(のです)。あげん(あんなに)せな(しなれば)はざんわれ(いけません)、こげん(こんなに)せなはざんわれ、そや(それは)そげん(そんなに)すると はざんわれ 言うて、世話やく事を ごんぞせ言うて。ごんぞ 言うて 世話やかす。ゴンゾセヤゴセ 言うねよって(言うのだから)それも 一緒やわい(です)。ゴンゾセヤゴセ 言うて、幾ら言うても(言っても)聞かへんもんで(無いので)、何回も何回も 言わな(言わなければ)聞かせん(聞かない)言う事やろなあ(でしょう)。やごせ 言うな(言うのは)。鮑のごんぞ 採る 言うけど(言います)。ご

んぞ 言うて 奥のほお(洞の奥)ん(の)のを、とんの(採るのを) ごんぞとりや(だ)言うて。奥のほおに 入っとる(て居る)のを ごんぞ言うの(言います)。ごんぞの おおび(鮑)採りや(だ)言うて。**ごんぞとり【名詞】** 岩礁の下の鮑を採るのを、得意とする海女。[会話] ごんぞ言うのは 寝台の下みたいなの岩のずっと 奥い(に) おんのを(居るのを) ごんぞのおおび(鮑)言うて。島の下の ゴンゾトリや言うて 一番下の、島の奥におんのをなあ(居るのを)。ゴンゾトリ言うてなあ。あらかとり言うのは 上に座つとんのを(座って居るのを) あらけおおび採る にげ(人間)と ゴンゾトリとは 又、違うんてや(違うのです)。ゴンゾトリは 又なあ 上手なんてや(上手なのです) ずっと奥におんのも、いといて(居るのも行って) すつと 覗いては 判らせんね(判らないのです)。いつまで見とらな、くらがりもんで(見て居なければ暗いので) 鮑が 判らせんやんか(判らないのです)。いつまで 見とると あや(見て居るとあれは) 鮑やなあ(だな) 思うと そつと手一杯伸ばしてて(伸ばして行って) 足らわん時も有るし(有ります) 手先おんのは(居るのは) 採りよいねけど(採りやすいのだが) ごんぞん(に) おんのは(居るのは) 採りぬくいやんか(のです)。そやよって(だから) ゴンゾトリは 上手なの(なのです)。ごんぞ採る人は、ゴンゾトリや(だ)言うて 島の下ばっか(ばかり) えて(得意)に 採る人と、あらけ採りや(だ)言うて 上ん(に) 座つとん(座って居るの) だけ 採んのとあんねてや(採るのと有るのです)。ごんぞせやごせ言うてなあ。 ごんぞせやごせかくねない(のだ) 言うて 世話やく(する) あんまり(充分) 世話やかす事を ごんぞせかく(する) 言うて。その世話やかす言う意味から ゴンゾトリ言う言葉が出てきたのやろなあ(でしょう)。ごんぞを食うて(食べて) とんぬくいもんで(採りにくいので) そげな(そんな) 事やろなあ(でしょう)。ごんぞ採るにげ(人間)は 又、上手なんてや(上手なのです)。あらか採りは ごんぞはえてやせんわい(得意では有りません)。あらか採りは すぐ見えとんの(見えているのを) すうつと採るし ゴンゾトリは 又、ゴンゾトリで、奥の方を採る時は ごんぞしかねてや(大変苦勞するのです)。採りぬくうて(採りにくくて)。島の下 入ってて(入って行って) 前へ入ってて 体のはられる所 そいて(そして) 出て来る時は あといざり(後ずさり)して 出てこな出れ



やせん (出てこなければ出れません)。尻返されやへんねよって (反転出来ないから) そいで (それで) 目でめえやせんし (見えない) 手探りですんねよってな (するのだから) 上の壁に ひつついとんのは (て居るのは) めえやせんもんで (見えないので) 手で探つて こや (此は) 鮑やなあ (だなあ) 思て (思つて) すつと、そいな (するとそんな) 時は ながのみは使われやせんよって (使えないから) このみで採んの (採るのです)。

**ごんぞめし** **【名詞】** 具も一緒に炊き込んだ混ぜ飯。五目飯。[会話] 米い (へ) すぐん (に) 魚を 打ち込んでいて、(入れて) ごんぼ (牛蒡) も 人參も皆 ひとくらん (一度に) 入れといて (ておいて)、はやじやらく (手早く) するもんで (ので) ゴンゾメシ。

**こなた** (此方) **【代名詞】** お前、貴方、この方。こなたの訛 (広辞苑 方言俗語源辞典) (志 (鶴方、国府)、鳥 (相差)、度)

**こんだ** **【名詞】** 今度、こんど。(志、鳥 (答志)、張、北) [会話] コンダ 言うのは 今度。こんど 言う事を コンダ。コンダ なれ (です)、どげん (どんなに) しよおやんかれ (しましよう) とかな、こんど 言う事を コンダ 言うの (のです)。コンダ こげん (こんなに) せな (しなければ) はざんなあ (駄目です) てやら (とか) 言うて。

**こんだけ** (此丈) **【副詞】** これだけ (志 (浜島、鶴方、神明、立神、国府、安乗)、鳥、員、鈴郡、鈴市、三、安、一、松、上、張、名、度、伊、北) [会話] これだけ 言うのを コンダケ。物を すけのお (少なく) 呉れると、コンダケのもの (物) なんどお (なんだ) 言うて。仕事よお (よく) せんでも (出来なくても) コンダケよりよおせんのか (出来ないのか) てやら (とか)、コンダケのもの (物) すんな (するのは) なんどお (とか) 言うてなあ。すけない (少ない) 事言うんやろなあ (言うのでしょうか) コンダケのもの 言うのやよってなあ (言うのですから)。

**こんだけのもん** これだけの物、量の少ない時に使用する。[会話] 物のすけない (少ない) 時や (は) コンダケノモン 言うんなしなあ (のです)。

**こんだけやそこら** 此の程度では これだけのもの 量の少ない時に使用する [会話] ちょおいと (少し) 呉れると、コンダケヤ ソコラ よお (よく) 呉れた事やなあ (だ) 言うて、鼻糞 ほどしか (より) 呉れやせん (呉れない) とかなあ。

**こんだろ** 1) 櫓を漕ぎなさい 2) 櫓を漕いであげま

す

**こんたん** (魂胆) **【名詞】** 腹の内の考え、悪だくみ、企。

(上、阿) [会話] あや (彼) あんげん (あんなに) しよお おもた (思った) コンタンや (だ)。あんげん しよお 言う しかけ (仕掛) を 言う事やろなあ (でしょう)。あんげん しよお おもて (思つて)、コンタンやど (だぞ) あんな (彼の) 言うて、よお (よく) 言うやんかい (言います)。腹の中で わがと (自分) 考えとる事を、コンタン 言うのやろなあ (でしょう)。あやまあ (彼は) あげん (あんなに) しよおおもて (思つて)、あや (あれは) わがと (自分の) コンタンやど (だぞ) あや (あれは) その前触れや (だ)、言う事やろなあ コンタンやでえ (です) あんな (彼の) 言うて。

**こんつめる** (根詰) 仕事などに休みなく、精を出しているさま。(志 (布施田)) [会話] コンツメテ まあ、肩な (が) 張つて 言うて。いっしよけんめ (一生懸命) で仕事する事を コンツメル 言うのな (です)。根気に仕事なあ (を)、いっしよけんめに、しこる (執着する) 事、まあ、コンツメテ くたばったよお (疲れた) 言うて、まあ 根気で コンツメテ 根仕事でくたばったよお 言うて。

**こんで** 1) 此れで (志、阿) 2) 漕いで (志、北) 3) 来なくて 4) 混雑して [会話] 1) コンデ ええわ (よろしい) まあ 言うね (言うのです)、此れで ええわまあ 言うのをなあ、コンデ 止めとけよお (ておきなさい) 言うたりな、コンデ 終いんせえ (にしなさい) 言う時もなあ。まあ コンデ ええわれ (よろしい) 止めとけよお (ておきなさい) 言うてなあ。2) 櫓漕ぐのも 有るしなあ、コンデ キタよお 言うてな、3) 待つとたけど (ていたが) コンデ 言うて こだった (来なかった) 事を。

**こんてえ** (こんてい) **【名詞】** 1) 腹中の考へ 2) 根本

**こんでく** 漕いで行く。

**こんでも** 1) 漕いでも 2) 混雑しても

**こんでも** 来なくても

**こんでも** 此れでも

**こんど** 後刻 此の次に (志、阿) [会話] コンド 来る時や (は) なんか (なにか) 持って こおんね (来ます) 言うて、ふたあくらめ (二度目) 来る時 んなあ (に)。

**こんどかい** この次ですか。後刻ですか。

**こんとし** **【名詞】** 此の年。此の年令

**こんどめ (今度目) 【名詞】** この次、次回。(伊、北、南) [会話] いまし (今) これ したるけど (して居るが)、今度 次にする事を、コンドメ 言うんやろなあ (言うのでしょうか)。次の事を コンドメ。コンドメ あれ すんのんなあ (するのに) 言うて。

**こんどる** 1) 漕いで居る。2) こみ入って居る。3) 満員である。(桑市) [会話] つんどる (人が多く居る) 事を コンドル、人な (が) 今日はコンドル。一杯やなあ (だ) 言う事を コンドンナア (こんで居ます) 言うて。なえもん (苗物) でも あんまり (余り) よけ (多く) あつう (厚く) して有ると、あんまり コンドラレ (でいる) 言うしなあ (言います)。植えたのな (のが) あんまり こまこお (小さく、間隔が少ない) して有ると、あんまり こみすぎ やれ (です) 言うて。<sup>1)</sup> 舟も コンドル 言うなあ (言います)。<sup>2)</sup> 話が いりくんどる (でいる) のも 話な (が) コンデ 言うて、いろいろと あれ言う これ言う するのをなあ、話しな (が) コンドル 言うし。コンドルのどるは いとる (行って居る) きとる (来て居る、着て居る)、知っておる、しとる それはしとる。

**こんな 【代名詞】** 1) これが 2) 此の人が

**こんなあ** 来ません

**こんながり** 此のまま、容器などに入れたまま。[会話] このまま言う 事を コンナガリ 言うの (のです)。コンナガリ まあ ごろ寝 しよおや (しましよう) とか、コンナガリ まあ 寄らんと (寄らずに) 行こかいなあ (行きましようか) 言うたり、コンナガリ いこや (行きましよう) 言うて、他所行きすんのでも (するのでも)、着物も着替えんと (ずに)。

**こんなご 【代名詞】** 此の人。此の女の人。女性言葉。[会話] コンナゴな (が) まあ すかんよ (嫌だ) みよまあ (見なさい) 言うてな、此の人を言うのを、男の人は此の人な (が) 言うて 言うけどなあ (言うが)、おなご (女) にはなあ コンナゴな (が) 言うてなあ。

**こんならん** 来なければいけない。(四)

**こんなり** このまま [会話] コンナリも、こんながり も一緒やわい (です) このまま言う 事をなあ。

**こんに** 1) 此の様に 此れ程 (志、鳥、桑市、桑、三、四、鈴市、安、度、伊) 2) 来ません 3) 根気よく 副詞

**こんにして** 此の様にして (志)

**こんにやくのひょうしぎ** おとなしい。[会話] 普通は

コンニャクノヒョウシギで おとなし (おとなしいー音無し) けど (が) 喋らな (なければ) しゃあない (しかたない)。

**こんにやら 【名詞】** 此の野郎 [会話] 此の やろ (野郎) 言うて このやら (野郎) 言うの コンニャラ 言うねんなあ (言うのです)、男の人な、ごおなわいて (腹が立って) 来ると、コンニャラ まあ言うて 男の子らをなあ このやら (野郎) どやしたんどお (叩いてやるぞ) 言うて、此の野郎 言うのを コンニャラ 言うね (言います)。

**ごんばいうちわ。ごんばうちわ 【名詞】** 大きな漕うちわ。

(志、鈴郡) [会話] ゴンバウチワ 言うんか (言うのですか)、おつきい (大きい) のを。てえ (手) も おつきいと (大きいと) あや (あれ) あの人の手、ゴンバウチワ みたいなあ (のようだ) 言うて。かあ (蚊) 追うの (のに) ふたあつてえ (両手) で ゴンバウチワで おおげ (あおげ) 言いよったわ (言っていました)。てこね (鯨の一種) すると さますのん (御飯を冷やすのに)、うちわな (が) 有って、それい (に) 漕な (が) ふいて (塗って) 有って、ゴンバウチワ おおげ 言うて、ふたあつてえ おおぎよった (あおいで居ました)。大きなうちわの事 ゴンバウチワ。昔や (は) 扇風機な (が) 無いし (有りませんので) 扇風機の代り。昔は 家で 御馳走事 (宴会) よけ (多く) しよったもんで (して居たので) 鯨の飯さますのに ゴンバウチワ もて来い (持ってきて) 言うて、それで おおんで (あおいで) さましょった。暑い時や (には) 子供の時分 (頃) に、あおげ、あおげ 言うて あおがされよったわい (ました)。かあ (蚊) も よけ (沢山) おるし (居ます)、ゴンバウチワで 外へ追い出せ 言うて、外むいて (向って) うちわで しいよった (して居ました)。

**こんばし 【形容詞】** 香ばし、こおばし、香ばしい、芳ばしい。こうばしい。ほんのりと焦げたような、良い匂である。香がよい。かぐわしい。心がひかれる、望ましい。(志(鶴方、神明、立神、甲賀、国府)、鳥、南) [会話] コンバシ 言うのは、麦粉 (ムイゴ) や (だ) てやら (とか) こお (粒) 挽いた、あいなのを (あんなのを) コンバシ 言うな (言います)。こおばしいのを、コンバシ 言うのや (言うのです)。ええ 匂がする ええ匂やなあ。コンバシかざ (匂) は ええもんなあ (よいです)、そやで (それで) コンバシ かざな (が) ええ 匂な (が) して来たれ (して来ました) 言うてなあ (言って)。こびた (焦げた) のは

焦げ臭いし、コンバシのは 又 ええ 匂ななあ (が) こびる一歩手前や (です)。うまくさい かざ (匂) な (が) する、うまくさい おいしいかざ (匂) や (と) 言うのを うまくさい。

**ごんぼち。ごんぱりこ**【名詞】 ゴムまり、ぱりこ、はりこ、張子、紙風船、物の形を木型で作り、それに紙を重ねて張り糊が乾いてから、木型を抜き取った物、はりぬき。ふうせん、風船、紙、ゴム等の袋に空気や水素などを入れ球状にふくらませて飛ばしたり、手でついたりして遊ぶ玩具。(志(布施田)) [会話] ゴムのはりこ。子供の時分(頃)は ゴンバリコ こおて (買って) 貰うの (のが) 嬉しい (ので) ど いらい (大変な) 高級なおもちゃ (玩具) やったの (でした)。ゴンバリコ 言うな (のは) よお こおて 貰おかな (買って貰えません)。そやよつて (それだから) きれ (布) で巻いて、ゴンバリコのよおにしたり、枳殻 (きこく、からたち) もも (果実) な (が) どいらい (大変) よお (よく) 揚がんで (上るので)、枳殻のもも取って、さあつとすると ふう と揚がって どいらい よかりよおつた (よかった)。その 枳殻な (が) そげん (そんなに) よけ (多く) 無いし、有る家の もろて来て (貰って来て) それを張ると ぼんと 揚がりよおつたの (揚がったのです)。ゴンバリコ 揚がるけどなあ (けれども)、きれでこさえた (作った) のは なんも (何も、少しも) 揚らせんけど (ないが)、そんでも (それでも) ゴンバリコ、こおて 貰お言うたら (言ったら) なかなか こおてもらわれやせん (買って貰ません) やんかい (のです)。そやもんで (それで) きれ (布) で わがとら (自分達が) こさえて なんも 揚がらんでも (なくても) そんで (それで) しいよつた (して居ました)。高級やったのなあ (でした) ゴンバリコ。よお こおてもらわつたもん。

**ごんぼんは** 夜の挨拶(桑郡、員、張、尾)

**ごんぶ(瘤)**【名詞】 1) 親芋から突き出た部分。膨らんで居る。2) 瘤: 打撲によって、頭部などの皮下に漿液などが貯って出来る、隆起した塊。組織や臓器に見られる異常な塊。物の表面の膨れ上った部分。紐などの硬い結び目。じゃまになるもの、やっかい物。(度、南) 3) 子供 4) 足の頼 [会話] 1) 芋のコンブ 喰うので。婆さんコンブ呉れ 言うて。芋な (が) ひねて来ると (長く置いて古くなって来ると) 七月、八月頃ん (に) なって 来ると、コンブ、なつて 来て、そのコンブを 喰うのな (が) うまいお お

(ので)、コンブ呉れ 言うて、芋 切つとると (て居ると) コンブ 貰いよつた (貰いました)。ひねん (に) なって来ると コンブ 出て来んの (出て来るのです)。芋から出て来んの 又、おいしいのなあ (のです)。そこは 若芽みたよおになあ (のように)。普通のとこ (所) は すいすいになつとるし (なって居ますが)、コンブは 立派な芋で 新芋 (しんいも、当年採れた芋) みたい な (のような) な (のが) 出て来んねてや (出て来るのです)。昔や (は) 採るから採る迄 芋 喰いおつたやんかな (居ました)、今頃 (九月) まで ひね (古い) のな (のが) 有つて 喰いよつたねんなあ (食べて居たのです)。<sup>2)</sup> 座りコンブ、足のコンブ 言う事か (ですか)。足のすわりコンブ も 有るし、なんか 打つと コンブな (が) 出来て来る 瘤な出来るのおをなあ (のを)。<sup>3)</sup> 出戻りな (が) 子供連れて 嫁すと (結婚すると) コブツキや (だ) 言うて コブツキでも 貰おて来た (貰って来た) 言うやんかい (言います)。子供のあんのを (有るのを) 子供をコンブや (だ) 言うて。まあ (もう) あのうちや (家は) 嫁さんからくつても (探しても) のおて、(無くて) コブツキ もろて (貰って) 来た 言うて なあ。今しや (今は) まあ コブツキでも 貰わな (なければ) 嫁さんな (が) のおて (無くて) 難儀 (苦労) しとんねんなあ (して居るのです)。そやよつて なあ (だから) えざらい (大変嫌がる) 出来やせん (出来ない)。コブツキでも 皆 もおてくるんやてや (貰って来るので) そやよつて (だから) コンブ も きらわれん (嫌われない)。

**ごんぶ**【名詞】 昆布 [会話] 北海のコンブ言うのは海で採れる なあがい (長い) のおを (のを) 北海に行く と 土産によお (よく) 呉れよつたわい (しました)。北海 言うのは 北海道。北海道は でつかいどお (大きいぞ) 言うて、昔は 北海へ 行きよつたわい (行って居ました) 出稼ぎに、そのさい (時) の土産に よお (よく) コンブ 呉れよつた (呉れました)。

**ごんぼ**【名詞】 牛蒡、根、まれに葉柄を食用とするため、栽培される越年草。菊科。ごんぼほり参照(志(浜島、神明、鶴方、立神、国府、安乗)、鳥(加茂)、伊賀地方、南伊勢地方)

**ごんぼち**【名詞】 毘(鳥)

**ごんぼぬき(牛蒡拔)**【名詞】 多くの中から一つ一つ勢いよく抜き出す事。競争などで数人を一気に抜き去る事。ごぼう抜き。(安)

**ごんぼほり**【名詞】 物事を根ほり葉ほり尋ねる人。

(志(立神)) [会話] 牛蒡言うの(のを) ゴンボや(です)。ねえ(根) から はあ(葉) から ゴンボホリ言うて、ねえからはあから 問うにげ(人、人間) を ゴンボホリや(と) 言うわい(言います)。あや(彼) ゴンボホリや(だ) 言うて。尋ねると そや(それは) どげか(どんなのか) てや(と云えば)、こおやれ(こうです) 言うて、そしたや(ら) そやどおど(どうですか) 言うて、そや こおやれ 言うて、とこ(床、土床からか 終り)迄 尋ねると ゴンボホリ 答えるとさいが(最後) その次その次 言うて来るのを ゴンボホリ。とこ迄言うのは しまい(終) 迄 言う事や(です) とことん言うてなあ。

**ごんぼほる** 物事をうるさく質問する。(度)

**こんまい**【形容詞】小さい(久、上) [会話] 小さい事 小さいのを コンマイ 言うのや(言うのです)。コンマイなあ。こましやなあ(だなあ) 言うのも 有るしなあ(有ります)、かいぞろ(小さな貝でおはじきにする) 拾いに行くと ちっちゃい(小さい) のを拾うと こや(これは) こまし ぼつかやなあ(ばかりだ) 言うて こましいんやなあ(のだ) 言うて。

**こんまけ(根負)**【名詞】根気まけ こんきまけ参照(鳥)

**ごんまりこ**【名詞】ゴムまり(志) [会話] ゴムまり、ゴンマリコ 言うのなあ(です)。ゴンマリコ こおて(買って) もおて(貰らって) 言うてなあ、ちっさいじぶん(小さい頃) うれしてなあ(嬉しくて) あれこおて 貰らうと、まあ ゴンマリコ こおて(買って) もおた(貰らった) よってん(から) おいといし(遊びの一種) しょおや(しましよ) 言うて。

**こんめ**【名詞】小梅 [会話] コンメ 言うのは ちっちゃい(小さい) 梅も有るし、きい(木) な(が) ちっちゃい。

**こんもり**【副詞】丸みを帯びて、盛り上って居る状態を表す語(土、飯など) (阿、張、名) [会話] コンモリ もやげて(盛り上げて) まあ、言うてな。おたこやれ どのお(大きく) もやげて 言うて、おっきい(大きい) と言うし、そして、ちっちゃいと(小さいと) コンモリと まあ こやれ(これ) ええよお(よいのを) 見よまあ(見なさい) 言うて、コンモリと もつとけよお(よそっておけ) 言うてな 佛さんの飯、供えん(る) のんなあ(に)、わがとらな(自分達が)、飯、食う時や(は) 大茶碗で もやげて(盛り上げて) 食うた言うてなあ。

**こんりんざい(金輪際)**【副詞】絶対。決して。

**こんろ(焔炉)**【名詞】しちりん、七輪、軽便な小型木炭用火炉で箸子を入れ、横に風穴をつける。(志(御座、越賀、畔名、国府、浜島、鶴方)、鳥(桃取、坂手、答志)、桑郡、員、多、上、阿、張、名、北) [会話] コンロな(が) ありよおったな(有りました)、コンロ 七輪や(と) 言っておったなあ(言っていました)。七輪を コンロや(だ) 言うて。なんや(何か) 知らんけど(知らないが) 七輪言うもんなあ(言います)。